

日野市健康づくりに関する調査 報 告 書

第4期「日野人げんき！」プラン

令和 7 年 3 月

日 野 市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の内容	3
3 調査の設計	3
4 回収結果	3
5 集計・分析にあたって	3
6 回答者の属性	4
II 調査結果の分析	7
1 ころとからだの健康づくりについて	9
(1) 自分の健康状態	9
(2) 自分の健康に対する関心度	11
(3) 毎日の生活のなかで実践していること	13
(4) 1日に2回以上主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べる頻度	15
(5) 運動（1日30分以上、週2回以上、1年以上）の継続状況	17
(6) 毎日の生活のなかでイライラやストレスを感じる頻度	19
(7) 毎日の生活のなかでころのゆとりを持つことの実感	21
(8) 毎日の生活のなかで気軽に話ができる人の有無	23
(9) 専門家（機関）への相談が必要だと感じた悩み事や心配事を抱えたことの有無	25
(9-1) 相談が必要な悩み事や心配事の相談窓口をみつけることができたか	27
(10) 余暇の過ごし方の充実度	29
(11) この1か月間の1日の平均睡眠時間	31
(12) 睡眠の質について週3回以上あったこと	33
(13) 普段の睡眠時間の充足度	35
(13-1) 睡眠不足を感じる理由度	37
2 飲酒の習慣について	39
(1) 飲酒頻度	39
(1-1) 1日あたりの飲酒量	41
(1-2) 過度な飲酒を防ぐために工夫していること	43
(2) 国の示す「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認知状況	45
3 喫煙の健康への影響と受動喫煙について	47
(1) 喫煙頻度	47
(1-1) 現在吸っているたばこ製品	49
(1-2) 1日の喫煙本数	51
(1-3) 禁煙意向	53
(1-4) 身近に禁煙治療が受けられる医療機関の有無	55
(2) 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」の認知状況	57

目 次

4	がん検診について	59
(1)	職場等でのがん検診の受診機会の有無	59
(2)	日野市の市民向けがん検診の認知度	65
(3)	がん検診の受診有無	71
(3-1)	がん検診を受診した理由	77
(3-2)	がん検診を受診しなかった理由	89
(4)	がんの精密検査の受診意向	101
(4-1)	がんの精密検査を受診するつもりがない理由	103
(5)	がん検診を受診したいと思う条件	104
5	肝炎ウイルス検診について	106
(1)	肝炎ウイルスの認知状況	106
(1-1)	肝炎ウイルス検診の過去の受診経験	109
(1-2)	肝炎ウイルス検診の結果の認知状況	111
(1-3)	受けたことのある肝炎ウイルス検査項目	113
6	歯とお口の健康について	115
(1)	かかりつけ歯科医を決めているか	115
(1-1)	かかりつけ歯科医へ行くタイミング	117
(1-2)	かかりつけ歯科医を決めていない理由	119
(2)	市の無料歯科健診（お口の健康診査）受診経験	121
(2-1)	「健口手帳」の使用状況	123
(2-2)	市の無料歯科健診（お口の健康診査）を受診しなかった理由	125
(3)	自分の歯の本数	127
(4)	食べ方や食事の様子	129
(5)	非常持ち出し袋の中に歯ブラシやマウスウォッシュ（洗口液）の用意状況	135
7	行政への要望について	137
(1)	市に重点的に取り組んでほしい分野	137
Ⅲ	使用した調査票	139

I 調査の概要

1 調査の目的

本業務は、第4期「日野人げんき！」プランの市民評価を行うため、評価に必要な意識調査（アンケート）及び結果分析を行い、各計画の修正、改善につなげることを目的とする。

2 調査の内容

- | | |
|------------------------|------------------|
| (1) ころとからだの健康づくりについて | (5) 肝炎ウイルス検診について |
| (2) 飲酒の習慣について | (6) 歯とお口の健康について |
| (3) 喫煙の健康への影響と受動喫煙について | (7) 行政への要望について |
| (4) がん検診について | |

3 調査の設計

- | | |
|------------|------------------|
| (1) 調査地域 | 日野市全域 |
| (2) 調査対象 | 日野市在住の20歳～74歳の個人 |
| (3) 標本数 | 3,000人 |
| (4) 対象者の抽出 | 住民基本台帳による無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布、郵送回収 |
| (6) 調査期間 | 令和6年7月26日～8月20日 |
| (7) 調査機関 | 株式会社 総合企画 |

4 回収結果

- | | |
|-----------|--------|
| (1) 配布数 | 3,000通 |
| (2) 回収数 | 1,103通 |
| (3) 有効回収数 | 1,099通 |
| (4) 有効回収率 | 36.6% |

5 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」（number of caseの略）は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。
- (2) 集計は百分率とし、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (3) 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 全体の回答数は、性別、年齢、職業等の回答が「無回答」の場合も含めている。そのため、属性別のクロス集計については、属性（性別、年齢、職業）ごとの回答数を合計しても、全体の回答数と一致しない場合がある。
- (5) 設問によって、回答の小計を算出している。小計は個々の選択肢の回答者数の合計を全体の回答者数（基数）で除算した百分率である。このため、個々の比率（既に小数点第2位を四捨五入された数値）同士の合計の数値と一致しないことがある。
- (6) クロス集計時に、基数（n）が小さい数字になる場合は誤差が大きいため注意が必要であり、コメントを省略していることがある。
- (7) 統計数値を考察するにあたり、割合の表現を以下の表記としている。

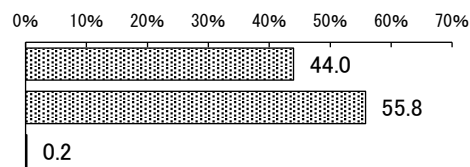
例	表 記	例	表 記
60.0%	6 割	64.0～66.9%	6 割半ば
60.1～60.9%	約 6 割	67.0～68.9%	7 割近く
61.0～73.9%	6 割を超える	69.0～69.9%	約 7 割

※なお、上記の表記のほか、前後の流れから「〇割台」と記載している場合がある。

6 回答者の属性

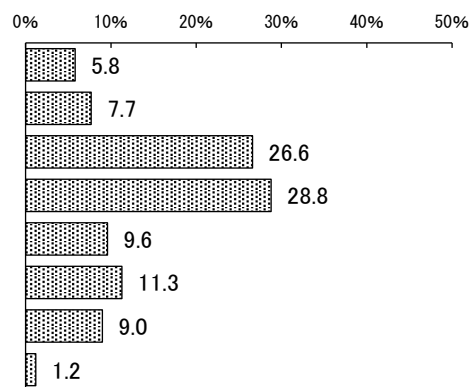
[性別]

	件 数	構成比
男性	484	44.0%
女性	613	55.8%
無回答	2	0.2%
合 計	1,099	100.0%



[年齢]

	件 数	構成比
20～29歳	64	5.8%
30～39歳	85	7.7%
40～49歳	292	26.6%
50～59歳	317	28.8%
60～64歳	105	9.6%
65～69歳	124	11.3%
70歳以上	99	9.0%
無回答	13	1.2%
合 計	1,099	100.0%



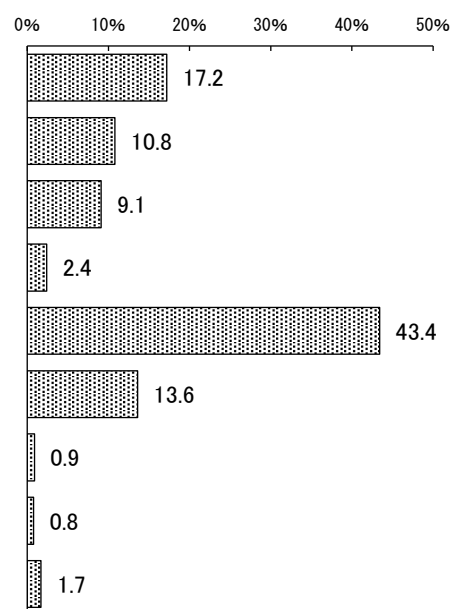
《 性別 》

(%)

	n	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
全 体	1,099	5.8	7.7	26.6	28.8	9.6	11.3	9.0	1.2
男 性	484	3.5	3.9	28.5	31.2	9.3	11.8	10.1	1.7
女 性	613	7.7	10.8	25.0	27.1	9.8	10.9	8.2	0.7

[現在利用できる健康保険の種類]

	件 数	構成比
日野市国民健康保険 ＜世帯主として＞	189	17.2%
日野市国民健康保険 ＜世帯主以外の家族として＞	119	10.8%
協会けんぽ（旧政府管掌健康保険） ＜本人として＞	100	9.1%
協会けんぽ（旧政府管掌健康保険） ＜家族として＞	26	2.4%
組合健康保険（健康保険組合・共済・ 船員・その他）＜本人として＞	477	43.4%
組合健康保険（健康保険組合・共済・ 船員・その他）＜家族として＞	150	13.6%
後期高齢者医療保険	10	0.9%
医療保険に加入していない （利用できる健康保険はない）	9	0.8%
無回答	19	1.7%
合 計	1,099	100.0%



《 性別/性・年代別 》

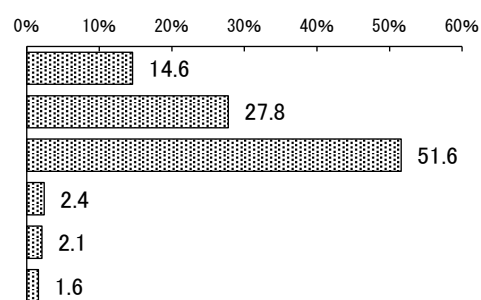
(%)

	n	日野市国民健康保険 《計》	日野市国民健康保険 （世帯主として）	日野市国民健康保険 （世帯主以外の家族として）	協会けんぽ 《計》	協会けんぽ （世帯主として）	協会けんぽ （世帯主以外の家族として）	組合健康保険 《計》	組合健康保険 （世帯主として）	組合健康保険 （世帯主以外の家族として）	後期高齢者医療保険	医療保険に加入して いない健康保険はない	無回答
全 体	1,099	28.0	17.2	10.8	11.5	9.1	2.4	57.1	43.4	13.6	0.9	0.8	1.7
男 性	484	30.0	25.6	4.3	8.7	8.3	0.4	57.2	55.8	1.4	0.6	1.4	2.1
女 性	613	26.6	10.6	16.0	13.5	9.6	3.9	57.1	33.8	23.3	1.1	0.3	1.3

性別	年代	n	日野市国民健康保険 《計》	日野市国民健康保険 （世帯主として）	日野市国民健康保険 （世帯主以外の家族として）	協会けんぽ 《計》	協会けんぽ （世帯主として）	協会けんぽ （世帯主以外の家族として）	組合健康保険 《計》	組合健康保険 （世帯主として）	組合健康保険 （世帯主以外の家族として）	後期高齢者医療保険	医療保険に加入して いない健康保険はない	無回答
男 性	20～29歳	17	17.6	-	17.6	5.9	5.9	-	76.5	58.8	17.6	-	-	-
	30～39歳	19	21.1	15.8	5.3	5.3	0.0	5.3	73.7	73.7	-	-	-	-
	40～49歳	138	25.4	20.3	5.1	6.5	6.5	-	65.9	65.9	-	-	2.2	-
	50～59歳	151	16.6	12.6	4.0	13.2	12.6	0.7	68.9	68.2	0.7	-	0.7	0.7
	60～64歳	45	17.8	13.3	4.4	8.9	8.9	-	66.7	64.4	2.2	-	4.4	2.2
	65～69歳	57	57.9	54.4	3.5	5.3	5.3	-	35.1	31.6	3.5	-	1.8	-
	70歳以上	49	75.5	75.5	-	8.2	8.2	-	10.2	10.2	-	6.1	-	-
女 性	20～29歳	47	23.4	12.8	10.6	6.4	4.3	2.1	66.0	53.2	12.8	-	-	4.3
	30～39歳	66	22.7	13.6	9.1	15.2	12.1	3.0	62.1	39.4	22.7	-	-	-
	40～49歳	153	15.7	7.2	8.5	17.0	11.8	5.2	65.4	37.9	27.5	-	0.7	1.3
	50～59歳	166	9.6	4.2	5.4	17.5	12.7	4.8	72.3	41.0	31.3	-	-	0.6
	60～64歳	60	35.0	11.7	23.3	5.0	3.3	1.7	60.0	28.3	31.7	-	-	-
	65～69歳	67	61.2	20.9	40.3	13.4	7.5	6.0	25.4	14.9	10.4	-	-	-
	70歳以上	50	70.0	22.0	48.0	6.0	6.0	-	8.0	4.0	4.0	14.0	2.0	-

[同居家族構成]

	件 数	構成比
単身	160	14.6%
夫婦のみ（１世代世帯）	305	27.8%
親と子（２世代世帯）	567	51.6%
親と子と孫（３世代世帯）	26	2.4%
その他の世帯	23	2.1%
無回答	18	1.6%
合 計	1,099	100.0%



《 性別/性・年代別 》

(%)

	n	単身	（夫婦 １世代 の代み 世帯）	（親と ２世代 世帯）	（親と ３世代 と孫 世帯）	その他の 世帯	無 回 答
全 体	1,099	14.6	27.8	51.6	2.4	2.1	1.6
男 性	484	16.7	28.1	50.0	1.2	1.7	2.3
女 性	613	12.7	27.6	53.0	3.3	2.4	1.0

男 性	20～29歳	17	23.5	17.6	47.1	—	11.8	—
	30～39歳	19	21.1	5.3	73.7	—	—	—
	40～49歳	138	9.4	15.9	68.8	2.9	1.4	1.4
	50～59歳	151	18.5	23.2	55.6	0.7	2.0	—
	60～64歳	45	28.9	33.3	35.6	2.2	—	—
	65～69歳	57	15.8	57.9	24.6	—	1.8	—
	70歳以上	49	20.4	55.1	22.4	—	—	2.0
女 性	20～29歳	47	25.5	10.6	59.6	2.1	2.1	—
	30～39歳	66	10.6	24.2	62.1	3.0	—	—
	40～49歳	153	10.5	21.6	62.1	2.6	3.3	—
	50～59歳	166	9.6	24.7	59.6	3.0	1.8	1.2
	60～64歳	60	10.0	45.0	40.0	—	3.3	1.7
	65～69歳	67	16.4	32.8	38.8	7.5	4.5	—
	70歳以上	50	20.0	50.0	22.0	6.0	2.0	—

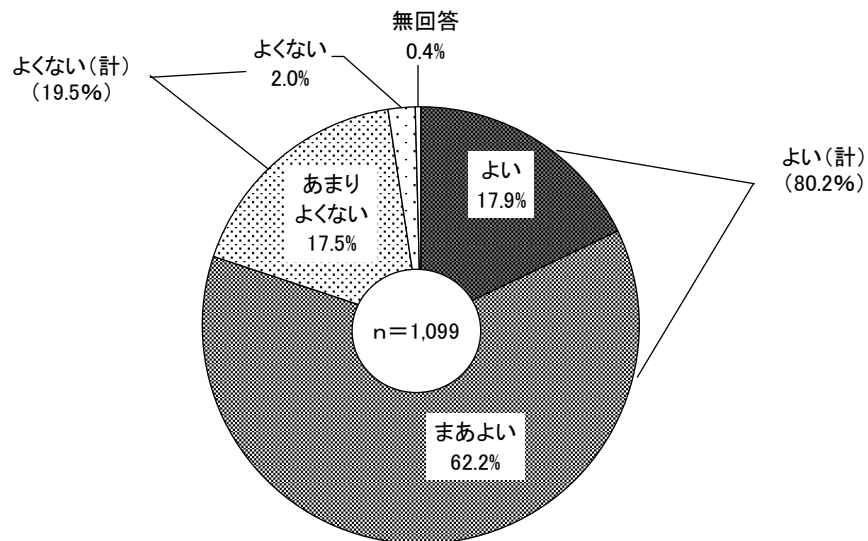
Ⅱ 調査結果の分析

1 ころとからだの健康づくりについて

(1) 自分の健康状態

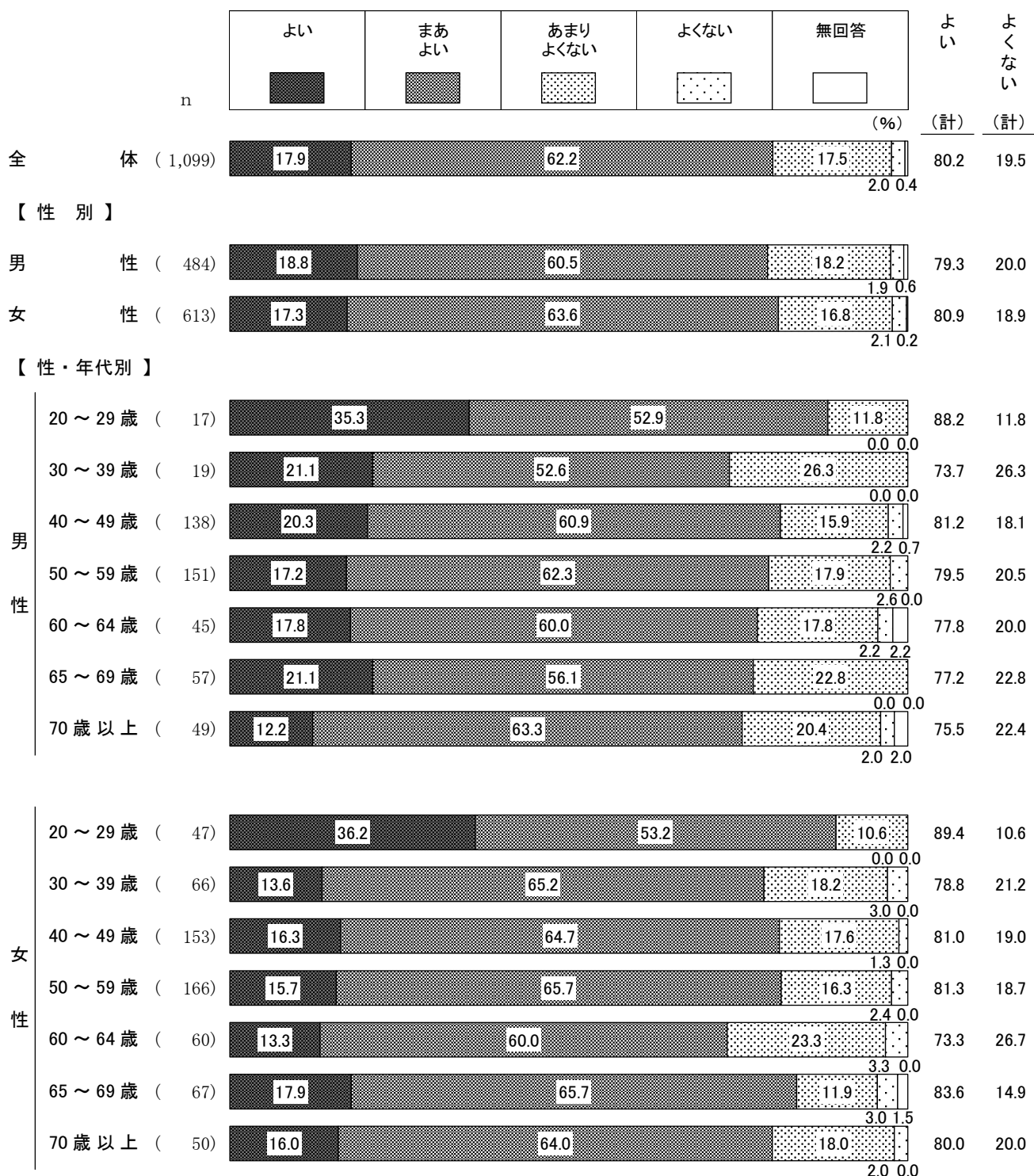
問1 あなたは、自分の健康状態をどのように感じていますか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

図 1－1－1 自分の健康状態



自分の健康状態についてたずねたところ、「よい」(17.9%)と「まあよい」(62.2%)を合わせた『よい(計)』(80.2%)が約8割となっている。一方、「あまりよくない」(17.5%)、「よくない」(2.0%)を合わせた『よくない(計)』(19.5%)が約2割となっている。(図1－1－1)

図 1 - 1 - 2 自分の健康状態－性別／性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

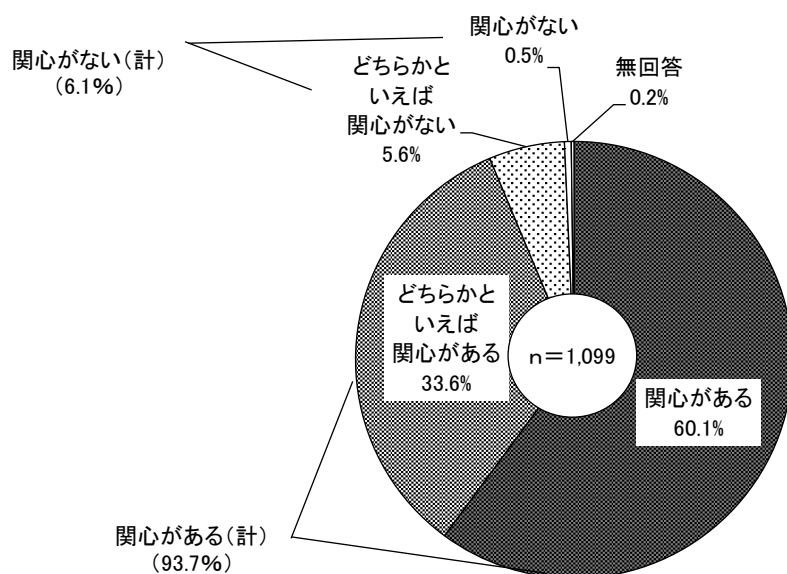
性・年代別にみると、『よい（計）』は女性20～29歳で約9割、男性20～29歳で9割近くと多くなっている。一方、『よくない（計）』は女性60～64歳で2割半ばとなっている。

(図 1 - 1 - 2)

（２）自分の健康に対する関心度

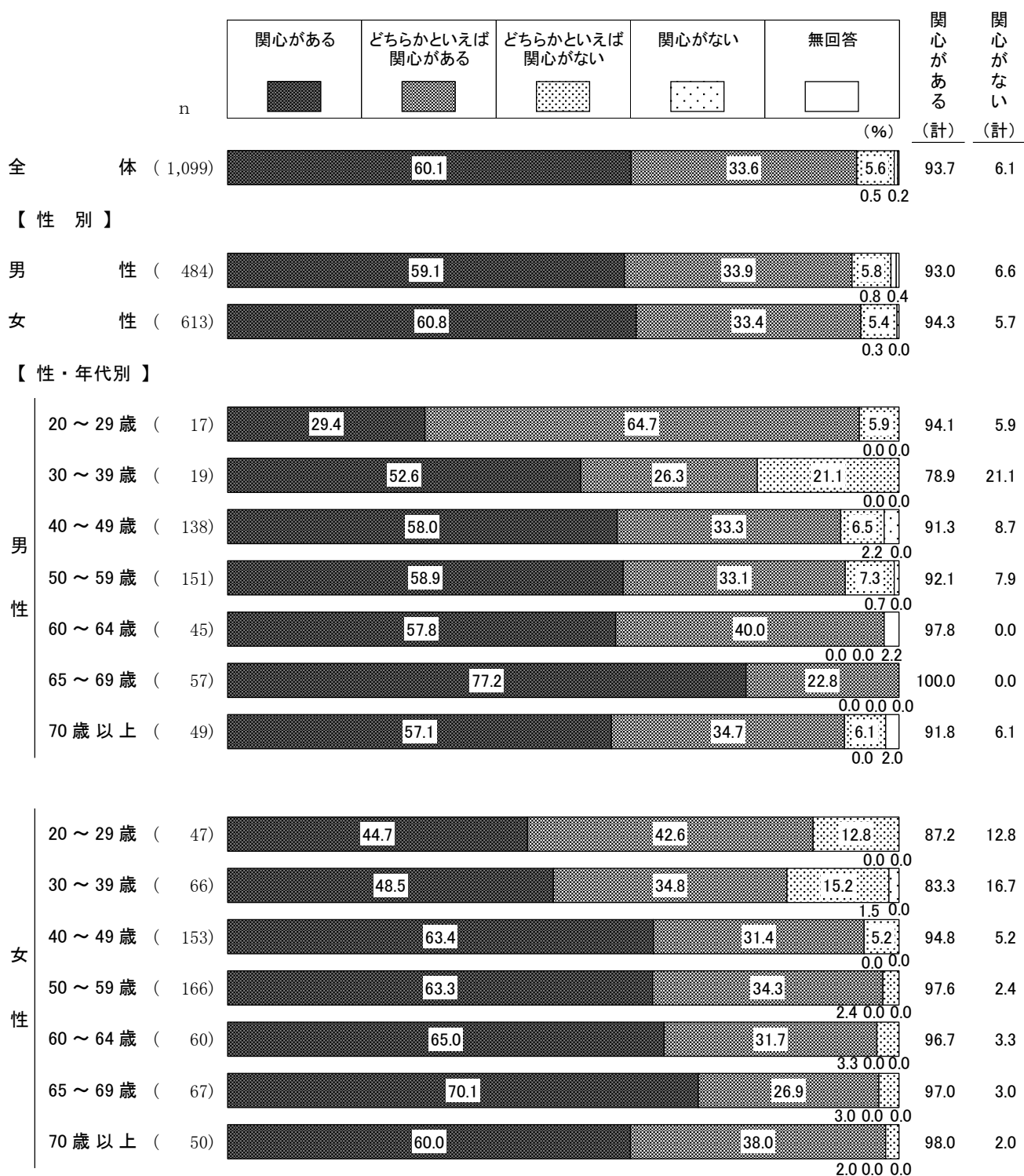
問2 あなたは、自分の健康に関心がありますか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。（○は1つ）

図 1－2－1 自分の健康に対する関心度



自分の健康に対する関心度についてたずねたところ、「関心がある」（60.1%）と「どちらかといえば関心がある」（33.6%）を合わせた『関心がある（計）』（93.7%）が9割を超えている。（図1－2－1）

図 1-2-2 自分の健康に対する関心度－性別／性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

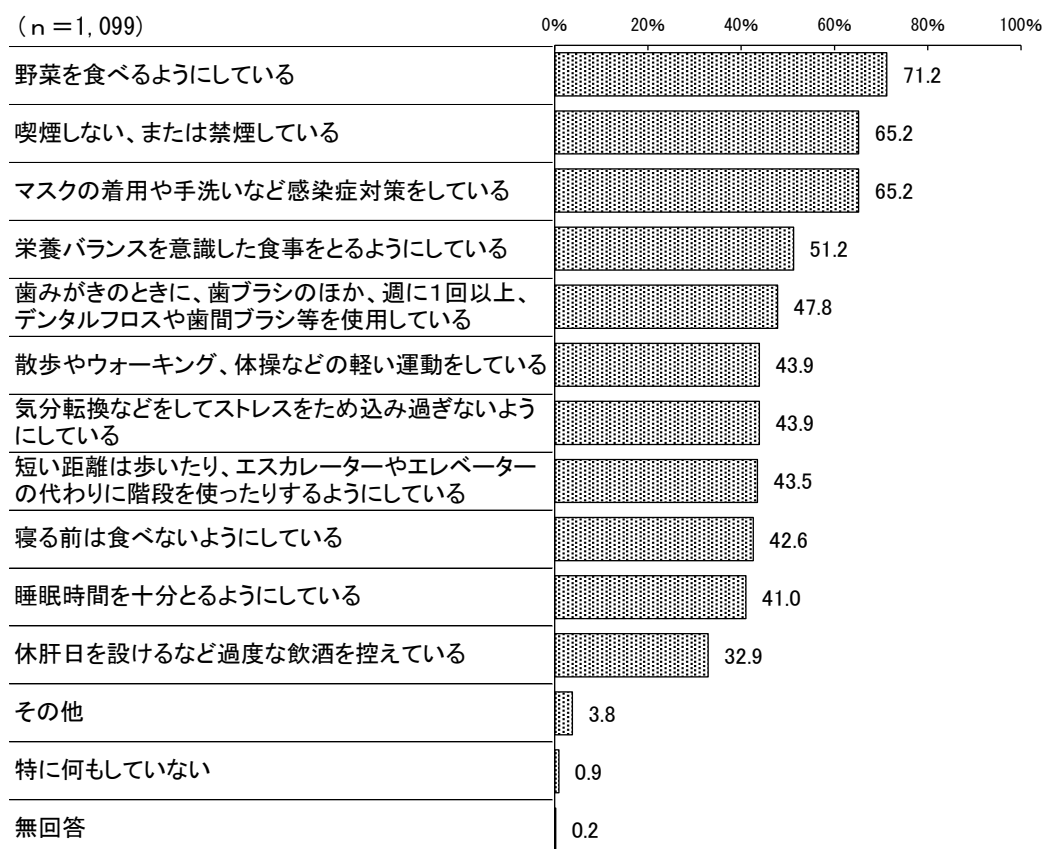
性・年代別にみると、『関心がある（計）』は男性65～69歳で10割となっている。一方、『関心がない（計）』は男性30～39歳で2割を超え、女性30～39歳で1割半ばとなっている。

(図 1-2-2)

（３）毎日の生活のなかで実践していること

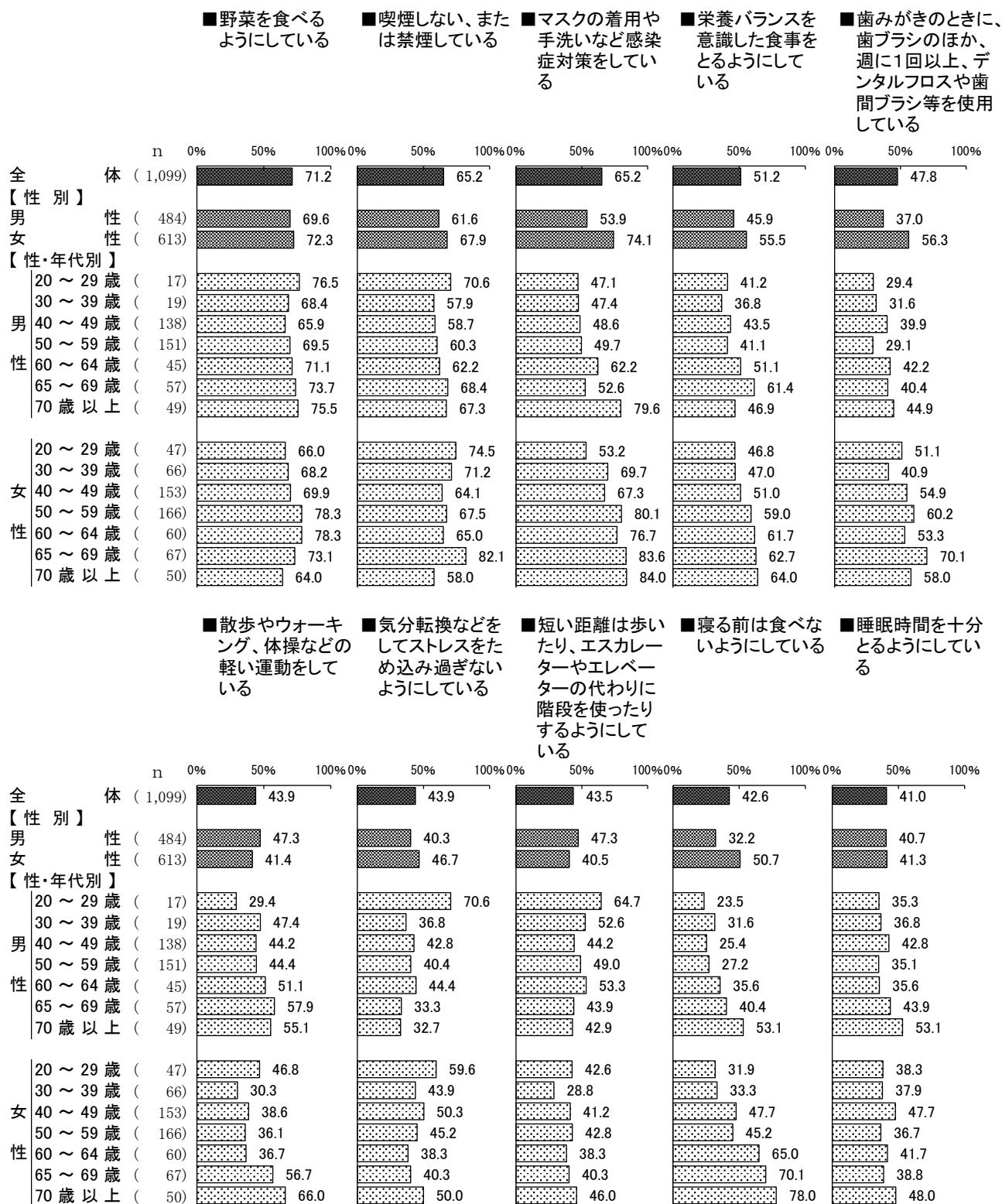
問3 毎日の生活で、負担感のない程度に健康づくりの取組を継続することが、健康の維持・増進につながります。
あなたは、毎日の生活のなかで実践していることはありますか。次の中からいくつでもお選びください。（○はいくつでも）

図 1－3－1 毎日の生活のなかで実践していること



毎日の生活のなかで実践していることをたずねたところ、「野菜を食べるようにしている」（71.2%）が7割を超えて最も多く、次いで「喫煙しない、または禁煙している」、「マスクの着用や手洗いなど感染症対策をしている」（ともに65.2%）、「栄養バランスを意識した食事をするようにしている」（51.2%）などの順となっている。（図1－3－1）

図1-3-2 毎日の生活のなかで実践していること【上位10項目】－性別／性・年代別



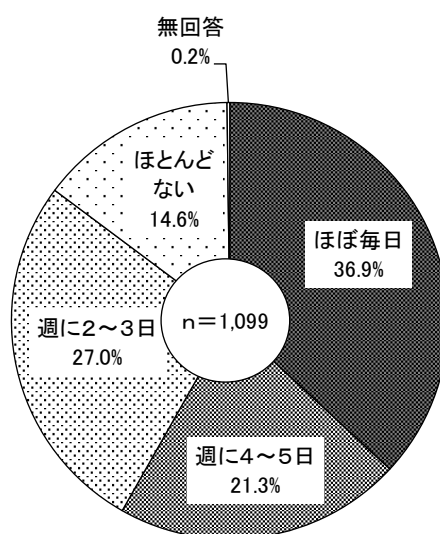
性別にみると、ほとんどの項目で女性のほうが高くなっており、「マスクの着用や手洗いなど感染症対策をしている」で20.2ポイント、「歯みがきのときに、歯ブラシのほか、週に1回以上、デンタルフロスや歯間ブラシ等を使用している」で19.3ポイント、「寝る前は食べないようにしている」で18.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、ほとんどの項目で男女ともにおおむね年代が高いほど多くなっている。（図1-3-2）

(4) 1日に2回以上主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べる頻度

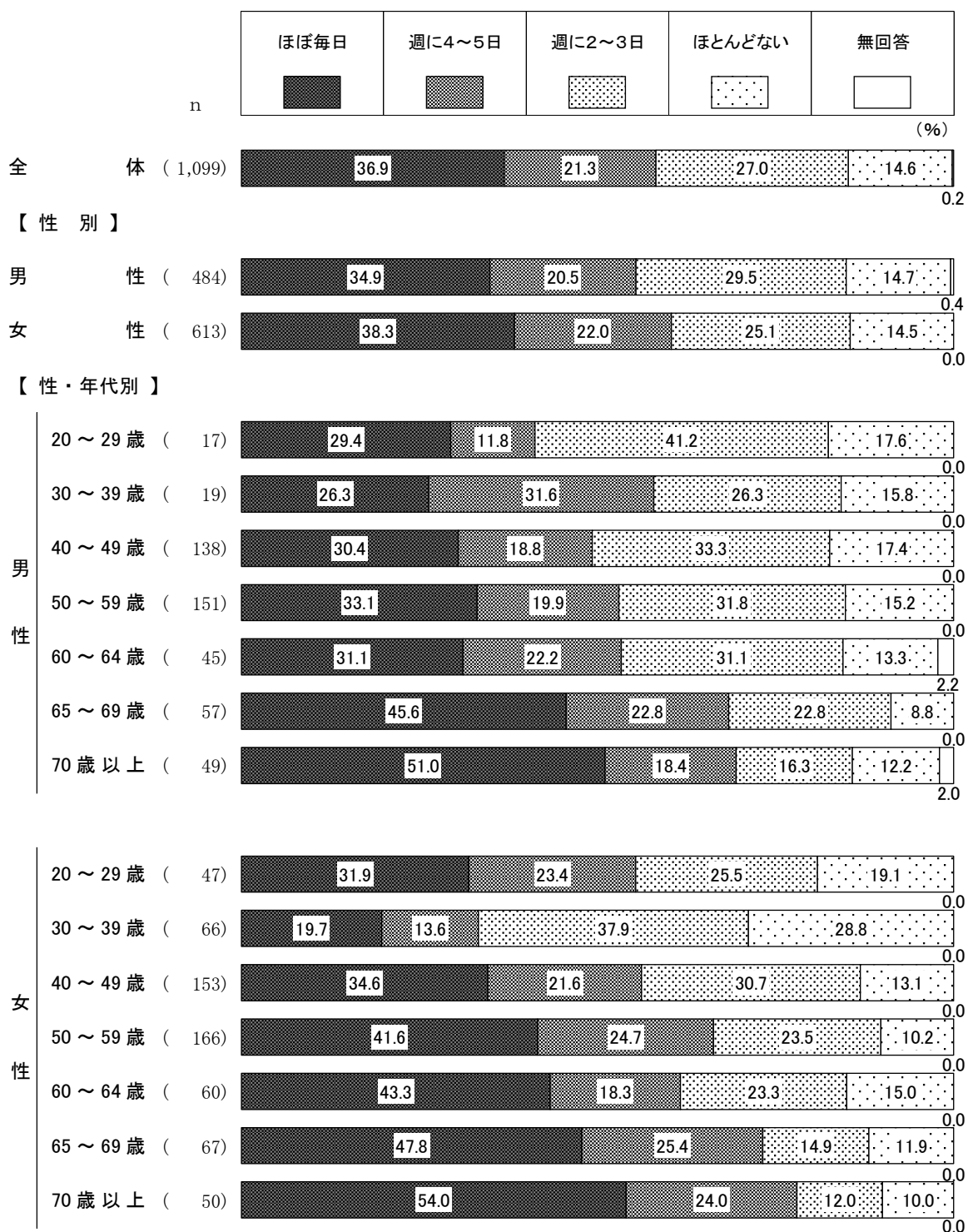
問4 あなたは、主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ですか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

図1-4-1 1日に2回以上主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べる頻度



1日に2回以上主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べる頻度をたずねたところ、「ほぼ毎日」(36.9%)が3割半ば、「週に4～5日」(21.3%)が2割を超え、「週に2～3日」(27.0%)が3割近くとなっている。(図1-4-1)

図 1-4-2 1日に2回以上主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べる頻度－性別／性・年代別



性別にみると、「ほぼ毎日」は女性のほうが3.4ポイント高くなっている。一方、「週に2～3日」は男性のほうが4.4ポイント多くなっている。

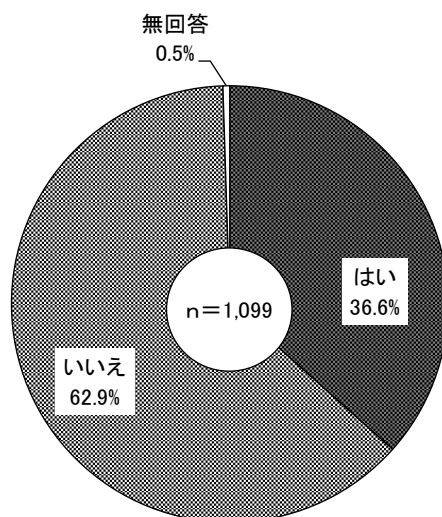
性・年代別にみると、「ほぼ毎日」は男女ともにおおむね年代が高いほど多くなっており、女性70歳以上で5割半ば、男性70歳以上で5割を超えている。一方、「週に2～3日」は男女ともにおおむね年代が低いほど多くなっている。（図1-4-2）

(5) 運動（1日30分以上、週2回以上、1年以上）の継続状況

問5 あなたは、1日30分以上の運動を、週2回以上、1年以上継続していますか。(○は1つ)
ここでいう運動とは、スポーツやフィットネス(ウォーキングやヨガ、ストレッチのような軽く汗をかく運動を含む。)などの健康・体力の維持・増進を目的として、計画的・定期的に行うものを指します。

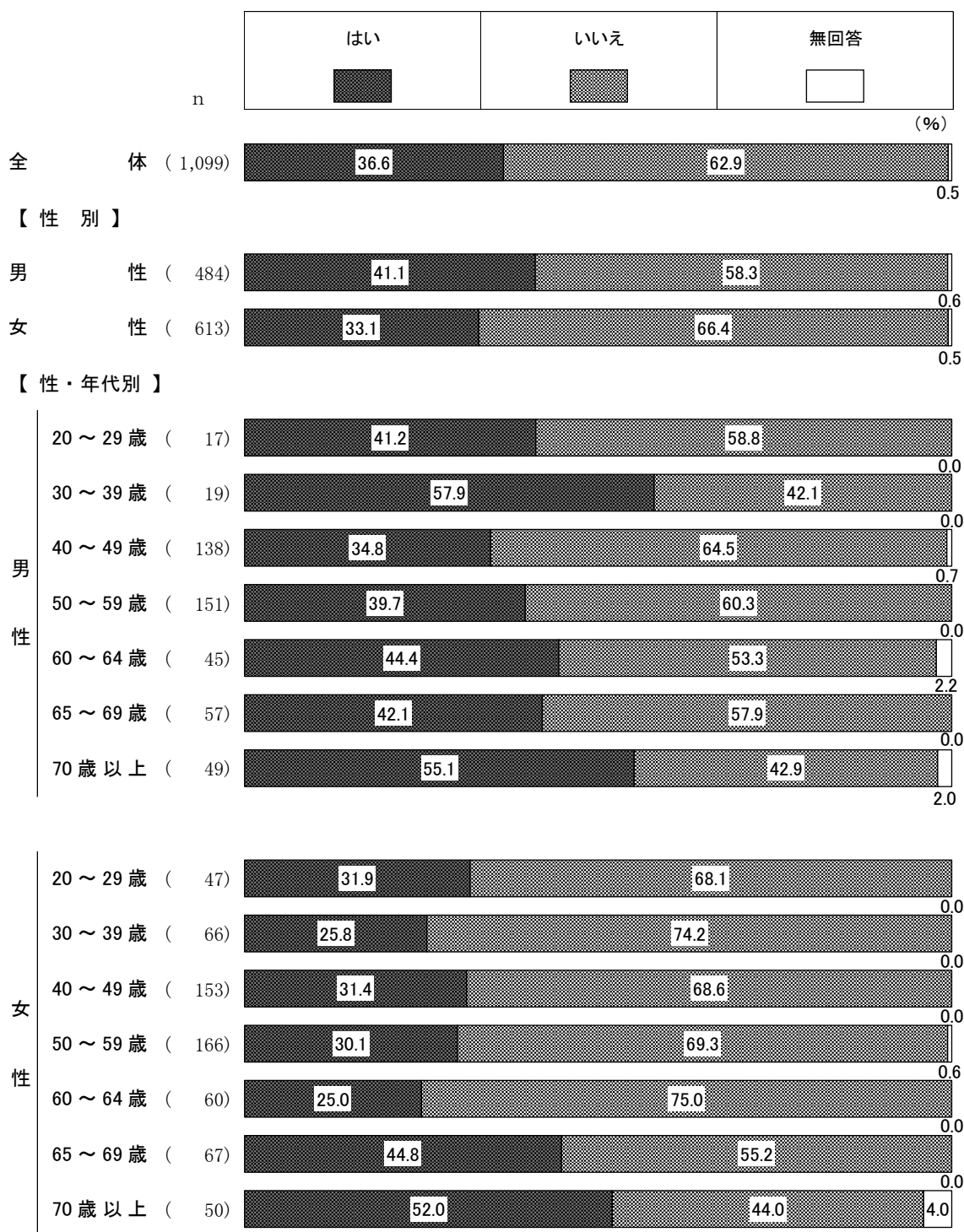
* 医師等から運動を禁止されている場合は、「2 いいえ」をお選びください。

図1-5-1 運動（1日30分以上、週2回以上、1年以上）の継続状況



1日30分以上の運動を週2回以上1年以上継続状況をたずねたところ、「はい」（36.6%）が3割半ば、「いいえ」（62.9%）が6割を超えている。（図1-5-1）

図 1－5－2 運動（1日30分以上、週2回以上、1年以上）の継続状況－性別／性・年代別



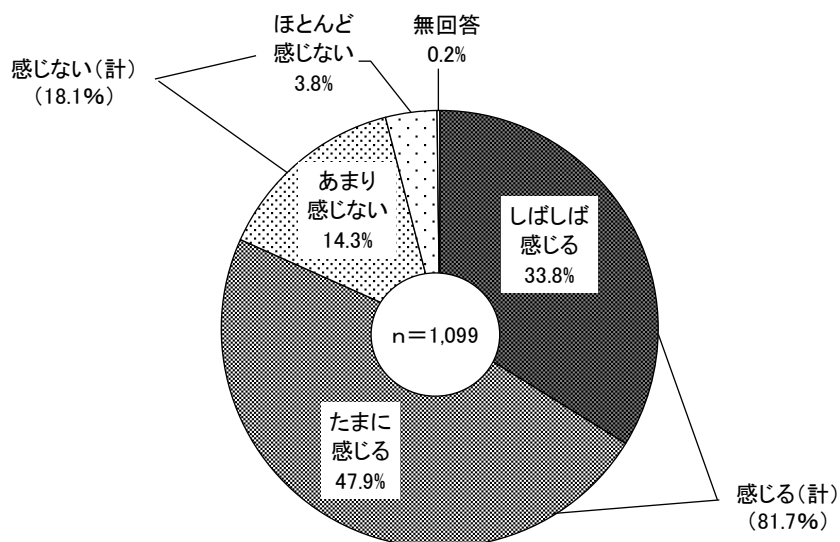
性別にみると、「はい」は男性のほうが8.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「はい」は男性30～39歳で6割近く、男性70歳以上で5割半ば、女性70歳以上で5割を超えて多くなっている。（図1－5－2）

（６）毎日の生活のなかでイライラやストレスを感じる頻度

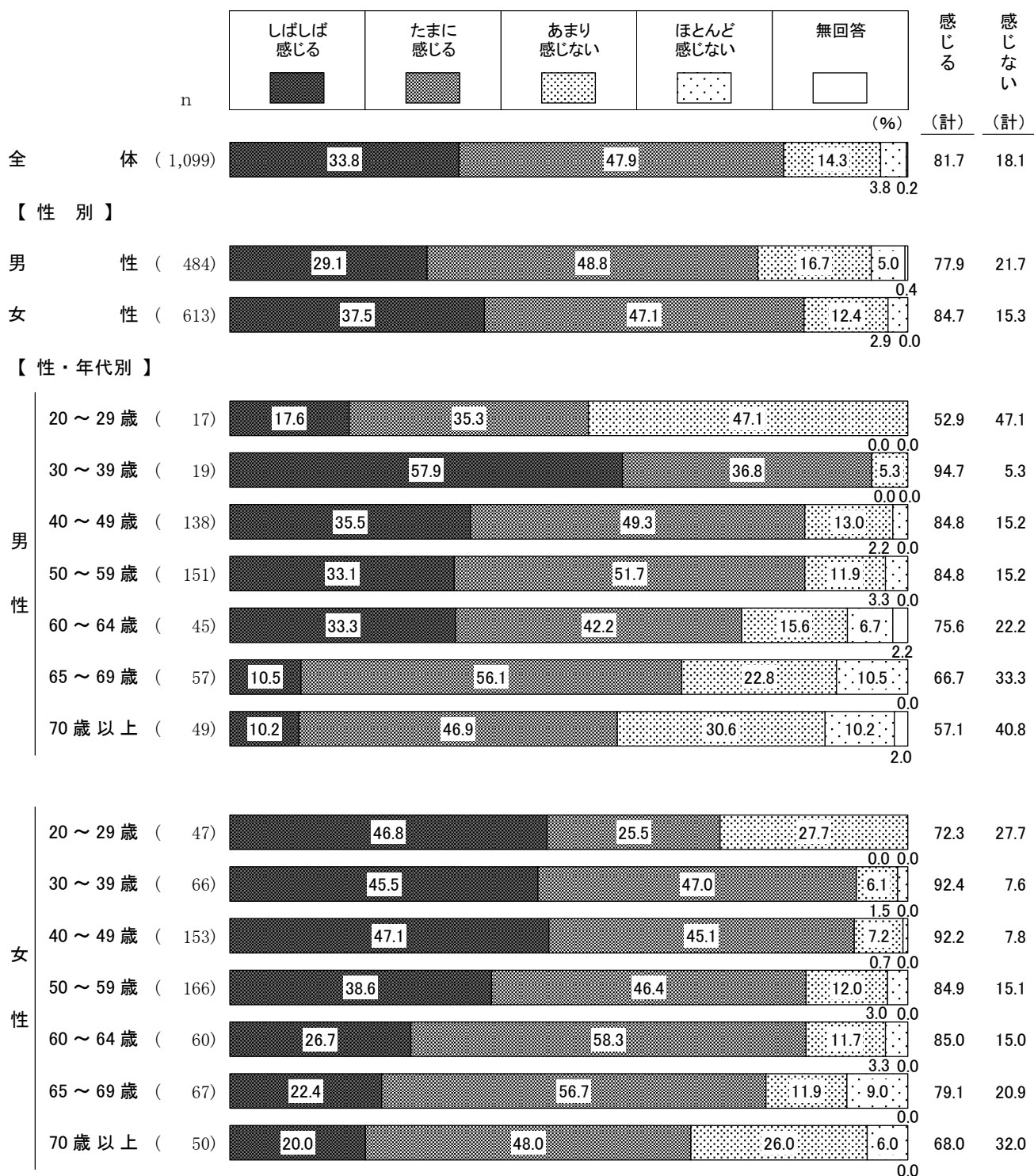
問6 あなたは、毎日の生活のなかでイライラやストレスを感じることがありますか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。（○は1つ）

図 1－6－1 毎日の生活のなかでイライラやストレスを感じる頻度



毎日の生活のなかでイライラやストレスを感じる頻度をたずねたところ、「しばしば感じる」（33.8%）と「たまに感じる」（47.9%）を合わせた『感じる（計）』（81.7%）が8割を超えている。（図1－6－1）

図 1－6－2 毎日の生活のなかでイライラやストレスを感じる頻度－性別／性・年代別



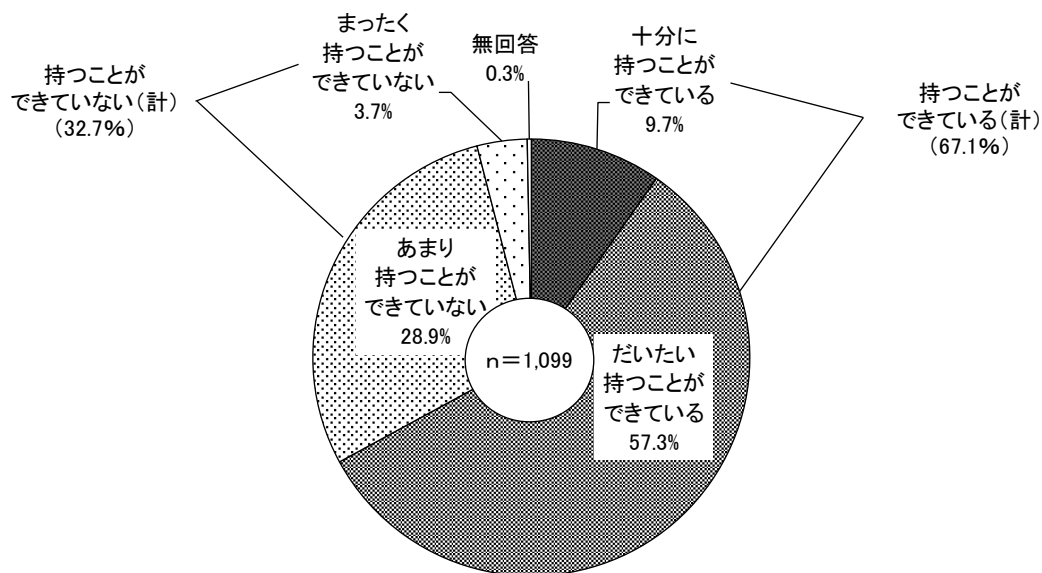
性別にみると、『感じる（計）』は女性のほうが6.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『感じる（計）』は男性30～39歳、女性30～39歳、女性40～49歳で9割を超えて多くなっている。（図1－6－2）

（７）毎日の生活のなかでこころのゆとりを持つことの実感

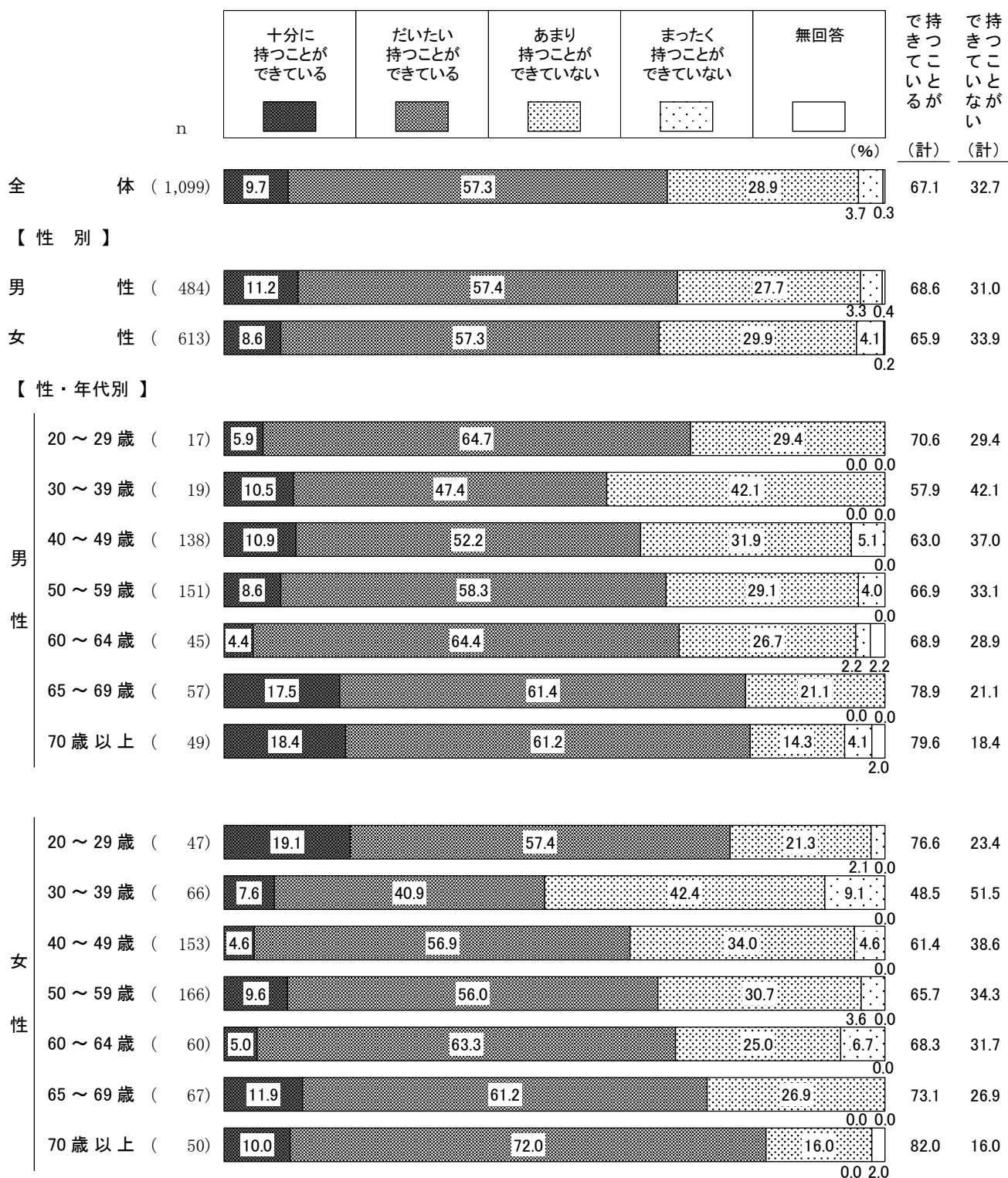
問7 あなたは、毎日の生活のなかでこころのゆとりを持つことができますか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。（○は1つ）

図 1－7－1 毎日の生活のなかでこころのゆとりを持つことの実感



毎日の生活のなかでこころのゆとりを持つことの実感をたずねたところ、「十分に持つことができます」(9.7%)と「だいたい持つことができます」(57.3%)を合わせた『持つことができます(計)』(67.1%)が7割近くとなっている。一方、「あまり持つことができない」(28.9%)と「まったく持つことができない」(3.7%)を合わせた『持つことができない(計)』(32.7%)は3割を超えている。(図1－7－1)

図 1-7-2 毎日の生活のなかでこころのゆとりを持つことの実感－性別／性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

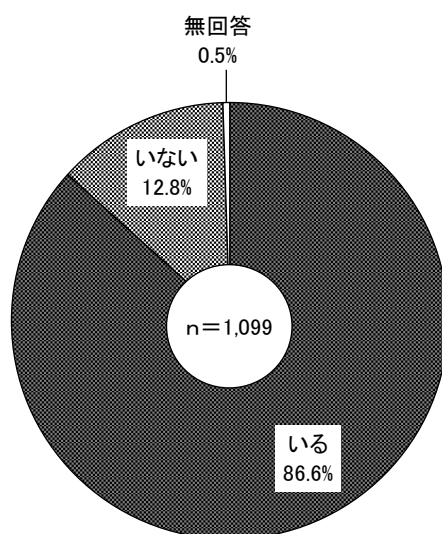
性・年代別にみると、『持つことができている（計）』は男女ともに30代以上の年代でおおむね年代が高いほど多く、女性70歳以上で8割を超え、男性70歳以上で約8割となっている。

(図 1-7-2)

(8) 毎日の生活のなかで気軽に話ができる人の有無

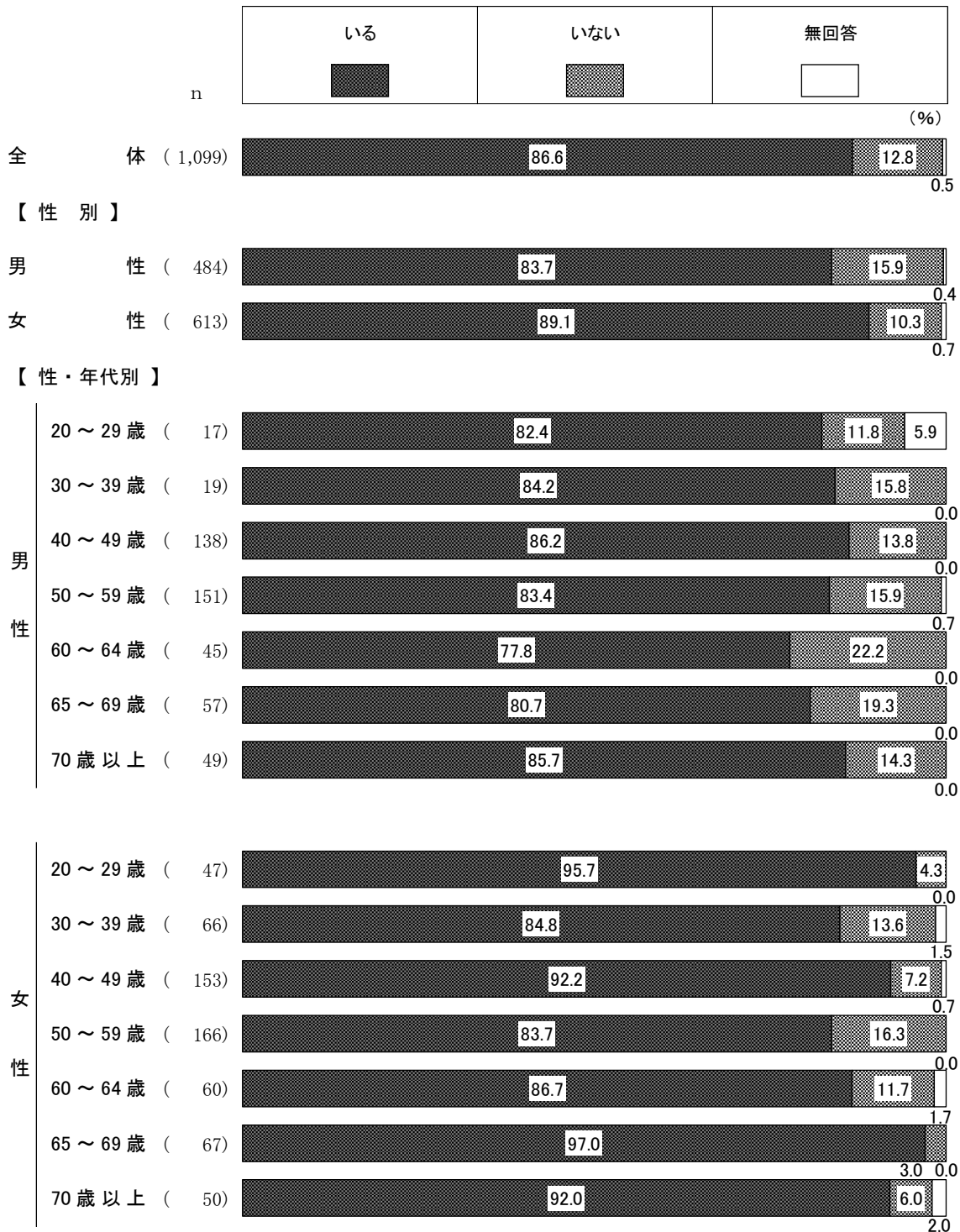
問8 あなたは、毎日の生活のなかで気軽に話ができる人がいますか。それともいませんか。
(○は1つ)

図1－8－1 毎日の生活のなかで気軽に話ができる人の有無



毎日の生活のなかで気軽に話ができる人の有無をたずねたところ、「いる」(86.6%)が8割半ば、「いない」(12.8%)が1割台となっている。(図1－8－1)

図 1－8－2 毎日の生活のなかで気軽に話ができる人の有無－性別／性・年代別



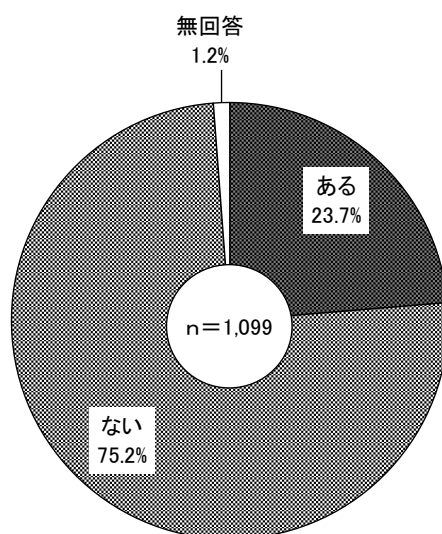
性別にみると、「いる」は女性のほうが5.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「いる」は女性65～69歳で10割近くと多くなっている。一方、「いない」は男性60～64歳で2割を超えて多くなっている。（図 1－8－2）

(9) 専門家（機関）への相談が必要だと感じた悩み事や心配事を抱えたことの有無

問9 あなたは、気軽に相談できる相手に相談しても解決できず、専門家（機関）に相談することが必要だと感じた悩み事や心配事を抱えたことがありますか。（○は1つ）

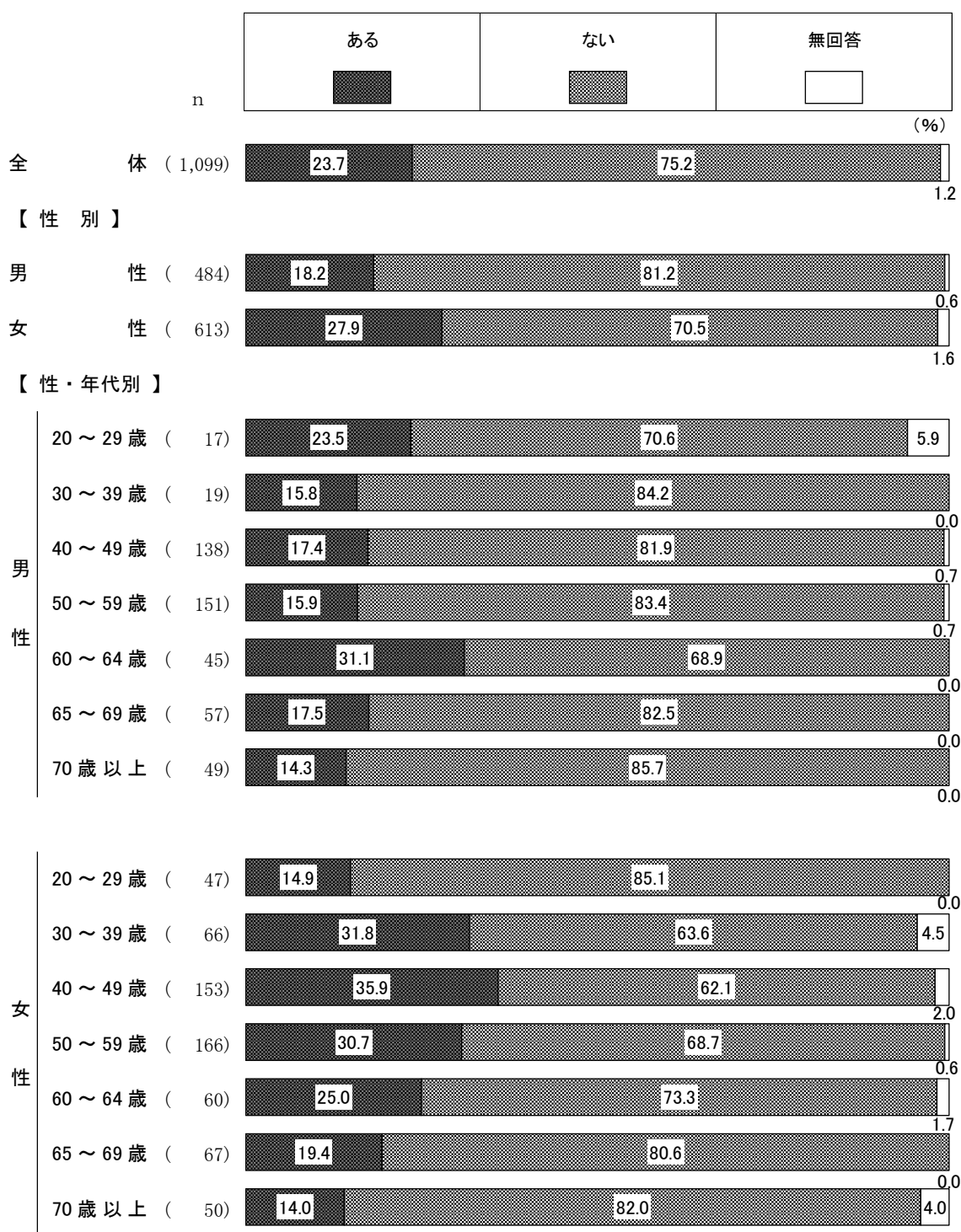
図 1－9－1 専門家（機関）への相談が必要だと感じた悩み事や心配事を抱えたことの有無



専門家（機関）への相談が必要だと感じた悩み事や心配事を抱えたことの有無をたずねたところ、「ある」（23.7％）が2割を超え、「ない」（75.2％）が7割半ばとなっている。

（図 1－9－1）

図 1－9－2 専門家（機関）への相談が必要だと感じた悩み事や心配事を抱えたことの有無
－性別／性・年代別



性別にみると、「ある」は女性のほうが9.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「ある」は男性60～64歳、女性30～39歳、女性40～49歳、女性50～59歳で3割台と多くなっている。（図1－9－2）

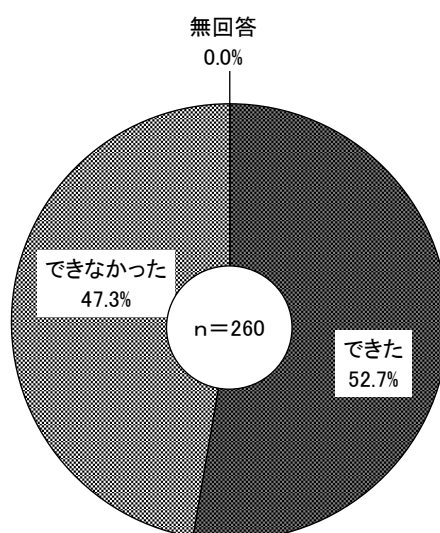
(9 - 1) 相談が必要な悩み事や心配事の相談窓口をみつけることができたか

【 問9で「1 ある」と回答した方に 】

問9-1 専門家(機関)への相談が必要だと感じたときに適切な相談窓口をみつけることができたか。(○は1つ)

* 相談窓口をみつけることができたが、相談を解決できなかった場合は「2 できなかった」をお選びください。

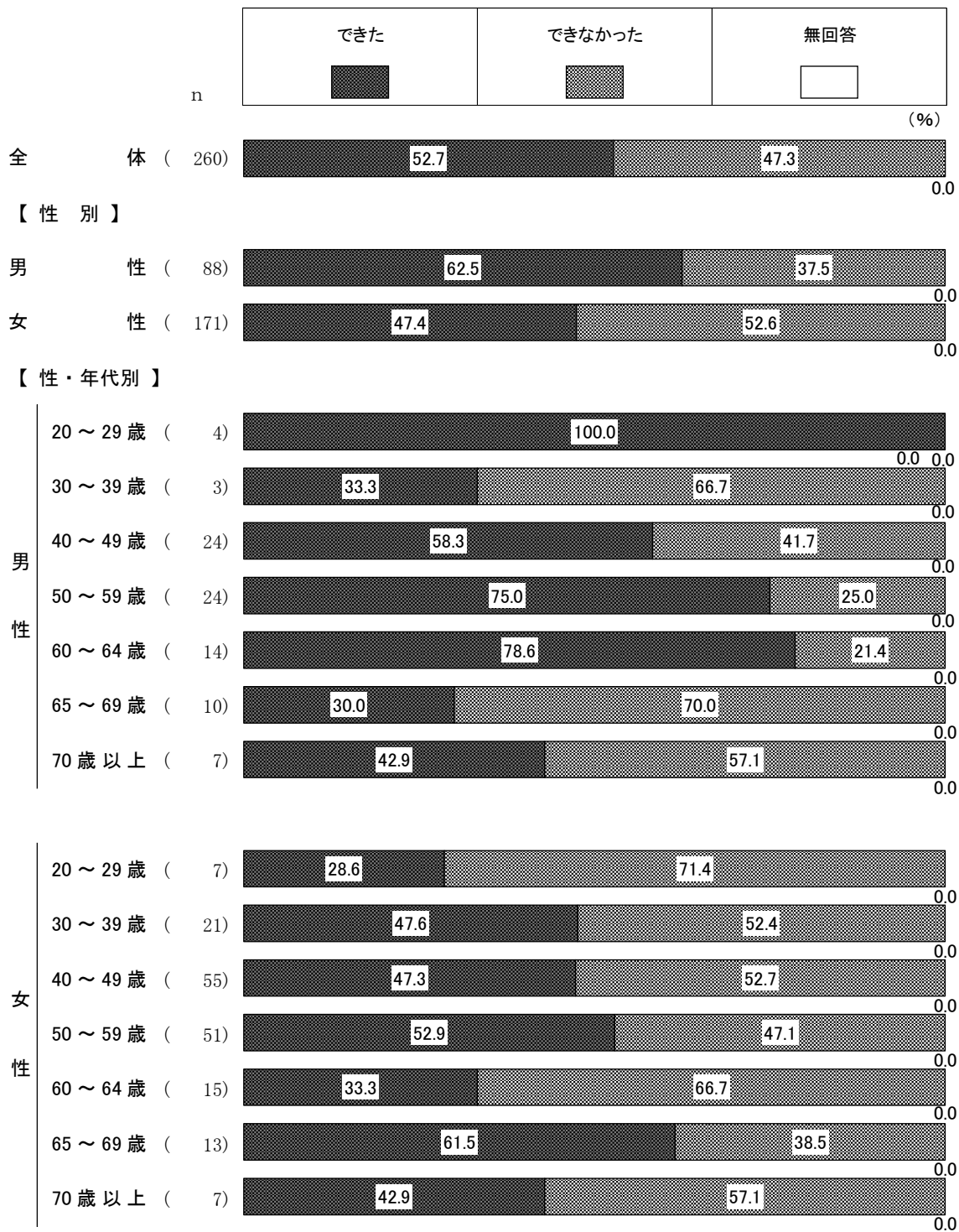
図 1 - 9 - 3 相談が必要な悩み事や心配事の相談窓口をみつけることができたか



専門家(機関)への相談が必要だと感じた悩み事や心配事を抱えたことが「ある」と答えた方(260人)に相談が必要な悩み事や心配事の相談窓口をみつけることができたかをたずねたところ、「できた」(52.7%)が5割、「できなかった」(47.3%)は5割近くとなっている。

(図 1 - 9 - 3)

図 1－9－4 相談が必要な悩み事や心配事の相談窓口をみつめることができたかー性別／性・年代別



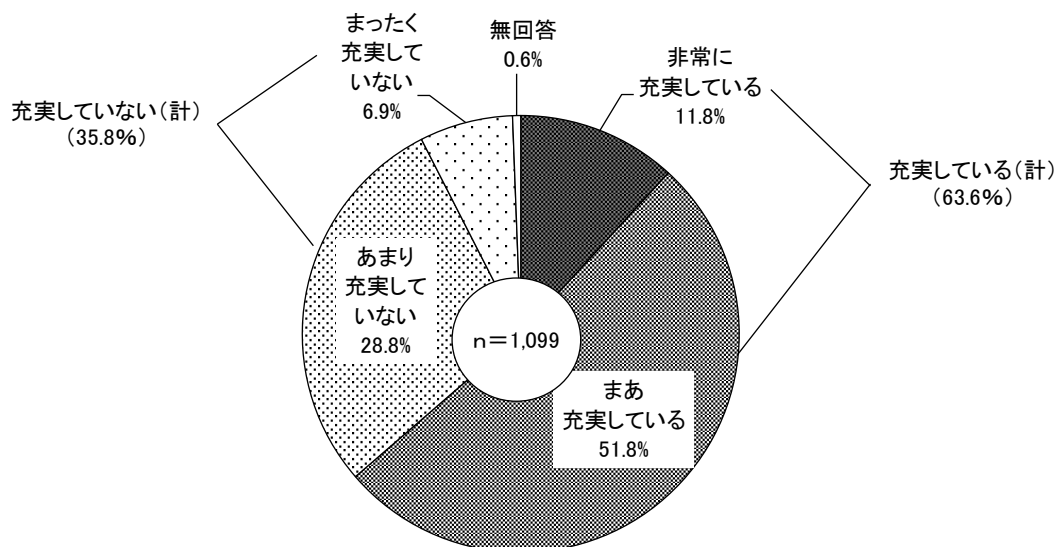
性別にみると、「できた」は男性のほうが15.1ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。(図 1－9－4)

(10) 余暇の過ごし方の充実度

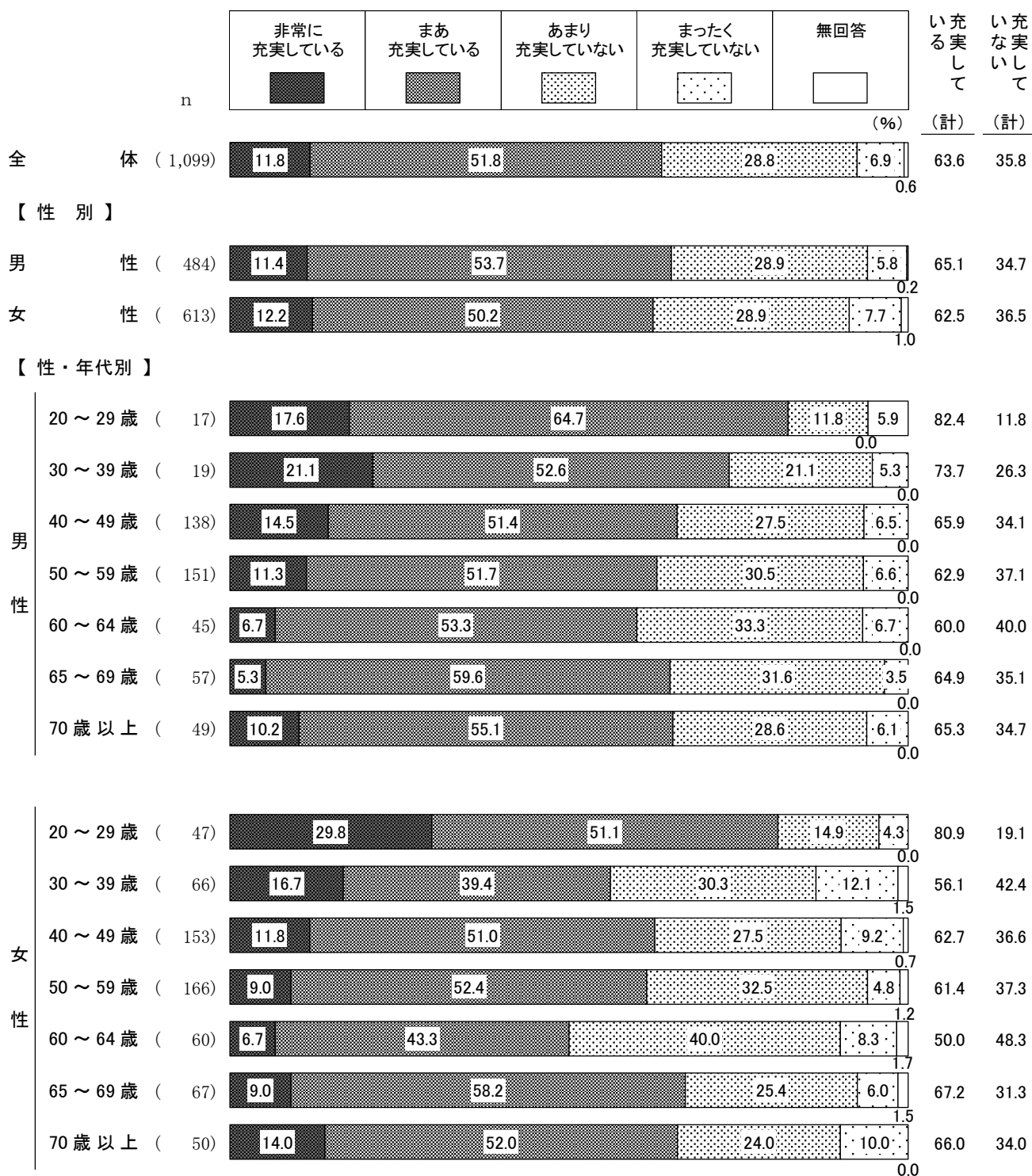
問10 あなたは、体を休めること以外に、趣味や運動、スポーツ、学習活動、地域活動などの余暇の過ごし方は充実していますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。
(○は1つ)

図 1-10-1 余暇の過ごし方の充実度



余暇の過ごし方の充実度をたずねたところ、「非常に充実している」(11.8%)と「まあ充実している」(51.8%)を合わせた『充実している(計)』(63.6%)が6割を超えている。一方、「あまり充実していない」(28.8%)と「まったく充実していない」(6.9%)を合わせた『充実していない(計)』(35.8%)は3割半ばとなっている。(図1-10-1)

図 1-10-2 余暇の過ごし方の充実度－性別／性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

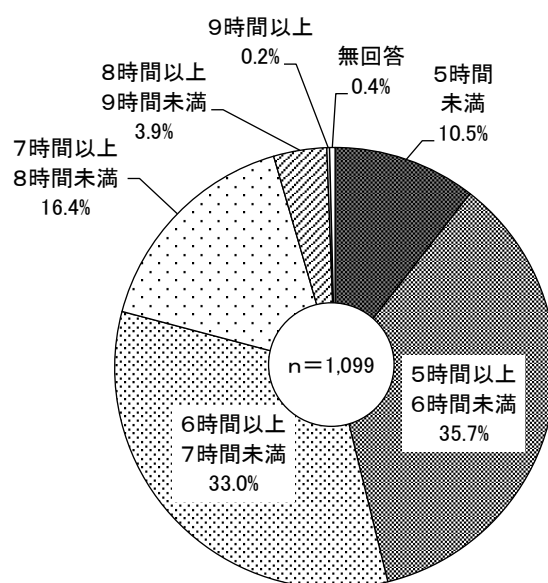
性・年代別にみると、『充実している（計）』は男性20～29歳、女性20～29歳で8割を超えて多くなっている。一方、『充実していない（計）』は女60～64歳で5割近くと多くなっている。

(図 1-10-2)

(11) この1か月間の1日の平均睡眠時間

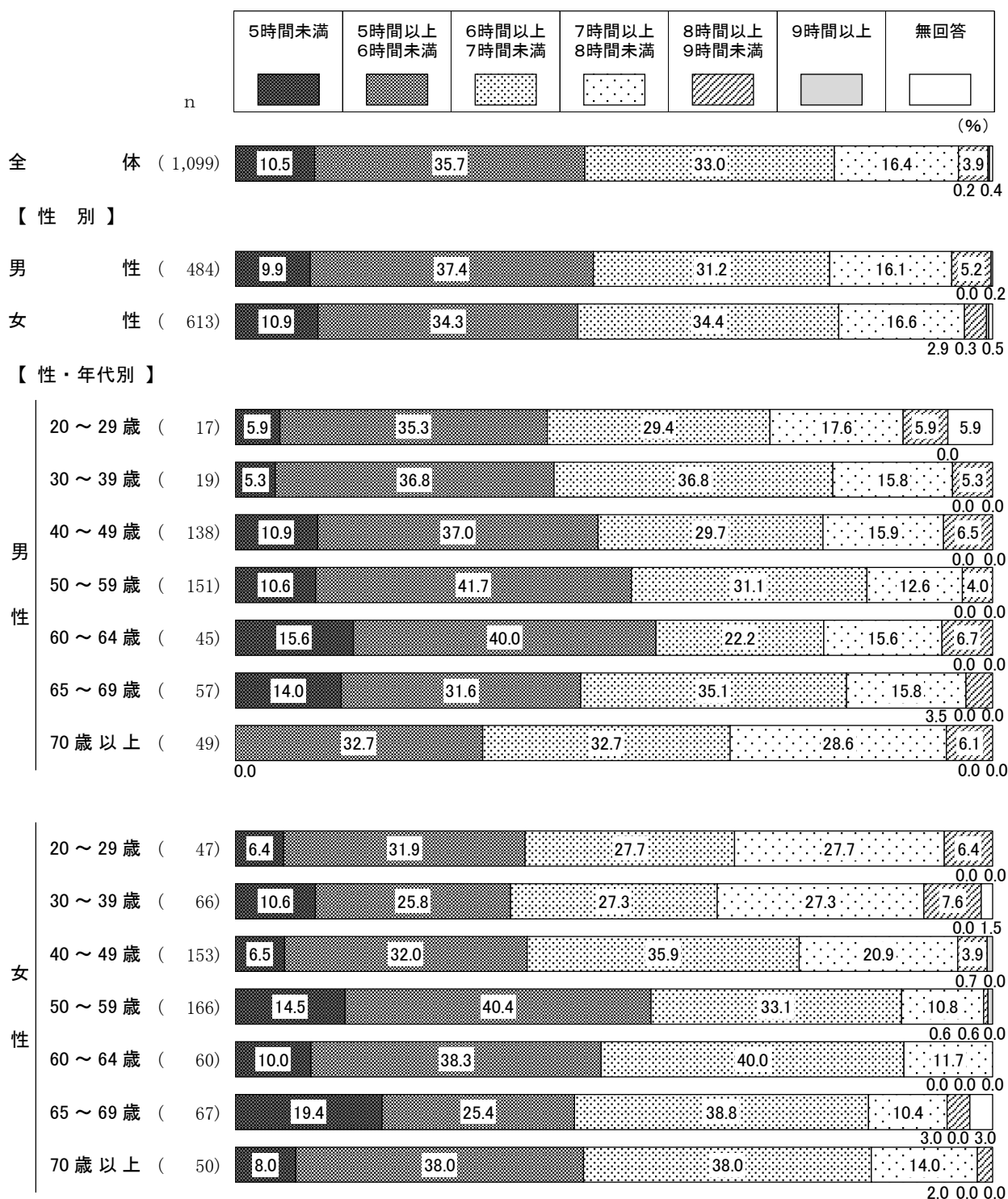
問11 この1か月間、あなたの1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

図 1-11-1 この1か月間の1日の平均睡眠時間



この1か月間の1日の平均睡眠時間をたずねたところ、「5時間以上6時間未満」(35.7%)が3割半ばと最も多く、次いで「6時間以上7時間未満」(33.0%)、「7時間以上8時間未満」(16.4%)の順となっている。(図1-11-1)

図 1-11-2 この 1 か月間の 1 日の平均睡眠時間－性別／性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

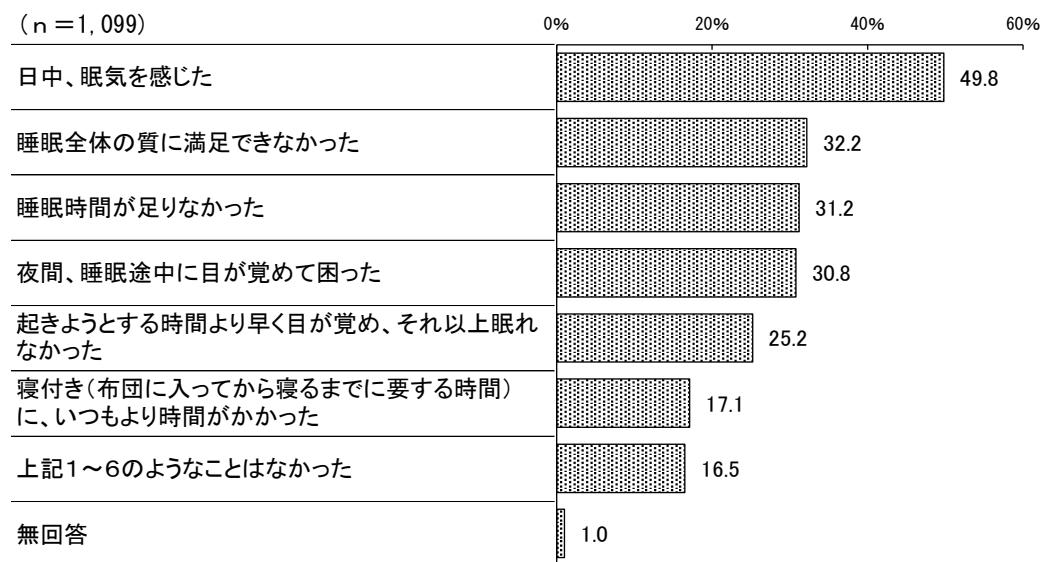
性・年代別にみると、「5時間以上6時間未満」は男性50～59歳、男性60～64歳、女性50～59歳で4割台、「6時間以上7時間未満」は女性60～64歳で4割と多くなっている。

(図 1-11-2)

(12) 睡眠の質について週3回以上あったこと

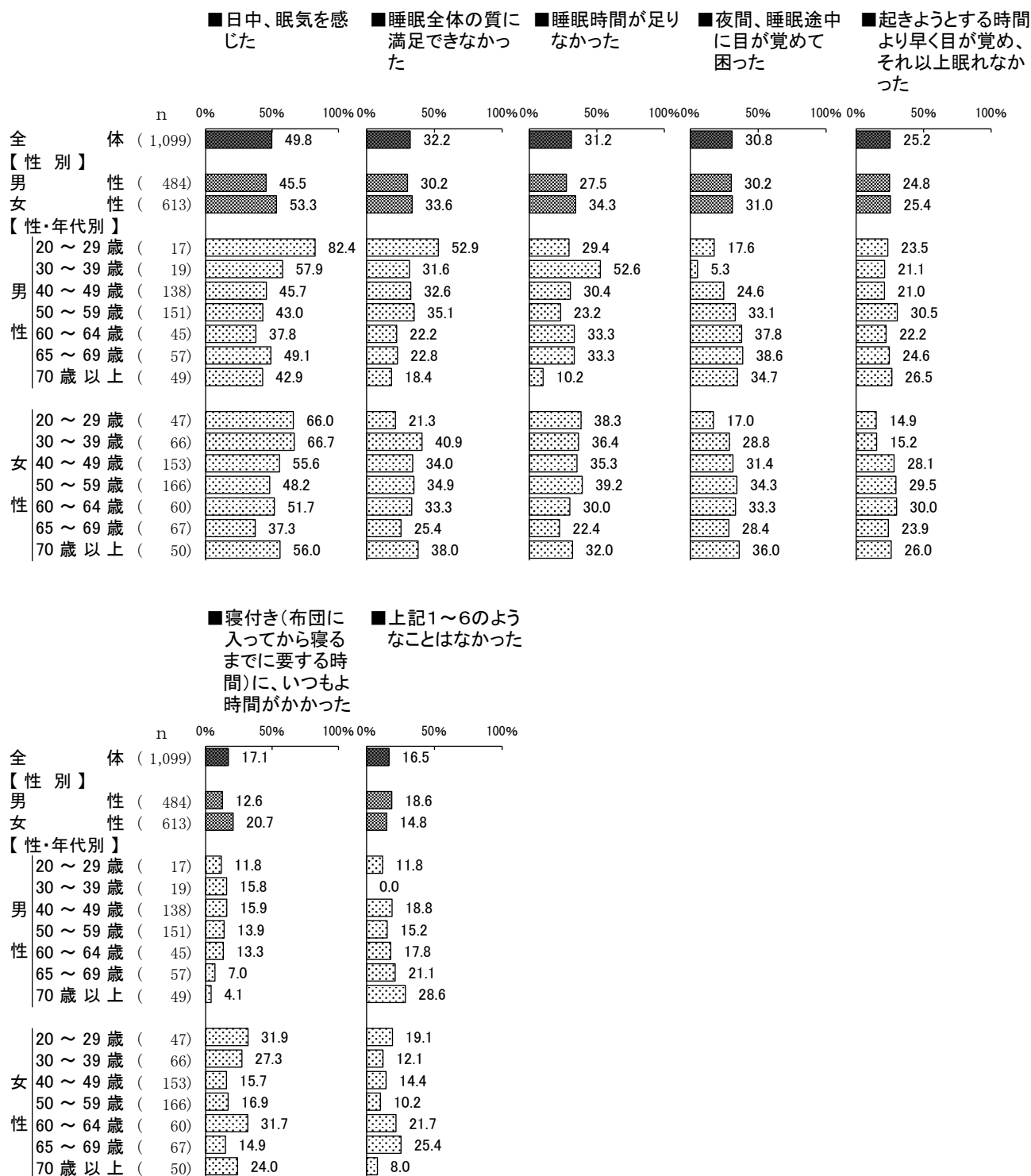
問12 睡眠の質についておたずねします。あなたはこの1か月間に、次のようなことが週3回以上ありましたか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも)

図 1-12-1 睡眠の質について週3回以上あったこと



睡眠の質について週3回以上あったことをたずねたところ、「日中、眠気を感じた」(49.8%)が約5割と最も多く、次いで「睡眠全体の質に満足できなかった」(32.2%)、「睡眠時間が足りなかった」(31.2%)、「夜間、睡眠途中で目が覚めて困った」(30.8%)などの順となっている。(図1-12-1)

図 1-12-2 睡眠の質について週3回以上あったこと－性別／性・年代別



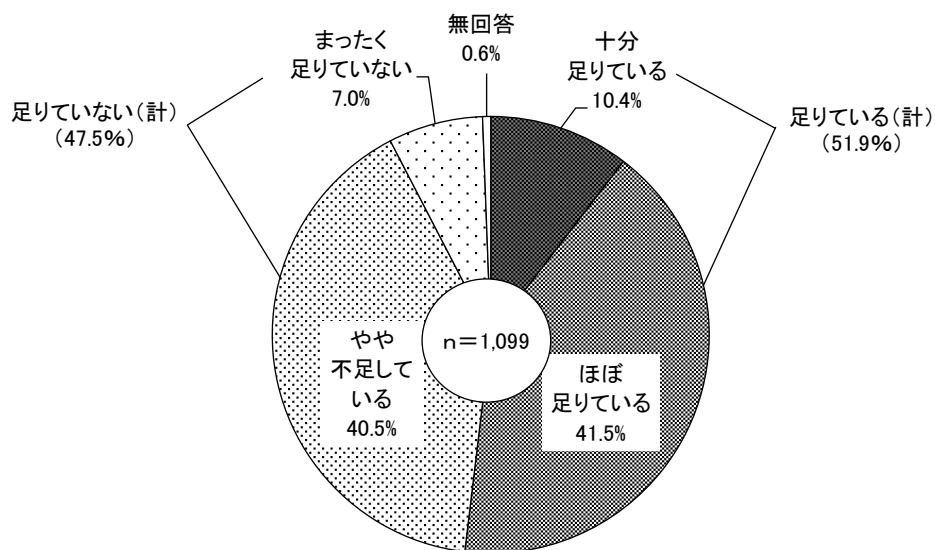
性別にみると、すべての項目で女性のほうが高くなっており、「寝付き（布団に入ってから寝るまでに要する時間）に、いつもより時間がかかった」で8.1ポイント、「日中、眠気を感じた」で7.8ポイント、「睡眠時間が足りなかった」で6.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「日中、眠気を感じた」は男性20～29歳で8割を超え、女性20～29歳、女性30～39歳で6割半ばと多くなっている。「睡眠全体の質に満足できなかった」は男性20～29歳で5割を超え、女性30～39歳で約4割と多くなっている。「睡眠時間が足りなかった」は男性30～39歳で5割を超えて多くなっている。（図1-12-2）

(13) 普段の睡眠時間の充足度

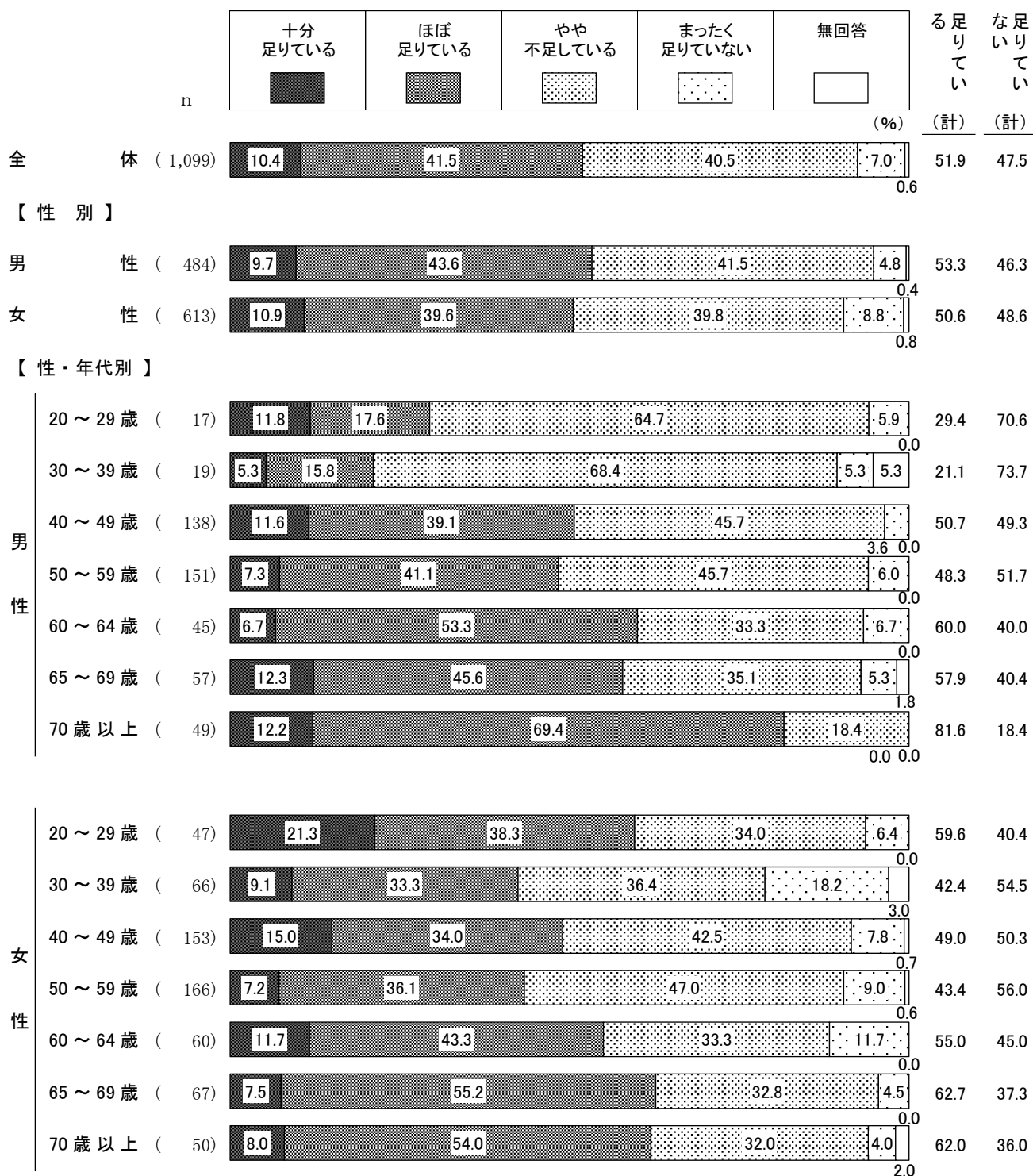
問13 あなたは、普段の睡眠時間は足りていますか。それとも不足していますか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

図 1－13－1 普段の睡眠時間の充足度



普段の睡眠時間の充足度をたずねたところ、「十分足りている」(10.4%)と「ほぼ足りている」(41.5%)を合わせた『足りている(計)』(51.9%)が5割を超えている。一方、「やや不足している」(40.5%)と「まったく足りていない」(7.0%)をあわせた『足りていない(計)』(47.5%)は5割近くとなっている。(図 1－13－1)

図 1-13-2 普段の睡眠時間の充足度—性別／性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、『足りている（計）』は男性70歳以上で8割を超えて多くなっている。一方、『足りていない（計）』は男性20～29歳、男性30～39歳で7割を超え、女性50～59歳で5割半ばと多くなっている。（図 1-13-2）

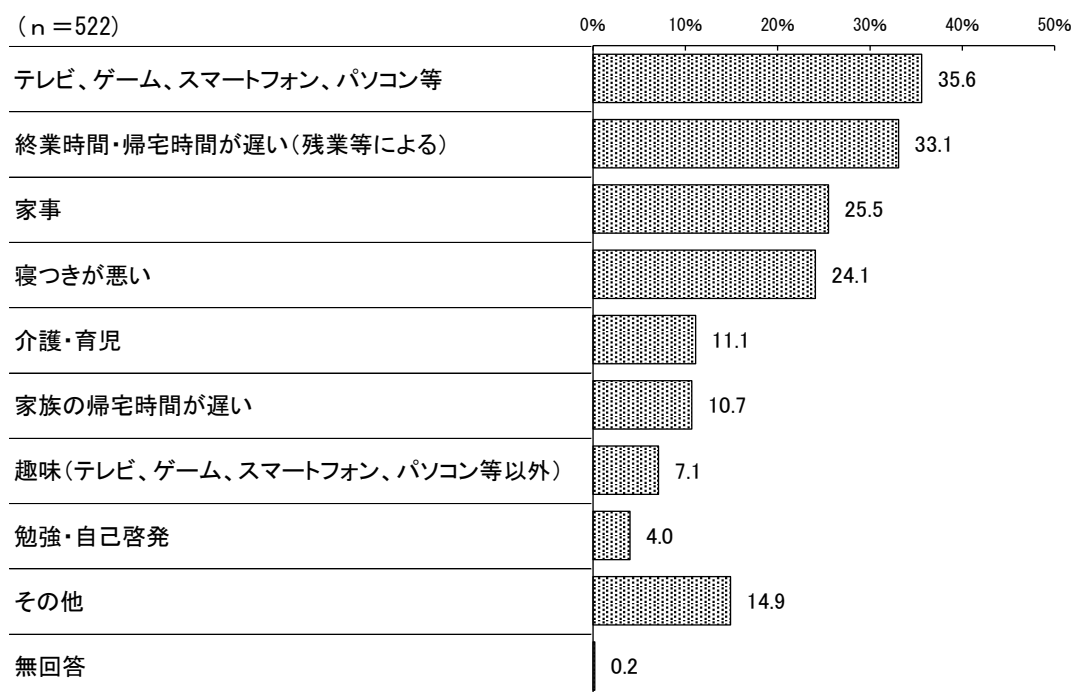
（13－１）睡眠不足を感じる理由

【問13で「3 やや不足している」「4 まったく足りていない」と回答した方に】

問13－１ あなたの睡眠が不足していると思う理由は何ですか。

次の中からあてはまるものをいくつかもお選びください。（○はいくつでも）

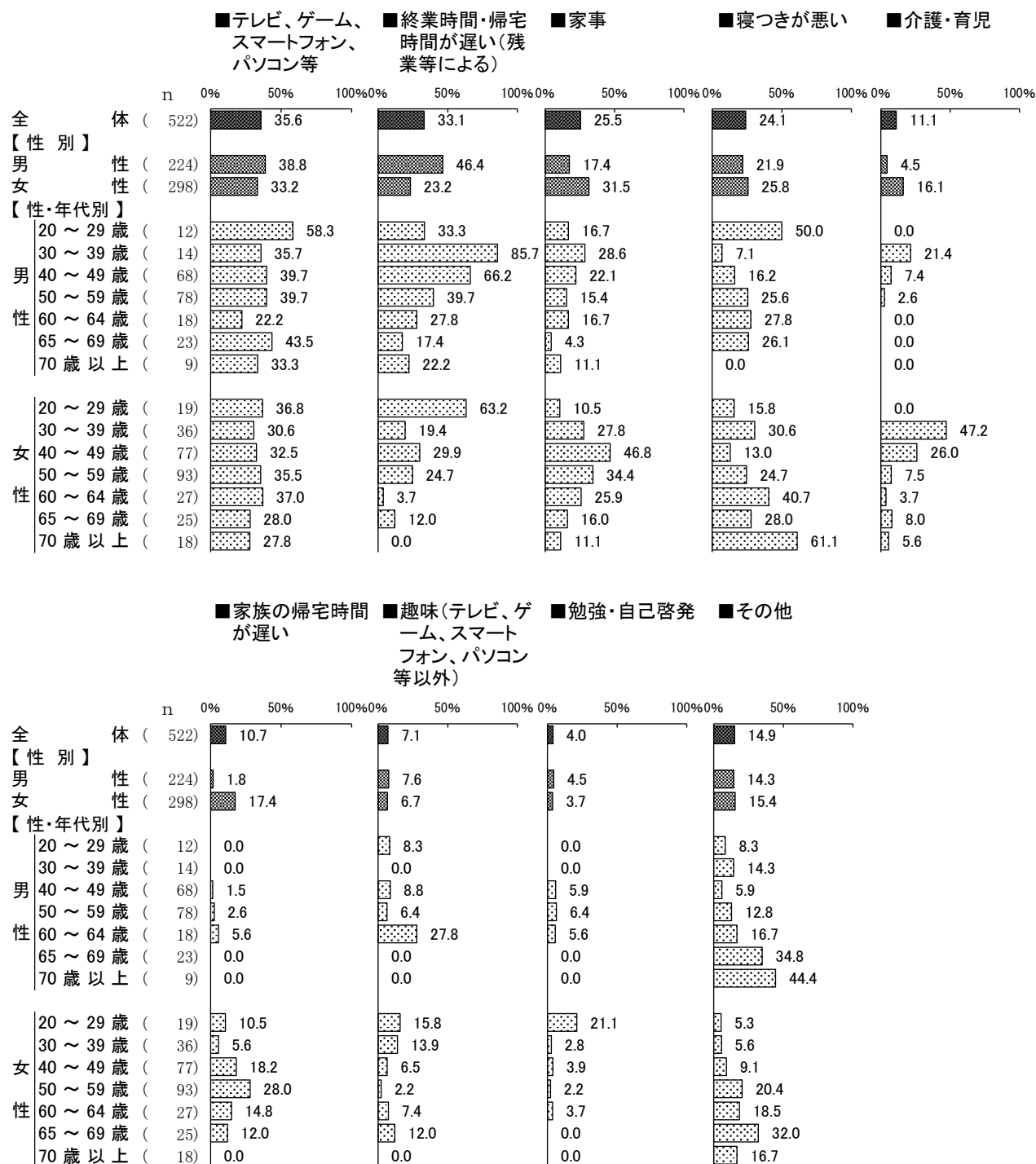
図 1－13－3 睡眠不足を感じる理由



睡眠時間が「やや不足している」または「まったく足りていない」と答えた方（522人）に睡眠不足を感じる理由をたずねたところ、「テレビ、ゲーム、スマートフォン、パソコン等」（35.6％）が３割半ばと最も多く、次いで「終業時間・帰宅時間が遅い（残業等による）」（33.1％）、「家事」（25.5％）、「寝つきが悪い」（24.1％）などの順となっている。

（図 1－13－3）

図 1-13-4 睡眠不足を感じる理由—性別／性・年代別



性別にみると、男性のほうは「終業時間・帰宅時間が遅い（残業等による）」で23.2ポイント、「テレビ、ゲーム、スマートフォン、パソコン等」で5.6ポイント高くなっている。一方、女性のほうは「家族の帰宅時間が遅い」で15.6ポイント、「家事」で14.1ポイント、「介護・育児」で11.6ポイント高くなっている。

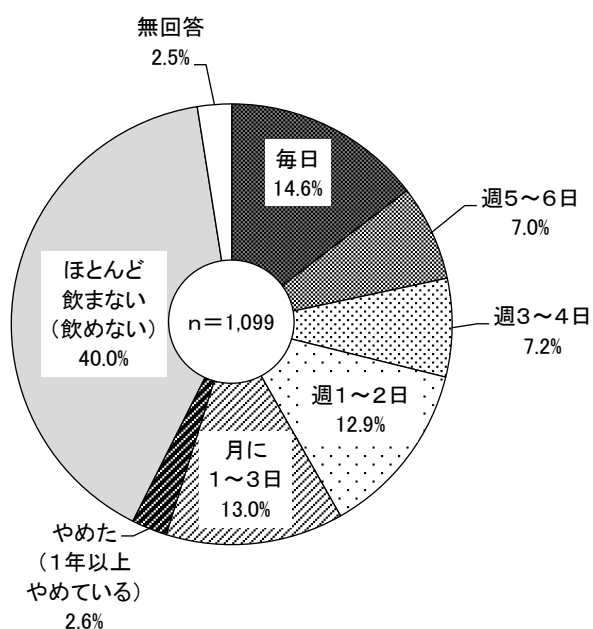
性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図 1-13-4）

2 飲酒の習慣について

(1) 飲酒頻度

問14 あなたは、週に何日位お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

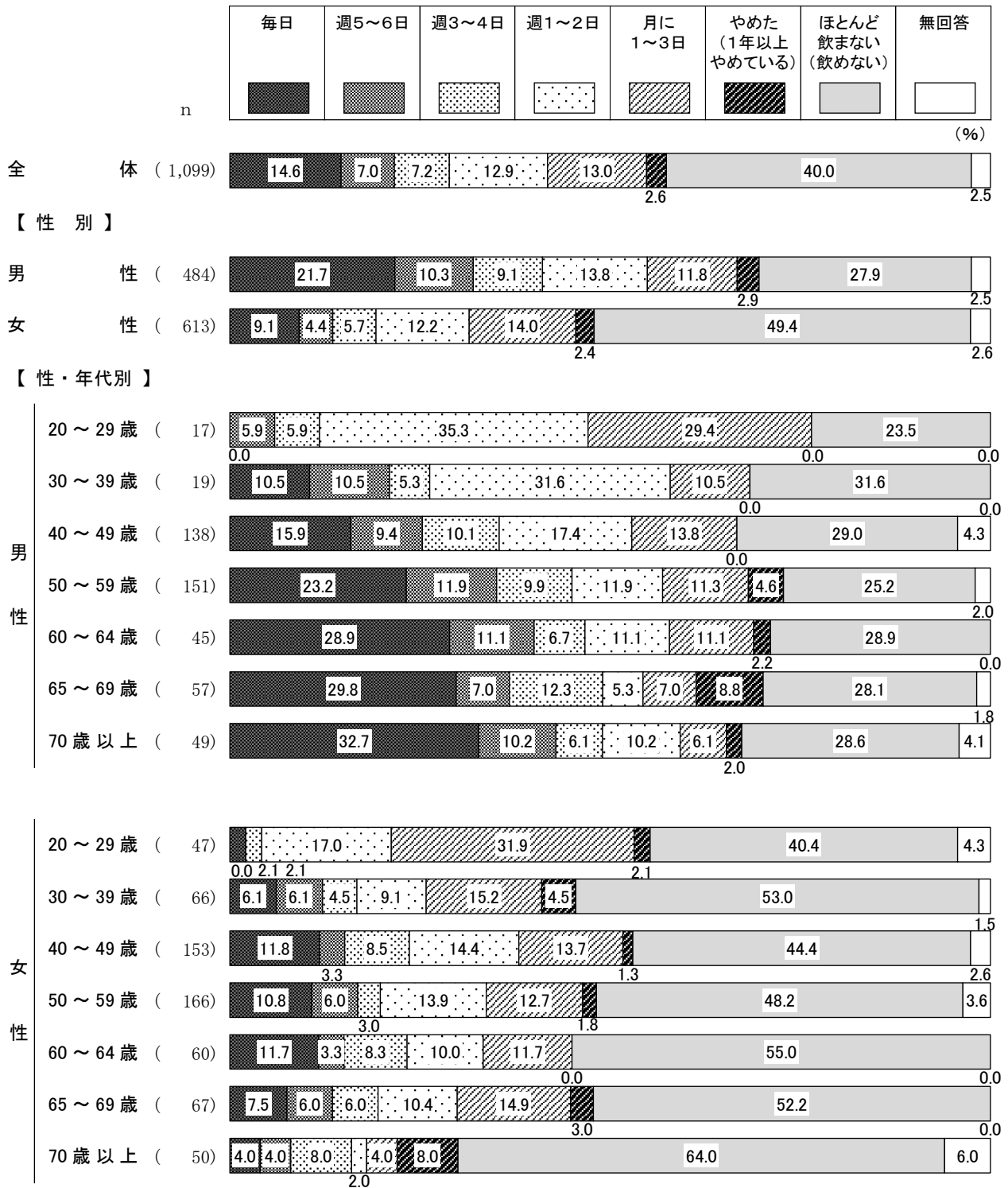
図2-1-1 飲酒頻度



飲酒頻度をたずねたところ、「毎日」(14.6%)、「週5～6日」(7.0%)、「週3～4日」(7.2%)、「週1～2日」(12.9%)、「月に1～3日」(13.0%)がそれぞれ1割前後となっている。一方、「ほとんど飲まない(飲めない)」(40.0%)が4割となっている。

(図2-1-1)

図 2-1-2 飲酒頻度－性別／性・年代別



性別にみると、「毎日」は男性のほうが12.6ポイント、「週5～6日」は5.9ポイント高くなっている。一方、「ほとんど飲まない（飲めない）」は女性のほうが21.5ポイント高くなっている。

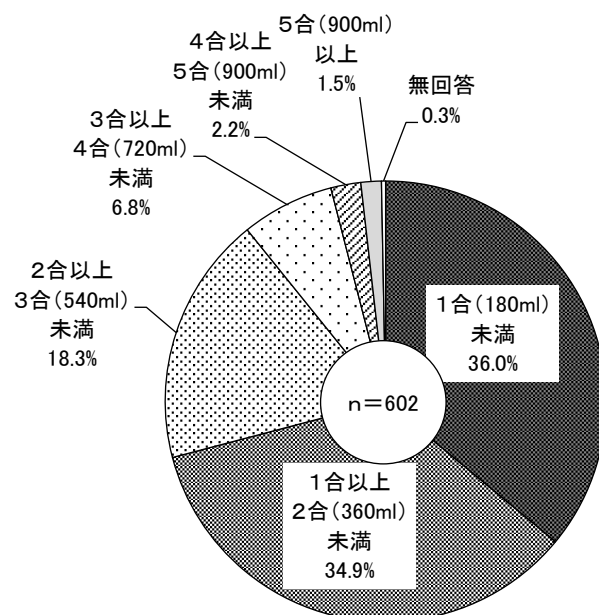
性・年代別にみると、「毎日」は男性は年代が高いほど多く、男性70歳以上で3割を超えている。一方、「ほとんど飲まない（飲めない）」は女性はおおむね年代が高いほど多く、女性70歳以上で6割半ばとなっている。（図2-1-2）

(1-1) 1日あたりの飲酒量

【問14で「1」～「5」と回答した方に】

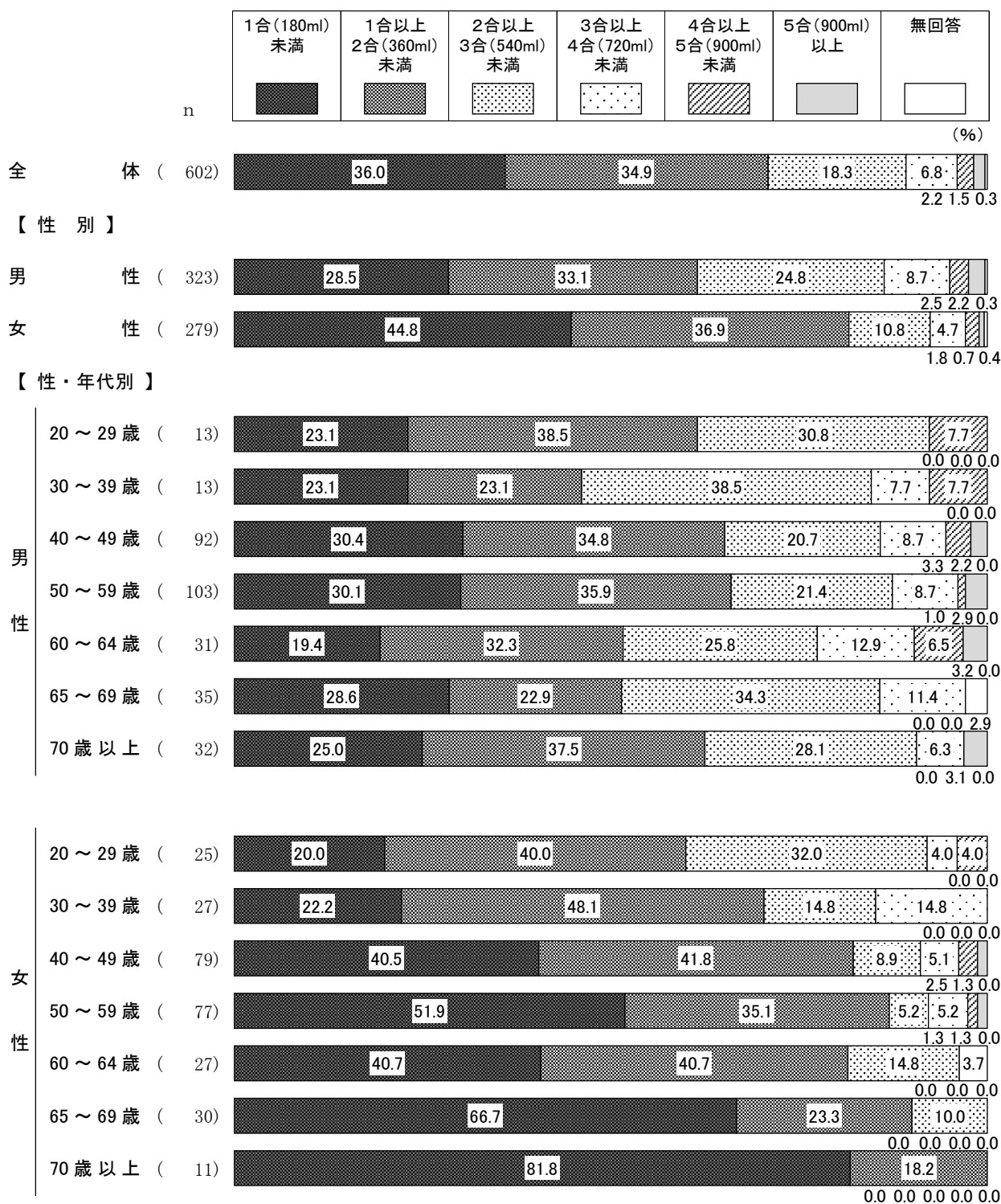
問14-1 あなたがお酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。
清酒に換算し、次の中からあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

図2-1-3 1日あたりの飲酒量



飲酒を「毎日」から「月に1～3日」していると答えた方(602人)に1日あたりの飲酒量をたずねたところ、「1合(180ml)未満」(36.0%)が3割半ばと最も多く、次いで「1合以上2合(360ml)未満」(34.9%)、「2合以上3合(540ml)未満」(18.3%)の順となっている。
(図2-1-3)

図 2-1-4 1日あたりの飲酒量－性別／性・年代別



性別にみると、「1合（180ml）未満」は女性のほうが16.3ポイント高くなっている。一方、「2合以上3合（540ml）未満」は男性のほうが14.0ポイント高くなっている。

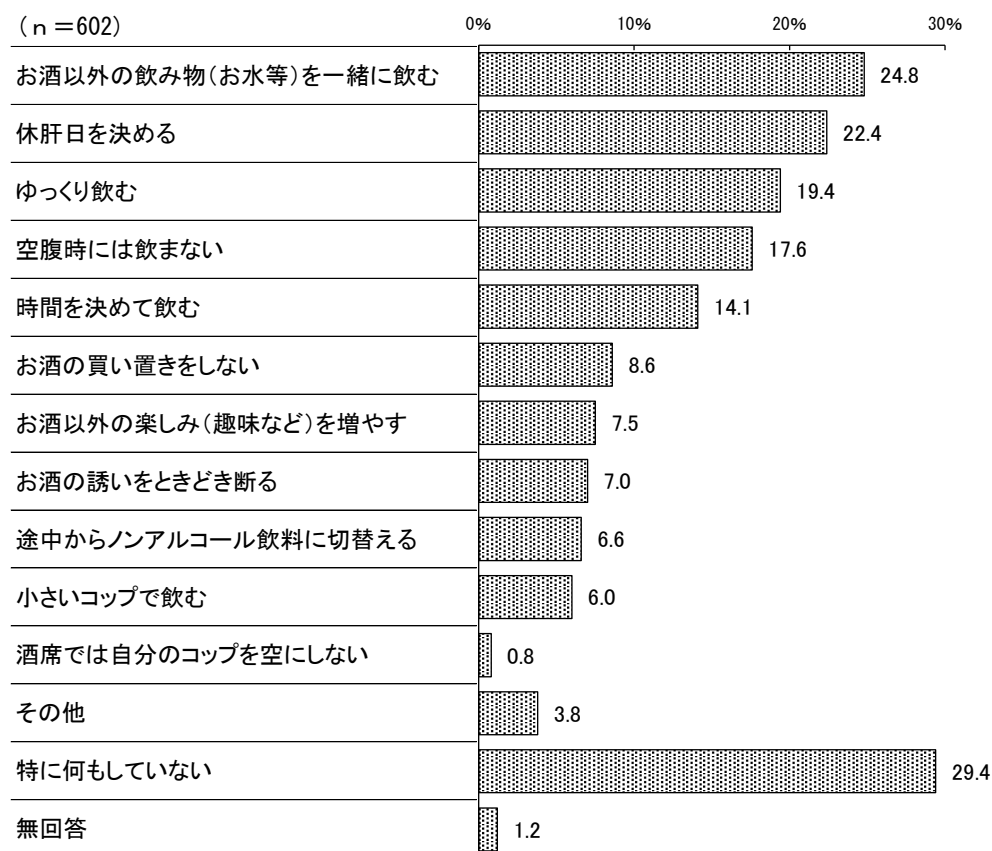
性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図2-1-4）

（１－２）過度な飲酒を防ぐために工夫していること

【問14で「1」～「5」と回答した方に】

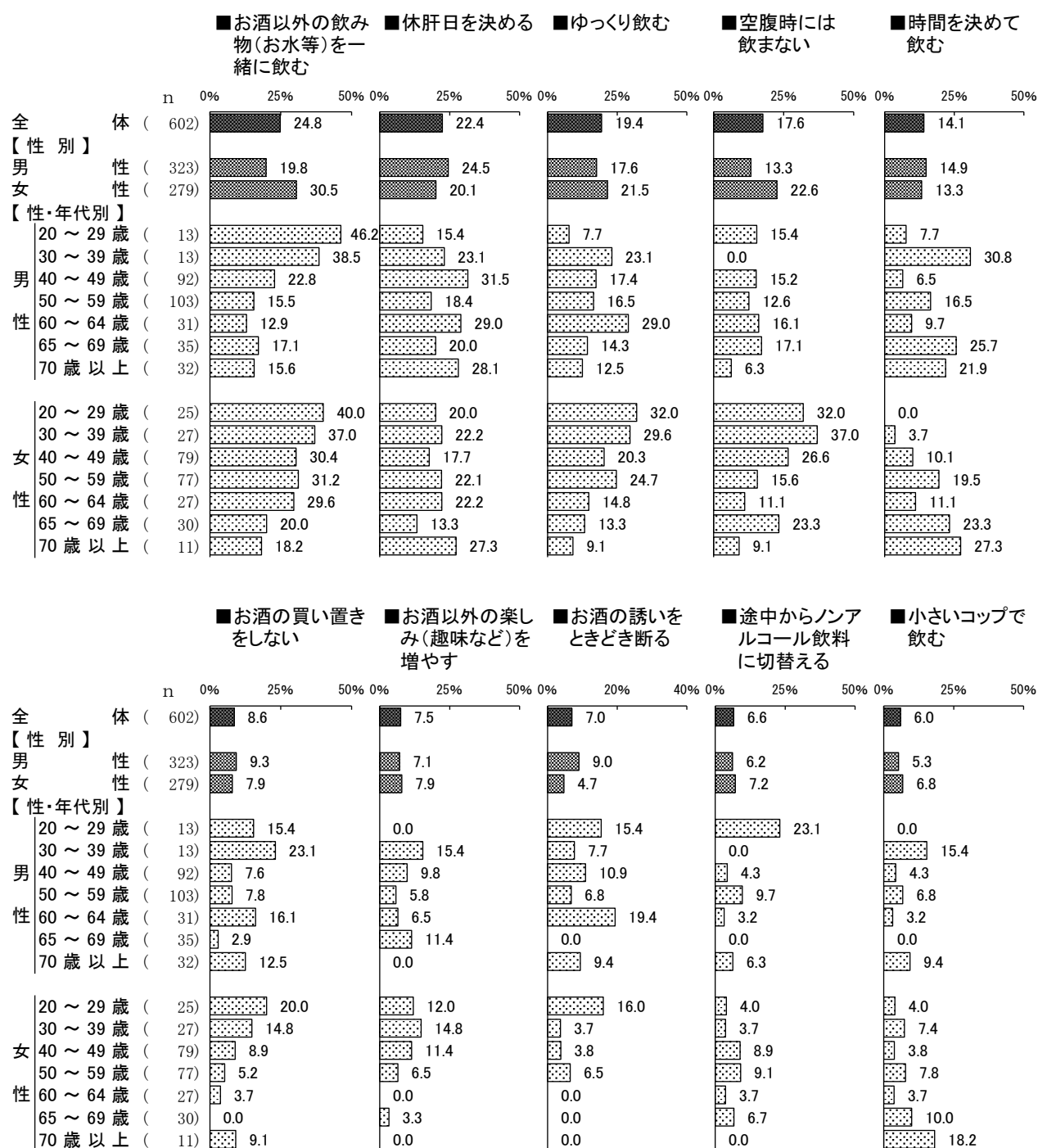
問14-2 あなたは、過度な飲酒を防ぐために、何か工夫していることがありますか。
次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。（○はいくつでも）

図 2－1－5 過度な飲酒を防ぐために工夫していること



飲酒を「毎日」から「月に1～3日」していると答えた方（602人）に過度な飲酒を防ぐために工夫していることをたずねたところ、「お酒以外の飲み物（お水等）と一緒に飲む」（24.8%）が2割半ばと最も多く、次いで「休肝日を決める」（22.4%）、「ゆっくり飲む」（19.4%）、「空腹時には飲まない」（17.6%）などの順となっている。（図2－1－5）

図 2-1-6 過度な飲酒を防ぐために工夫していること【上位10項目】—性別／性・年代別



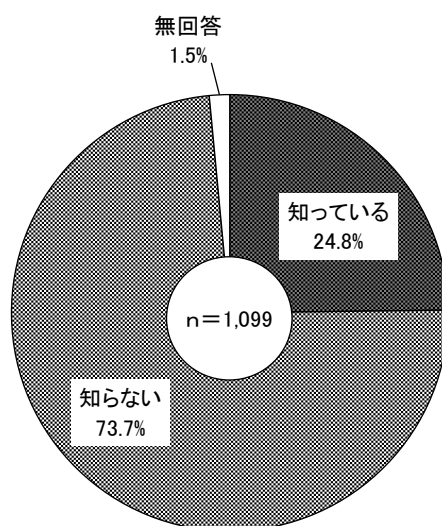
性別にみると、女性のほうは「お酒以外の飲み物（お水等）と一緒に飲む」で10.7ポイント、「空腹時には飲まない」で9.3ポイント高くなっている。一方、男性のほうは「休肝日を決める」で4.4ポイント、「お酒の誘いをときどき断る」で4.3ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図2-1-6）

（２）国の示す「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認知状況

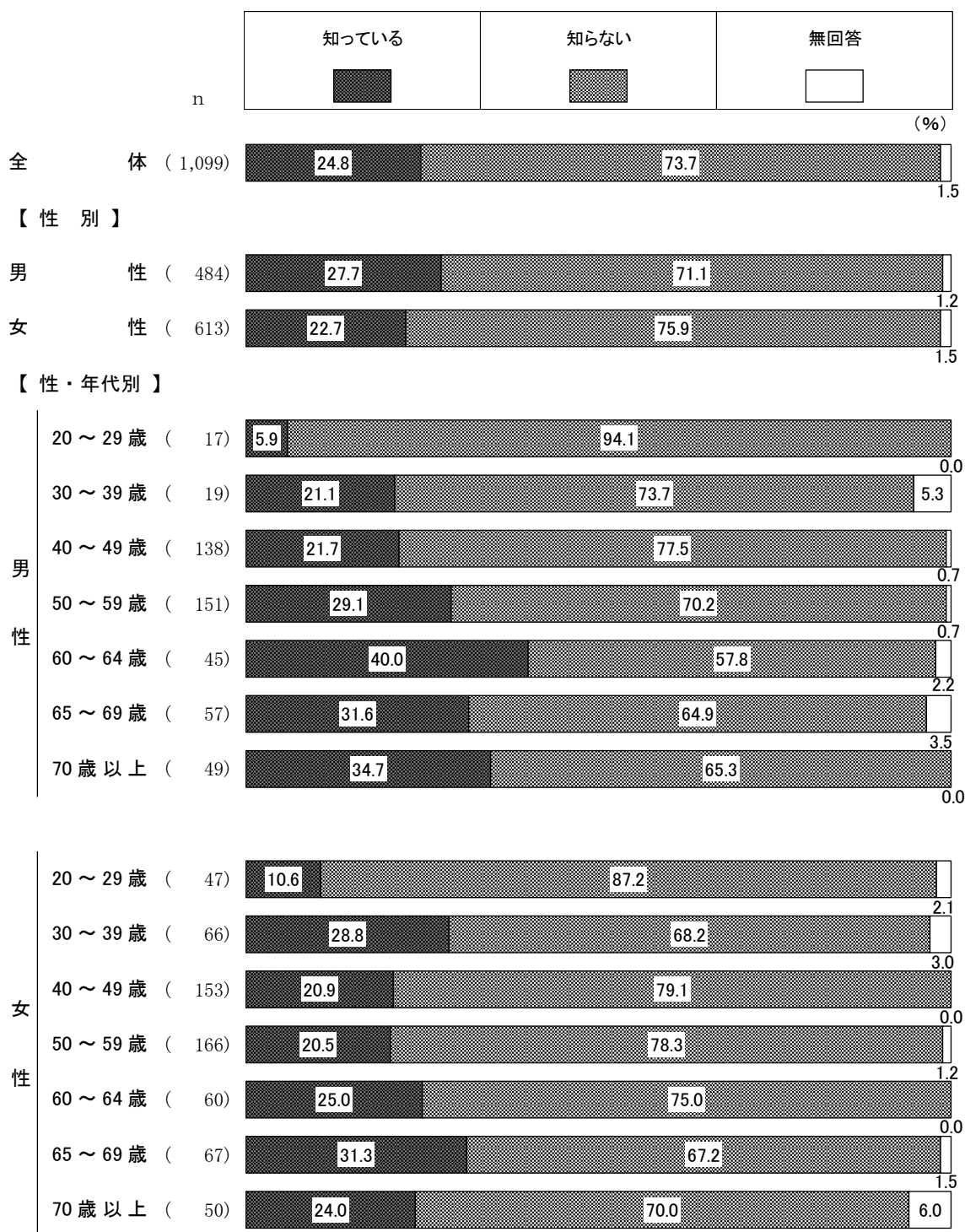
問15 国は、「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」を、1日あたりの純アルコール摂取量が男性40g(清酒換算で2合)以上、女性20g(清酒換算で1合)以上と示しています。あなたは、このことを知っていますか。(○は1つ)

図2-2-1 国の示す「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認知状況



国の示す「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認知状況をたずねたところ、「知っている」（24.8%）が2割半ば、「知らない」（73.7%）が7割を超えている。（図2-2-1）

図 2-2-2 国の示す「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認知状況－性別／性・年代別



性別にみると、「知っている」は男性のほうが5.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っている」は男性60～64歳で4割と多くなっている。

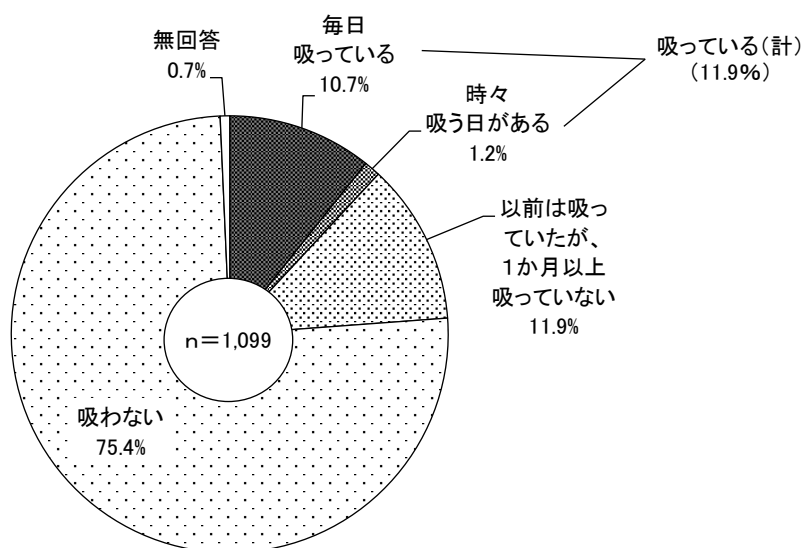
(図 2-2-2)

3 喫煙の健康への影響と受動喫煙について

(1) 喫煙頻度

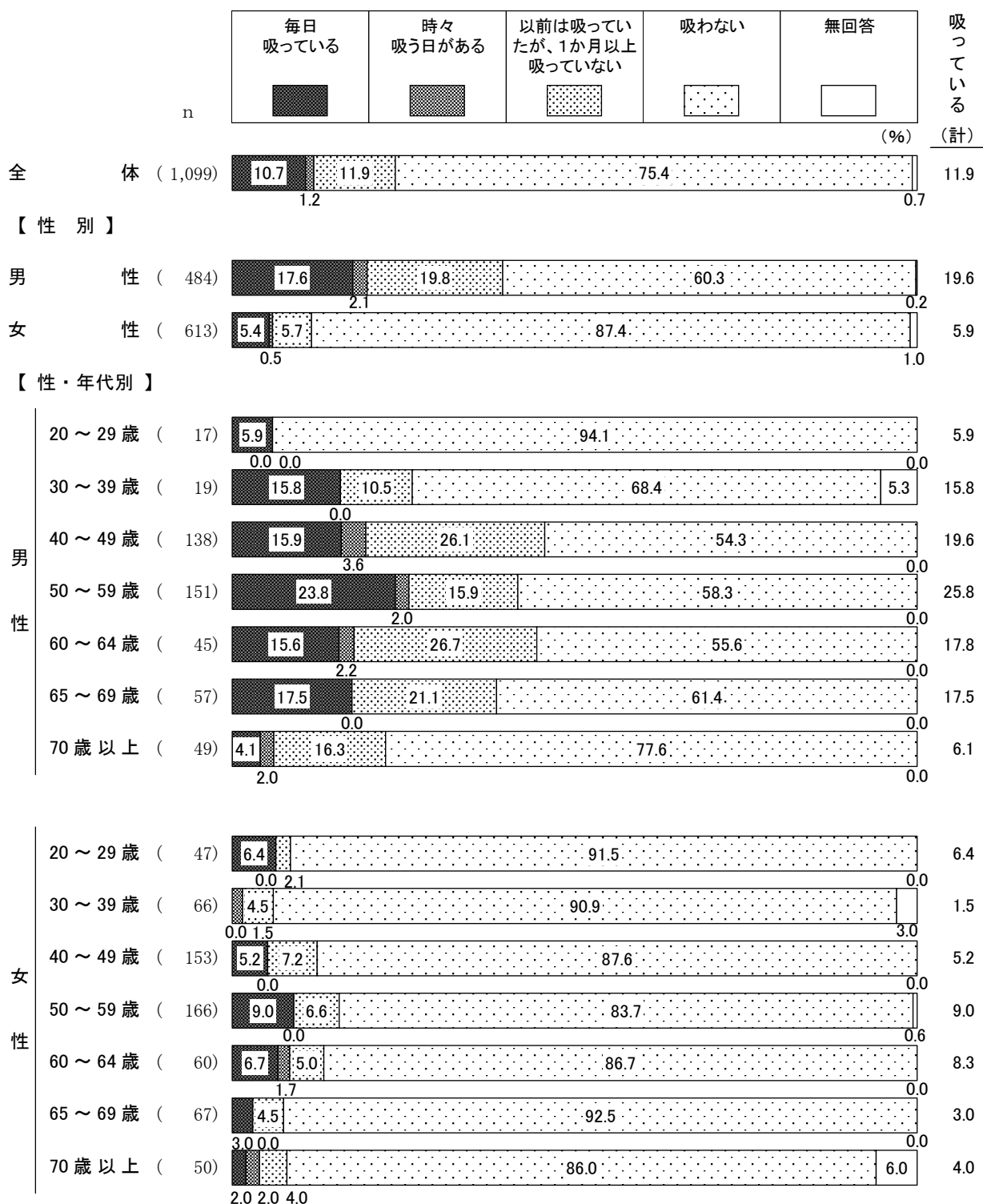
問16 あなたはたばこを吸いますか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

図3-1-1 喫煙頻度



喫煙頻度をたずねたところ、「毎日吸っている」(10.7%)と「時々吸う日がある」(1.2%)を合わせた『吸っている(計)』(11.9%)が1割を超えている。一方、「吸わない」(75.4%)は7割半ばとなっている。(図3-1-1)

図 3 - 1 - 2 喫煙頻度－性別／性・年代別



性別にみると、『吸っている（計）』は男性のほうが13.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『吸っている（計）』は男性50～59歳で2割半ばとなっている。

(図 3 - 1 - 2)

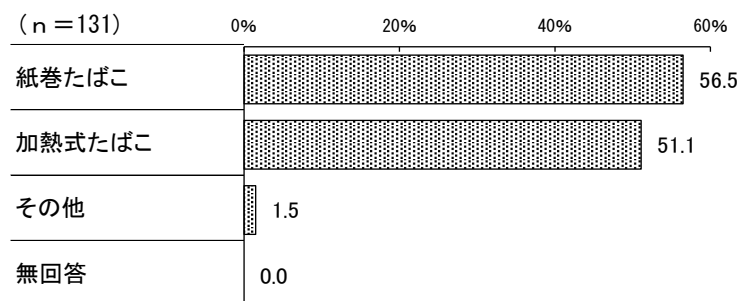
(1-1) 現在吸っているたばこ製品

【問16で「1 毎日吸っている」「2 時々吸う日がある」と回答した方に】

問16-1 現在、あなたが吸っているたばこ製品はどれですか。

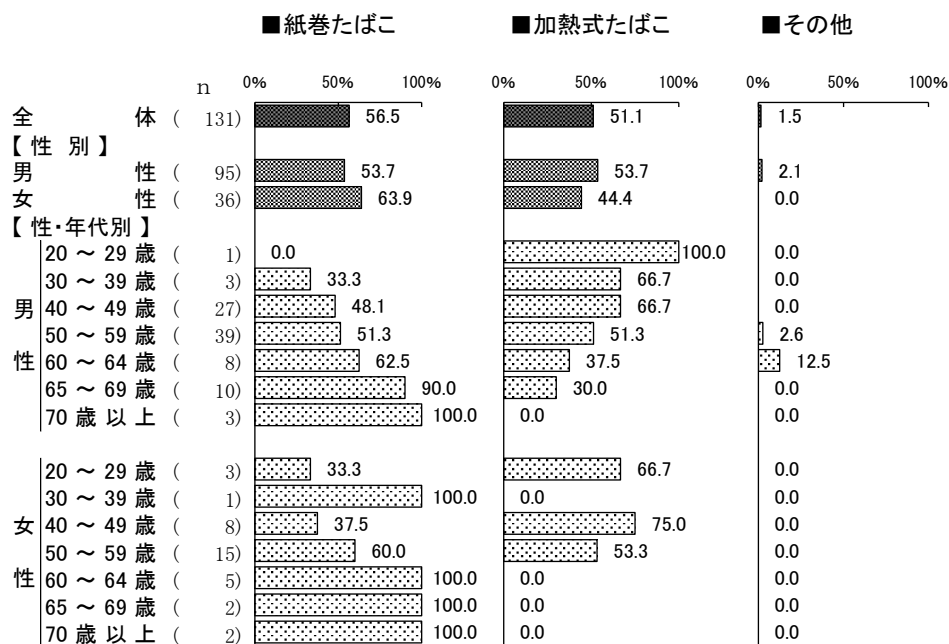
次の中からあてはまるものをいくつかもお選びください。(○はいくつでも)

図3-1-3 現在吸っているたばこ製品



たばこを「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と答えた方(131人)に現在吸っているたばこ製品たずねたところ、「紙巻たばこ」(56.5%)、「加熱式たばこ」(51.5%)がともに5割台となっている。(図3-1-3)

図 3 - 1 - 4 現在吸っているたばこ製品－性別／性・年代別



性別にみると、女性のほうは「紙巻たばこ」で10.2ポイント多くなっている。一方、男性のほうは「加熱式たばこ」で9.3ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図 3 - 1 - 4）

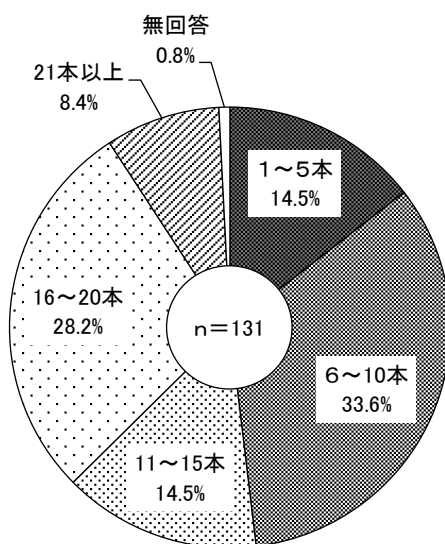
(1-2) 1日の喫煙本数

【問16で「1 毎日吸っている」「2 時々吸う日がある」と回答した方に】

問16-2 あなたは通常、1日に何本たばこを吸いますか。

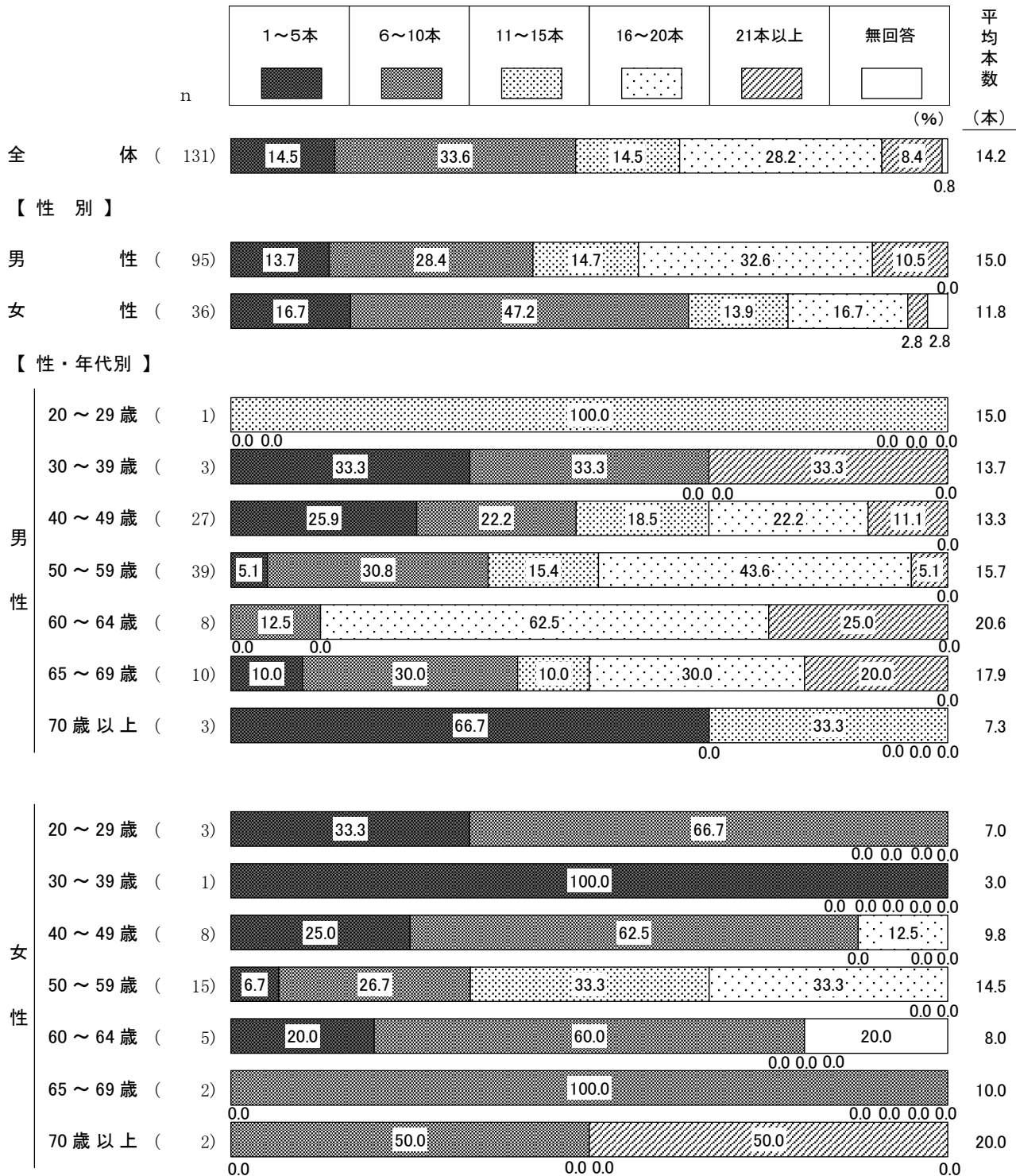
*「時々吸う」方は吸うときの1日の本数をお答えください。

図3-1-5 1日の喫煙本数



たばこを「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と答えた方（131人）に1日の喫煙本数をたずねたところ、「6～10本」（33.6%）が3割を超えて最も多く、次いで「16～20本」（28.2%）が3割近くとなっている。（図3-1-5）

図 3 - 1 - 6 1日の喫煙本数－性別／性・年代別



性別にみると、女性のほうは「1～5本」で3.0ポイント、「6～10本」で18.8ポイント高くなっている。一方、男性のほうは「16～20本」で15.9ポイント、「21本以上」で7.7ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図 1 - 3 - 6）

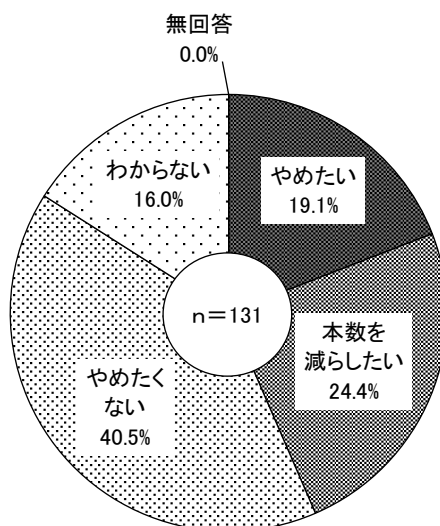
(1-3) 禁煙意向

【問16で「1 毎日吸っている」「2 時々吸う日がある」と回答した方に】

問16-3 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。

次の中からあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

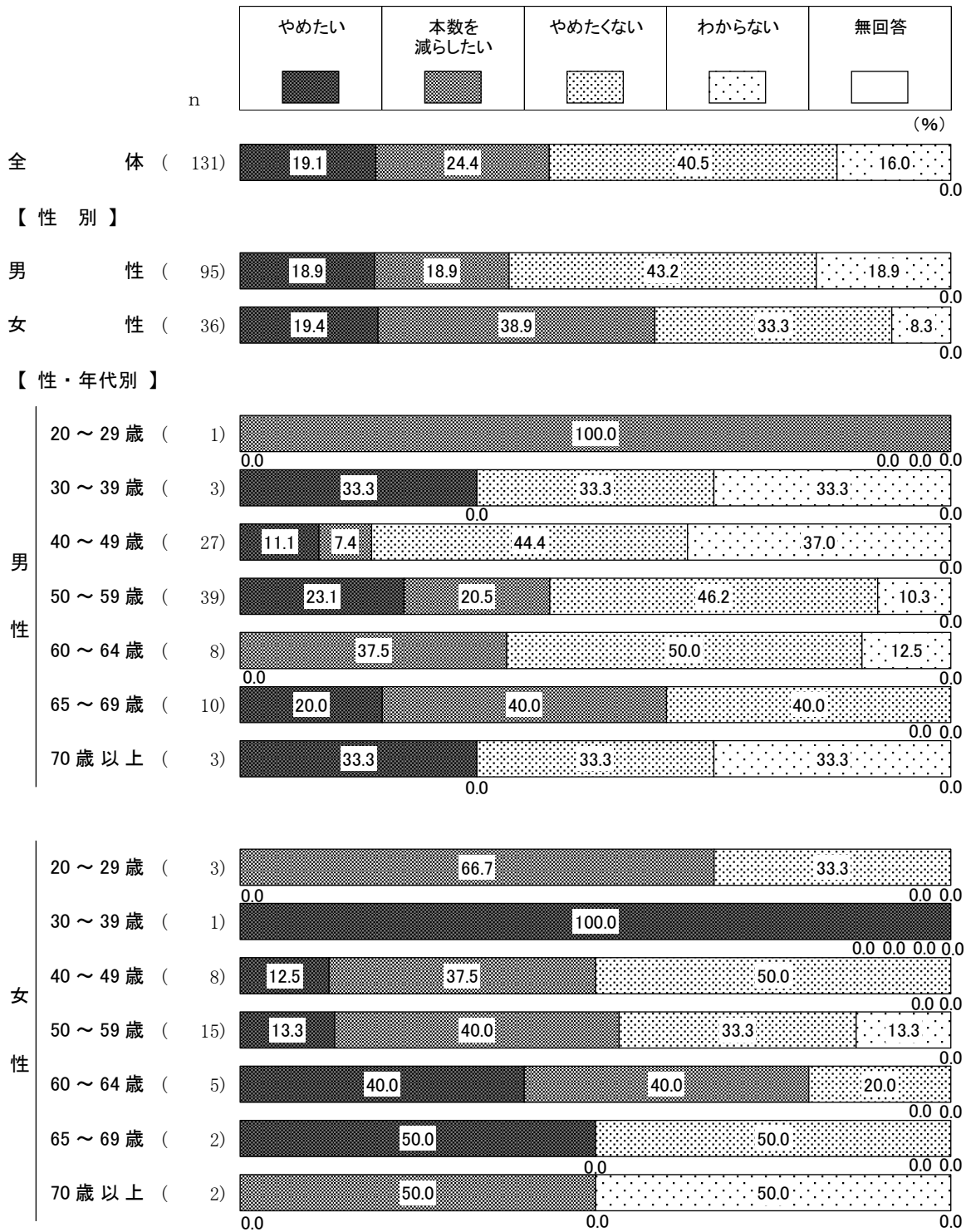
図3-1-7 禁煙意向



たばこを「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と答えた方（131人）に禁煙意向をたずねたところ、「やめたくない」（40.5%）が約4割と最も多く、「本数を減らしたい」（24.4%）が2割半ばとなっている。一方、「やめたい」（19.1%）は約2割となっている。

（図3-1-7）

図 3-1-8 禁煙意向－性別／性・年代別



性別にみると、「本数を減らしたい」は女性のほうが20.0ポイント高くなっている。一方、「やめたくない」は男性のほうが9.9ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。(図3-1-8)

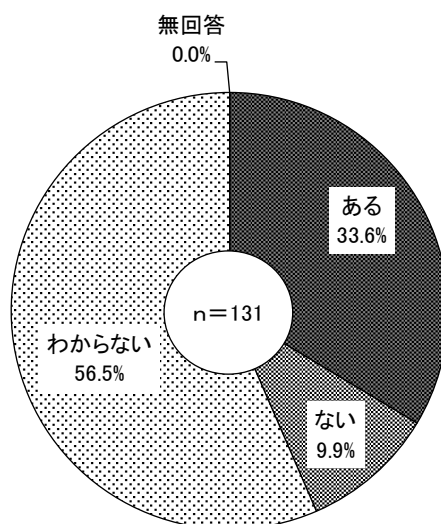
(1-4) 身近に禁煙治療が受けられる医療機関の有無

【問16で「1 毎日吸っている」「2 時々吸う日がある」と回答した方に】

問16-4 身近に禁煙治療が受けられる医療機関はありますか。

次の中からあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

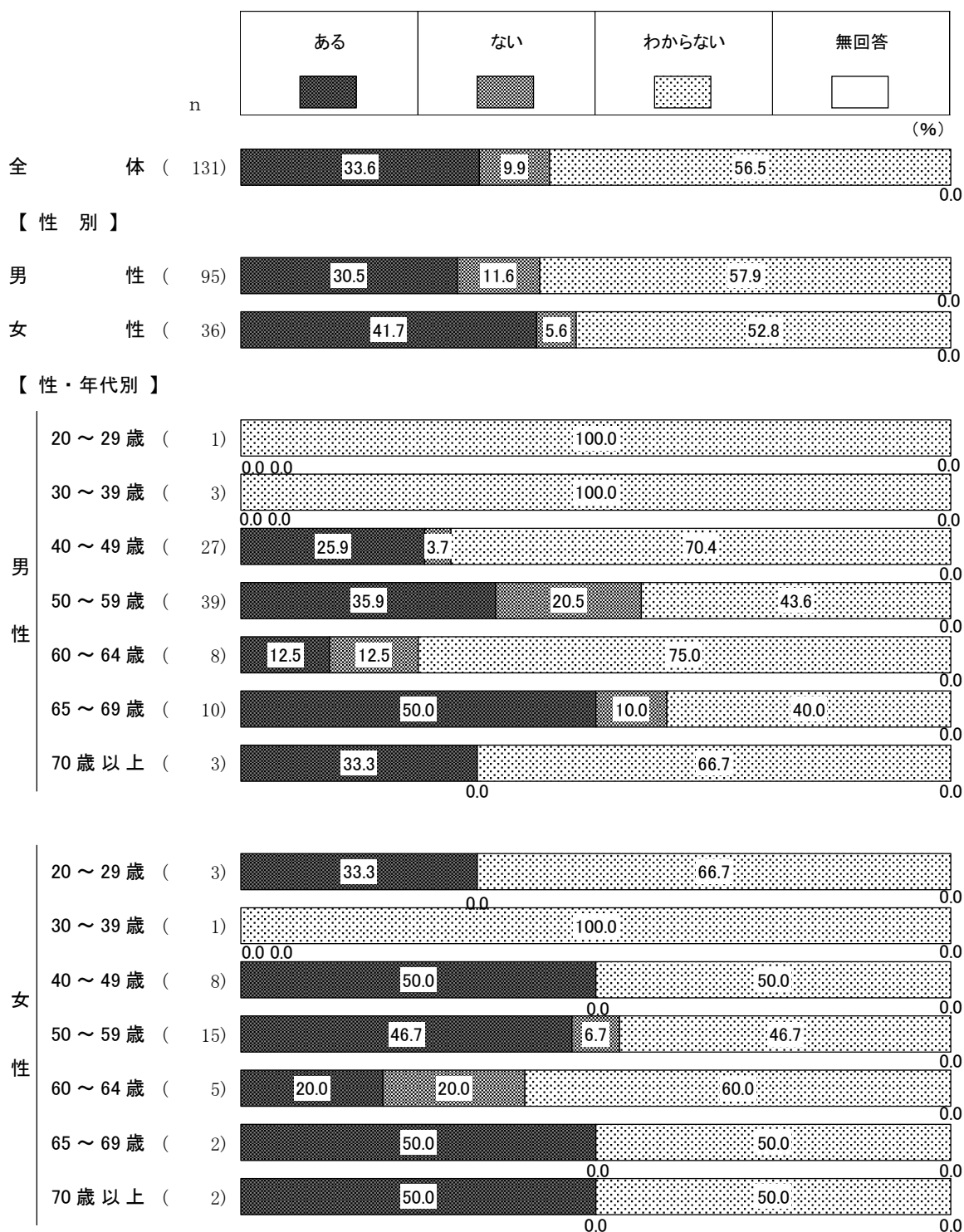
図3-1-9 身近に禁煙治療が受けられる医療機関の有無



たばこを「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」と答えた方（131人）に身近に禁煙治療が受けられる医療機関の有無をたずねたところ、「ある」（33.6%）が3割を超えている。

（図3-1-9）

図 3-1-10 身近に禁煙治療が受けられる医療機関の有無－性別／性・年代別



性別にみると、「ある」は女性のほうが11.2ポイント高くなっている。

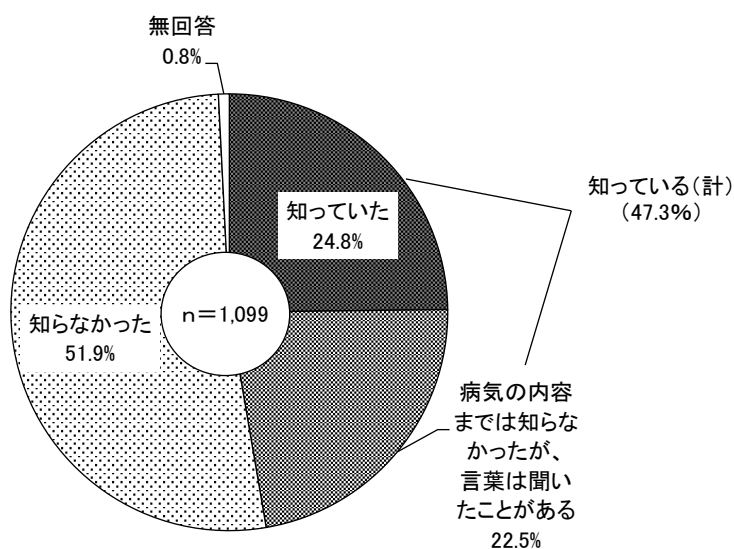
性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。(図3-1-10)

（2）「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」の認知状況

問17 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」について、あなたは、この病気を知っていましたか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。（○は1つ）

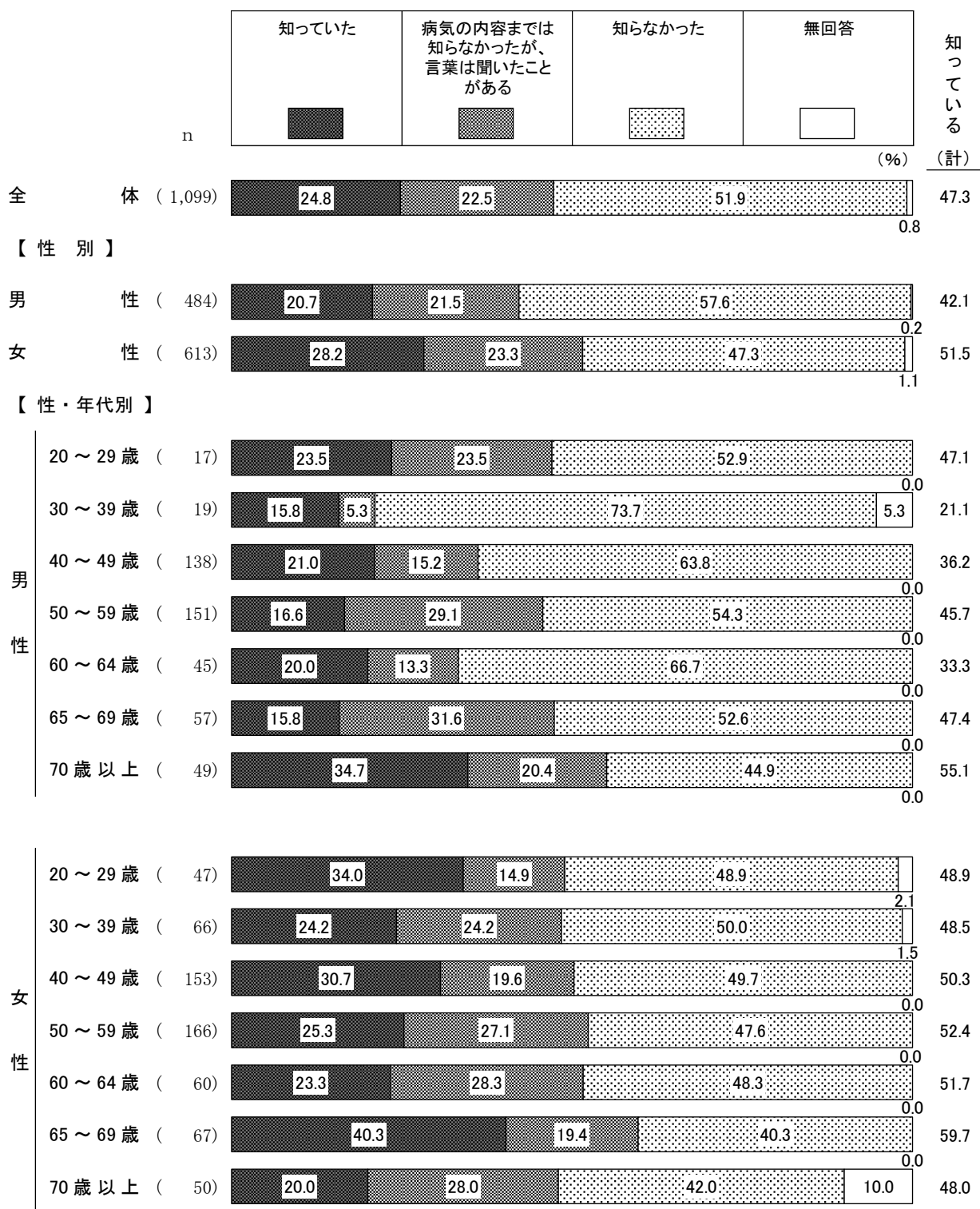
「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」とは、従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称です。
有毒な粒子やガスを長期間吸うことによって、動いたときに息切れがしたり、慢性的に咳・痰が続いたり
するようになる疾患のことです。早期に発見して治療を行えば、病気の進行を遅らせることができますが、
重症化すると一日中酸素吸入が必要になることもあります。

図3-2-1 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」の認知状況



「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」の認知状況をたずねたところ「知っていた」（24.8%）と「病気の内容までは知らなかったが、言葉は聞いたことがある」（22.5%）を合わせた『知っている（計）』（47.3%）が5割近くとなっている。（図3-2-1）

図3-2-2 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」の認知状況－性別／性・年代別



性別にみると、『知っている（計）』は女性のほうが9.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性65～69歳で約6割と多くなっている。

(図3-2-2)

4 がん検診について

(1) 職場等でのがん検診の受診機会の有無

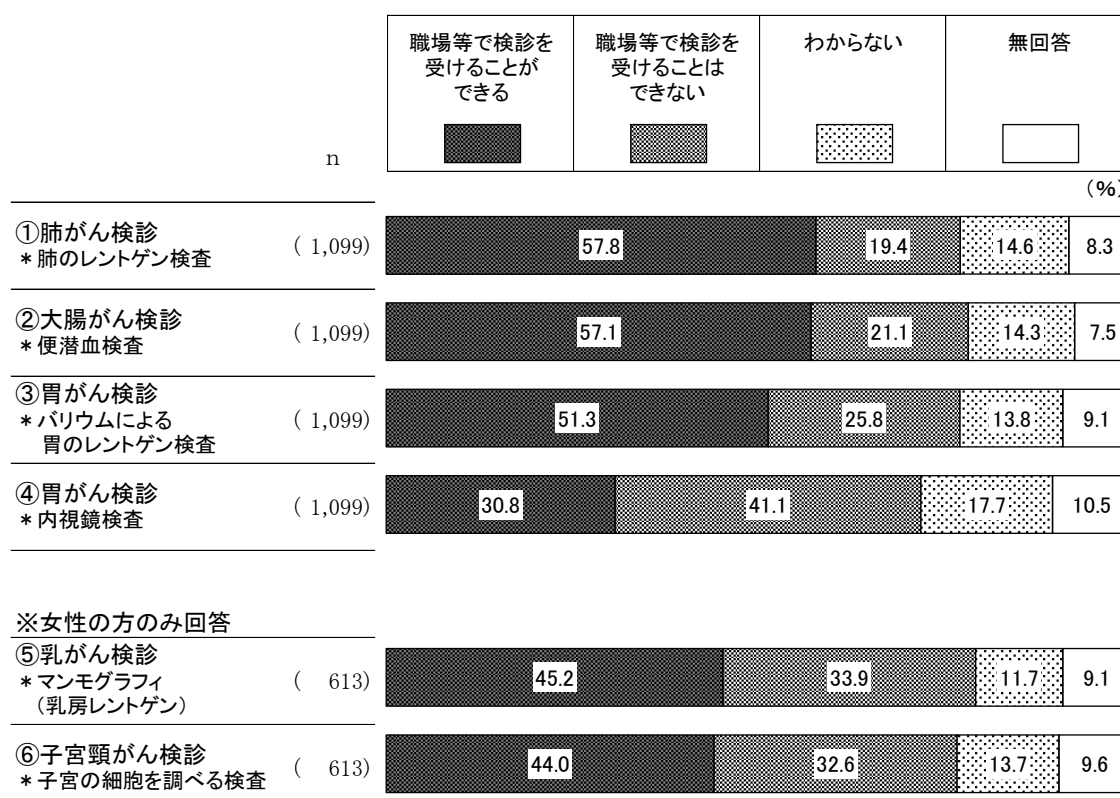
問18 あなたは、職場等でがん検診を受ける機会がありますか。

それぞれのがん検診について、あてはまる番号を○で囲んでください。

(○は1つずつ)

*実際に受けた・受けなかったに関わらず、職場等の福利厚生として受けることができるかどうかをお聞かせください。

図4-1-1 職場等でのがん検診の受診機会の有無

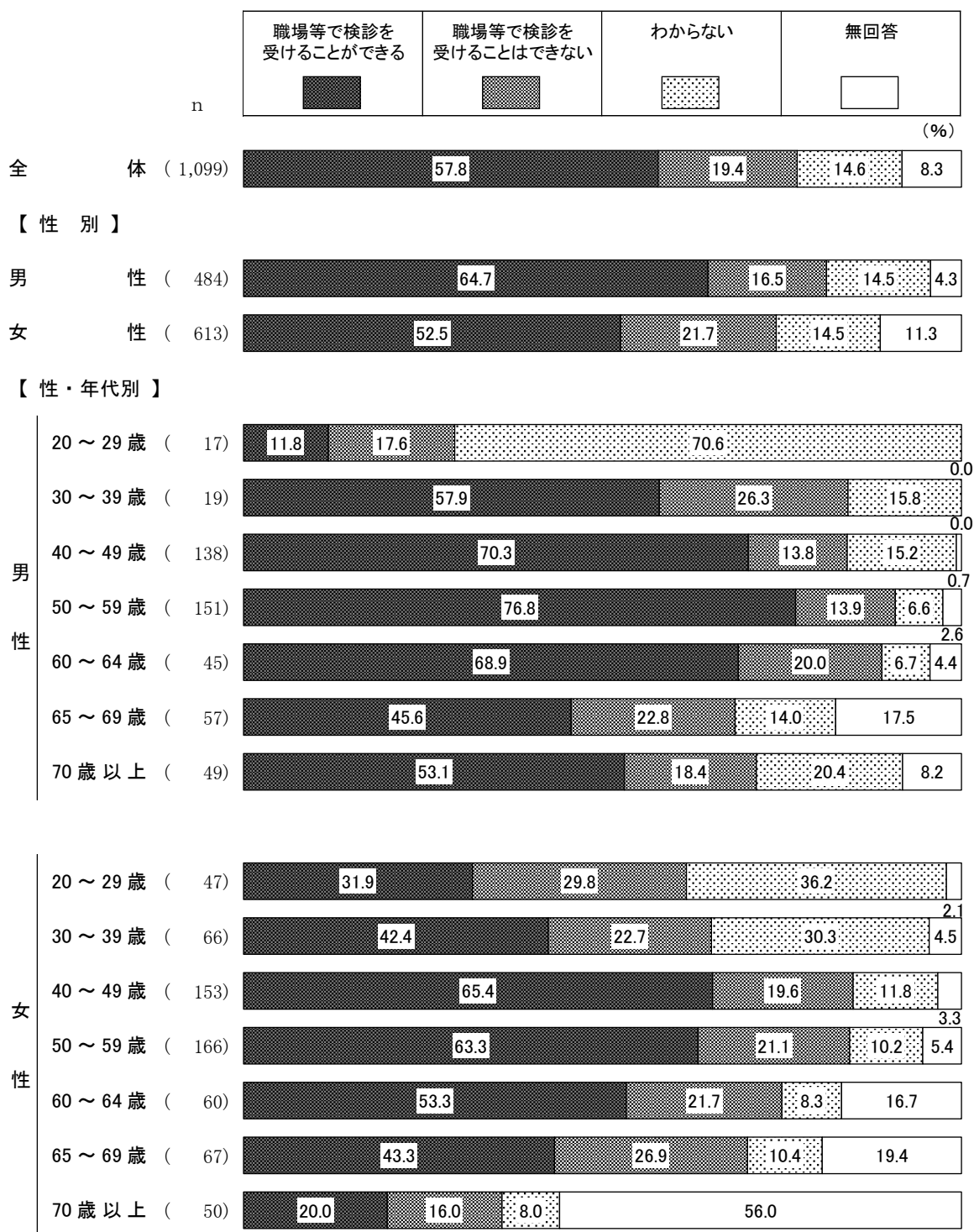


職場等でのがん検診の受診機会の有無をたずねたところ、「職場等で検診を受けることができる」は①肺がん検診（57.8%）、②大腸がん検診（57.1%）がともに6割近く、③胃がん検診（バリウムによる胃のレントゲン検査）（51.3%）が5割を超え、④胃がん検診（内視鏡検査）（30.8%）が約3割となっている。

また、女性については、「職場等で検診を受けることができる」は⑤乳がん検診（45.2%）、⑥子宮頸がん検診（44.0%）がともに4割半ばとなっている。（図4-1-1）

図 4－1－2 職場等でのがん検診の受診機会の有無－性別／性・年代別

①肺がん検診 ＊肺のレントゲン検査

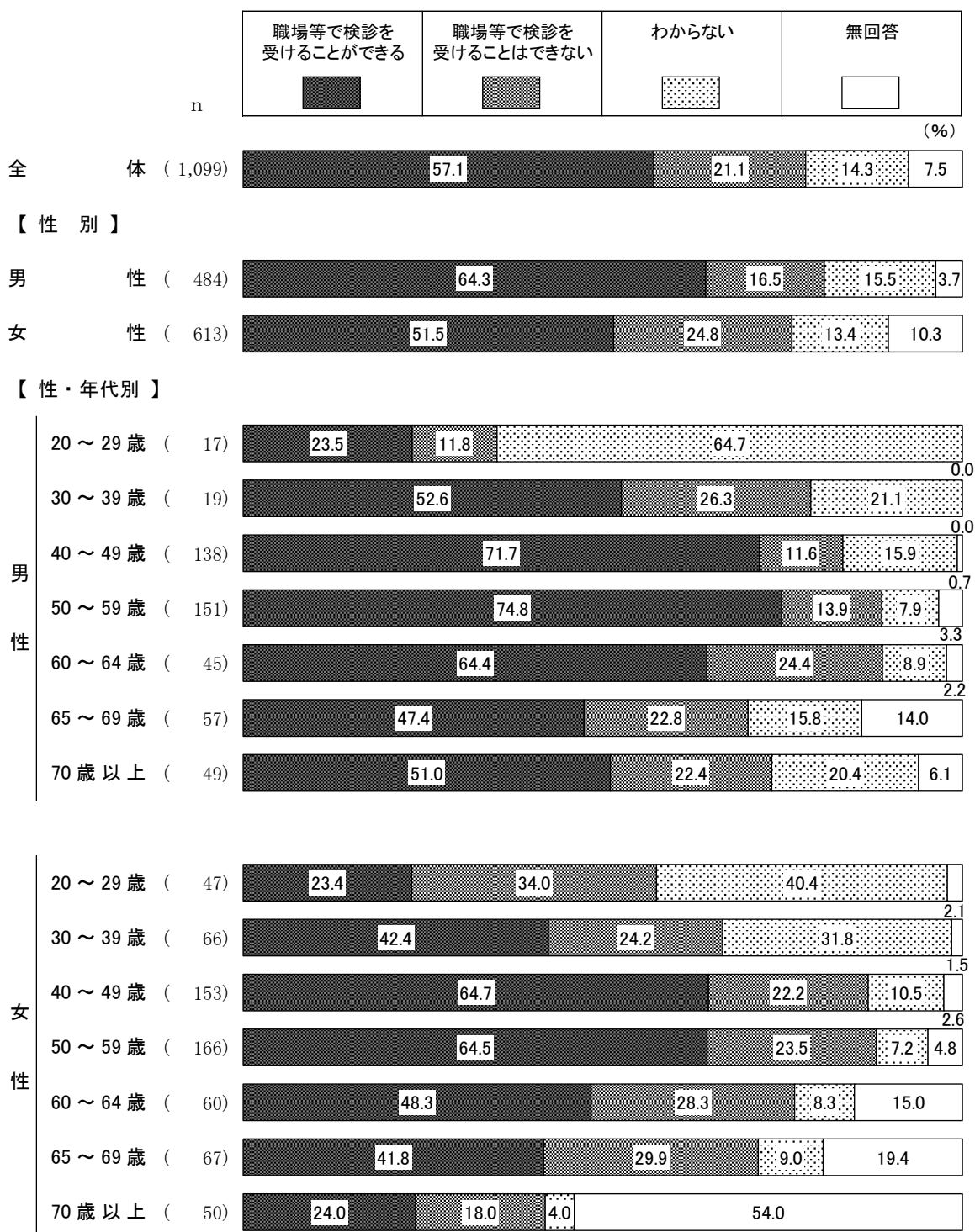


①肺がん検診について、性別にみると、「職場等で検診を受けることができる」は男性のほうが12.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「職場等で検診を受けることができる」は男性50～59歳で7割半ば、男性40～49歳で約7割と多くなっている。（図 4－1－2）

図 4－1－3 職場等でのがん検診の受診機会の有無－性別／性・年代別

②大腸がん検診 * 便潜血検査

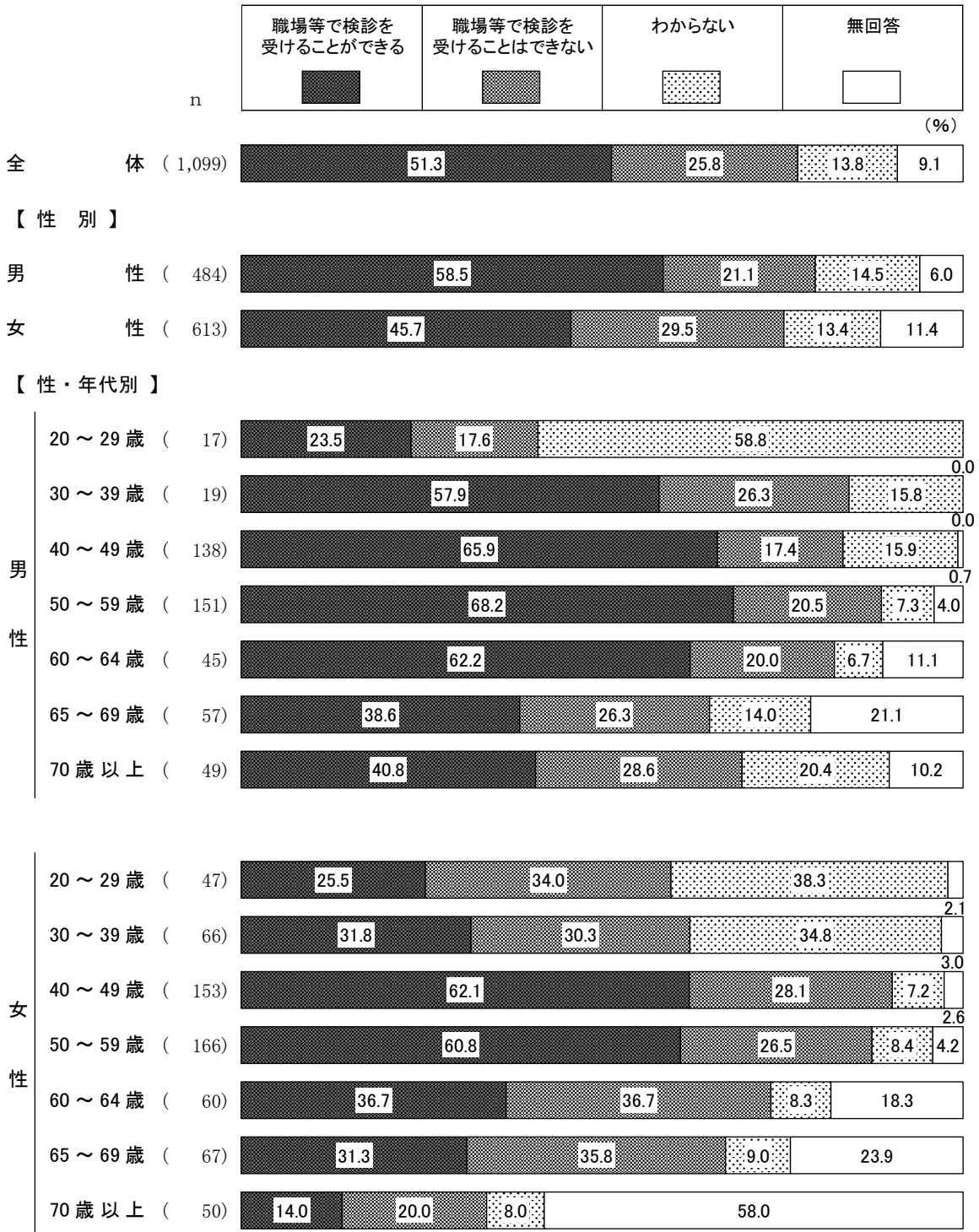


②大腸がん検診について、性別にみると、「職場等で検診を受けることができる」は男性のほうが12.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「職場等で検診を受けることができる」は男性50～59歳で7割半ば、男性40～49歳で7割を超えて多くなっている。(図4－1－3)

図 4－1－4 職場等でのがん検診の受診機会の有無－性別／性・年代別

③胃がん検診 ＊バリウムによる胃のレントゲン検査

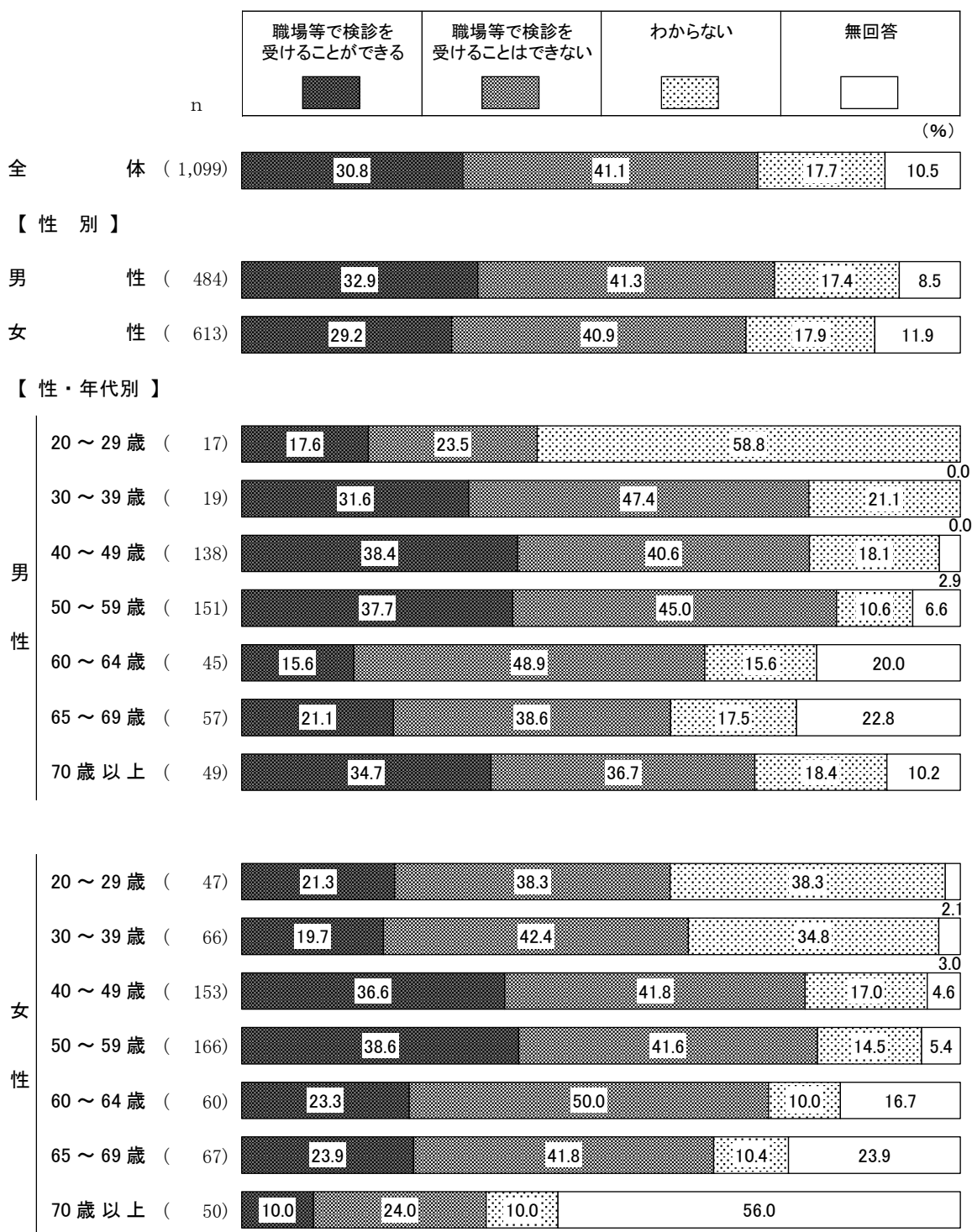


③胃がん検診（バリウムによる胃のレントゲン検査）について、性別にみると、「職場等で検診を受けることができる」は男性のほうが12.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「職場等で検診を受けることができる」は男性50～59歳で7割近く、男性40～49歳で6割半ばと多くなっている。（図4－1－4）

図 4－1－5 職場等でのがん検診の受診機会の有無－性別／性・年代別

④胃がん検診 *内視鏡検査

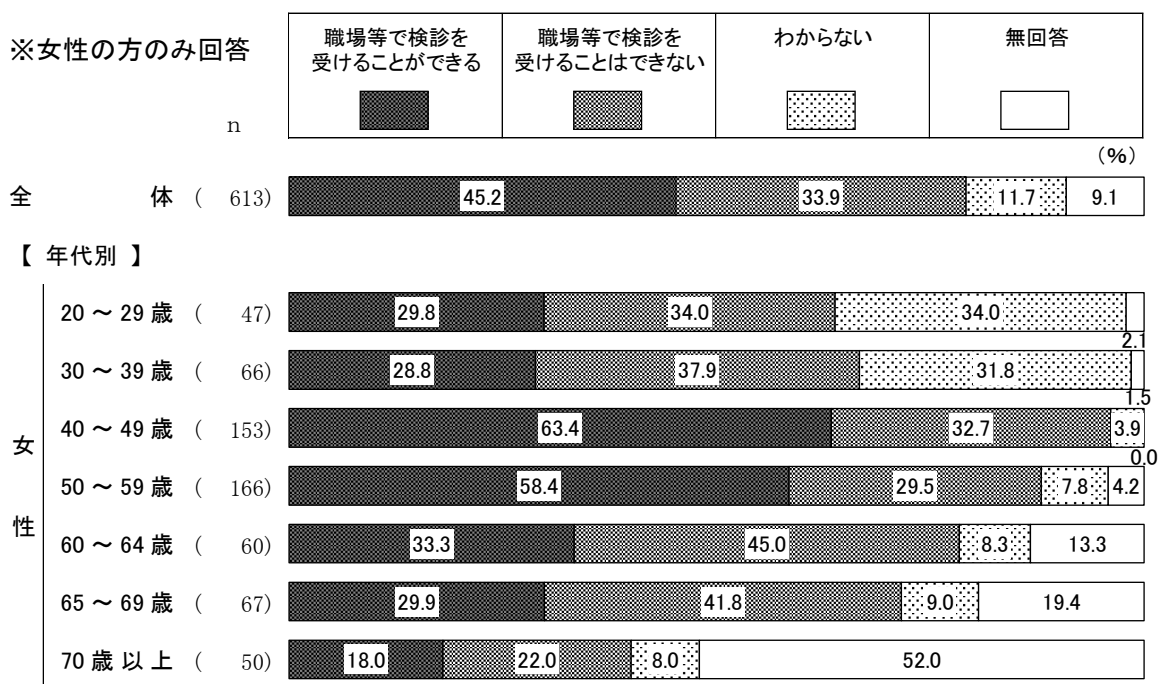


③胃がん検診（内視鏡検査）について、性別にみると、「職場等で検診を受けることができる」は男性のほうが3.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「職場等で検診を受けることができる」は男性40～49歳、男性50～59歳、女性50～59歳で4割近く、女性40～49歳で3割半ばと多くなっている。（図4－1－5）

図４－１－６ 職場等でのがん検診の受診機会の有無－年代別

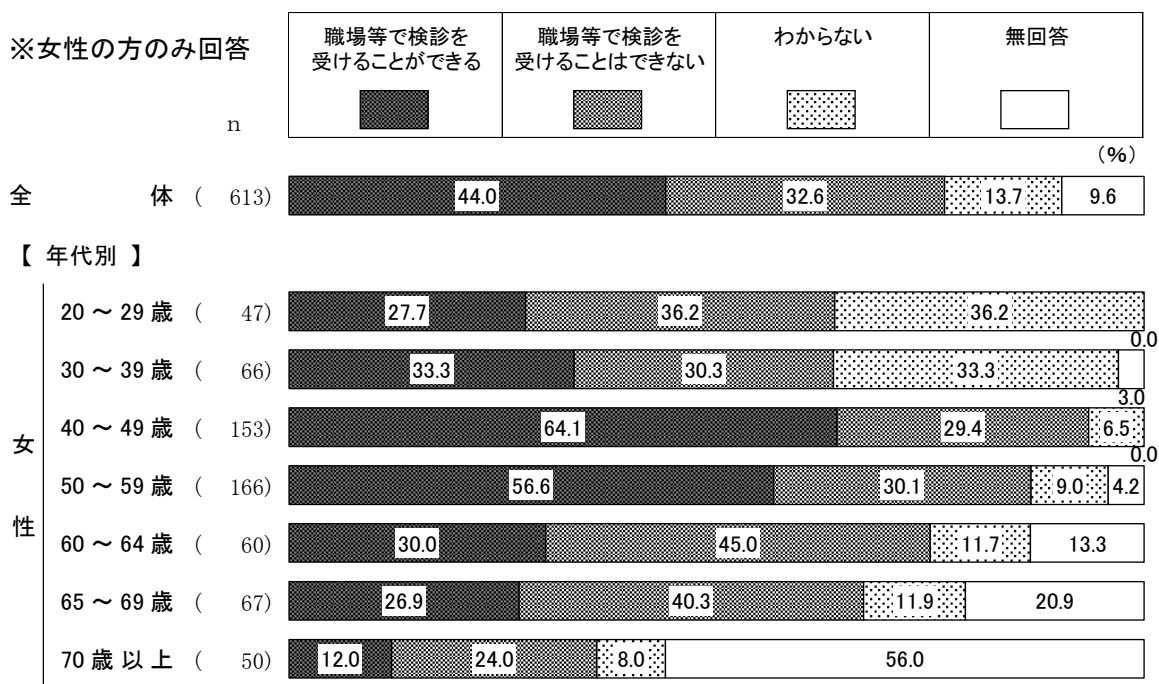
⑤乳がん検診 ＊マンモグラフィ（乳房レントゲン）



⑤乳がん検診について、年代別にみると、「職場等で検診を受けることができる」は女性40～49歳で6割を超えて多くなっている。（図４－１－６）

図４－１－７ 職場等でのがん検診の受診機会の有無－年代別

⑥子宮頸がん検診 ＊子宮の細胞を調べる検査

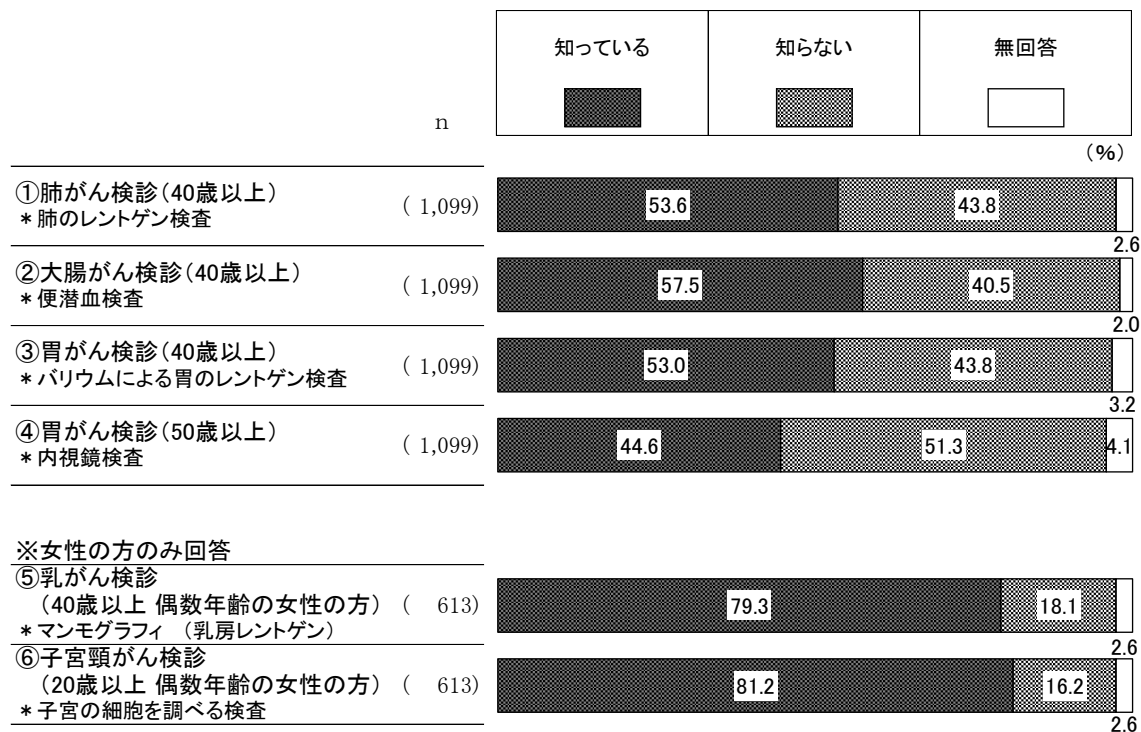


⑥子宮頸がん検診について、年代別にみると、「職場等で検診を受けることができる」は女性40～49歳で6割半ばと多くなっている。（図４－１－７）

(2) 日野市の市民向けがん検診の認知度

問19 日野市が市民向けのがん検診を実施していることをご存知ですか。
 それぞれのがん検診について、あてはまる番号を○で囲んでください。
 (○は1つずつ)

図4-2-1 日野市の市民向けがん検診の認知度

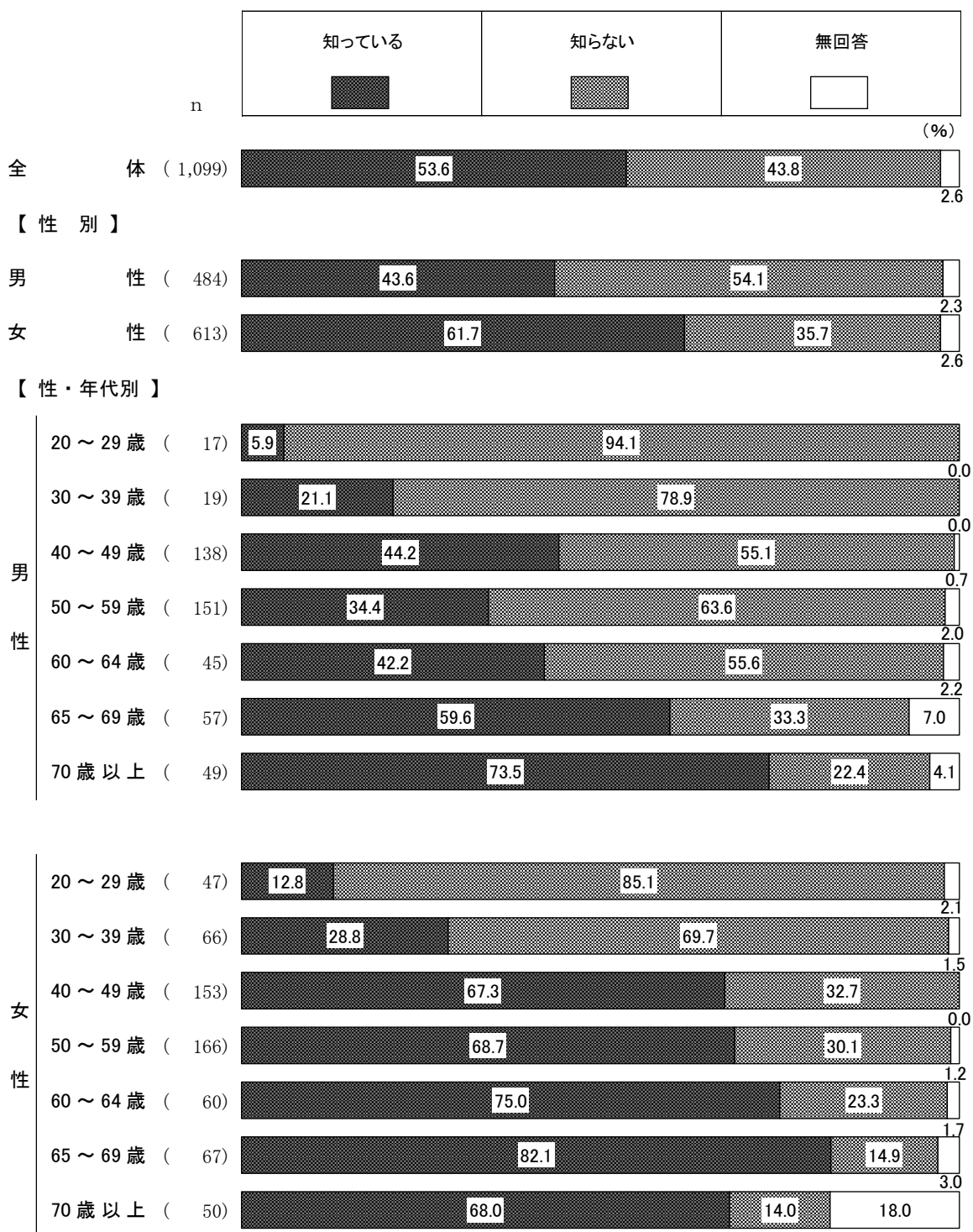


日野市の市民向けがん検診の認知度についてたずねたところ、「知っている」は①肺がん検診(53.6%)、②大腸がん検診(57.5%)、③胃がん検診(バリウムによる胃のレントゲン検査)(53.0%)が5割台、④胃がん検診(内視鏡検査)(44.6%)が4割半ばとなっている。

また、女性については、「知っている」は⑤乳がん検診(79.3%)、⑥子宮頸がん検診(81.2%)が8割前後となっている。(図4-2-1)

図 4 - 2 - 2 日野市の市民向けがん検診の認知度－性別／性・年代別

①肺がん検診（40歳以上）＊肺のレントゲン検査



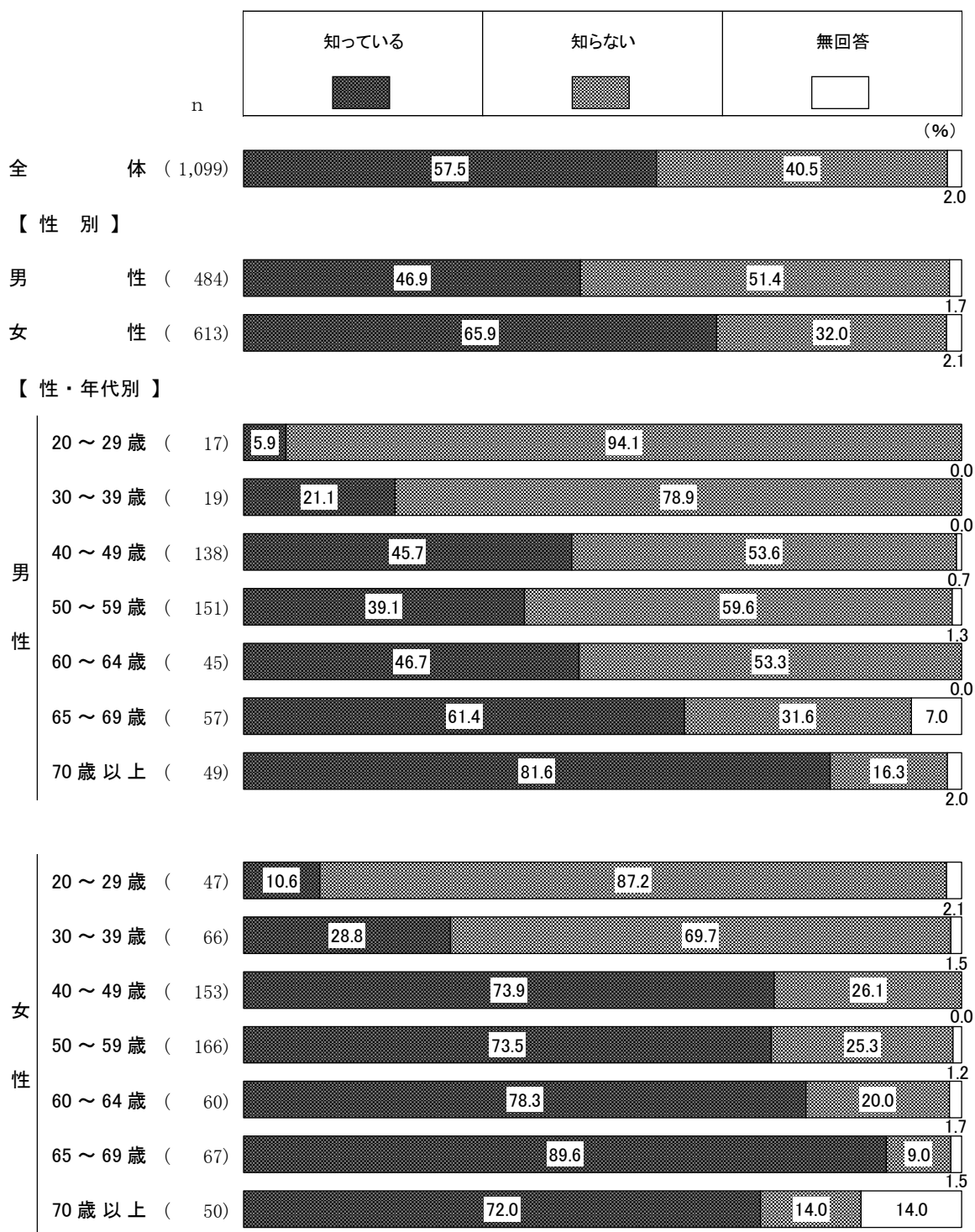
①肺がん検診について、性別にみると、「知っている」は女性のほうが18.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っている」は女性65～69歳で8割を超えて多くなっている。

(図 4 - 2 - 2)

図 4－2－3 日野市の市民向けがん検診の認知度－性別／性・年代別

②大腸がん検診（40歳以上）＊便潜血検査



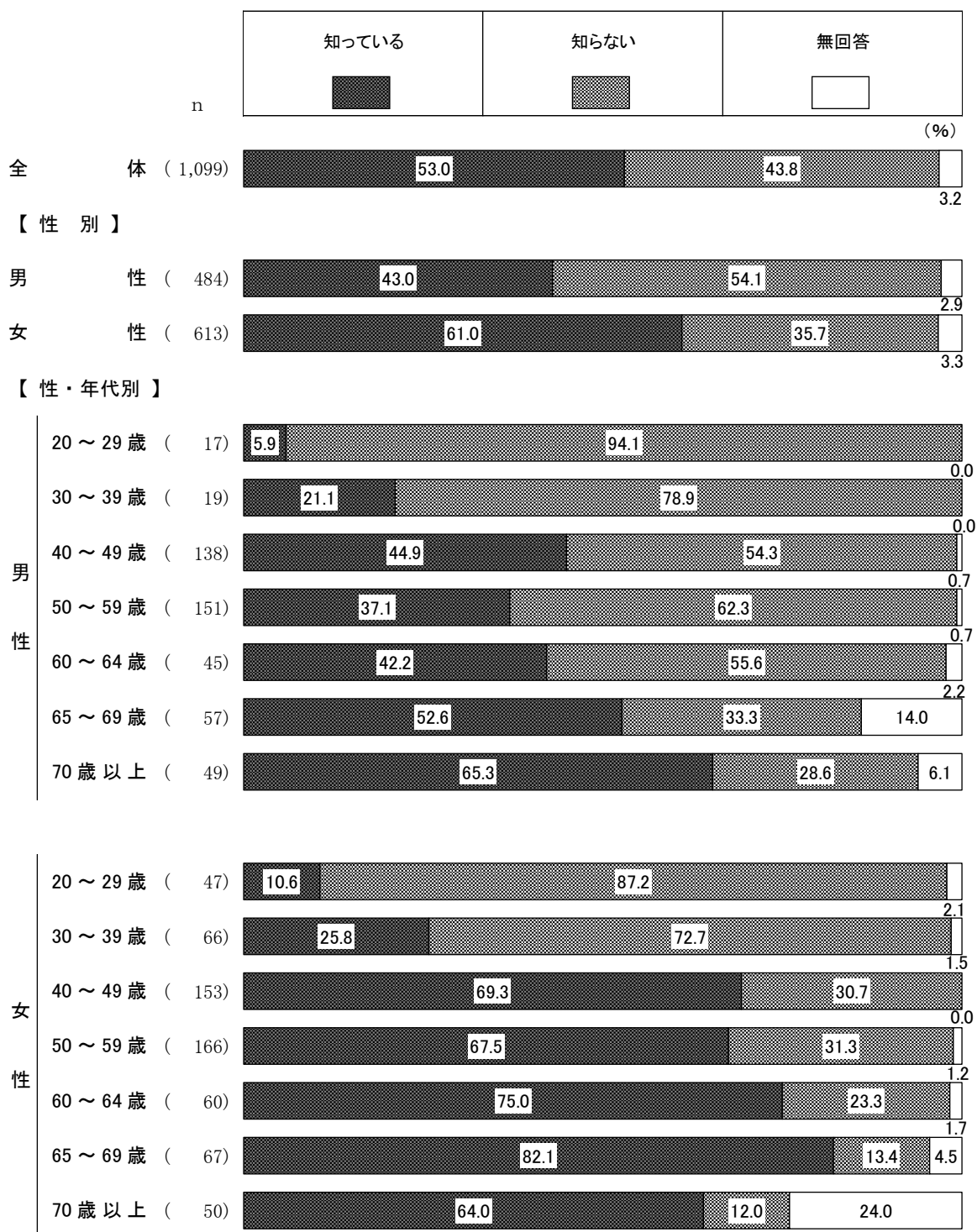
②大腸がん検診について、性別にみると、「知っている」は女性のほうが19.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っている」は女性65～69歳で約9割と多くなっている。

(図 4－2－3)

図 4 - 2 - 4 日野市の市民向けがん検診の認知度－性別／性・年代別

③胃がん検診（40歳以上）＊バリウムによる胃のレントゲン検査



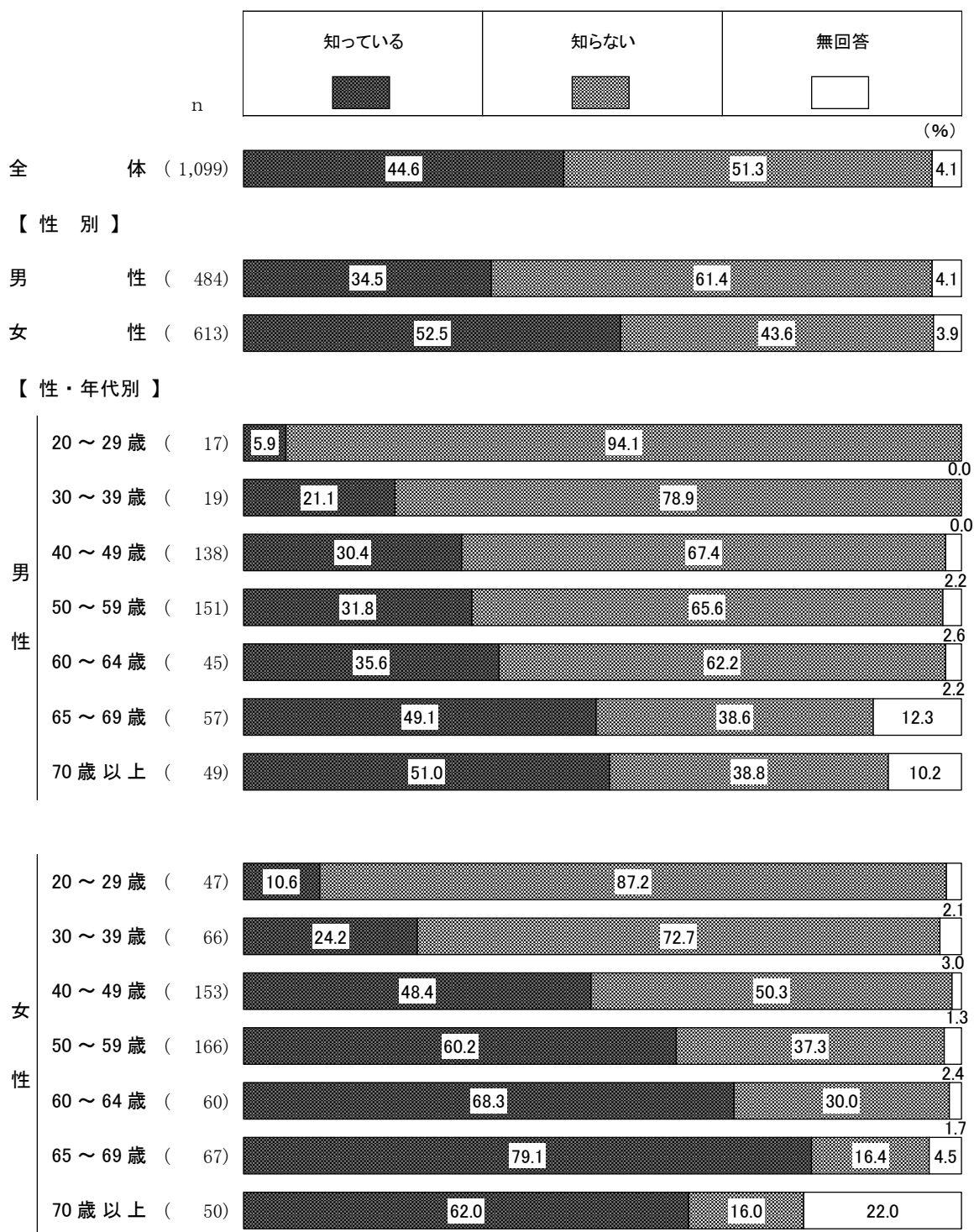
③胃がん検診（バリウムによる胃のレントゲン検査）について、性別にみると、「知っている」は女性のほうが18.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っている」は女性65～69歳で8割を超えて多くなっている。

(図 4 - 2 - 4)

図 4 - 2 - 5 日野市の市民向けがん検診の認知度－性別／性・年代別

④胃がん検診（50歳以上）＊内視鏡検査



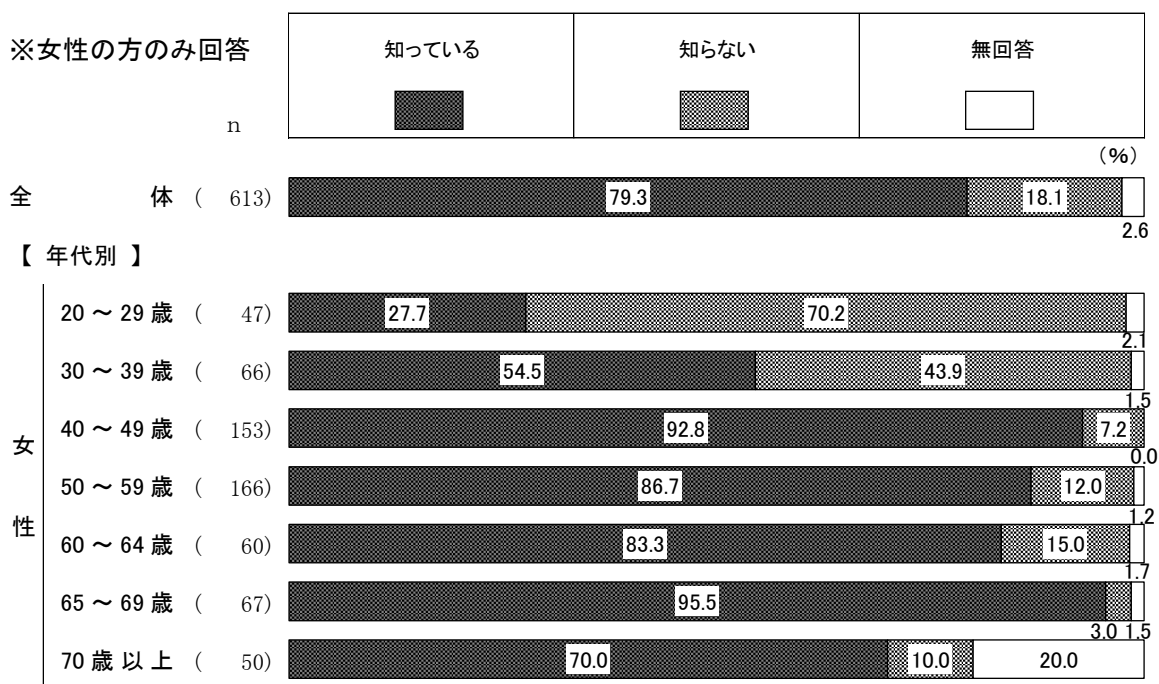
④胃がん検診（内視鏡検査）について、性別にみると、「知っている」は女性のほうが18.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「知っている」は女性65～69歳で約8割と多くなっている。

(図 4 - 2 - 5)

図４－２－６ 日野市の市民向けがん検診の認知度－性別／性・年代別

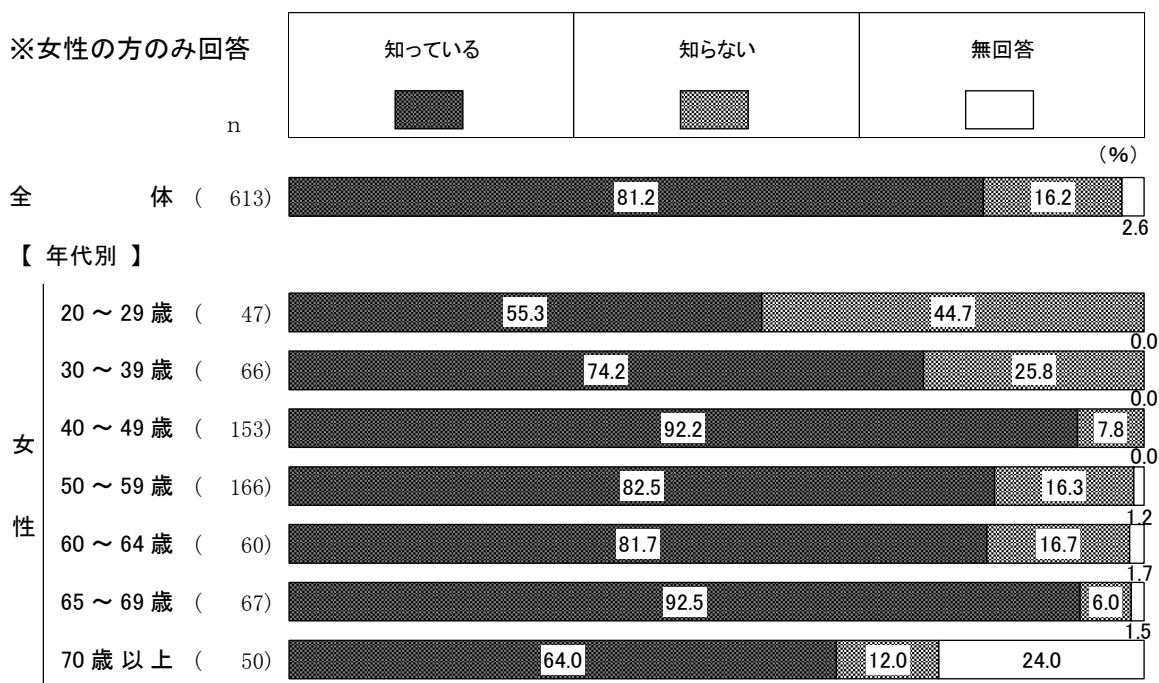
⑤乳がん検診（40歳以上 偶数年齢の女性の方）＊マンモグラフィ（乳房レントゲン）



⑤乳がん検診について、年代別にみると、「知っている」は女性40～49歳、女性65～69歳で9割台と多くなっている。（図４－２－６）

図４－２－７ 日野市の市民向けがん検診の認知度－性別／性・年代別

⑥子宮頸がん検診（20歳以上 偶数年齢の女性の方）＊子宮の細胞を調べる検査

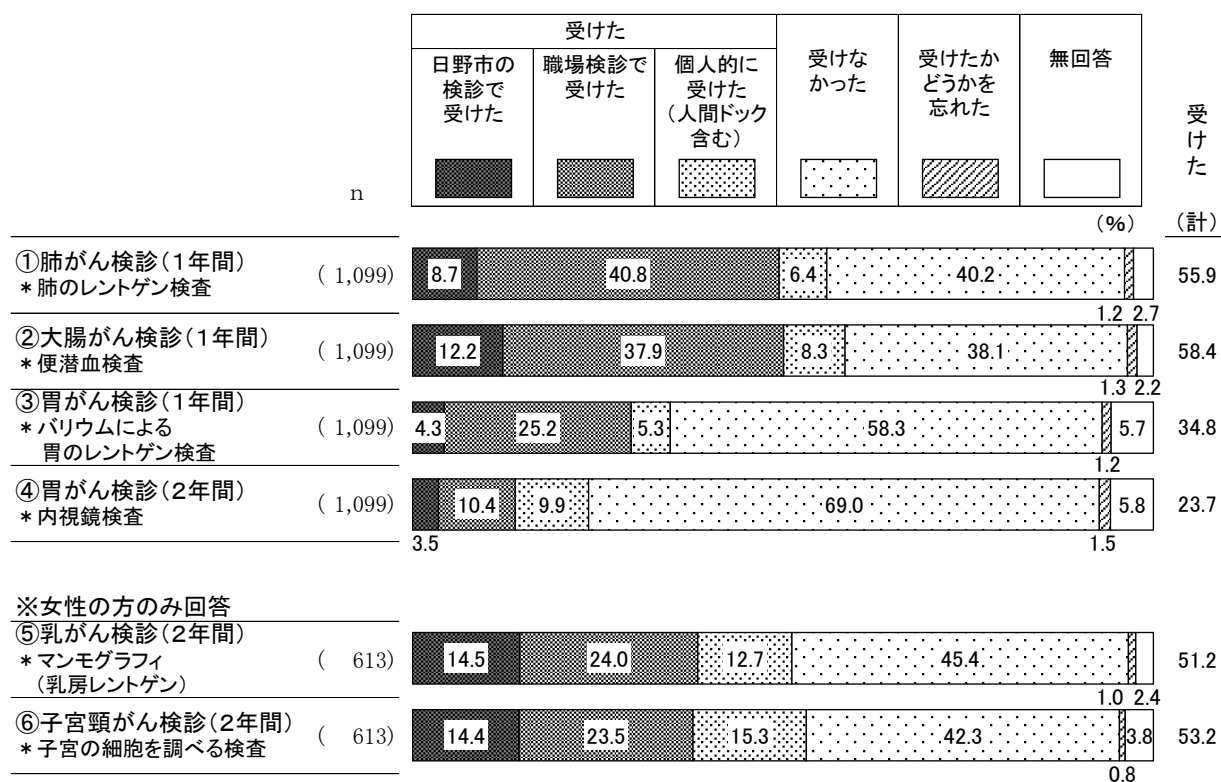


⑥子宮頸がん検診について、年代別にみると、「知っている」は女性40～49歳、女性65～69歳で9割台と多くなっている。（図４－２－７）

(3) がん検診の受診有無

問20 あなたは、この1年間または2年間、下記のがん検診を受けましたか。
 それぞれのがん検診についてあてはまる選択肢を選び、番号を○で囲んでください。
 *ここでは市のがん検診や職場、人間ドックなどで受けたがん検診についてご回答
 ください（再検査・精密検査・症状があり受診した場合は除く）。

図4-3-1 がん検診の受診有無

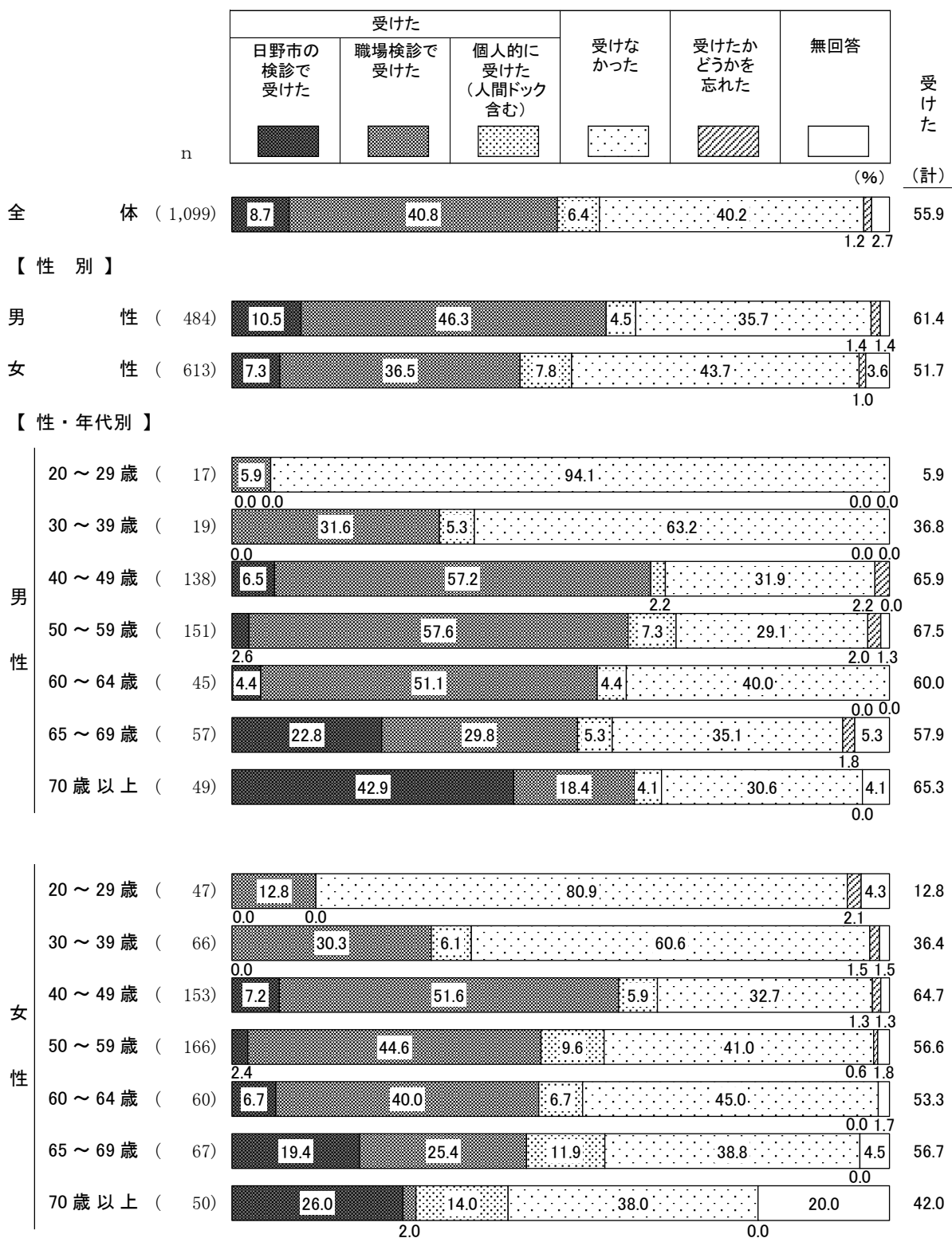


この1年間または2年間のがん検診の受診の有無についてたずねたところ、「日野市の検診で受けた」は①肺がん検診(8.7%)が1割未満、②大腸がん検診(12.2%)が1割台、③胃がん検診(バリウムによる胃のレントゲン検査)(4.3%)、④胃がん検診(3.5%)が1割未満となっている。「日野市の検診で受けた」「職場検診で受けた」「個人的に受けた(人間ドック含む)」を合わせた『受けた(計)』は①肺がん検診(55.9%)が5割半ば、②大腸がん検診(58.4%)が6割近く、③胃がん検診(バリウムによる胃のレントゲン検査)(34.8%)が3割半ば、④胃がん検診(内視鏡検査)(23.7%)が2割台となっている。

また、女性については、「日野市の検診で受けた」は、⑤乳がん検診(14.5%)、⑥子宮頸がん検診(14.4%)がともに1割半ばとなっている。『受けた(計)』は⑤乳がん検診(51.2%)、⑥子宮頸がん検診(53.2%)がともに5割を超えている。(図4-3-1)

図 4-3-2 がん検診の受診有無－性別／性・年代別

①肺がん検診（１年間）＊肺のレントゲン検査

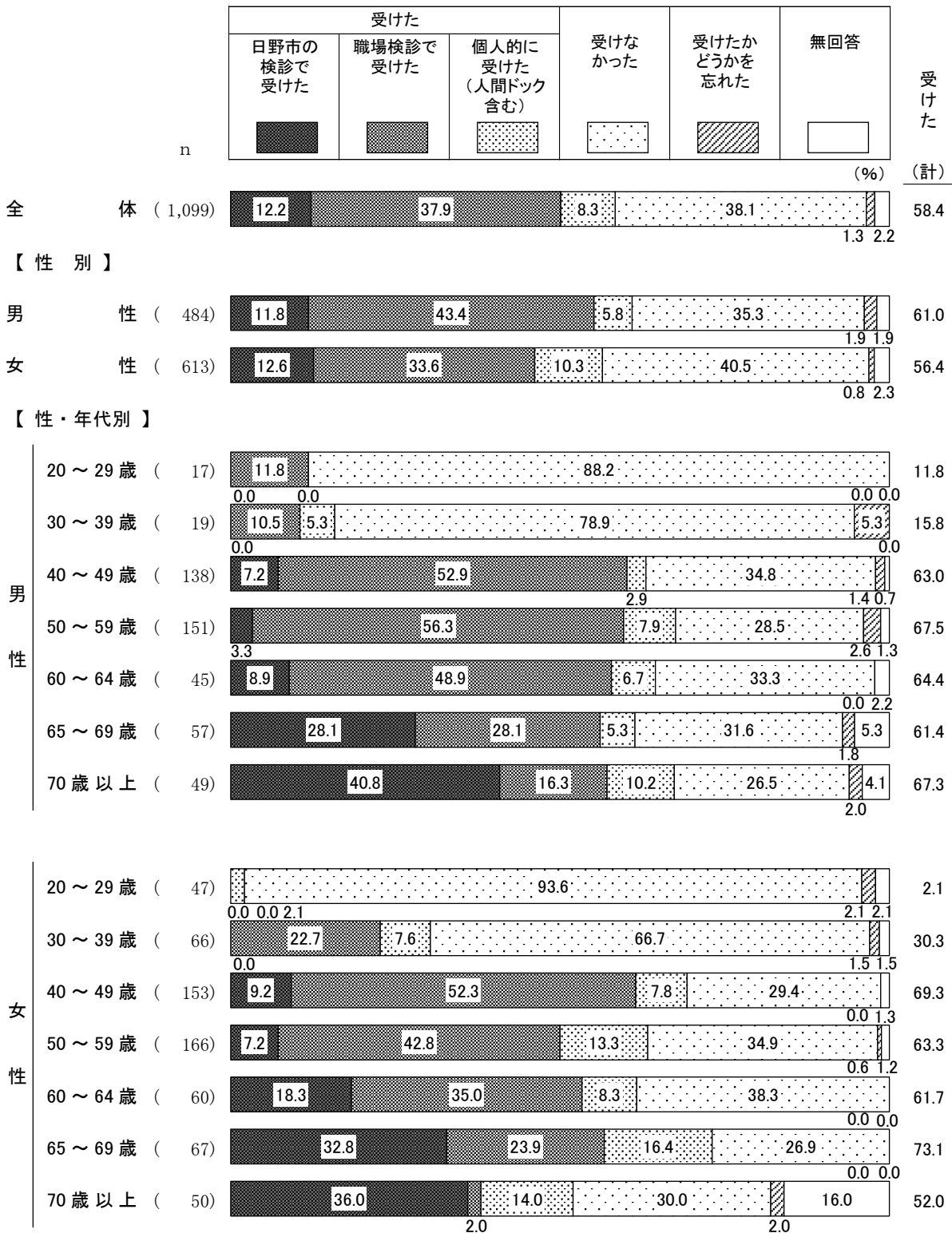


①肺がん検診について、性別にみると、『受けた（計）』は男性のほうが9.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『受けた（計）』は男性50～59歳で7割近く、男性40～49歳、女性40～49歳で6割半ばと多くなっている。（図4-3-2）

図４－３－３ がん検診の受診有無－性別／性・年代別

②大腸がん検診（１年間）＊便潜血検査



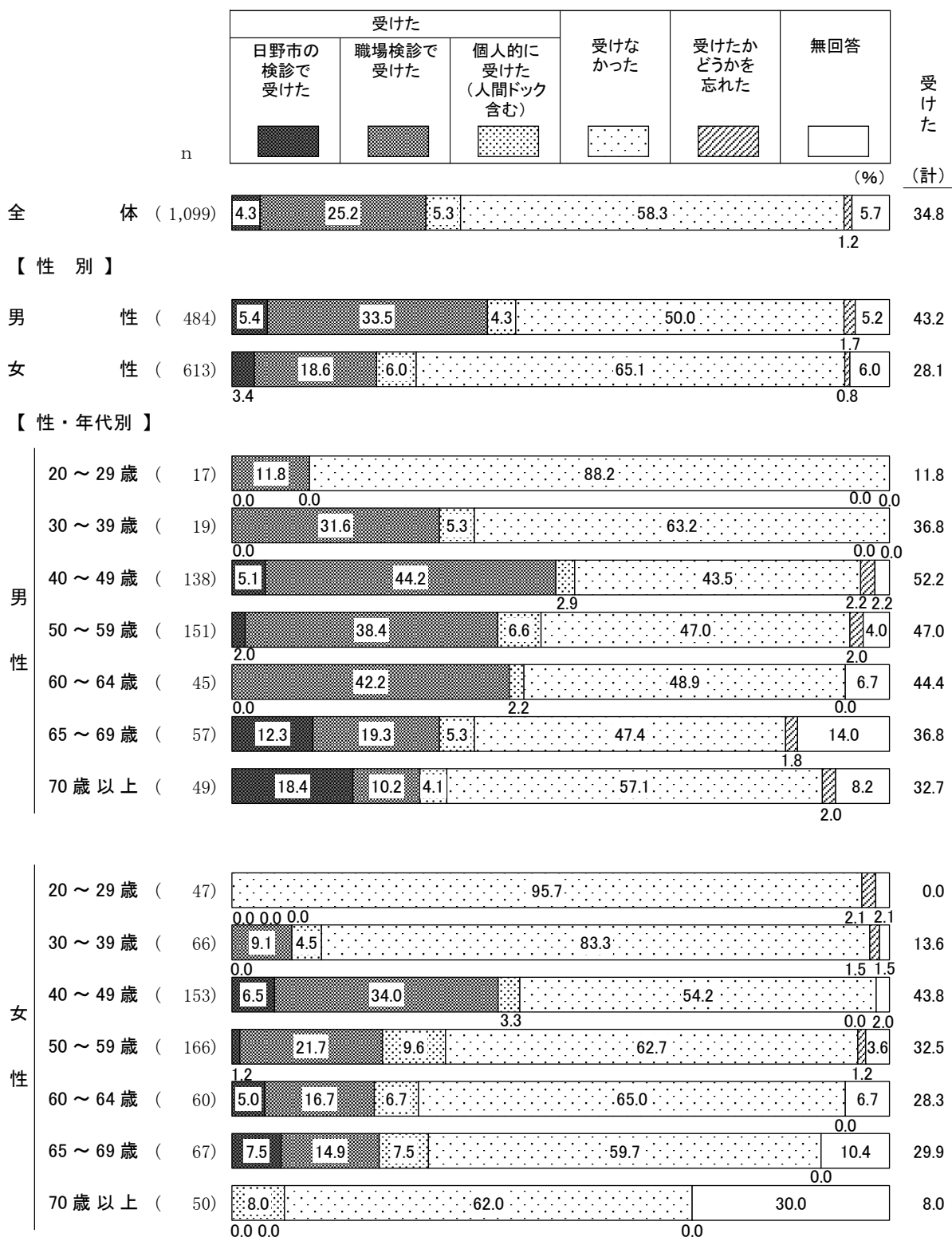
②大腸がん検診について、性別にみると、『受けた（計）』は男性のほうが4.6ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『受けた（計）』は女性65～69歳で7割を超えて多くなっている。

(図４－３－３)

図 4-3-4 がん検診の受診有無－性別／性・年代別

③胃がん検診（１年間）＊バリウムによる胃のレントゲン検査

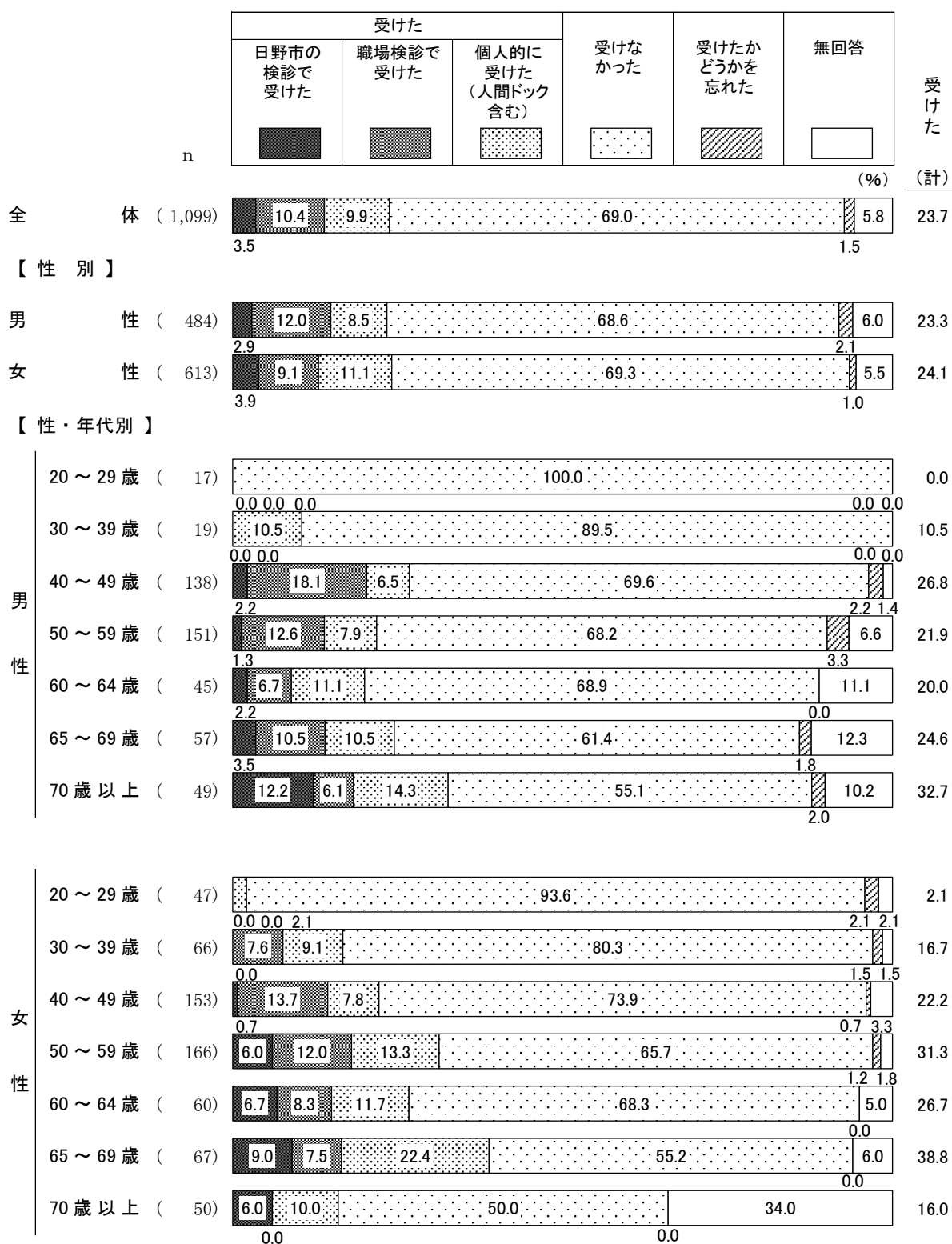


③胃がん検診（バリウムによる胃のレントゲン検査）について、性別にみると、『受けた（計）』は男性のほうが15.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『受けた（計）』は男性40～49歳で5割を超え、男性50～59歳で5割近くと多くなっている。（図4-3-4）

図 4 - 3 - 5 がん検診の受診有無－性別／性・年代別

④胃がん検診（１年間）＊内視鏡検査



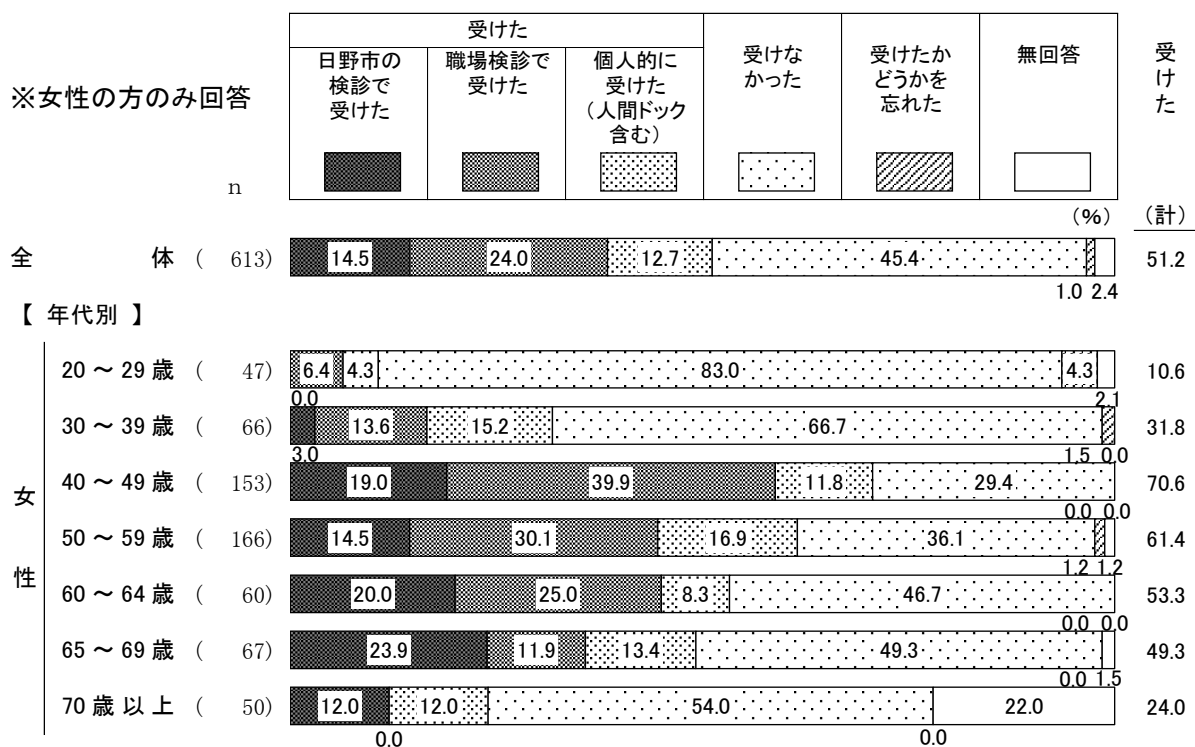
③胃がん検診（内視鏡検査）について、性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、『受けた（計）』は女性65～69歳で4割近くと多くなっている。

(図 4 - 3 - 5)

図 4-3-6 がん検診の受診有無一年代別

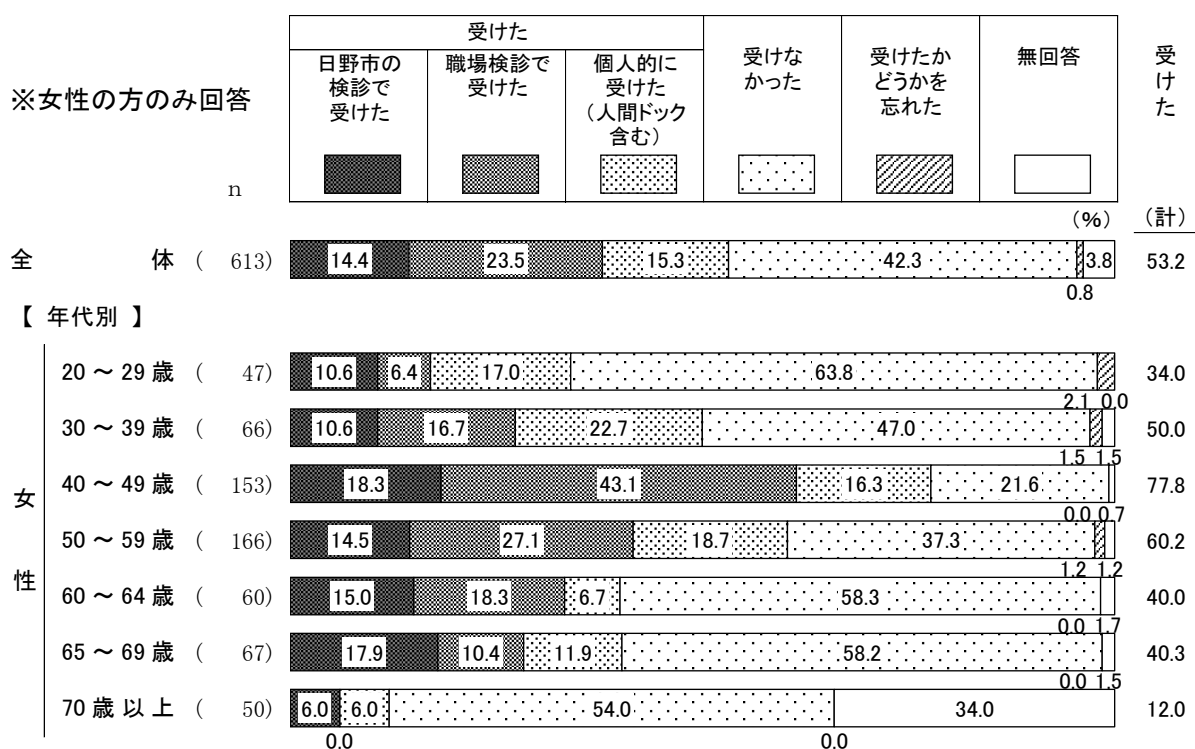
⑤乳がん検診（２年間）＊マンモグラフィ（乳房レントゲン）



⑤乳がん検診について、年代別にみると、『受けた（計）』は女性40～49歳で約7割と多くなっている。（図4-3-6）

図 4-3-7 がん検診の受診有無一年代別

⑥子宮頸がん検診（２年間）＊子宮の細胞を調べる検査



⑥子宮頸がん検診について、年代別にみると、『受けた（計）』は女性40～49歳で8割近くと多くなっている。（図4-3-7）

(3-1) がん検診を受診した理由

【問20①②③④⑤⑥のいずれかのがん検診を「1～3(受けた)」と回答した方に】

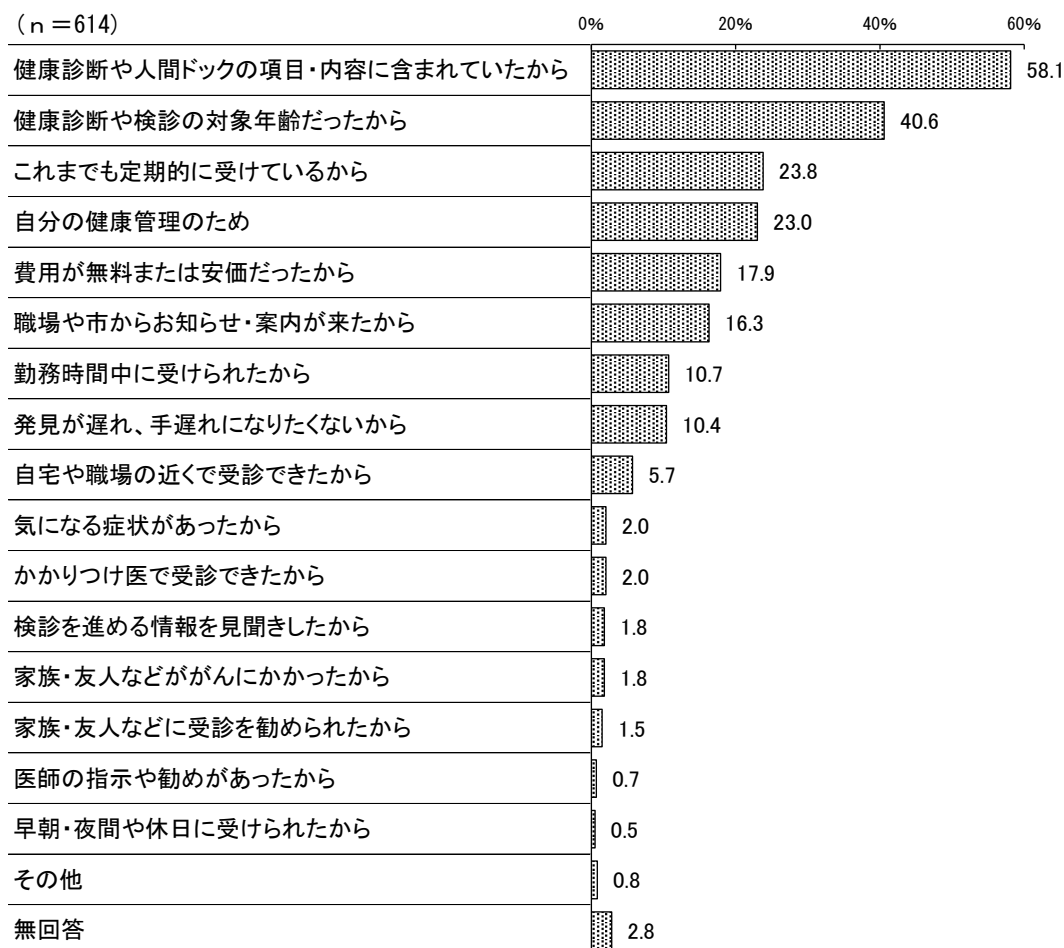
問20-1 がん検診を受けた方へおたずねします。

がん検診を受けた理由はなんですか。(○はいくつでも)

* 問20①②③④⑤⑥で「1～3(受けた)」と回答された検診・検査についてお答えください。

図4-3-8 がん検診を受診した理由

①肺がん検診 * 肺のレントゲン検査

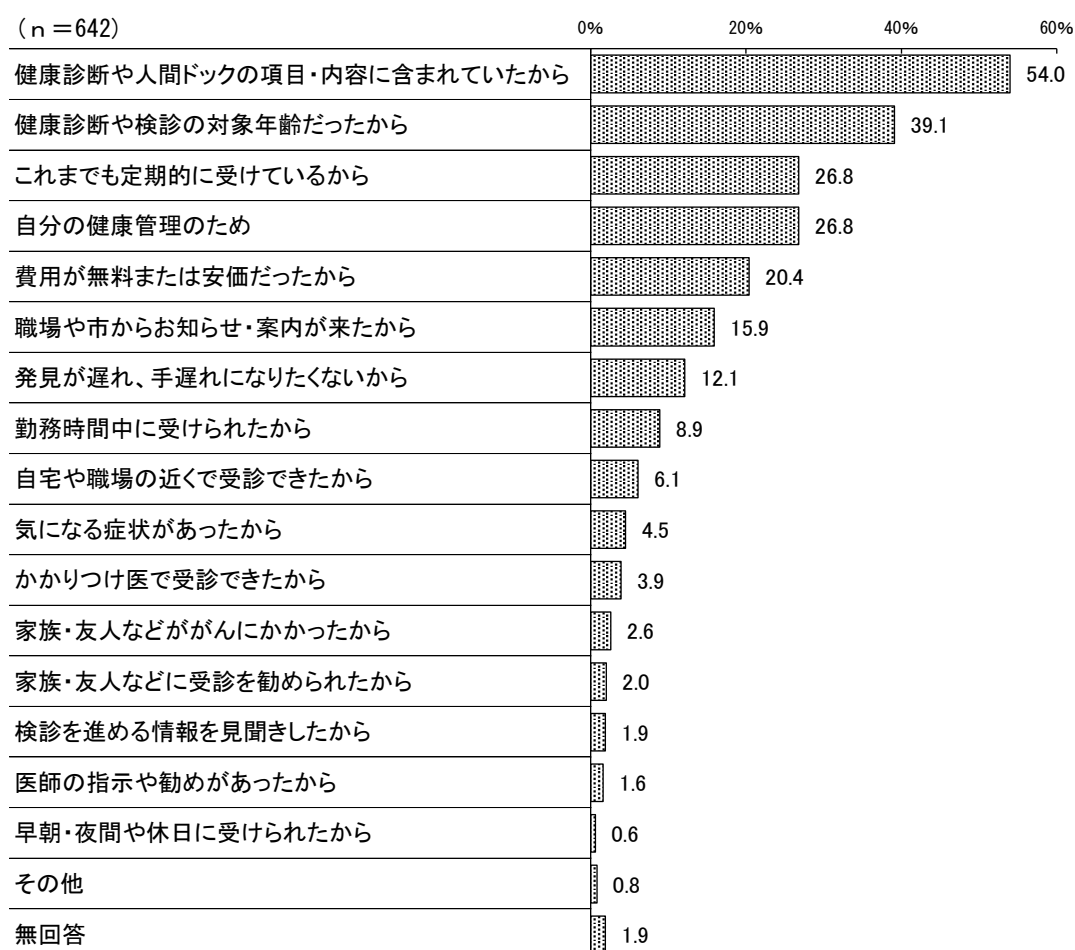


①肺がん検診を「受けた」と答えた方(614人)に検診を受診した理由をたずねたところ、「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」(58.1%)が6割近くと最も多く、次いで「健康診断や検診の対象年齢だったから」(40.6%)、「これまでも定期的に受けているから」(23.8%)、「自分の健康管理のため」(23.0%)などの順となっている。

(図4-3-8)

図 4－3－9 がん検診を受診した理由

②大腸がん検診 ＊便潜血検査

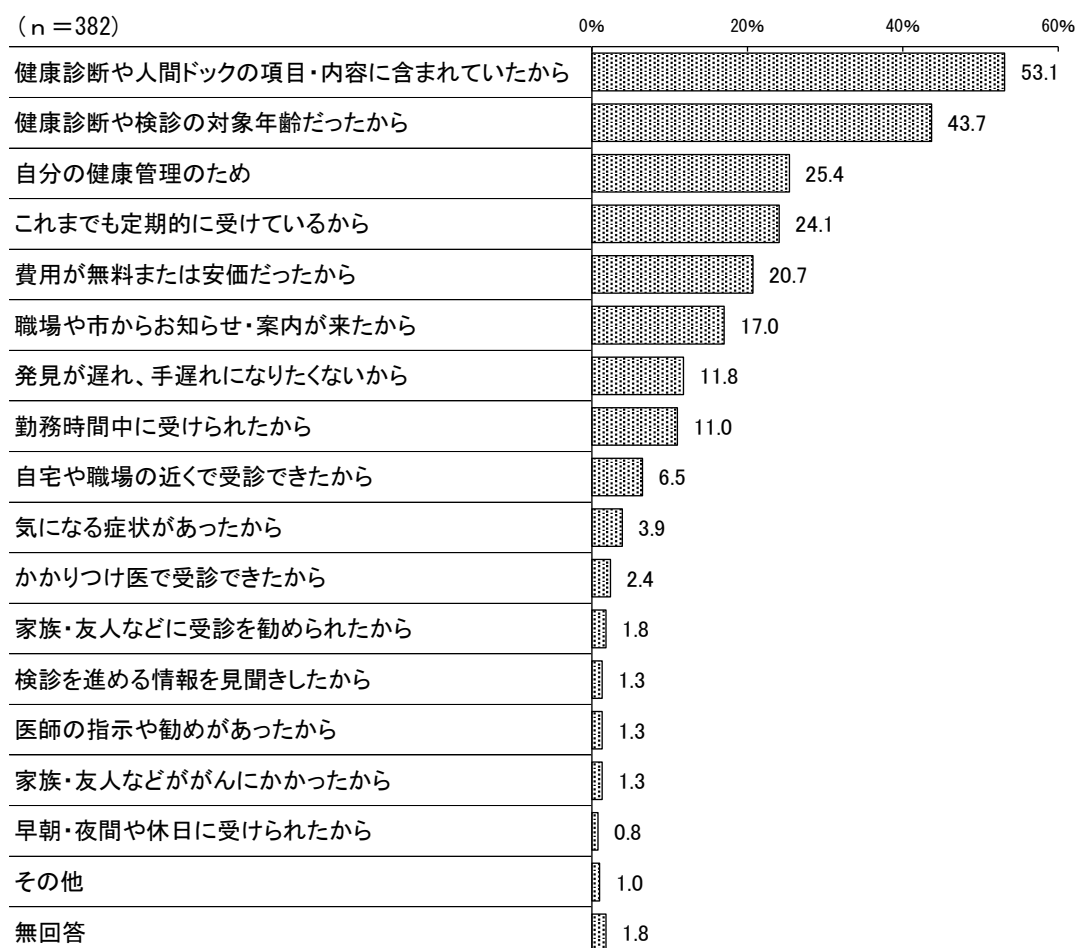


②大腸がん検診を「受けた」と答えた方（642人）に検診を受診した理由をたずねたところ、「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」（54.0%）が5割半ばと最も多く、次いで「健康診断や検診の対象年齢だったから」（39.1%）、「これまでも定期的に受けているから」、「自分の健康管理のため」（ともに26.8%）などの順となっている。

（図 4－3－9）

図 4－3－10 がん検診を受診した理由

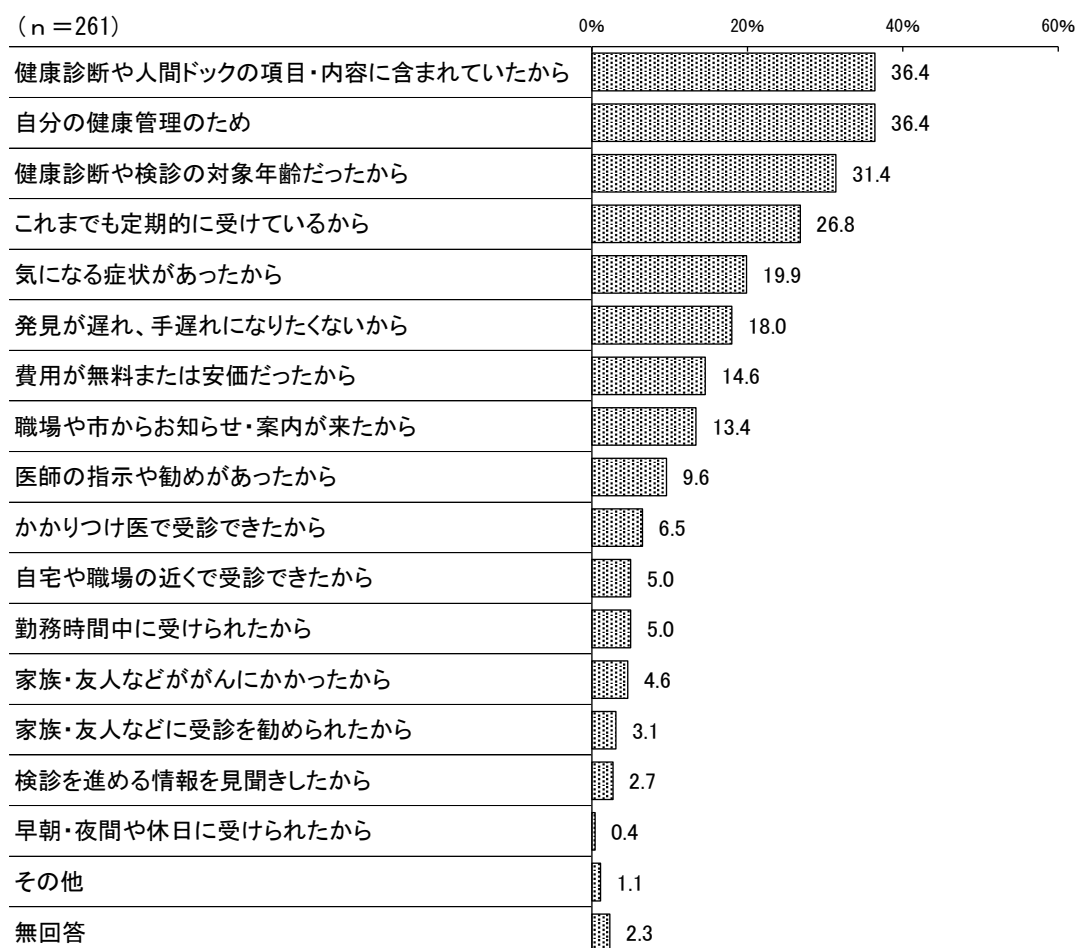
③胃がん検診 ＊バリウムによる胃のレントゲン検査



③胃がん検診（バリウムによる胃のレントゲン検査）を「受けた」と答えた方（382人）に検診を受診した理由をたずねたところ、「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」（53.1%）が5割を超えて最も多く、次いで「健康診断や検診の対象年齢だったから」（43.7%）、「自分の健康管理のため」（25.4%）、「これまでも定期的に受けているから」（24.1%）などの順となっている。（図 4－3－10）

図 4－3－11 がん検診を受診した理由

④胃がん検診 * 内視鏡検査



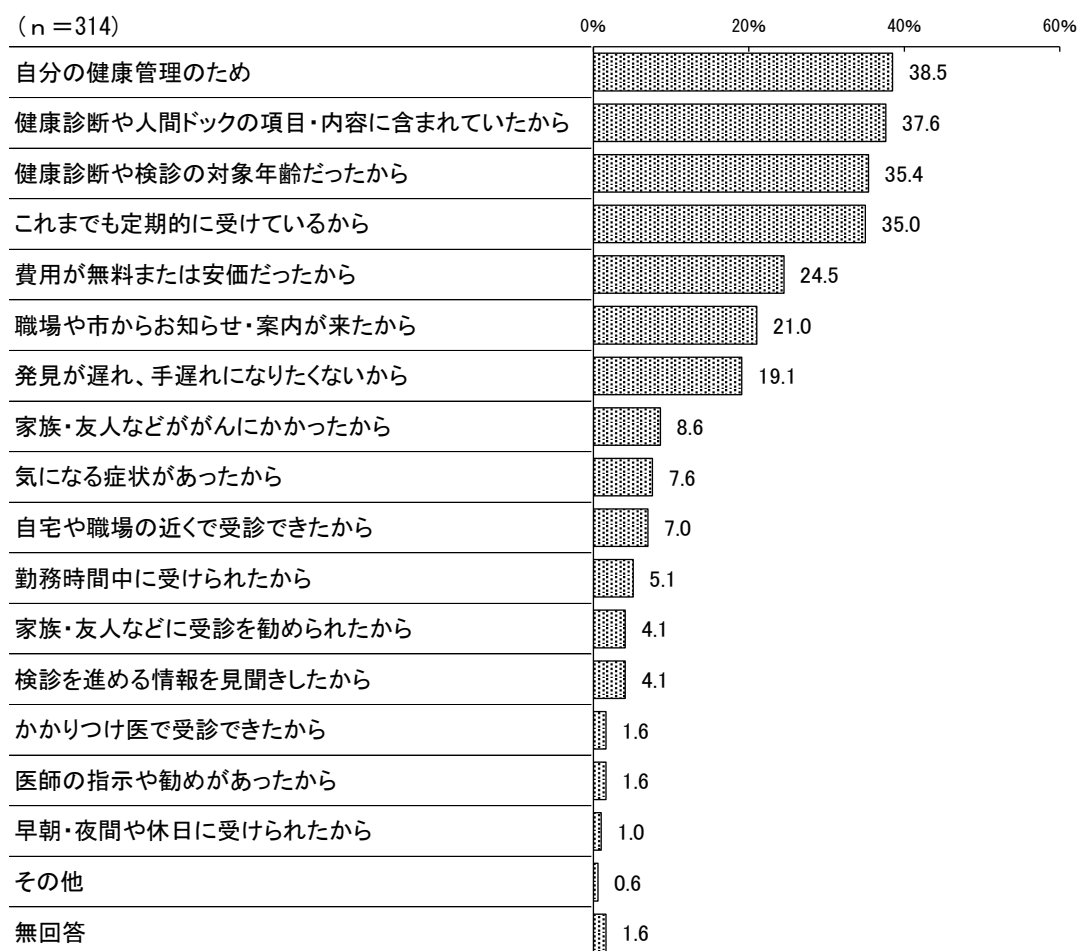
④胃がん検診（内視鏡検査）を「受けた」と答えた方（261人）に検診を受診した理由をたずねたところ、「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」、「自分の健康管理のため」（ともに36.4%）が3割半ばと最も多く、次いで「健康診断や検診の対象年齢だったから」（31.4%）、「自これまでも定期的に受けているから」（26.8%）などの順となっている。

（図 4－3－11）

図 4－3－12 がん検診を受診した理由

※女性の方のみ回答

⑤乳がん検診 * マンモグラフィ（乳房レントゲン）



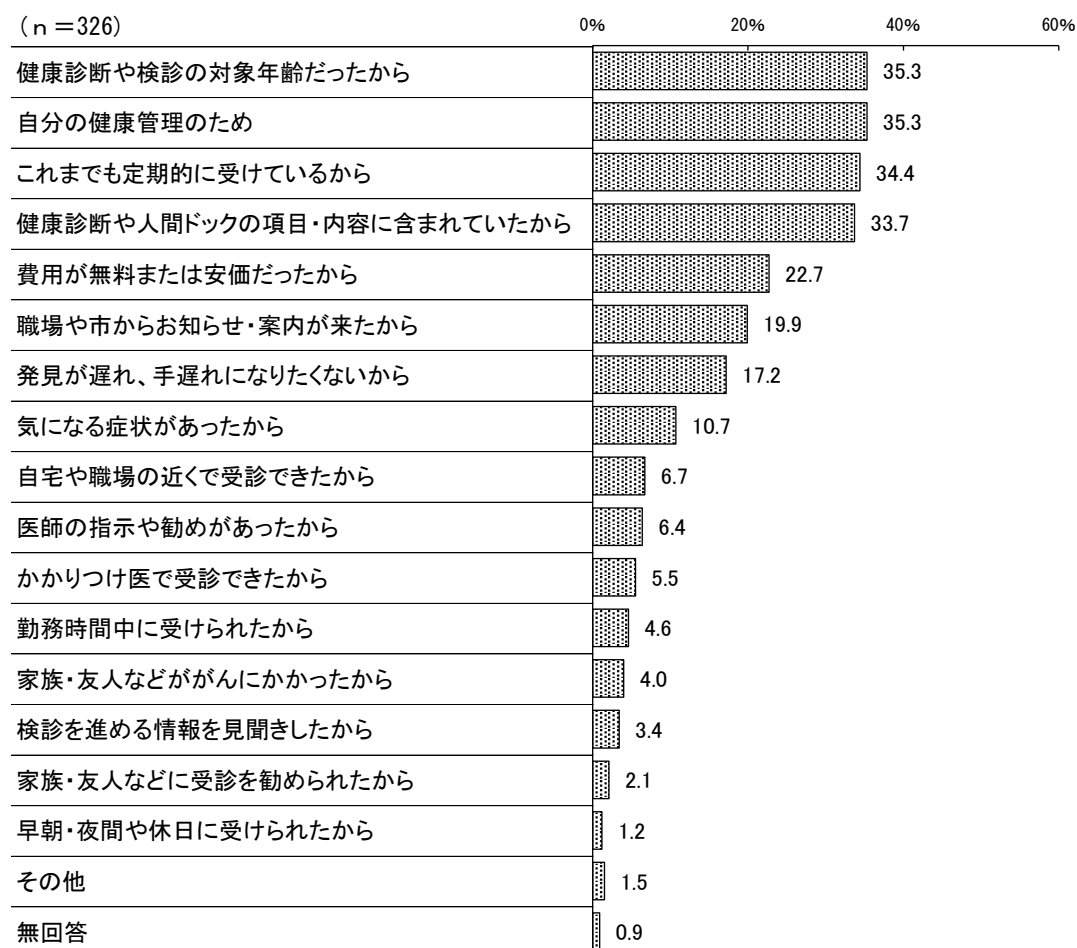
⑤乳がん検診を「受けた」と答えた方（314人）に検診を受診した理由をたずねたところ、「自分の健康管理のため」（38.5%）が4割近くと最も多く、次いで「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」（37.6%）、「健康診断や検診の対象年齢だったから」（35.4%）、「これまでも定期的に受けているから」（35.0%）などの順となっている。

（図 4－3－12）

図 4 - 3 - 13 がん検診を受診した理由

※女性の方のみ回答

⑥子宮頸がん検診 * 子宮の細胞を調べる検査

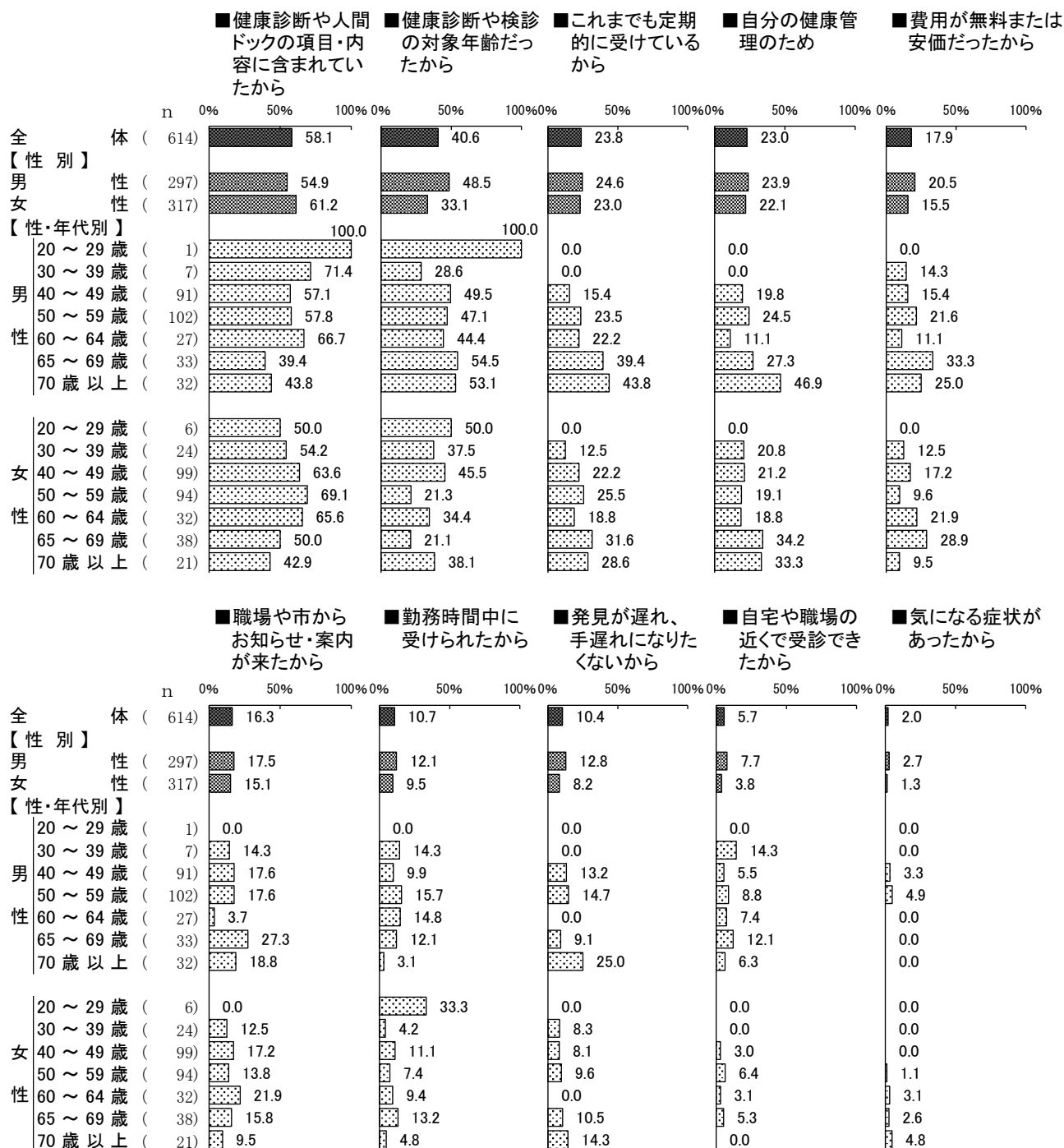


⑥子宮頸がん検診を「受けた」と答えた方（326人）に検診を受診した理由をたずねたところ、「健康診断や検診の対象年齢だったから」、「自分の健康管理のため」（ともに35.3%）が3割半ばと最も多く、次いで「これまでも定期的に受けているから」（34.4%）、「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」（33.7%）などの順となっている。

(図 4 - 3 - 13)

図 4-3-14 がん検診を受診した理由【上位10項目】－性別／性・年代別

①肺がん検診 * 肺のレントゲン検査

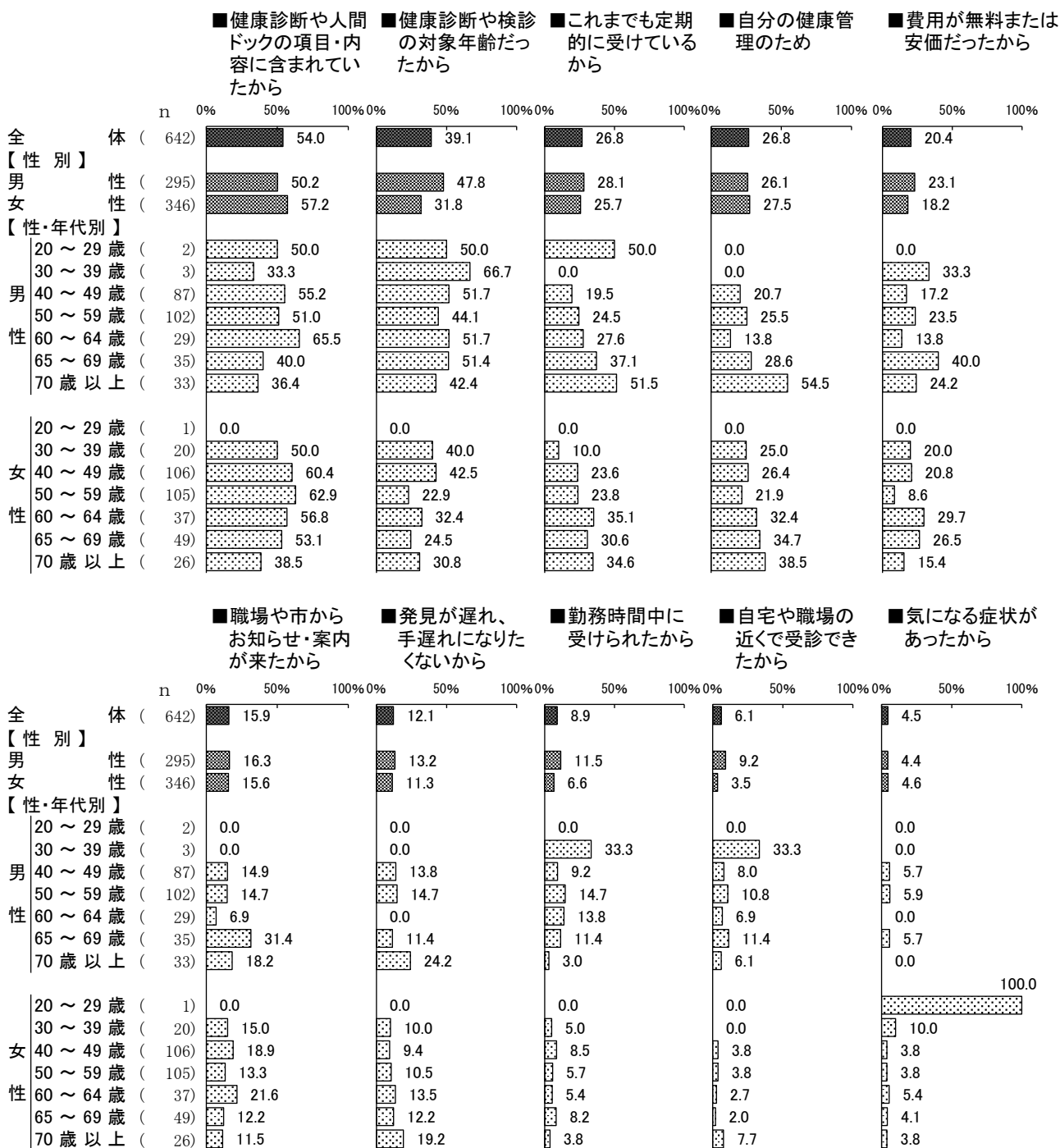


①肺がん検診について、性別にみると、男性のほうは「健康診断や検診の対象年齢だったから」で15.4ポイント、「費用が無料または安価だったから」で5.0ポイント高くなっている。一方、女性のほうは「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」で6.3ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。(図4-3-14)

図 4-3-15 がん検診を受診した理由【上位10項目】－性別／性・年代別

②大腸がん検診 * 便潜血検査

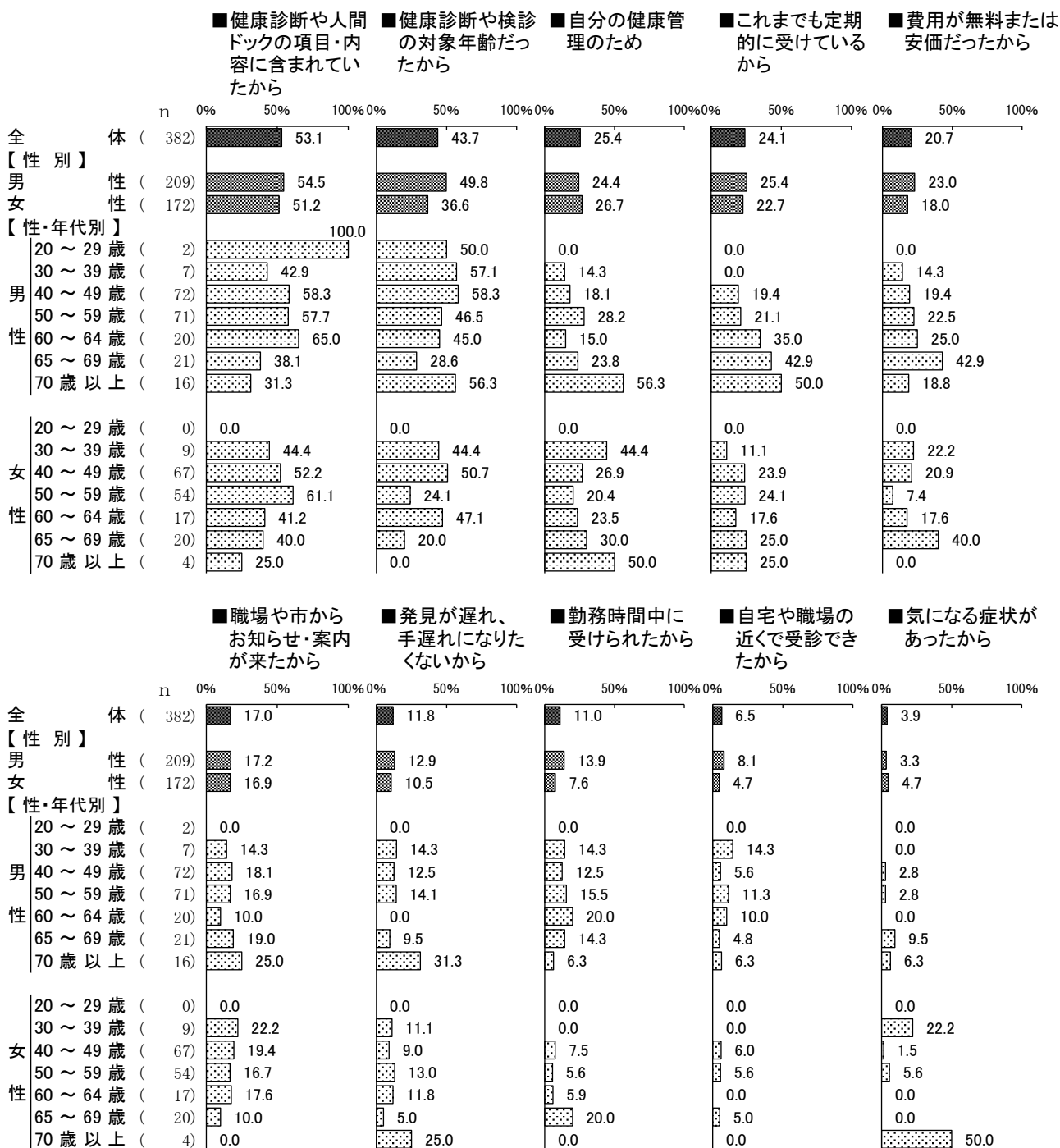


②大腸がん検診について、性別にみると、男性のほうは「健康診断や検診の対象年齢だったから」で16.0ポイント、「自宅や職場の近くで受診できたから」で5.7ポイント高くなっている。一方、女性のほうは「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」で7.0ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。(図4-3-15)

図 4-3-16 がん検診を受診した理由【上位10項目】－性別／性・年代別

③胃がん検診 ＊バリウムによる胃のレントゲン検査

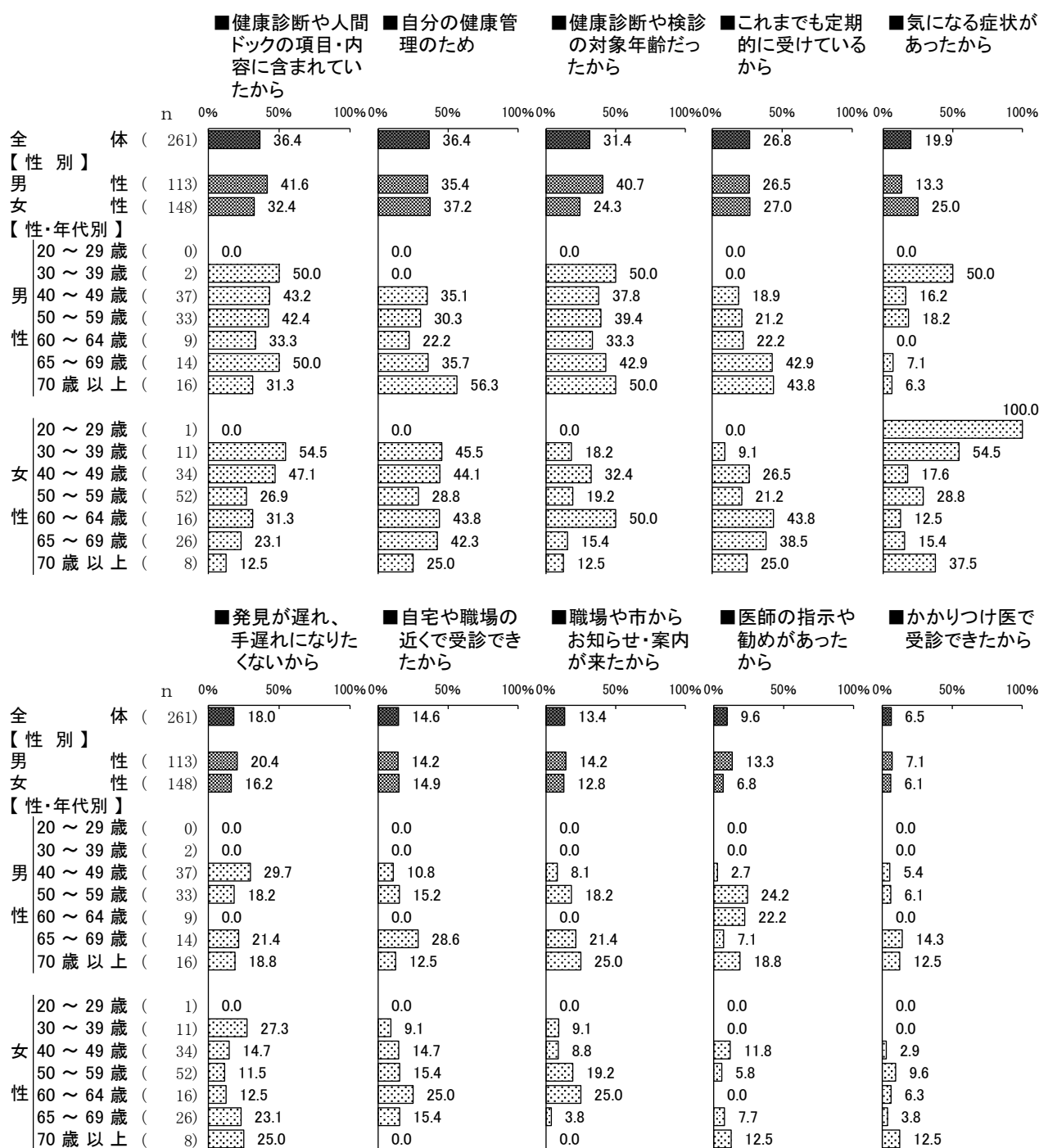


③胃がん検診（バリウムによる胃のレントゲン検査）について、性別にみると、男性のほうは「健康診断や検診の対象年齢だったから」で13.2ポイント、「勤務時間中に受けられたから」で6.3ポイント、「費用が無料または安価だったから」で5.0ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図4-3-16）

図 4-3-17 がん検診を受診した理由【上位10項目】－性別／性・年代別

④胃がん検診 ＊内視鏡検査

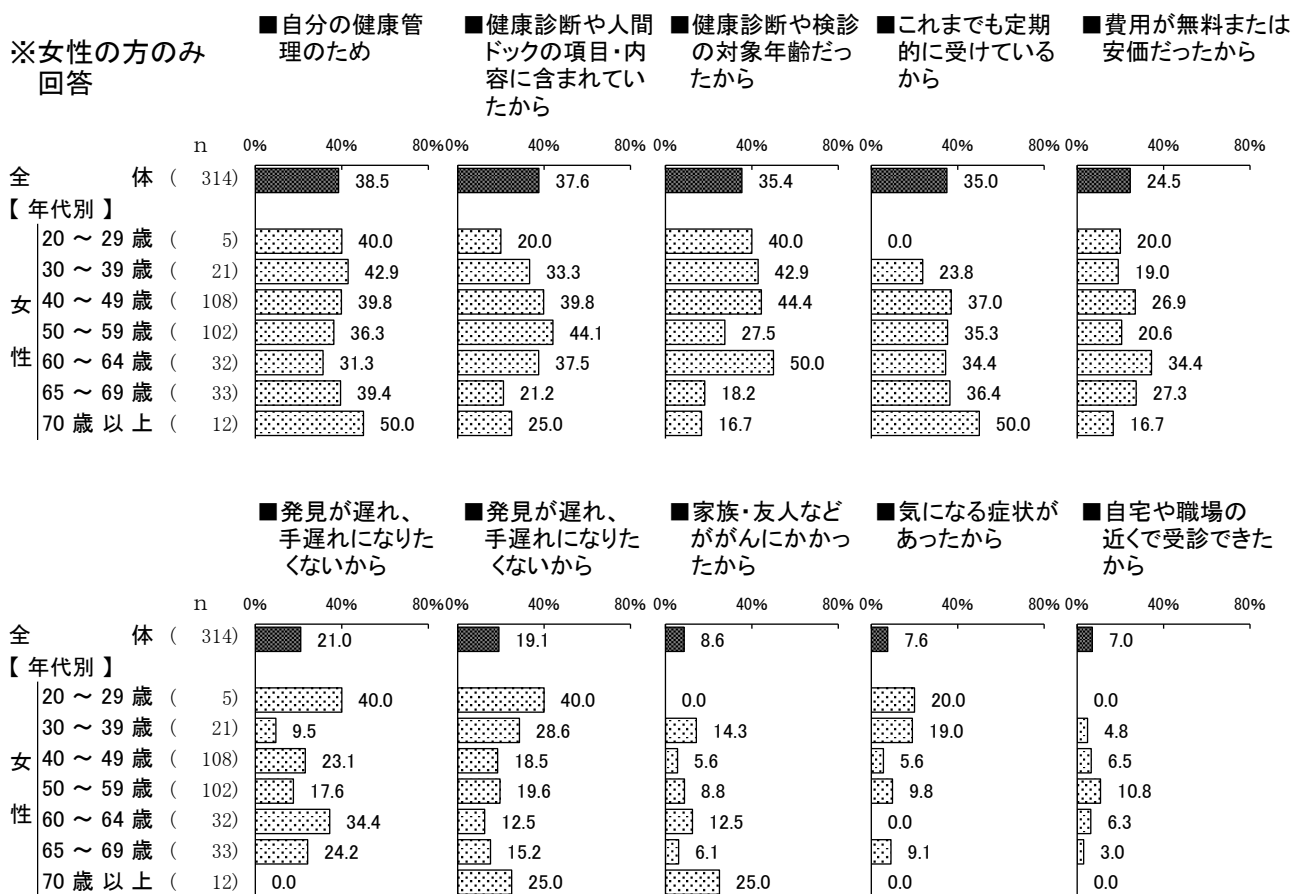


④胃がん検診（内視鏡検査）について、性別にみると、男性のほうは「健康診断や検診の対象年齢だったから」で16.4ポイント、「健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから」で9.2ポイント、「自宅や職場の近くで受診できた」、「勤務時間中に受けられたから」で6.8ポイント、「医師の指示や勧めがあったから」で6.5ポイント高くなっている。一方、女性のほうは「気になる症状があったから」で11.7ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図4-3-17）

図 4-3-18 がん検診を受診した理由【上位10項目】一年代別

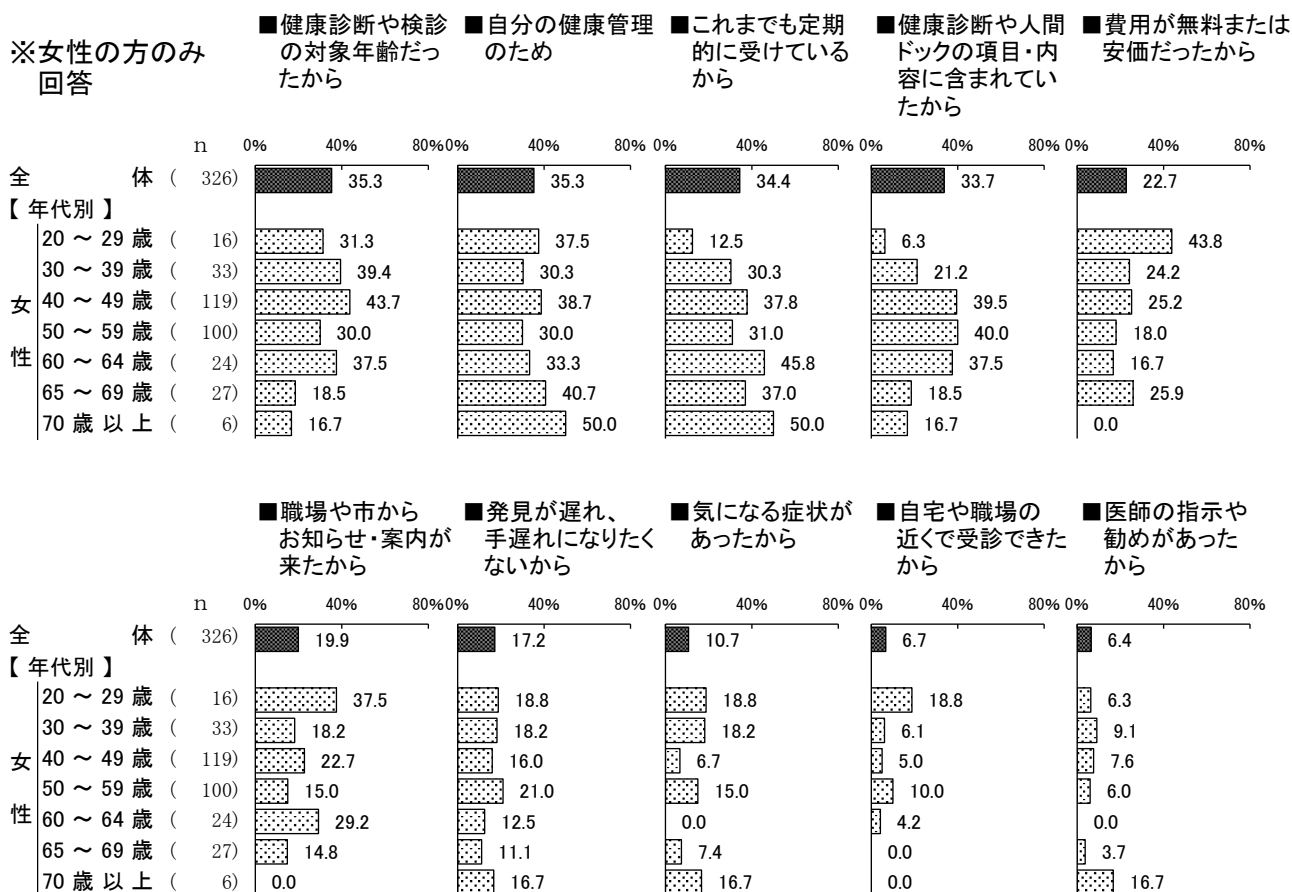
⑤乳がん検診 *マンモグラフィ（乳房レントゲン）



⑤乳がん検診について、年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図4-3-18）

図4-3-19 がん検診を受診した理由【上位10項目】 年代別

⑥子宮頸がん検診 * 子宮の細胞を調べる検査



⑥子宮頸がん検診について、年代別はn数が少ないので参考に図示する。(図4-3-19)

（３－２）がん検診を受診しなかった理由

【問20①②③④⑤⑥のいずれかのがん検診を「4 受けなかった」と回答した方に】

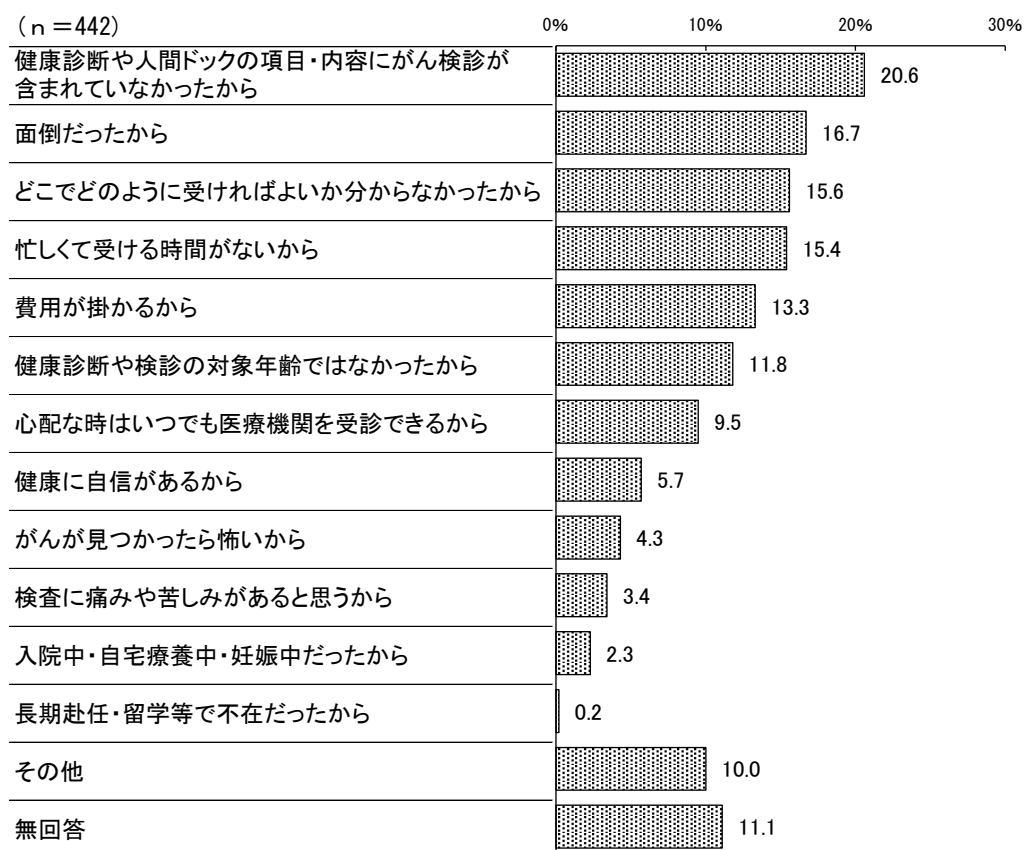
問20－2 がん検診を受けなかった方へおたずねします。

がん検診を受けなかった理由はなんですか。（○はいくつでも）

* 問20①②③④⑤⑥で「4 受けなかった」と回答された検診・検査についてお答えください。

図４－３－20 がん検診を受診しなかった理由

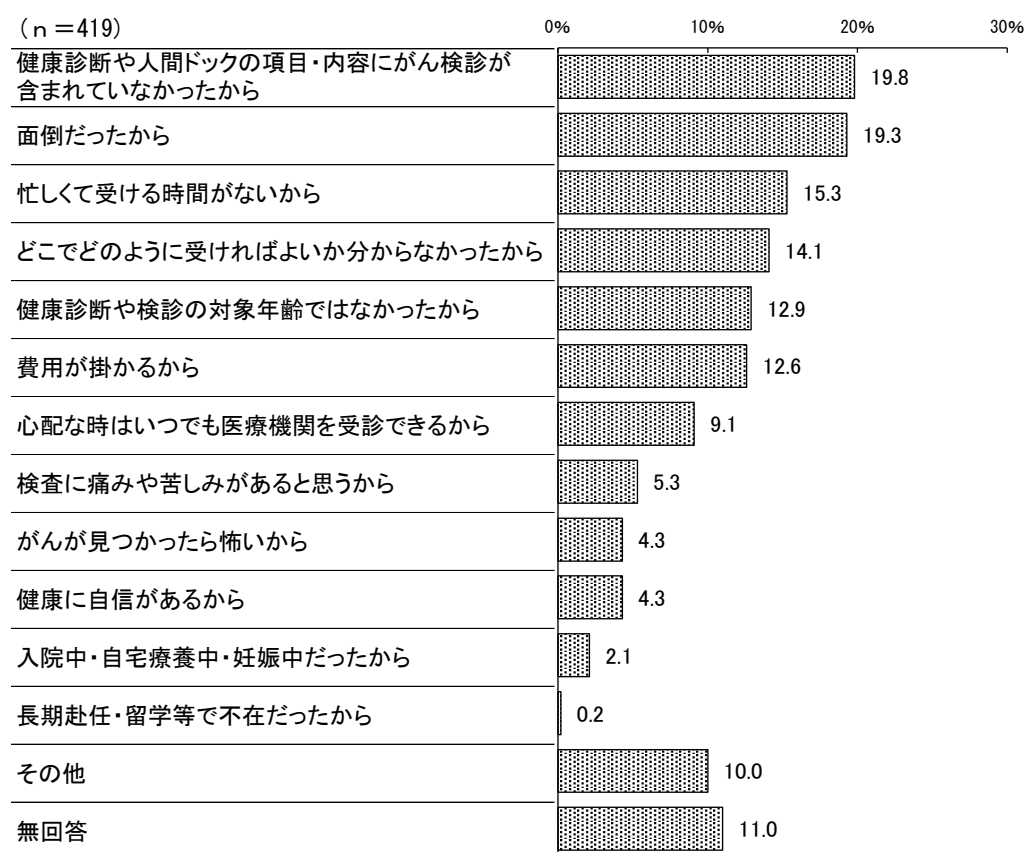
①肺がん検診 * 肺のレントゲン検査



①肺がん検診を「受けなかった」と答えた方（442人）に検診を受診しなかった理由をたずねたところ、「健康診断や人間ドックの項目・内容にがん検診が含まれていなかったから」（20.6%）が約2割と最も多く、次いで「面倒だったから」（16.7%）、「どこでどのように受ければよいか分からなかったから」（15.6%）、「忙しくて受ける時間がないから」（15.4%）などの順となっている。（図４－３－20）

図 4－3－21 がん検診を受診しなかった理由

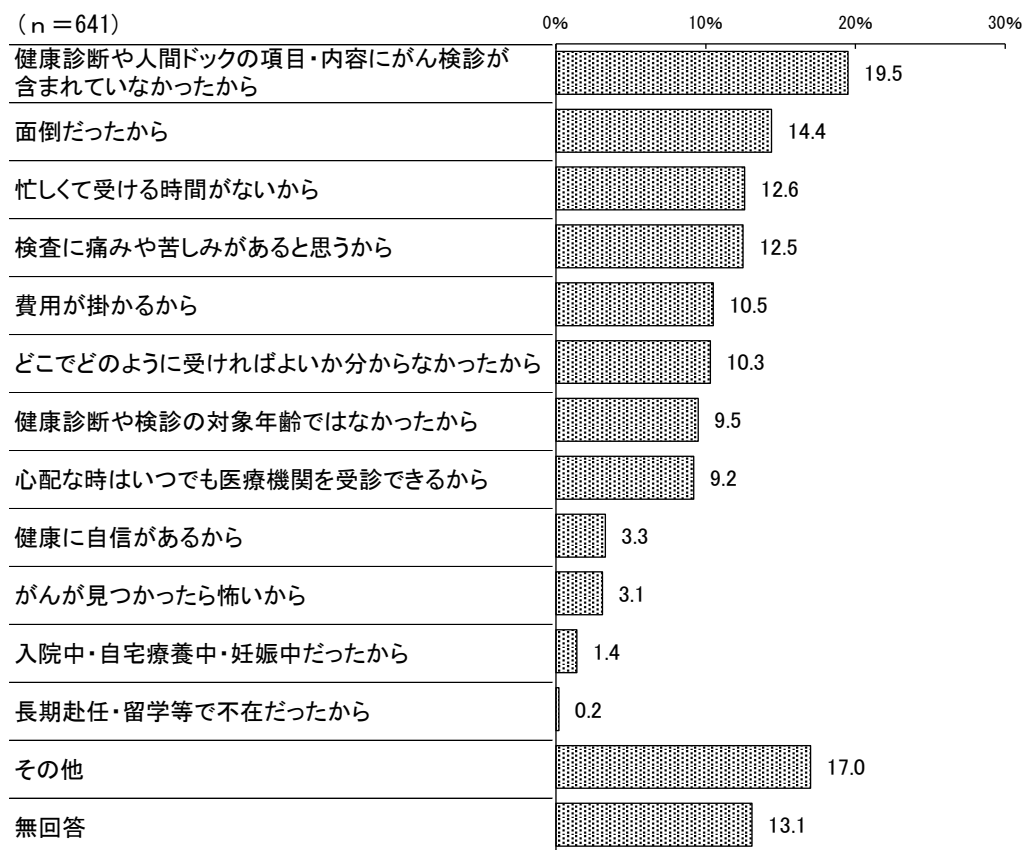
②大腸がん検診 ＊便潜血検査



②大腸がん検診を「受けなかった」と答えた方（419人）に検診を受診しなかった理由をたずねたところ、「健康診断や人間ドックの項目・内容にがん検診が含まれていなかったから」（19.8%）が約2割と最も多く、次いで「面倒だったから」（19.3%）、「忙しくて受ける時間がないから」（15.3%）、「どこでどのように受ければよいかわからなかったから」（14.1%）などの順となっている。（図 4－3－21）

図 4-3-22 がん検診を受診しなかった理由

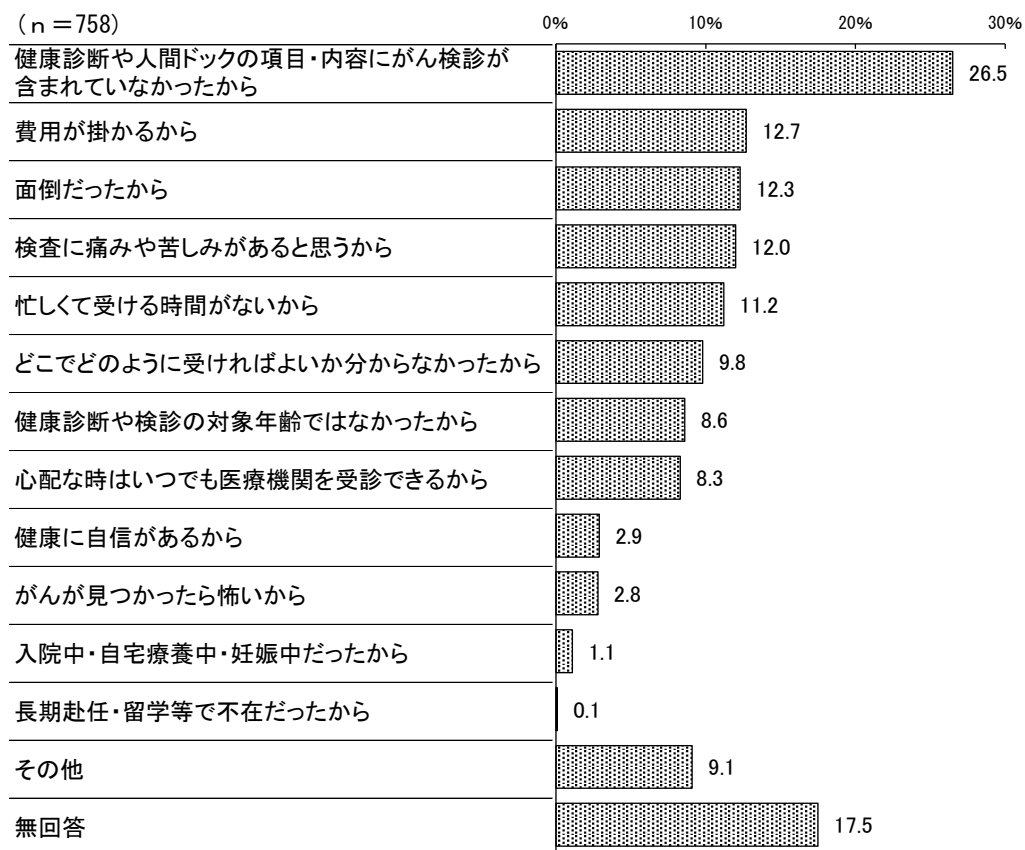
③胃がん検診 *バリウムによる胃のレントゲン検査



③胃がん検診（バリウムによる胃のレントゲン検査）を「受けなかった」と答えた方（641人）に検診を受診しなかった理由をたずねたところ、「健康診断や人間ドックの項目・内容にがん検診が含まれていなかったから」（19.5%）が約2割と最も多く、次いで「面倒だったから」（14.4%）、「忙しくて受ける時間がないから」（12.6%）、「検査に痛みや苦しみがあると思うから」（12.5%）などの順となっている。（図4-3-22）

図 4－3－23 がん検診を受診しなかった理由

④胃がん検診 * 内視鏡検査

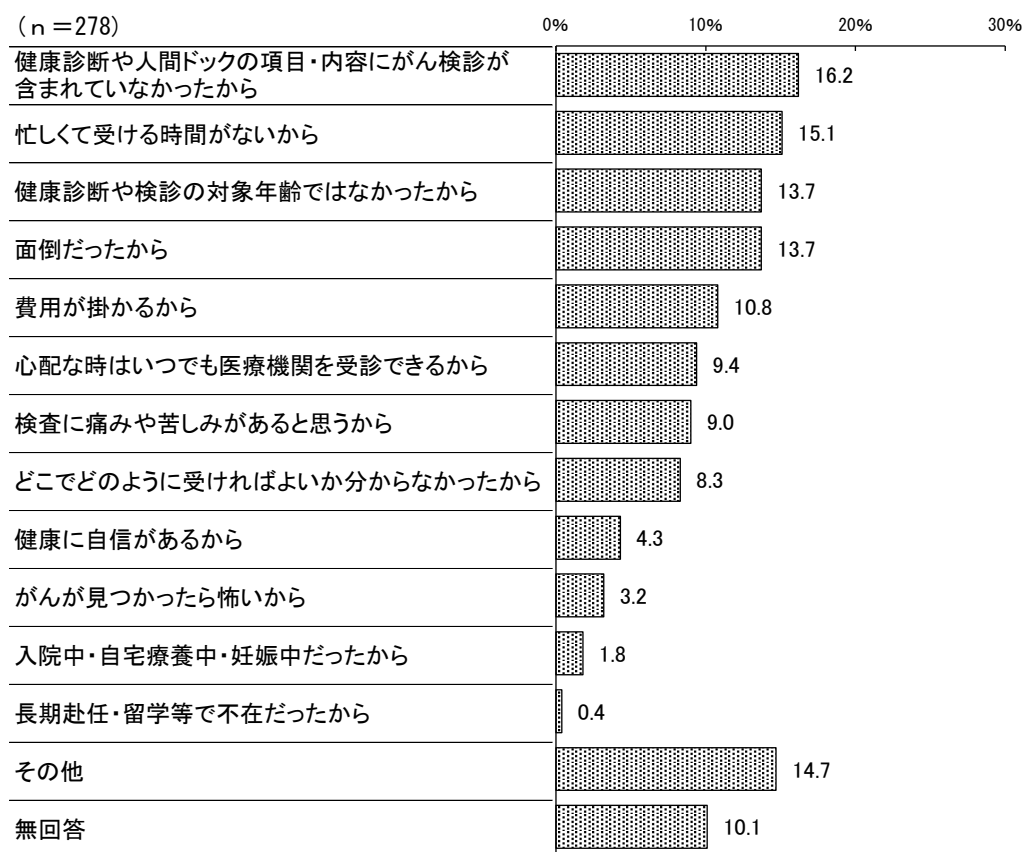


④胃がん検診（内視鏡検査）を「受けなかった」と答えた方（758人）に検診を受診しなかった理由をたずねたところ、「健康診断や人間ドックの項目・内容にがん検診が含まれていなかったから」（26.5%）が2割半ばと最も多く、次いで「費用が掛かるから」（12.7%）、「面倒だったから」（12.3%）、「検査に痛みや苦しみがあると思うから」（12.0%）などの順となっている。（図 4－3－23）

図 4-3-24 がん検診を受診しなかった理由

※女性の方のみ回答

⑤乳がん検診 * マンモグラフィ（乳房レントゲン）

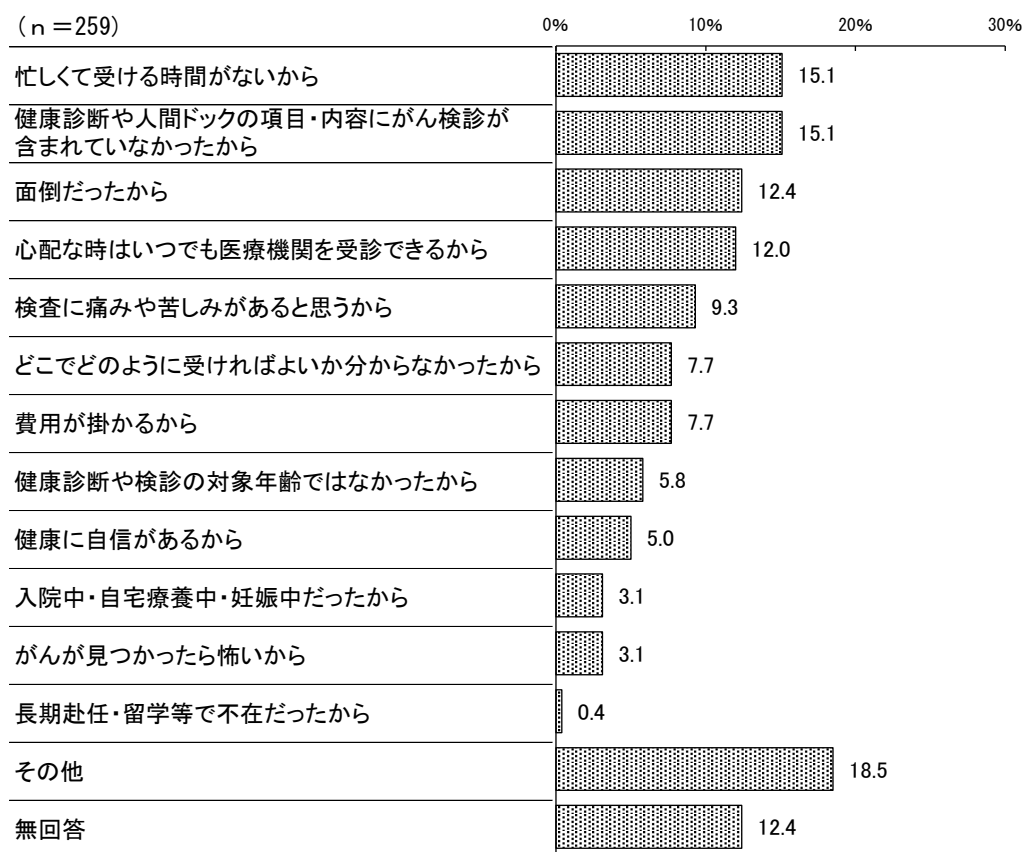


⑤乳がん検診を「受けなかった」と答えた方（278人）に検診を受診しなかった理由をたずねたところ、「健康診断や人間ドックの項目・内容にがん検診が含まれていなかったから」（16.2%）が1割半ばと最も多く、次いで「忙しくて受ける時間がないから」（15.1%）、「健康診断や検診の対象年齢ではなかったから」、「面倒だったから」（ともに13.7%）などの順となっている。（図 4-3-24）

図 4－3－25 がん検診を受診しなかった理由

※女性の方のみ回答

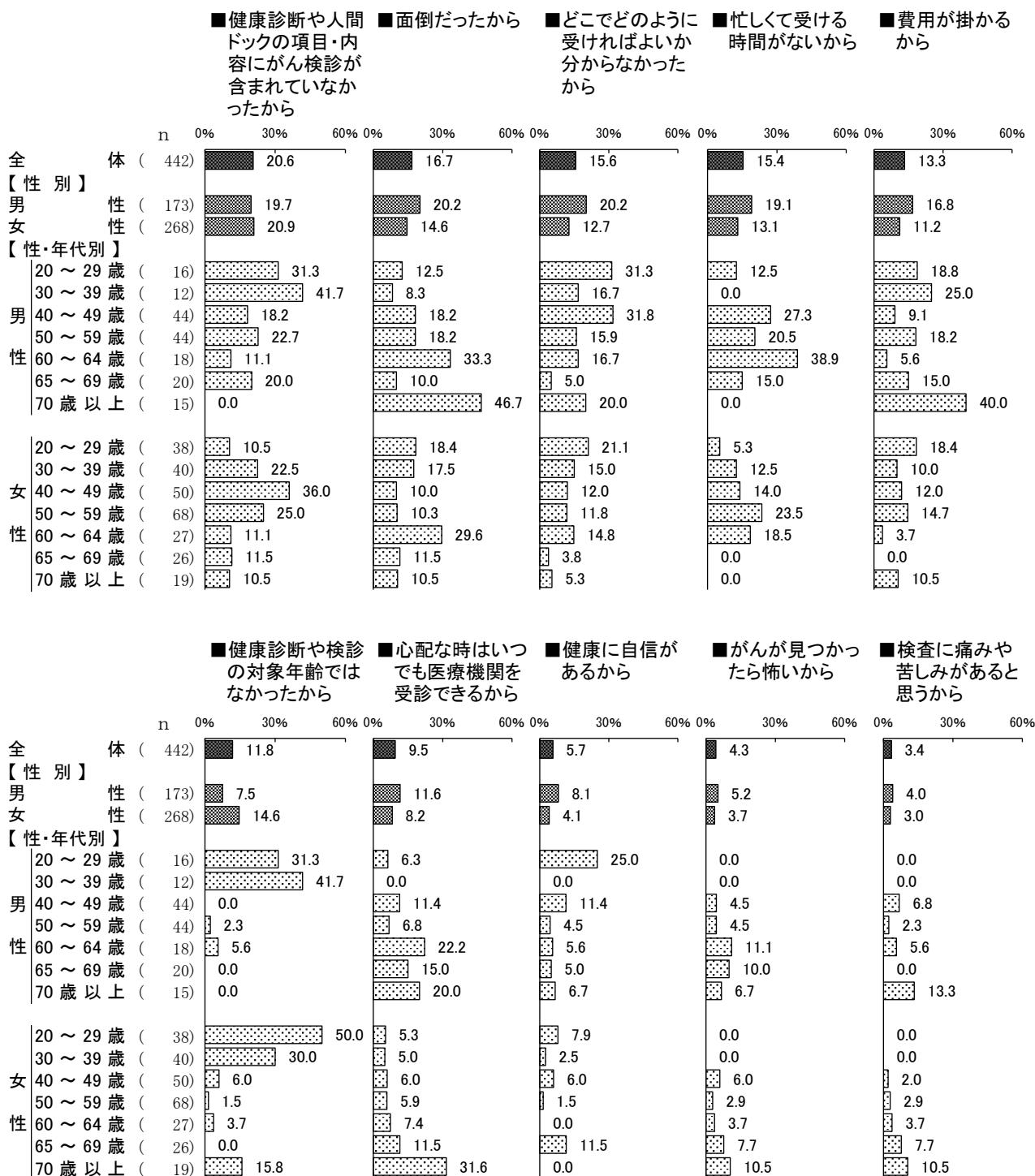
⑥子宮頸がん検診 * 子宮の細胞を調べる検査



⑥子宮頸がん検診を「受けなかった」と答えた方（259人）に検診を受診しなかった理由をたずねたところ、「忙しくて受ける時間がないから」、「健康診断や人間ドックの項目・内容にがん検診が含まれていなかったから」（ともに15.1%）が1割半ばと最も多く、次いで「面倒だったから」（12.4%）、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」（12.0%）などの順となっている。（図 4－3－25）

図 4-3-26 がん検診を受診しなかった理由【上位10項目】－性別／性・年代別

①肺がん検診 * 肺のレントゲン検査

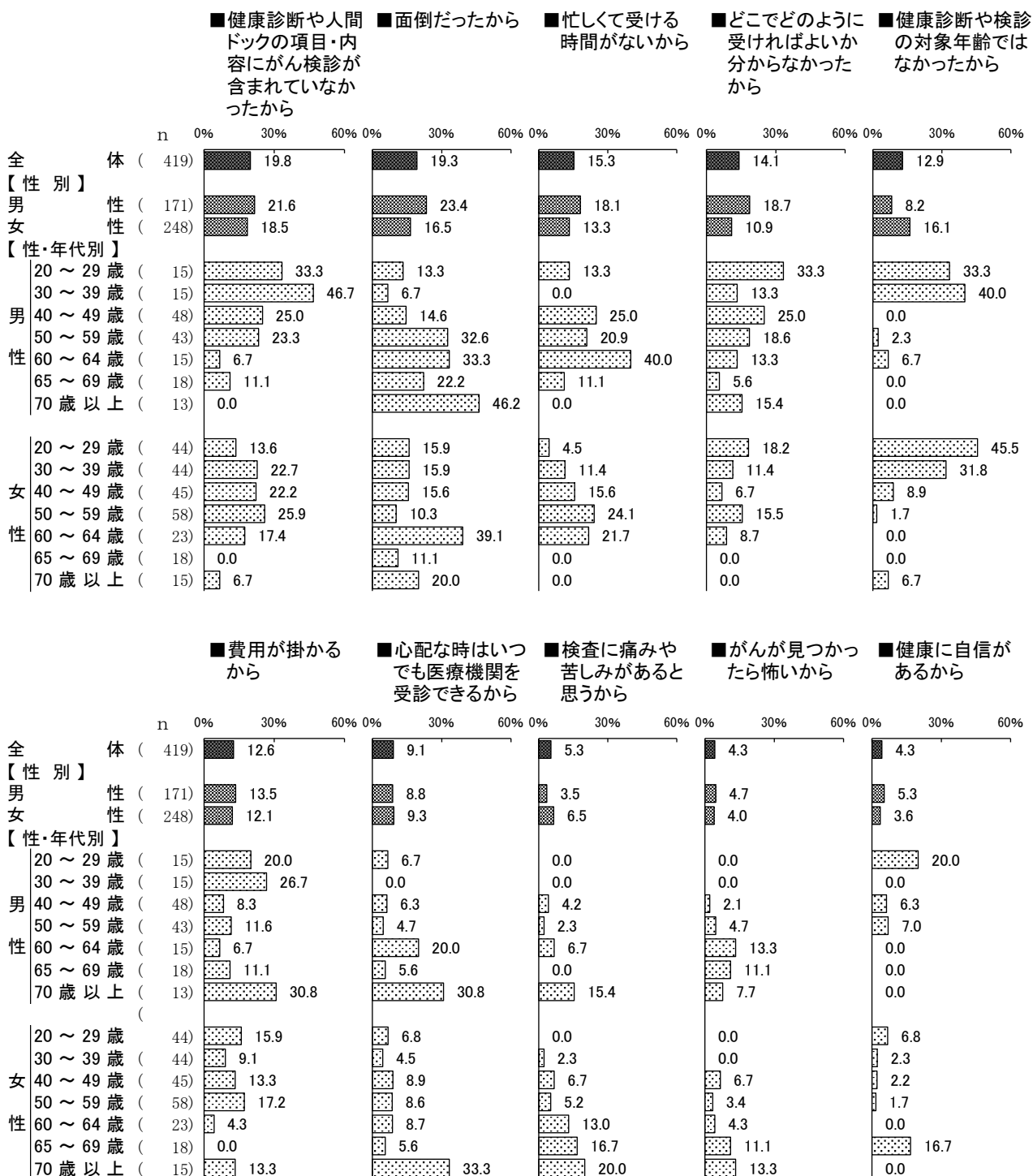


①肺がん検診について、性別にみると、男性のほうは「どこでどのように受ければよいか分からなかったから」で7.5ポイント、「忙しくて受ける時間がないから」で6.0ポイント高くなっている。一方、女性のほうは「健康診断や検診の対象年齢ではなかったから」で7.1ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図4-3-26）

図 4-3-27 がん検診を受診しなかった理由【上位10項目】－性別／性・年代別

②大腸がん検診 * 便潜血検査

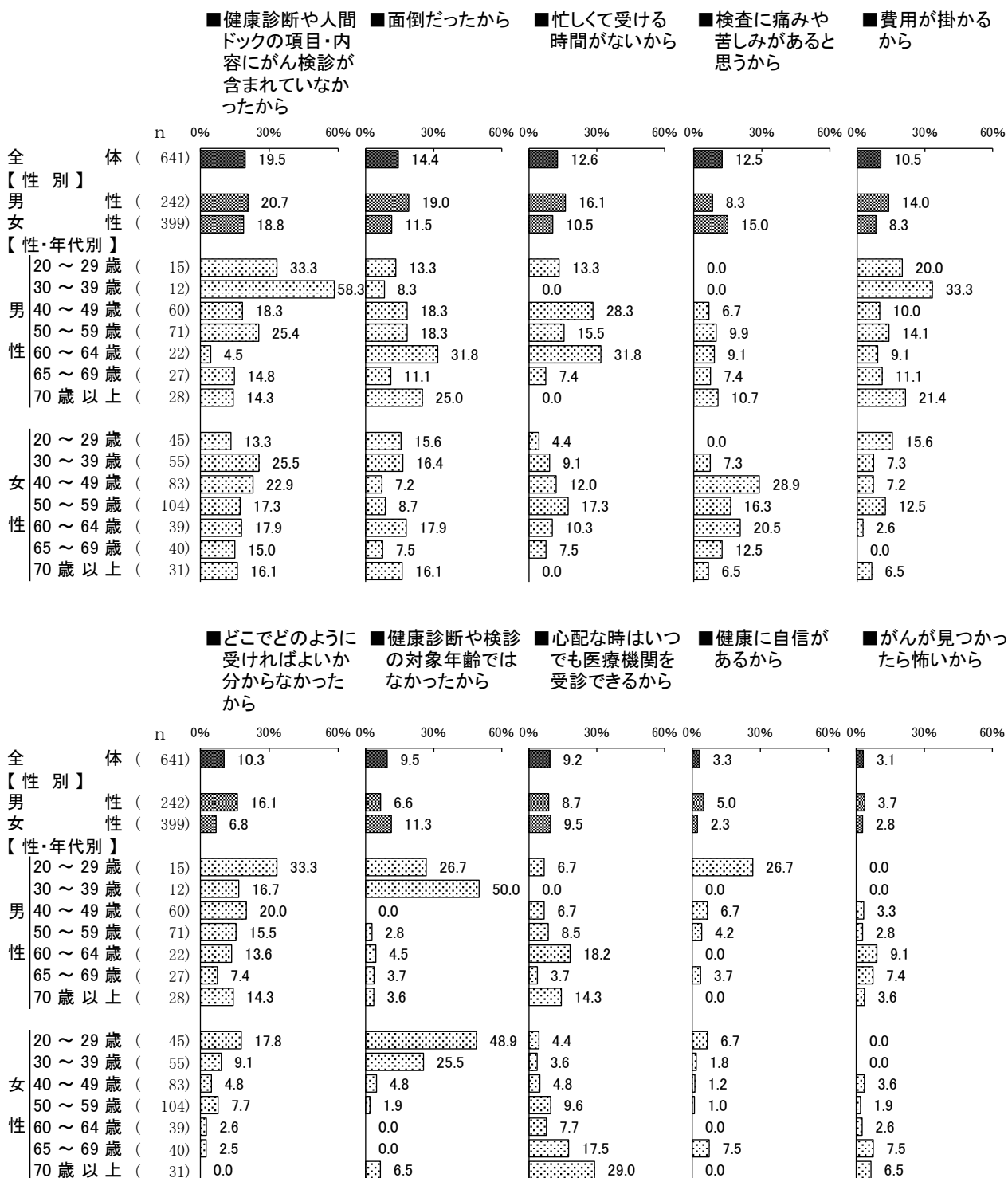


②大腸がん検診について、性別にみると、男性のほうは「どこでどのように受ければよいか分からなかったから」で7.8ポイント、「面倒だったから」で6.9ポイント高くなっている。一方、女性のほうは「健康診断や検診の対象年齢ではなかったから」で7.9ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図 4-3-27）

図4-3-28 がん検診を受診しなかった理由【上位10項目】－性別／性・年代別

③胃がん検診 ＊バリウムによる胃のレントゲン検査

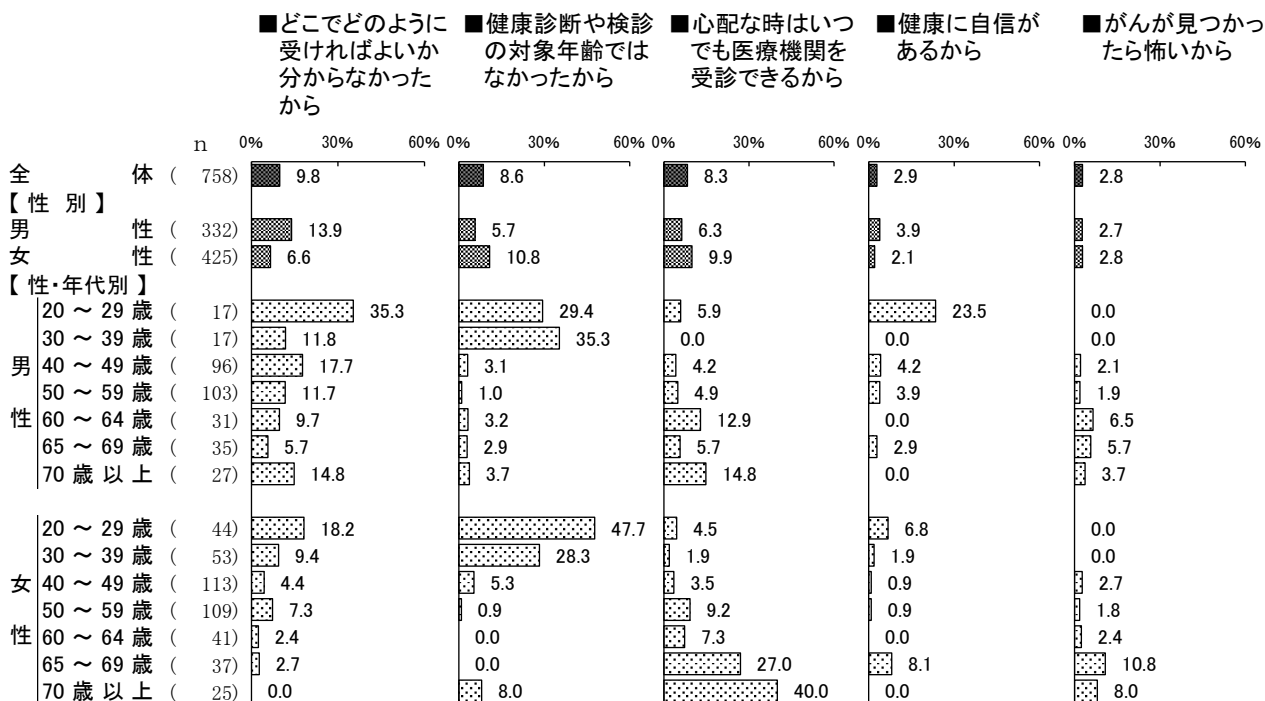
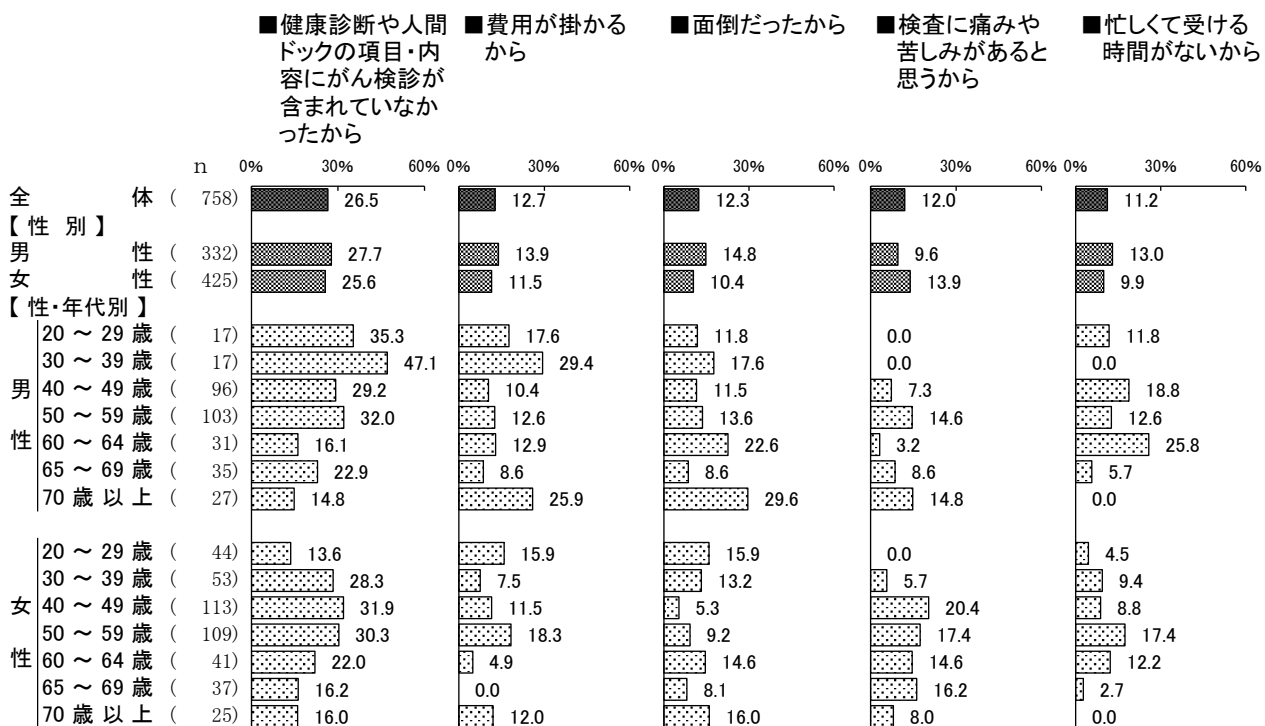


③胃がん検診（バリウムによる胃のレントゲン検査）について、性別にみると、男性のほうは「どこでどのように受ければよいか分からなかったから」で9.3ポイント、「面倒だったから」で7.5ポイント高くなっている。一方、女性のほうは「検査に痛みや苦しみがあると思うから」で6.7ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図4-3-28）

図4-3-29 がん検診を受診しなかった理由【上位10項目】－性別／性・年代別

④胃がん検診 ＊内視鏡検査

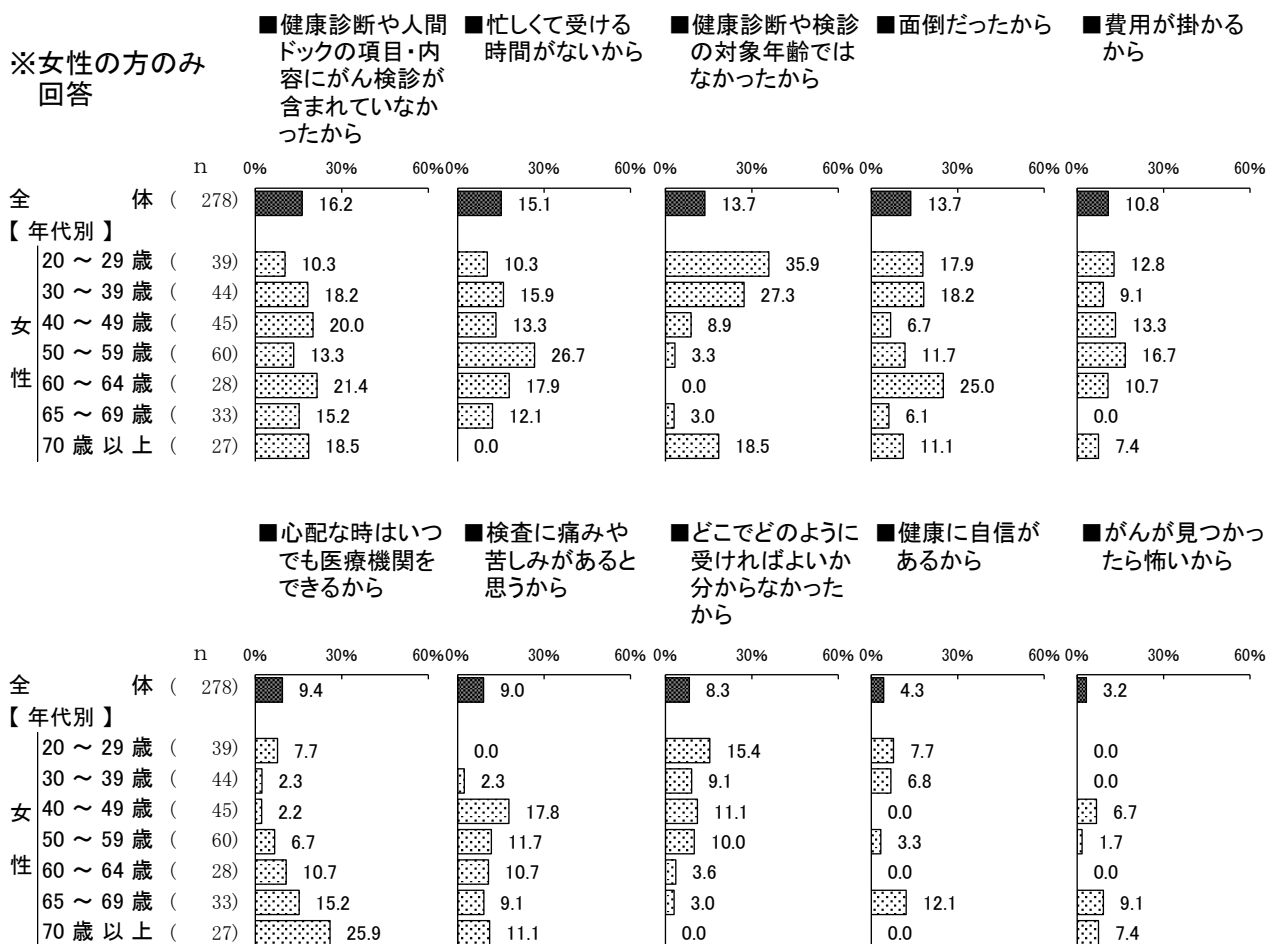


④胃がん検診（内視鏡検査）について、性別にみると、男性のほうは「どこでどのように受ければよいか分からなかったから」で7.3ポイント高くなっている。一方、女性のほうは「健康診断や検診の対象年齢ではなかったから」で5.1ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図4-3-29）

図 4-3-30 がん検診を受診しなかった理由【上位10項目】 一年代別

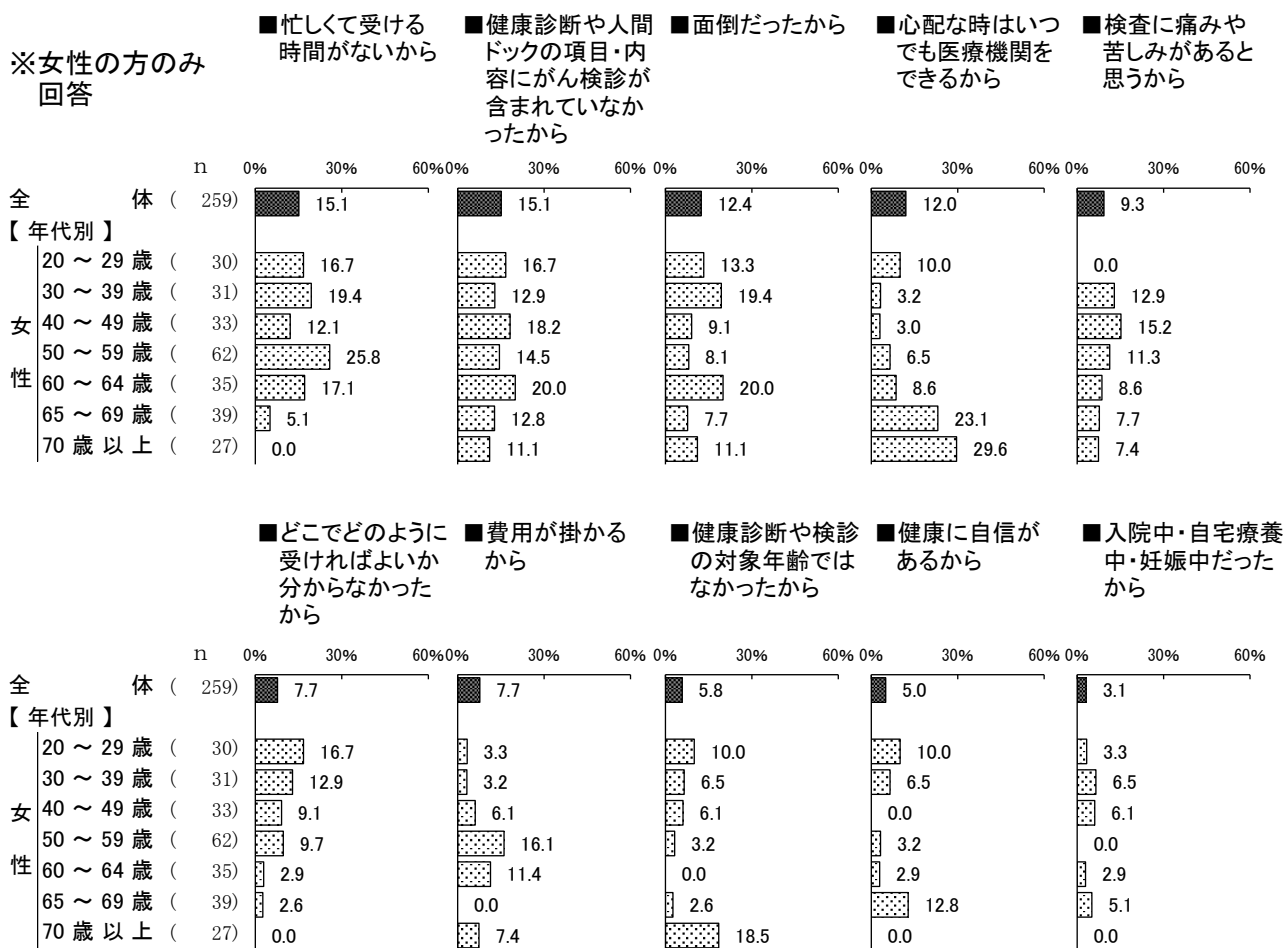
⑤乳がん検診 *マンモグラフィ（乳房レントゲン）



⑤乳がん検診について、年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図 4-3-30）

図 4-3-31 がん検診を受診しなかった理由【上位10項目】 年代別

⑥子宮頸がん検診 * 子宮の細胞を調べる検査



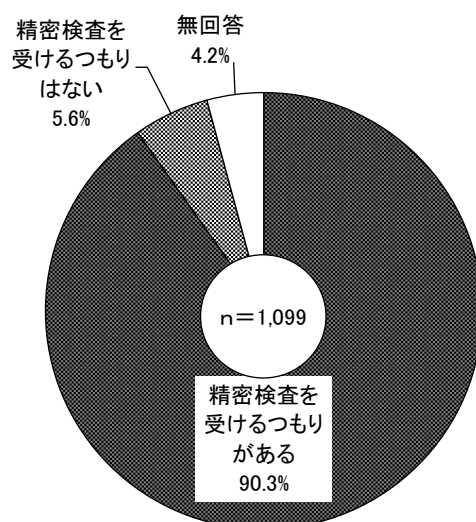
⑥子宮頸がん検診について、年代別はn数が少ないので参考に図示する。(図4-3-31)

（４）がんの精密検査の受診意向

問21 精密検査の受診についておうかがいします。

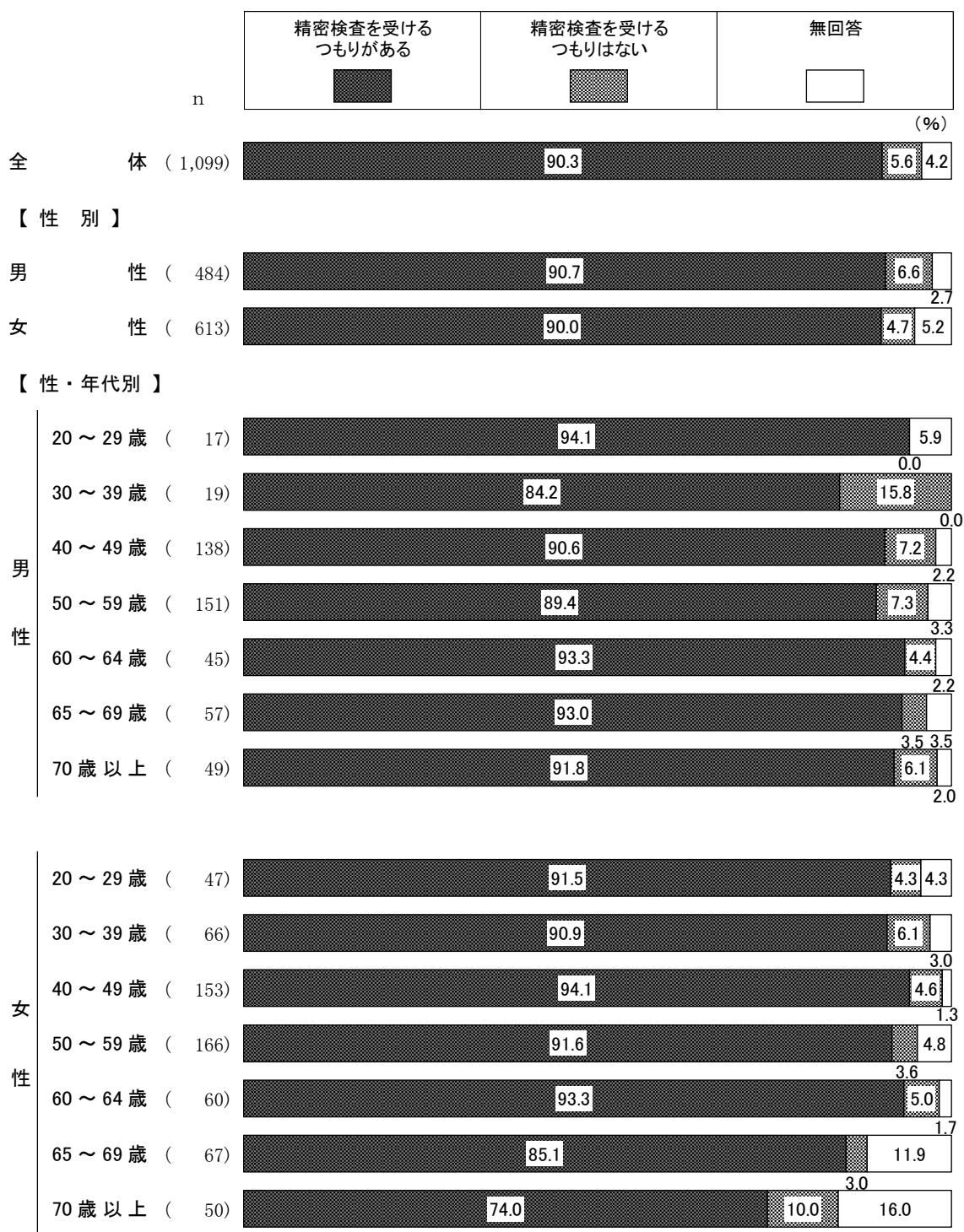
もし、がん検診を受診して「精密検査が必要」と診断された場合、精密検査を受けるつもりはありますか。（○は1つ）

図４－４－１　がんの精密検査の受診意向



がんの精密検査の受診意向をたずねたところ、「精密検査を受けるつもりがある」（90.3%）が約9割となっている。（図４－４－１）

図 4-4-2 がんの精密検査の受診意向－性別／性・年代別



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、「精密検査を受けるつもりはない」は男性30～39歳で1割半ば、女性70歳以上で1割となっている。（図4-4-2）

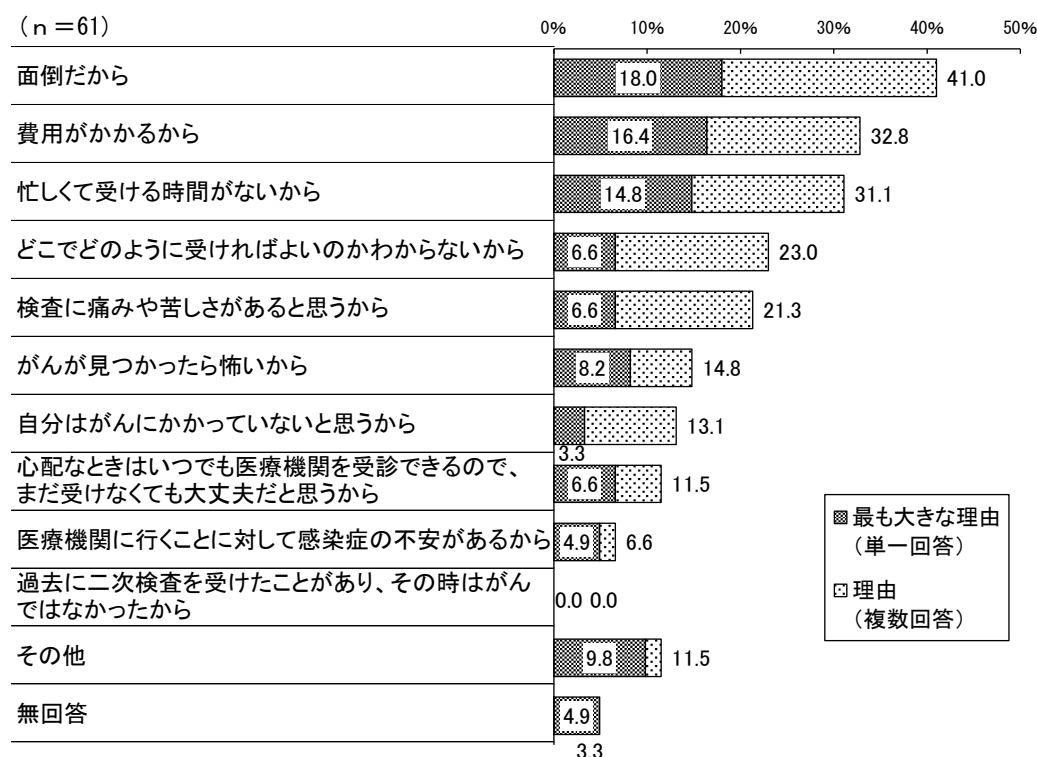
(4-1) がんの精密検査を受診するつもりがない理由

【問21で「2 精密検査を受けるつもりはない」と回答した方に】

問21-1 精密検査を受けるつもりはないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

問21-2 上記の問21-1で選択したものの中で、最も大きな理由の番号(数字)を1つご記入ください。

図4-4-3 がんの精密検査を受診するつもりがない理由



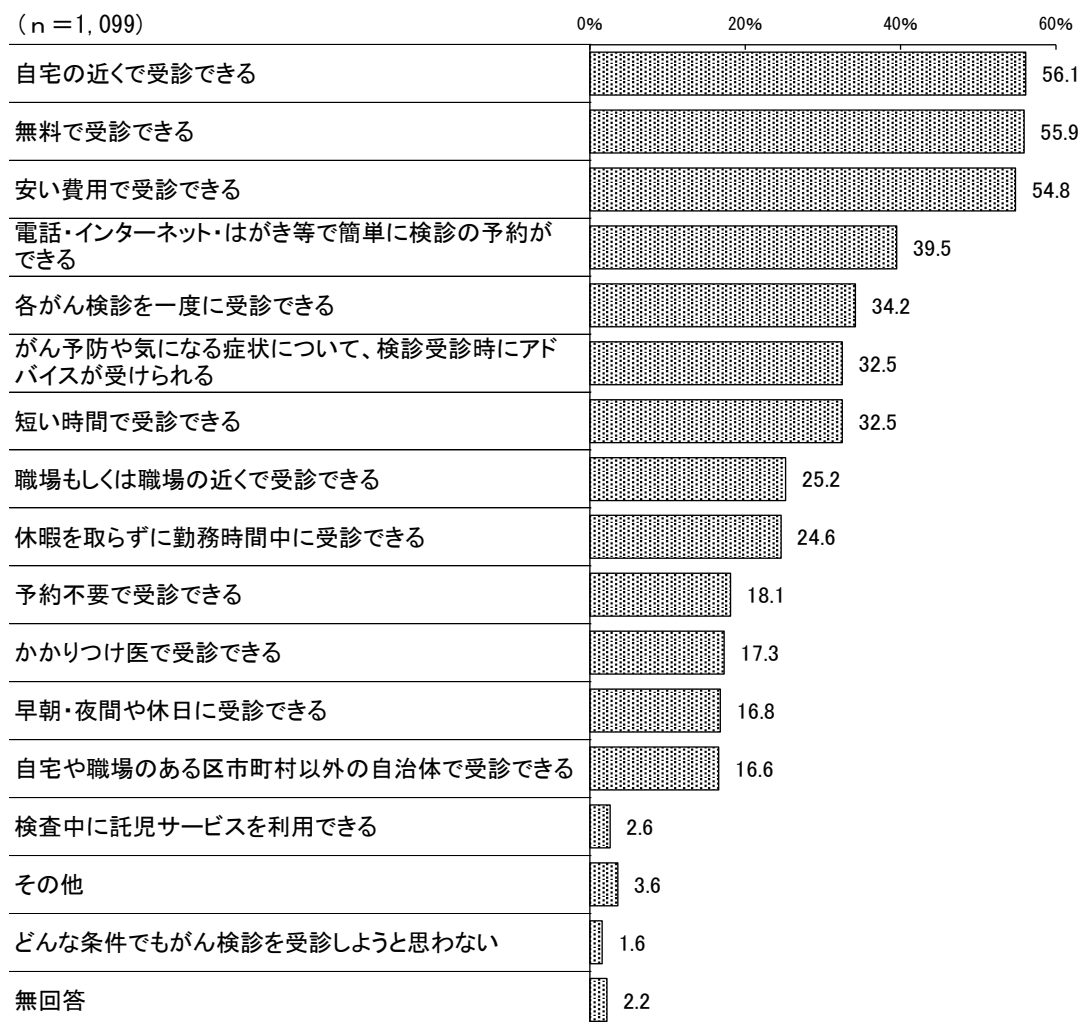
がんの「精密検査を受けるつもりはない」と答えた方(61人)に受診するつもりがない理由を複数回答でたずねたところ、「面倒だから」(41.0%)が4割を超えて最も多く、次いで「費用がかかるから」(32.8%)、「忙しくて受ける時間がないから」(31.1%)などの順となっている。

また、最も大きな理由を単一回答でたずねたところ、「面倒だから」(18.0%)が2割近くと最も多く、次いで「費用がかかるから」(16.4%)、「忙しくて受ける時間がないから」(14.8%)などの順となっている。(図4-4-3)

（５）がん検診を受診したいと思う条件

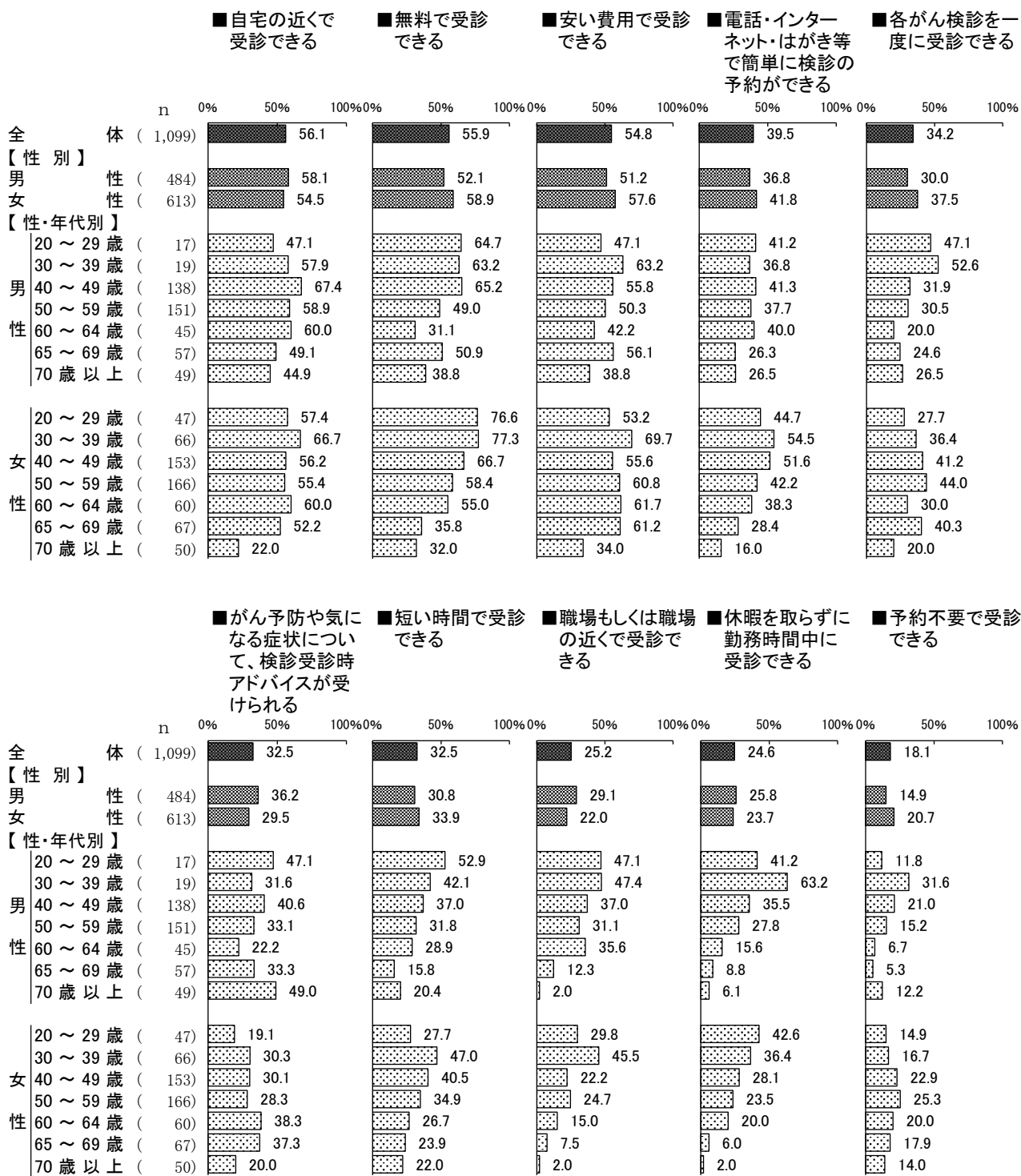
問22 どのようなことがあればがん検診を受診したいと思いますか。
次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。（○はいくつでも）

図４－５－１ がん検診を受診したいと思う条件



がん検診を受診したいと思う条件をたずねたところ、「自宅の近くで受診できる」（56.1%）が5割半ばと最も多く、次いで「無料で受診できる」（55.9%）、「安い費用で受診できる」（54.8%）、「電話・インターネット・はがき等で簡単に検診の予約ができる」（39.5%）などの順となっている。（図４－５－１）

図4-5-2 がん検診を受診したいと思う条件【上位10項目】－性別／性・年代別



性別にみると、女性のほうは「各がん検診を一度に受診できる」で7.5ポイント、「無料で受診できる」で6.8ポイント、「安い費用で受診できる」で6.4ポイント高くなっている。一方、男性のほうは「職場もしくは職場の近くで受診できる」で7.1ポイント、「がん予防や気になる症状について、検診受診時にアドバイスが受けられる」で6.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「自宅の近くで受診できる」は男性40～49歳で7割近くと多くなっている。「無料で受診できる」は女性30～39歳で7割近く、女性20～29歳で7割半ばと多くなっている。「電話・インターネット・はがき等で簡単に検診の予約ができる」は女性30～39歳で5割半ば、女性40～49歳で5割を超えて多くなっている。（図4-5-2）

5 肝炎ウイルス検診について

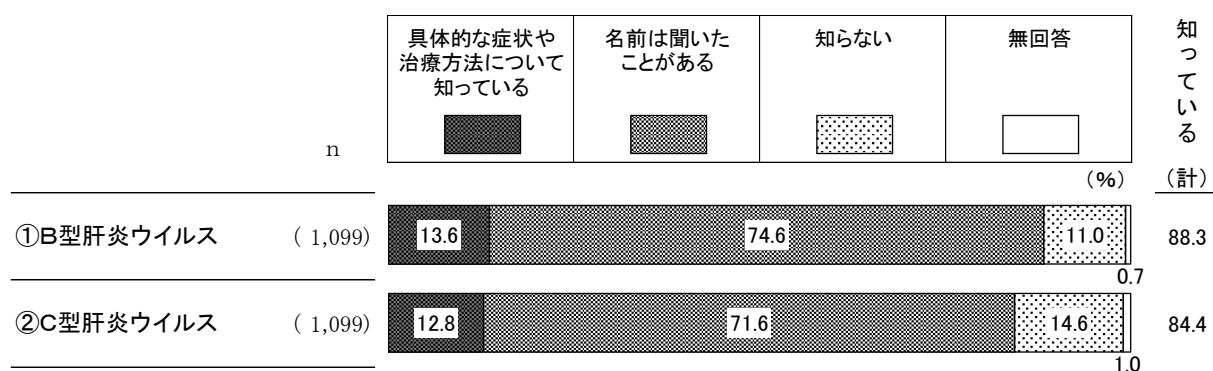
(1) 肝炎ウイルスの認知状況

問23 あなたは、肝炎ウイルスを知っていますか。（○は1つずつ）

* 肝炎ウイルスとは…

全ての人が感染している可能性があります。血液・体液を介して感染します。肝炎ウイルスに感染すると、気づかないうちに肝臓の炎症が進み、慢性肝炎となり、肝硬変や肝臓がんに進行する場合があります。

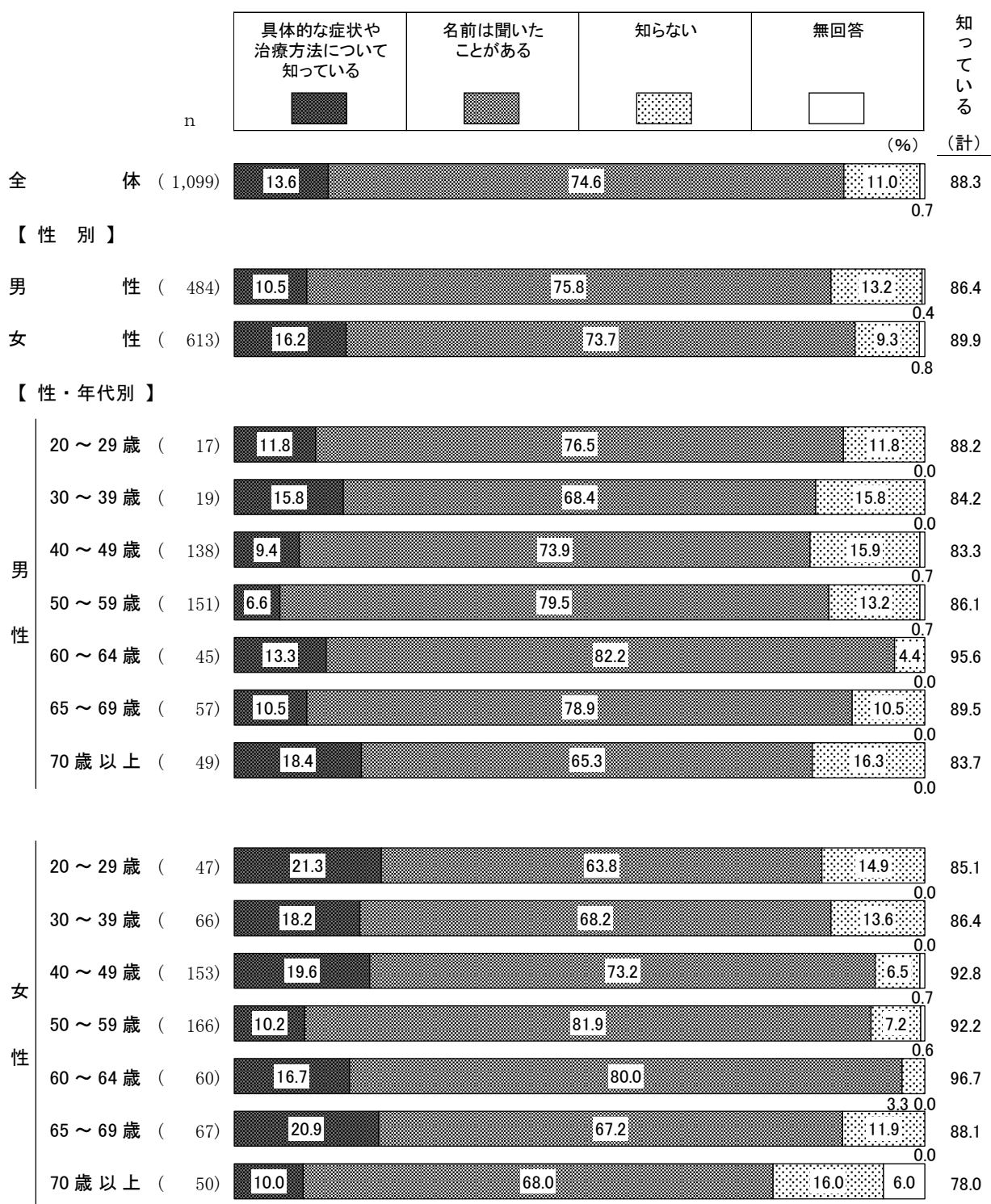
図5-1-1 肝炎ウイルスの認知状況



肝炎ウイルスの認知状況をたずねたところ、①B型肝炎ウイルスは「具体的な症状や治療方法について知っている」（13.6%）と「名前は聞いたことがある」（74.6%）を合わせた『知っている（計）』（88.3%）が9割近くとなっている。②C型肝炎ウイルスは「具体的な症状や治療方法について知っている」（12.8%）と「名前は聞いたことがある」（71.6%）を合わせた『知っている（計）』（84.4%）が8割半ばとなっている。（図5-1-1）

図 5-1-2 肝炎ウイルスの認知状況－性別／性・年代別

①B型肝炎ウイルス

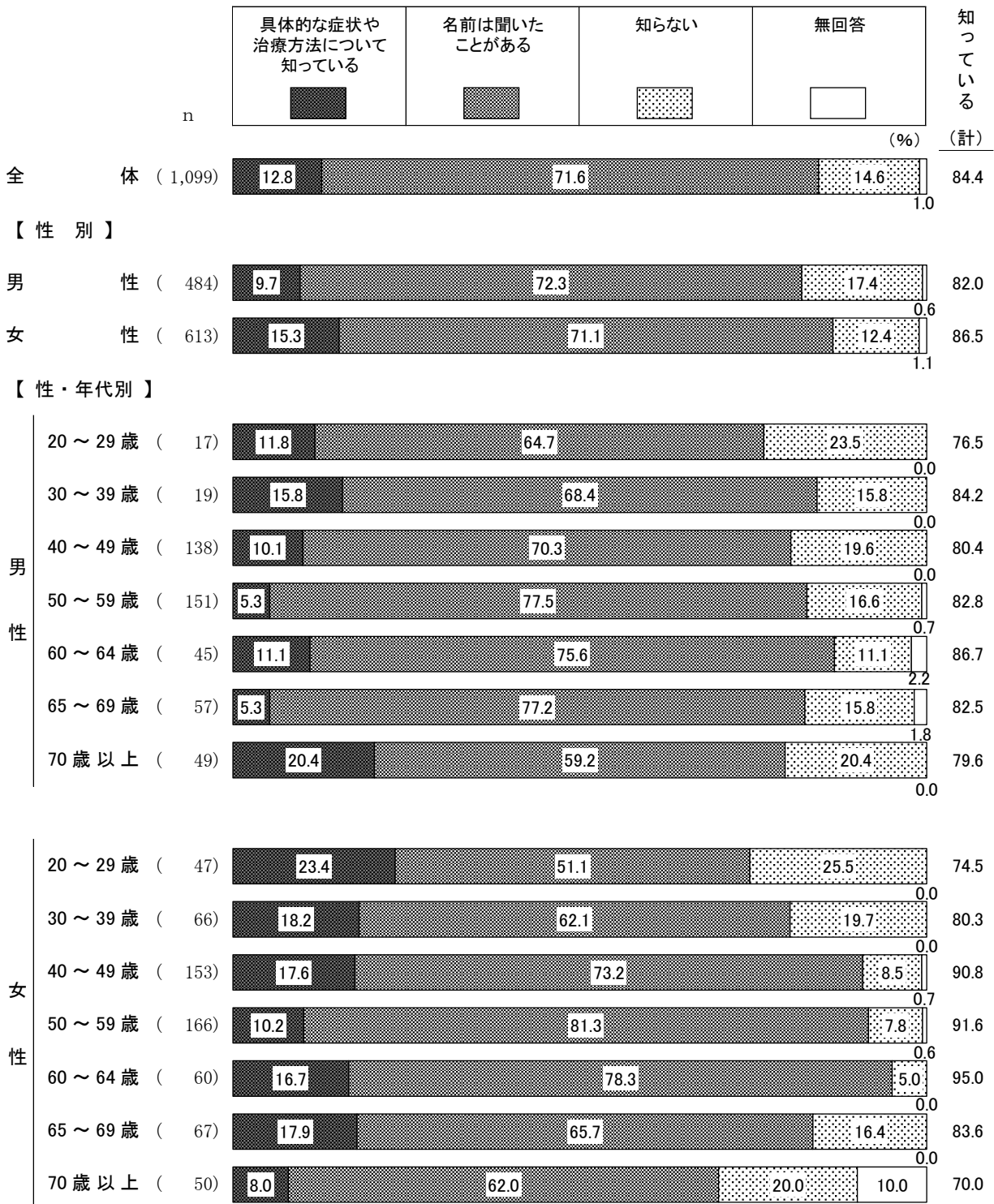


①B型肝炎ウイルスについて、性別にみると、『知っている（計）』は女性のほうが3.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『知っている（計）』は男性60～64歳、女性60～64歳で9割半ばと多くなっている。（図5-1-2）

図 5-1-3 肝炎ウイルスの認知状況－性別／性・年代別

②C型肝炎ウイルス



②C型肝炎ウイルスについて、性別にみると、『知っている（計）』は女性のほうが4.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性60～64歳で9割半ばと多くなっている。

(図 5-1-3)

（１－１）肝炎ウイルス検診の過去の受診経験

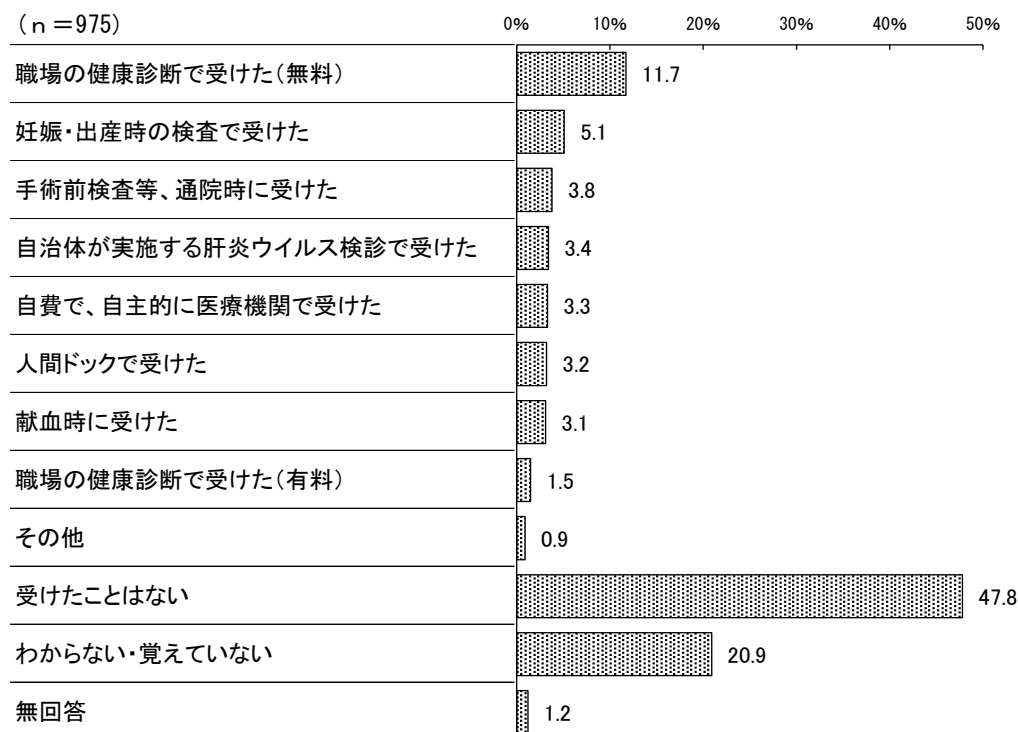
【問23①②いずれかで「１ 具体的な症状や治療方法について知っている」「２ 名前は聞いたことがある」と回答した方に】

問23－１ 肝炎ウイルス検診を過去（昨年度に限りません）に受けたことがありますか。

（○はいくつでも）

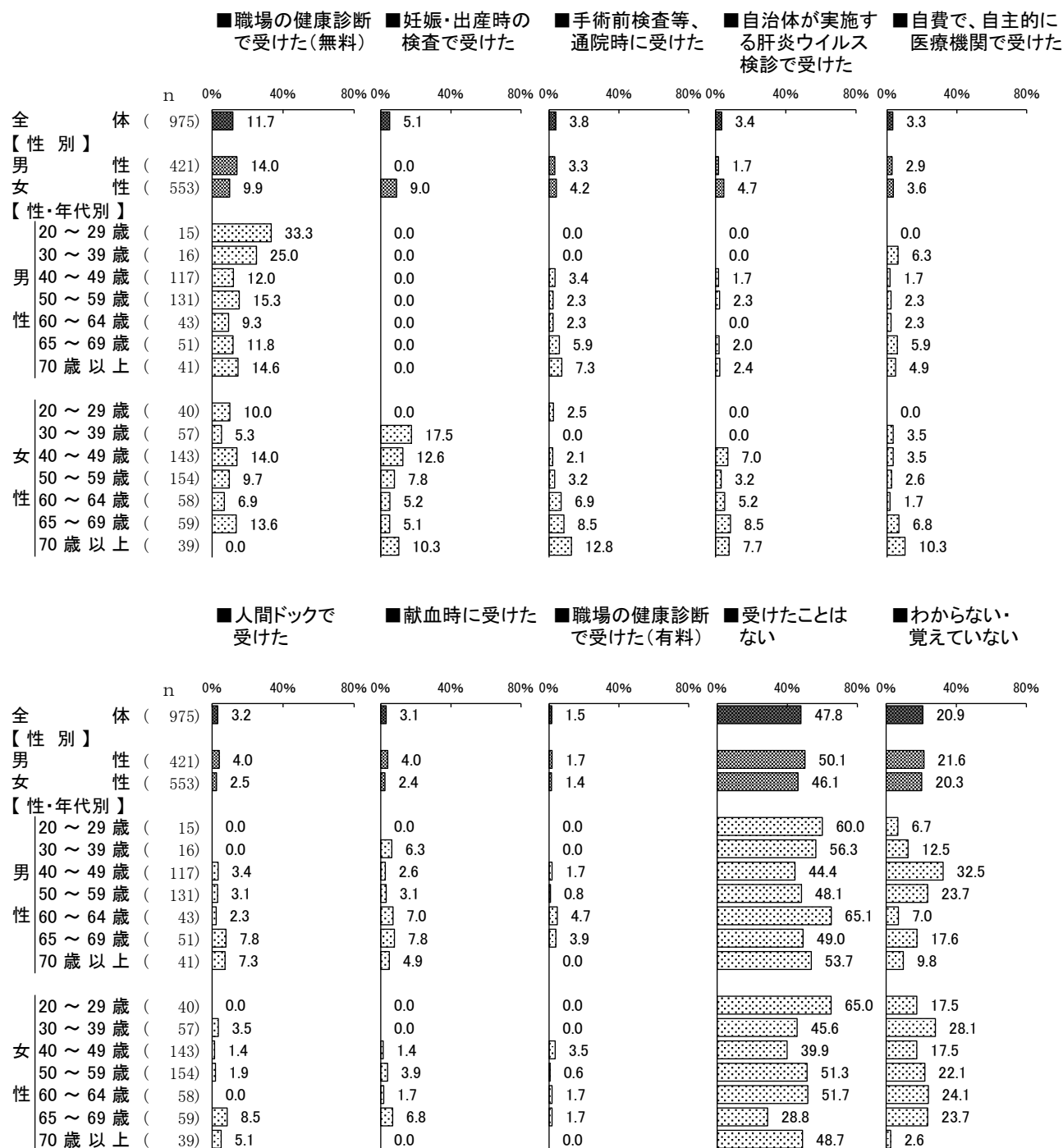
* 肝炎ウイルス検診は、血液検査です。

図５－１－４ 肝炎ウイルス検診の過去の受診経験



肝炎ウイルスについて「具体的な症状や治療方法について知っている」または「名前は聞いたことがある」と答えた方（975人）に肝炎ウイルス検診の過去の受診経験をたずねたところ、受診経験の中では「職場の健康診断で受けた（無料）」（11.7%）が１割を超えて最も多く、次いで「妊娠・出産時の検査で受けた」（5.1%）、「手術前検査等、通院時に受けた」（3.8%）などの順となっている。一方、「受けたことはない」（47.8%）が５割近く、「わからない・覚えていない」（20.9%）が約２割となっている。（図５－１－４）

図5-1-5 肝炎ウイルス検診の過去の受診経験【「その他」を除く項目】－性別／性・年代別



性別にみると、男性のほうは「職場の健康診断で受けた（無料）」で4.1ポイント高くなっている。

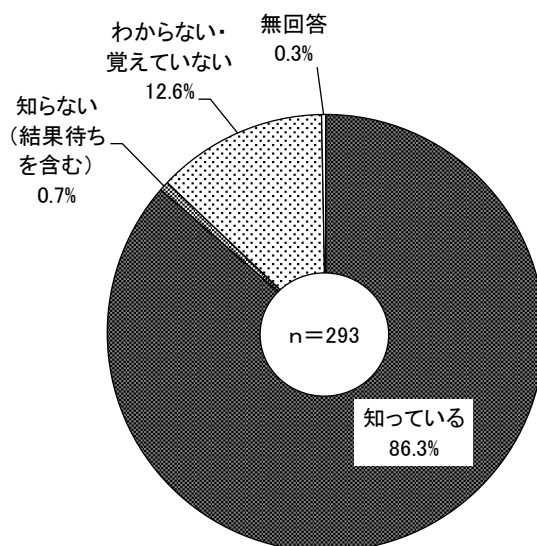
性・年代別にみると、「職場の健康診断で受けた（無料）」は男性20～29歳で3割を超え、男性30～39歳で2割半ばと多くなっている。「手術前検査等、通院時に受けた」は女性70歳以上で1割を超えている。一方、「受けたことはない」は男性60～64歳、女性20～29歳で6割半ばと多くなっている。（図5-1-5）

（１－２）肝炎ウイルス検診の結果の認知状況

【問23-1で「1」～「9」と回答した方に】

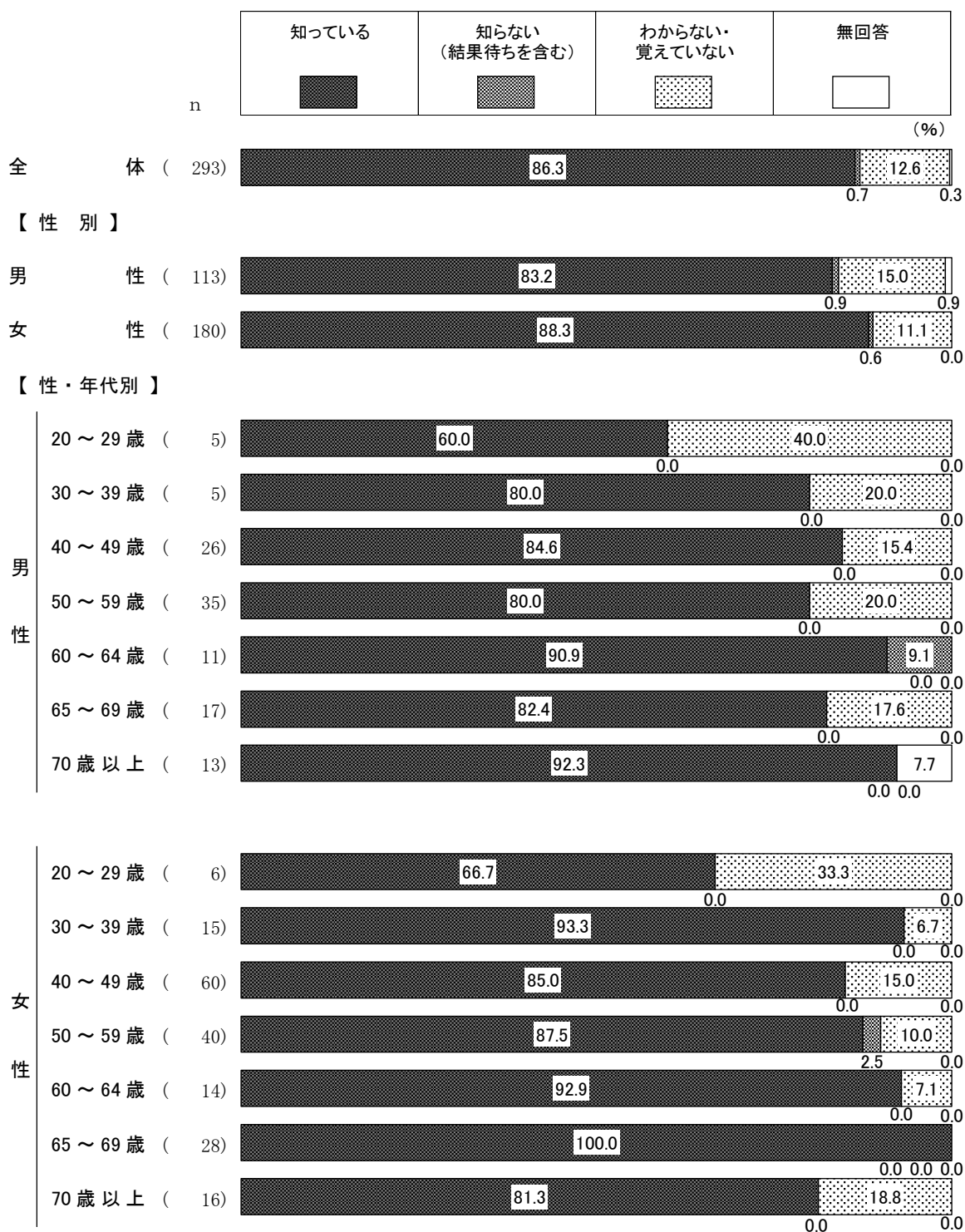
問23-2 肝炎ウイルス検診の結果を知っていますか。（○は1つ）

図５－１－６ 肝炎ウイルス検診の結果の認知状況



肝炎ウイルス検診について過去に受診経験があると答えた方（293人）に検診の結果の認知状況をたずねたところ、「知っている」（86.3%）が8割半ばとなっている。（図５－１－６）

図 5－1－7 肝炎ウイルス検診の結果の認知状況－性別／性・年代別



性別にみると、「知っている」は女性のほうが5.1ポイント高くなっている。

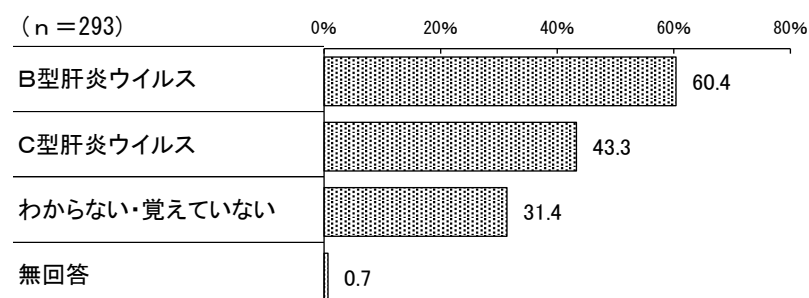
性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。(図 5－1－7)

（１－３）受けたことのある肝炎ウイルス検査項目

【 問23-1で「1」～「9」と回答した方に 】

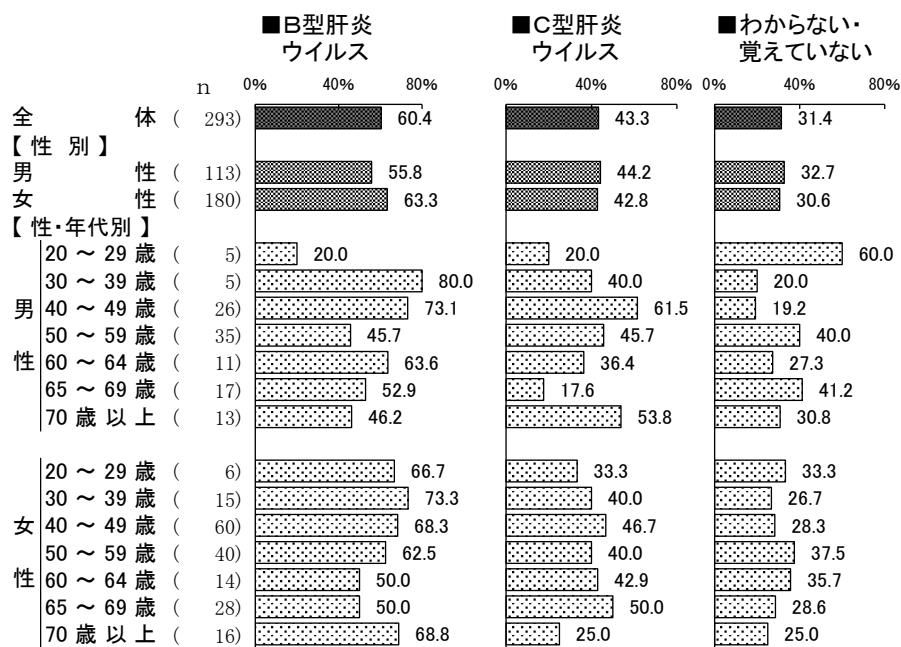
問23-3 受けたことがあるのはどの検査項目ですか。（○はいくつでも）

図５－１－８ 受けたことのある肝炎ウイルス検査項目



肝炎ウイルス検診について過去に受診経験があると答えた方（293人）に受けたことのある肝炎ウイルス検査項目をたずねたところ、「B型肝炎ウイルス」（60.4%）が約6割、「C型肝炎ウイルス」（43.3%）が4割を超えている。（図５－１－８）

図 5－1－9 受けたことのある肝炎ウイルス検査項目－性別／性・年代別



性別にみると、女性のほうは「B型肝炎ウイルス」で7.5ポイント高くなっている。

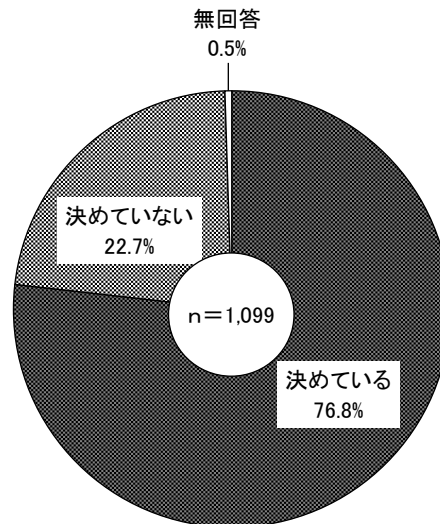
性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。(図 5－1－9)

6 歯とお口の健康について

(1) かかりつけ歯科医を決めているか

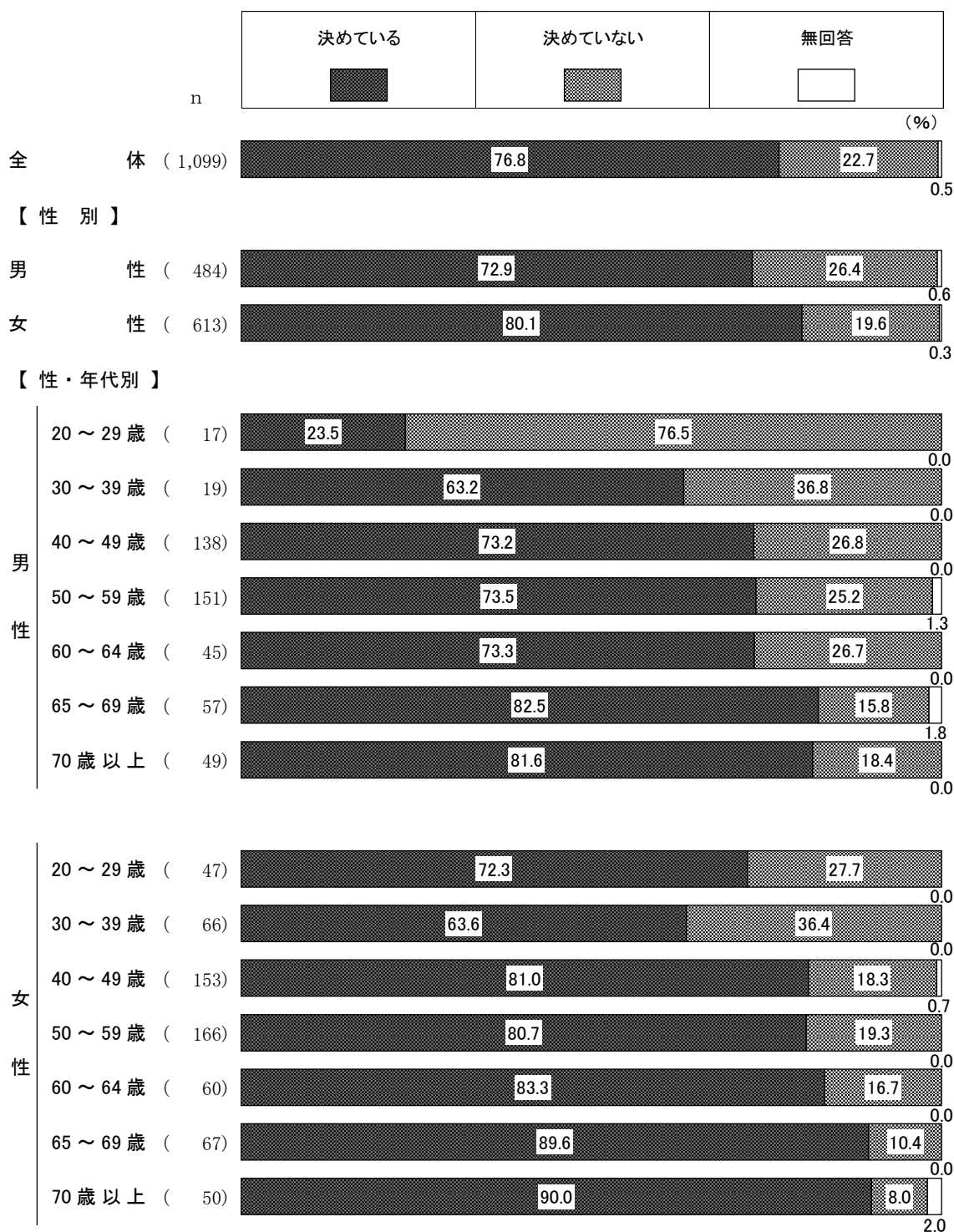
問24 あなたはかかりつけの歯科医を決めていますか。(○は1つ)

図6－1－1 かかりつけ歯科医を決めているか



かかりつけ歯科医を決めているかをたずねたところ、「決めている」(76.8%)が7割半ばとなっており、「決めていない」(22.7%)が2割台となっている。(図6－1－1)

図 6－1－2 かかりつけ歯科医を決めているか－性別／性・年代別



性別にみると、「決めている」は女性のほうが7.2ポイント高くなっている。

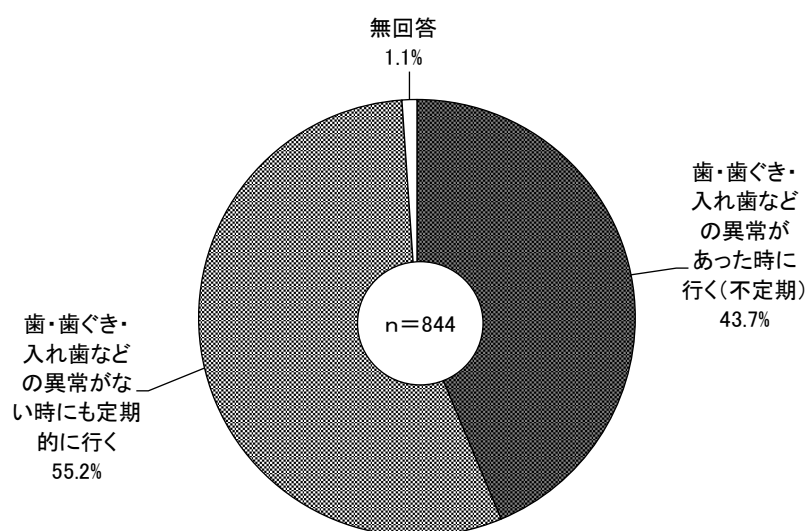
性・年代別にみると、「決めている」は男女ともにおおむね年代が高いほど多く、女性70歳以上で9割となっている。（図 6－1－2）

（１－１）かかりつけ歯科医へ行くタイミング

【問24で「１ 決めている」と回答した方に】

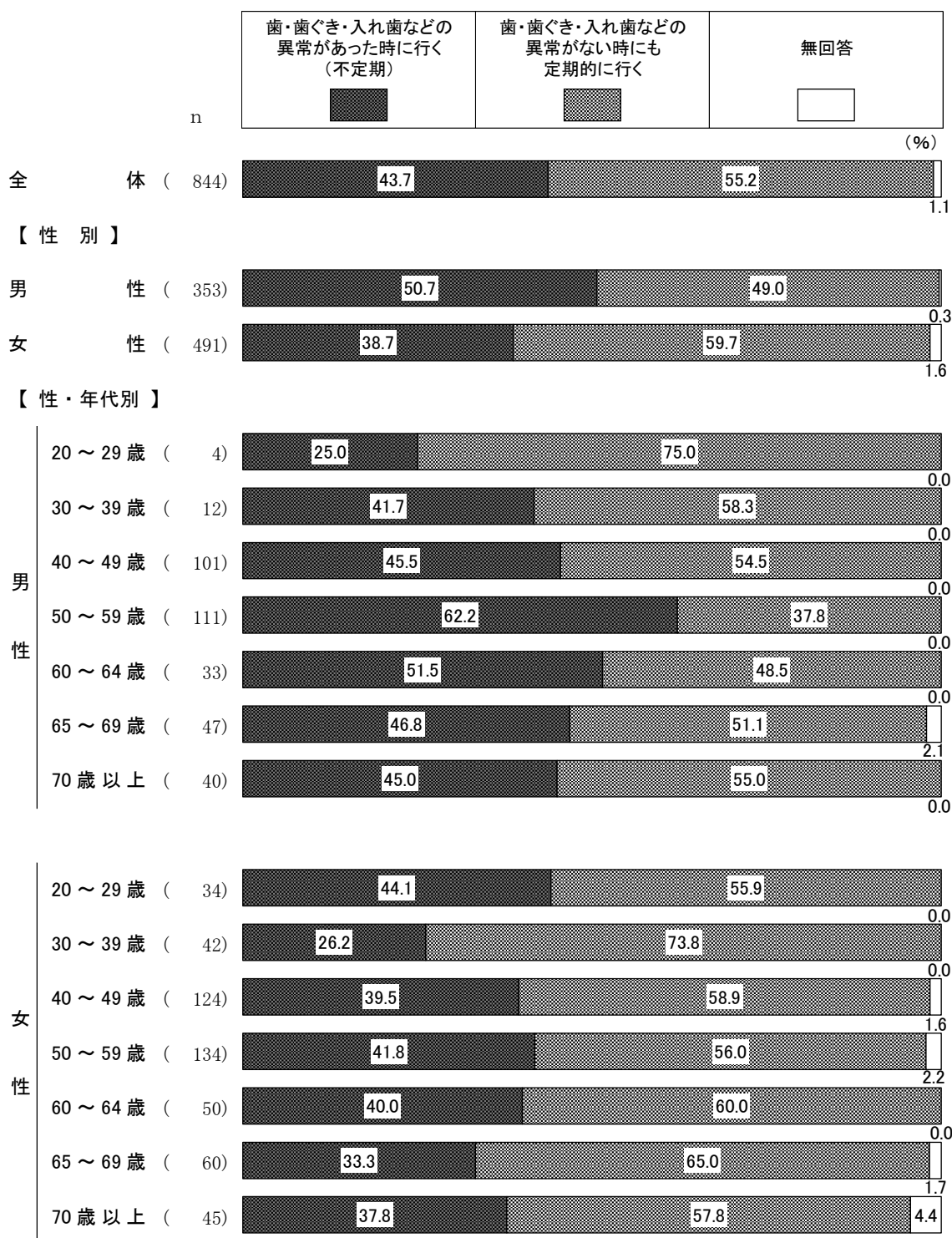
問24－１ どのような時にかかりつけの歯科医に行きますか。（○は１つ）

図 6－１－３ かかりつけ歯科医へ行くタイミング



かかりつけ歯科医を「決めている」と答えた方（844人）にかかりつけ歯科医へ行くタイミングをたずねたところ、「歯・歯ぐき・入れ歯などの異常があった時に行く（不定期）」（43.7%）が４割を超えており、「歯・歯ぐき・入れ歯などの異常がない時にも定期的に行く」（55.2%）が５割半ばとなっている。（図 6－１－３）

図 6－1－4 かかりつけ歯科医へ行くタイミング－性別／性・年代別



性別にみると、「歯・歯ぐき・入れ歯などの異常があった時に行く（不定期）」は男性のほうが12.0ポイント高くなっている。一方、「歯・歯ぐき・入れ歯などの異常がない時にも定期的に行く」は女性のほうが10.7ポイント高くなっている。

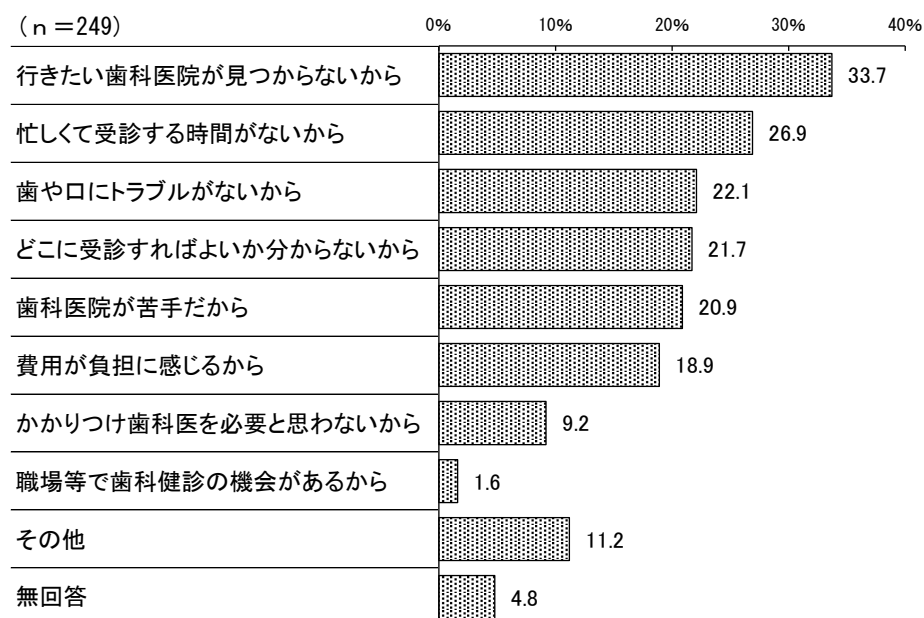
性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図 6－1－4）

（１－２）かかりつけ歯科医を決めていない理由

【問24で「2 決めていない」と回答した方に】

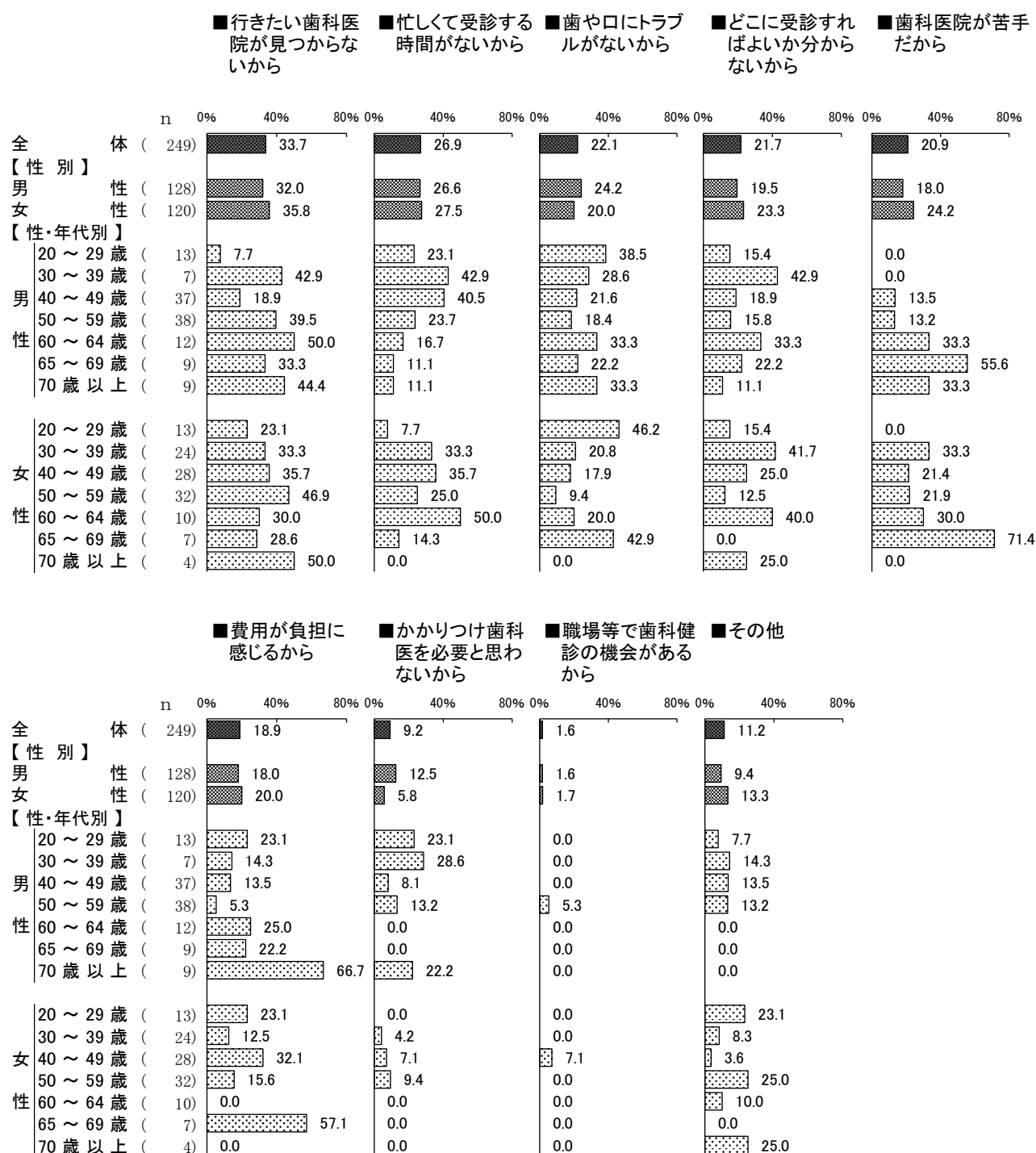
問24-2 かかりつけ歯科医を決めていない理由を教えてください。（○はいくつでも）

図 6－1－5 かかりつけ歯科医を決めていない理由



かかりつけ歯科医を「決めていない」と答えた方（249人）にかかりつけ歯科医を決めていない理由をたずねたところ、「行きたい歯科医院が見つからないから」（33.7%）が3割を超えて最も多く、次いで「忙しくて受診する時間がないから」（26.9%）、「歯や口にトラブルがないから」（22.1%）、「どこに受診すればよいか分からないから」（21.7%）などの順となっている。（図 6－1－5）

図 6-1-6 かかりつけ歯科医を決めていない理由—性別／性・年代別



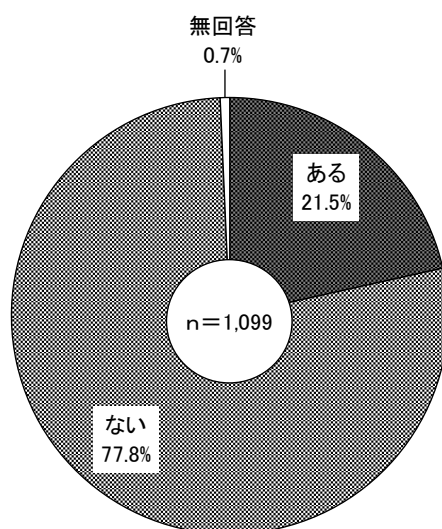
性別にみると、男性のほうは「かかりつけ歯科医を必要と思わないから」で6.7ポイント、「歯や口にトラブルがないから」で4.2ポイント高くなっている。一方、女性のほうは「歯科医院が苦手だから」で6.2ポイント高くなっている。

性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図6-1-6）

（２）市の無料歯科健診（お口の健康診査）受診経験

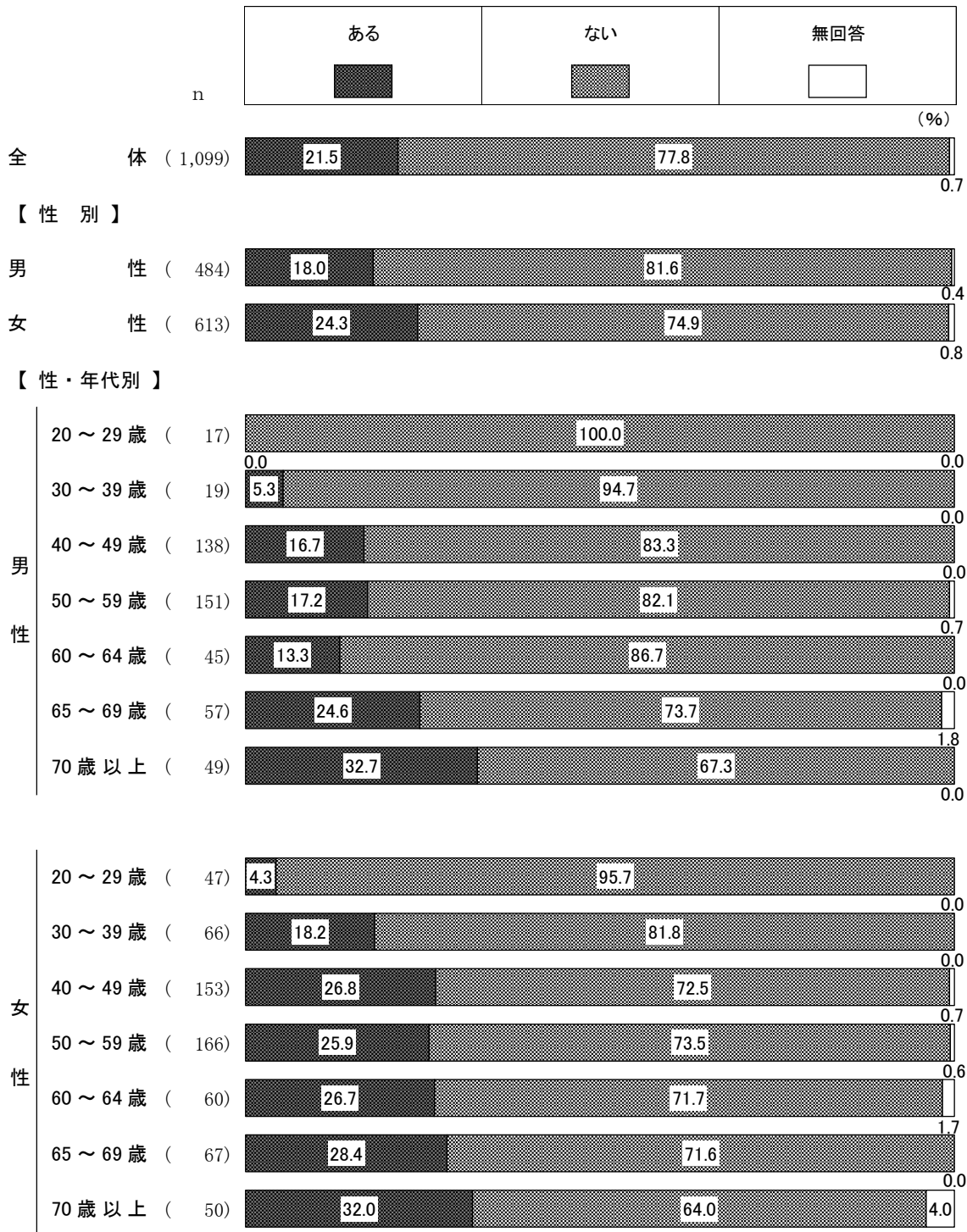
問24 日野市では無料の歯科健診（お口の健康診査）を行っています。受診したことはありますか。
（○は1つ）

図 6－2－1 市の無料歯科健診（お口の健康診査）受診経験



市の無料歯科健診（お口の健康診査）受診経験をたずねたところ、「ある」（21.5%）が2割台、「ない」（77.8%）が8割近くとなっている。（図 6－2－1）

図 6-2-2 市の無料歯科健診（お口の健康診査）受診経験－性別／性・年代別



性別にみると、「ある」は女性のほうが6.3ポイント高くなっている。

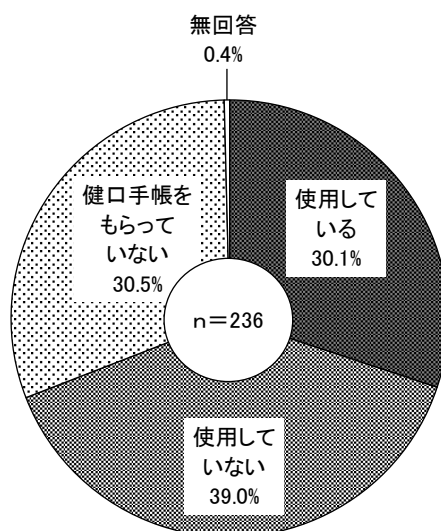
性・年代別にみると、「ある」は男女ともにおおむね年代が高いほど多く、男性70歳以上、女性70歳以上で3割を超えている。（図6-2-2）

(2-1) 「健口手帳」の使用状況

【問25で「1 ある」と回答した方に】

問25-1 平成28年度よりお口の健康診査受診者に対し「健口手帳」をお渡ししています。
健診受診後に歯科医院を受診する際、「健口手帳」を使用していますか。(○は1つ)

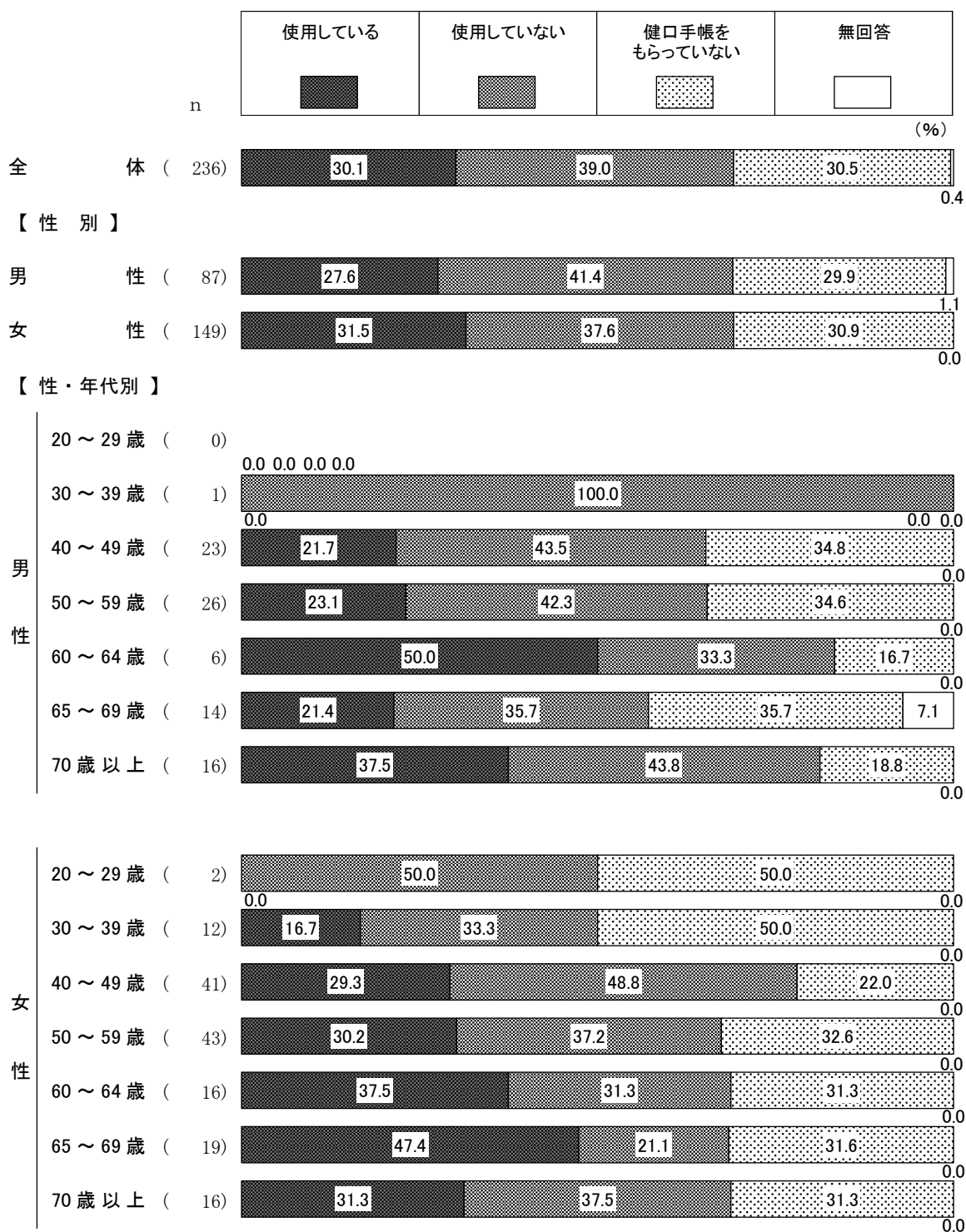
図6-2-3 「健口手帳」の使用状況



市の無料歯科健診（お口の健康診査）受診経験が「ある」と答えた方（236人）に「健口手帳」の使用状況をたずねたところ、「使用している」（30.1%）が約3割、「使用していない」（39.0%）が約4割、「健口手帳をもらっていない」（30.5%）が約3割となっている。

(図6-2-3)

図 6－2－4 「健口手帳」の使用状況－性別／性・年代別



性別にみると、「使用している」は女性のほうが3.9ポイント高くなっている。

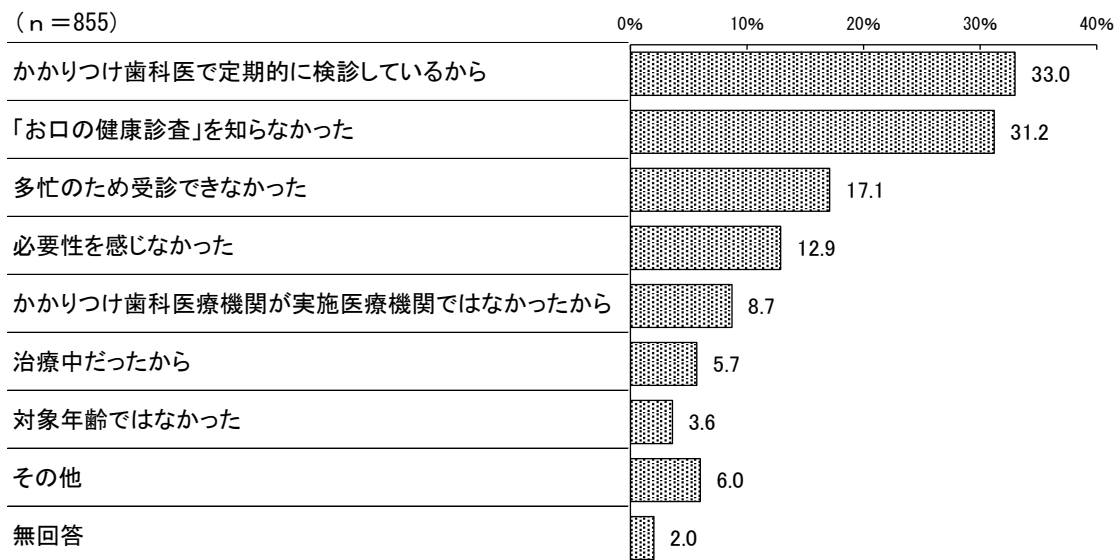
性・年代別はn数が少ないので参考に図示する。（図6－2－4）

(2-2) 市の無料歯科健診（お口の健康診査）を受診しなかった理由

【問25で「2 ない」と回答した方に】

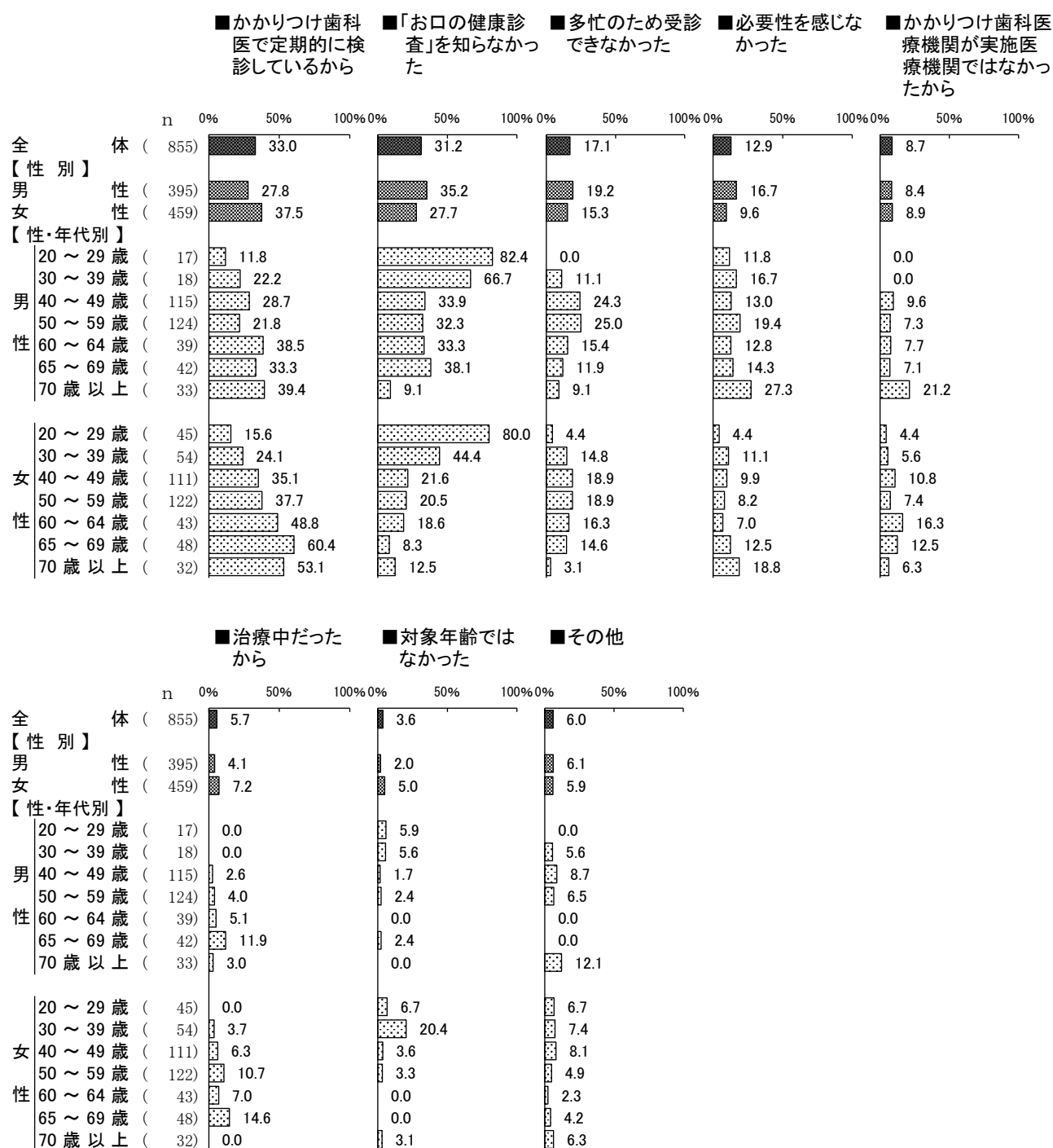
問25-2 日野市の無料の歯科健診（お口の健康診査）を受けなかった理由を教えてください。
（○はいくつでも）

図6-2-5 市の無料歯科健診（お口の健康診査）を受診しなかった理由



市の無料歯科健診（お口の健康診査）受診経験が「ない」と答えた方（855人）に市の無料歯科健診（お口の健康診査）を受診しなかった理由をたずねたところ、「かかりつけ歯科医で定期的に検診しているから」（33.0%）が3割を超えて最も多く、次いで「「お口の健康診査」を知らなかった」（31.2%）、「多忙のため受診できなかった」（17.1%）、「必要性を感じなかった」（12.9%）などの順となっている。（図6-2-5）

図 6-2-6 市の無料歯科健診（お口の健康診査）を受診しなかった理由－性別／性・年代別



性別にみると、女性のほうは「かかりつけ歯科医で定期的に検診しているから」で9.7ポイント高くなっている。一方、男性のほうは「「お口の健康診査」を知らなかった」で7.5ポイント、「必要性を感じなかった」で7.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「かかりつけ歯科医で定期的に検診しているから」は女性65～69歳で約6割と多くなっている。「「お口の健康診査」を知らなかった」は男性20～29歳で8割を超え、女性20～29歳で8割と多くなっている。（図6-2-6）

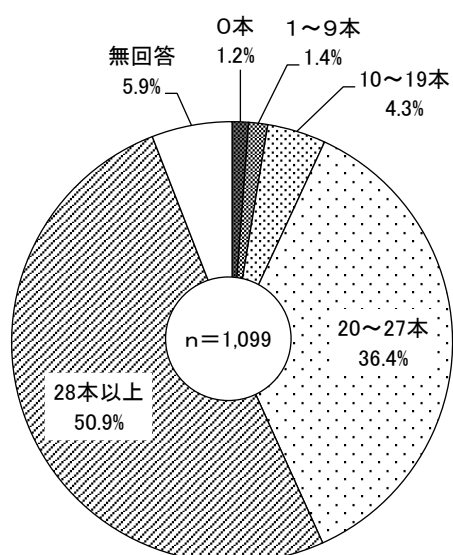
(3) 自分の歯の本数

問26 あなたは、自分の歯は何本ありますか。

* 自分の歯には、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。

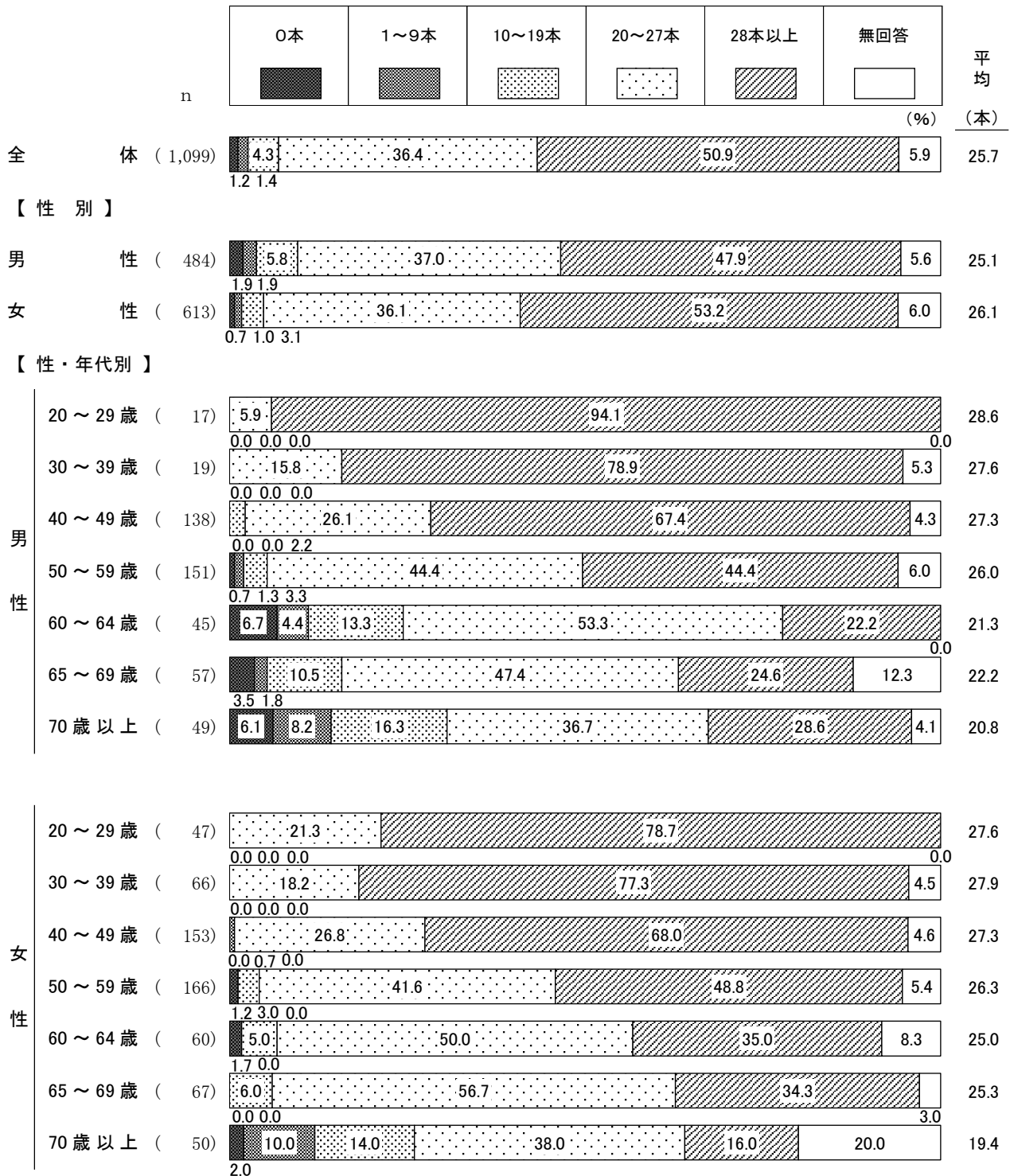
* 差し歯は含みます。親知らずを抜くと全部で28本が正常ですが、28本より多かったり少なかったりすることもあります。0(ゼロ)本の場合「00」とご記入ください。

図 6 - 3 - 1 自分の歯の本数



自分の歯の本数をたずねたところ、「28本以上」(50.9%)が約5割、「20～27本」(36.4%)が3割半ばとなっている。(図6-3-1)

図 6-3-2 自分の歯の本数－性別／性・年代別



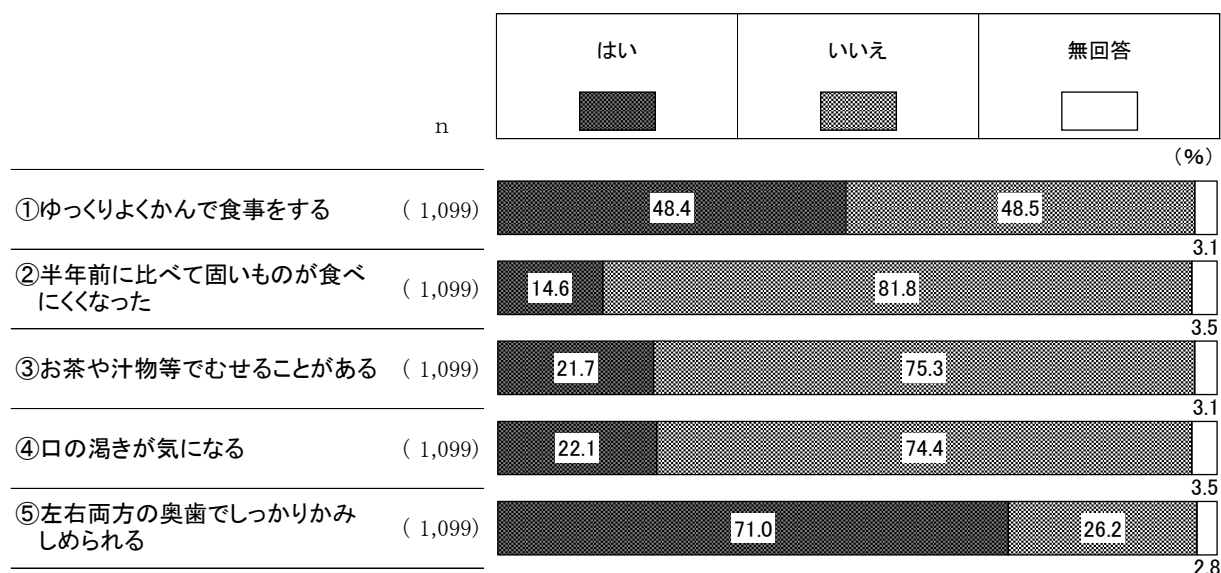
性別にみると、「28本以上」は女性のほうが5.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「28本以上」は男性20～29歳で9割半ば、男性30～39歳、女性20～29歳、女性30～39歳で8割近くとなっている。男女ともに60～65歳以上の年代で「20～27本」が多くなっている。(図6-3-2)

(4) 食べ方や食事の様子

問27 あなたの食べ方や食事の様子についておたずねします。
次の①～⑤について、あてはまる番号を○で囲んでください。(○は1つずつ)

図6-4-1 食べ方や食事の様子

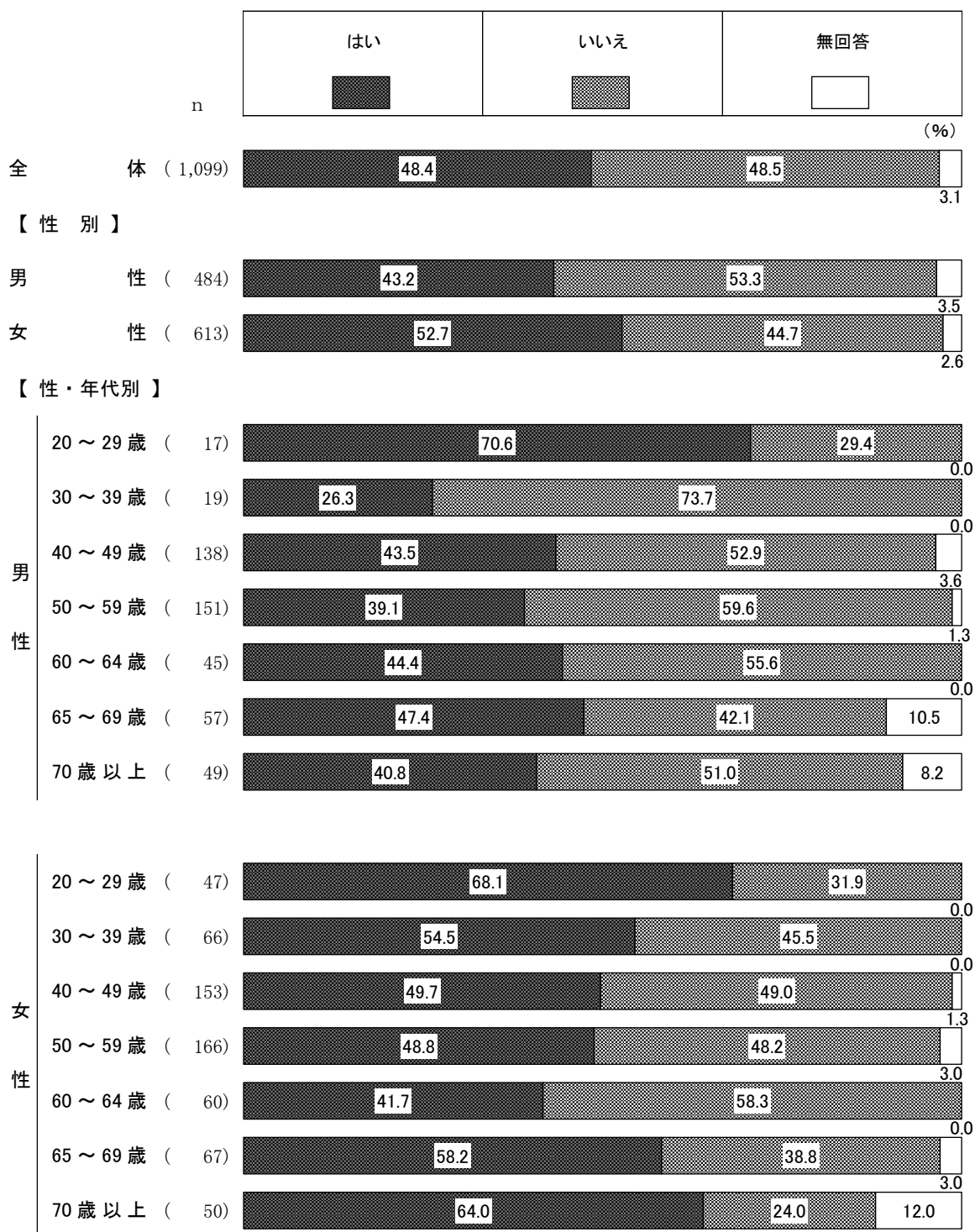


食べ方や食事の様子についてたずねたところ、「はい」は①ゆっくりよくかんで食事をする(48.4%)が5割近く、②半年前に比べて固いものが食べにくくなった(14.6%)が1割半ば、③お茶や汁物等でむせることがある(21.7%)、④口の渇きが気になる(22.1%)が2割を超え、⑤左右両方の奥歯でしっかりかみしめられる(71.0%)が7割を超えている。

(図6-4-1)

図 6-4-2 食べ方や食事中の様子－性別／性・年代別

①ゆっくりよくかんで食事をする

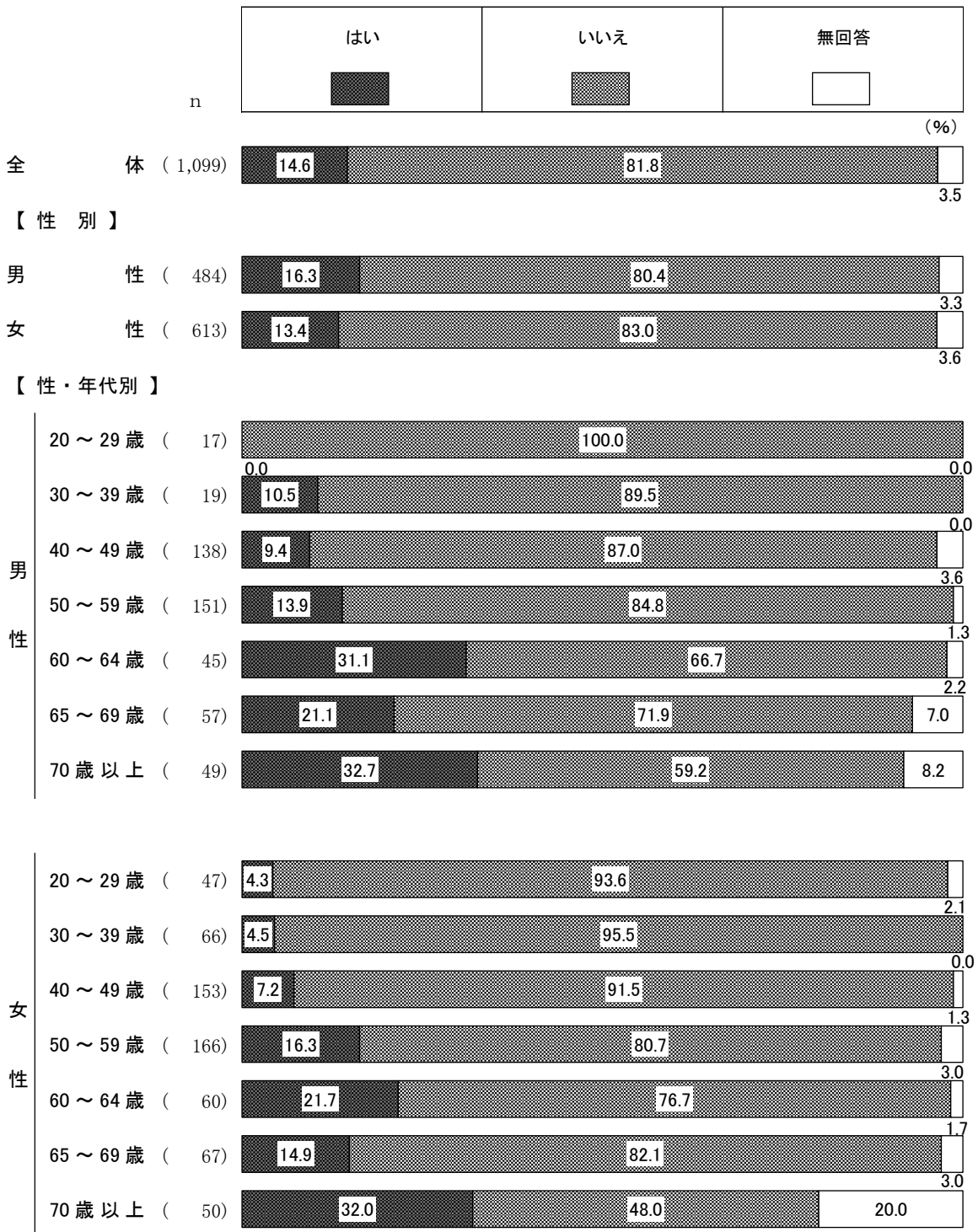


①ゆっくりよくかんで食事をするについて、性別にみると、「はい」は女性のほうが9.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「はい」は男性20～29歳で約7割、女性20～29歳で7割近くと多くなっている。(図6-4-2)

図 6-4-3 食べ方や食事の様子－性別／性・年代別

②半年前に比べて固いものが食べにくくなった

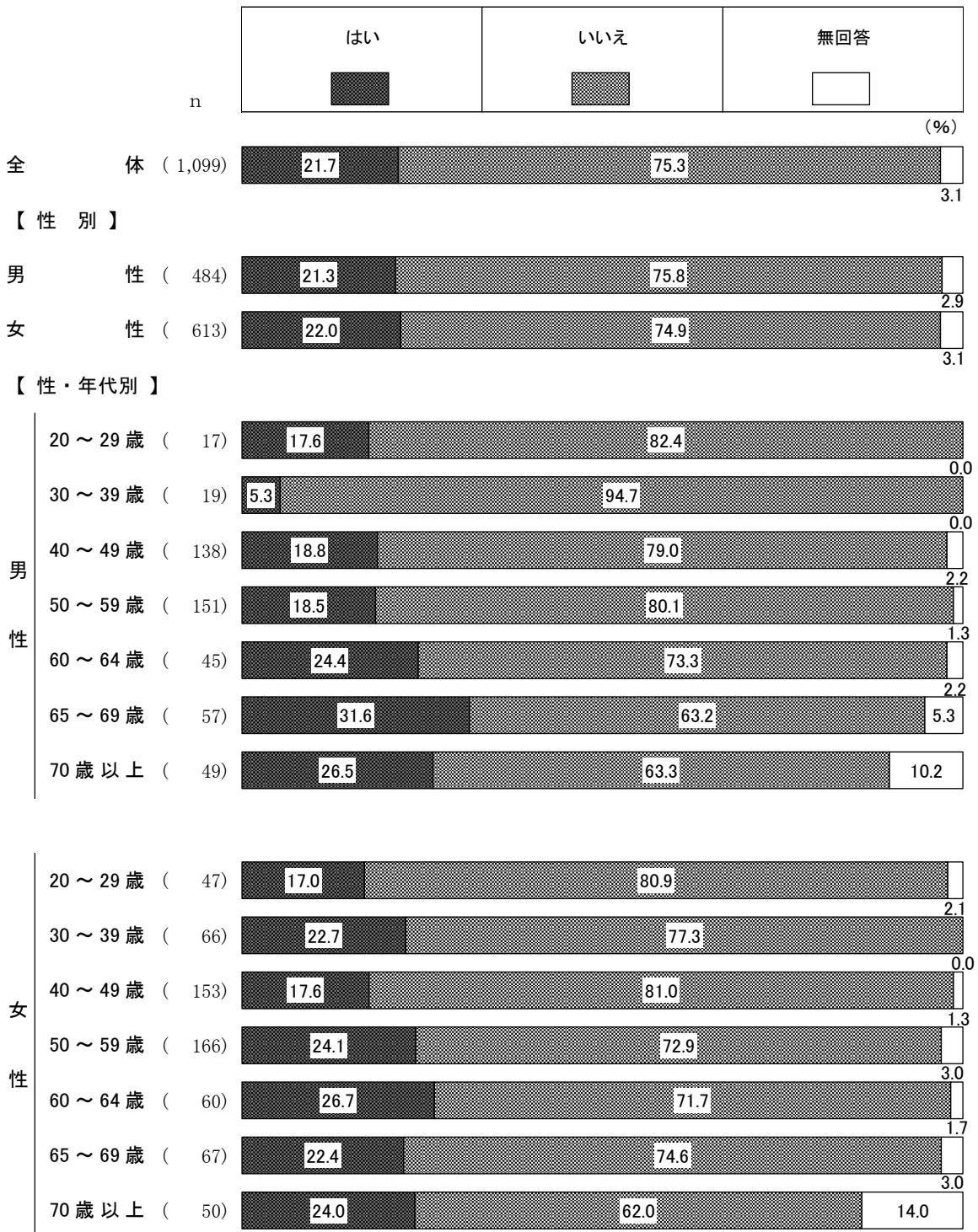


②半年前に比べて固いものが食べにくくなったについて、性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、「はい」は男性60～64歳、男性70歳以上、女性70歳以上で3割を超えて多くなっている。(図6-4-3)

図 6-4-4 食べ方や食事の様子－性別／性・年代別

③お茶や汁物等でむせることがある



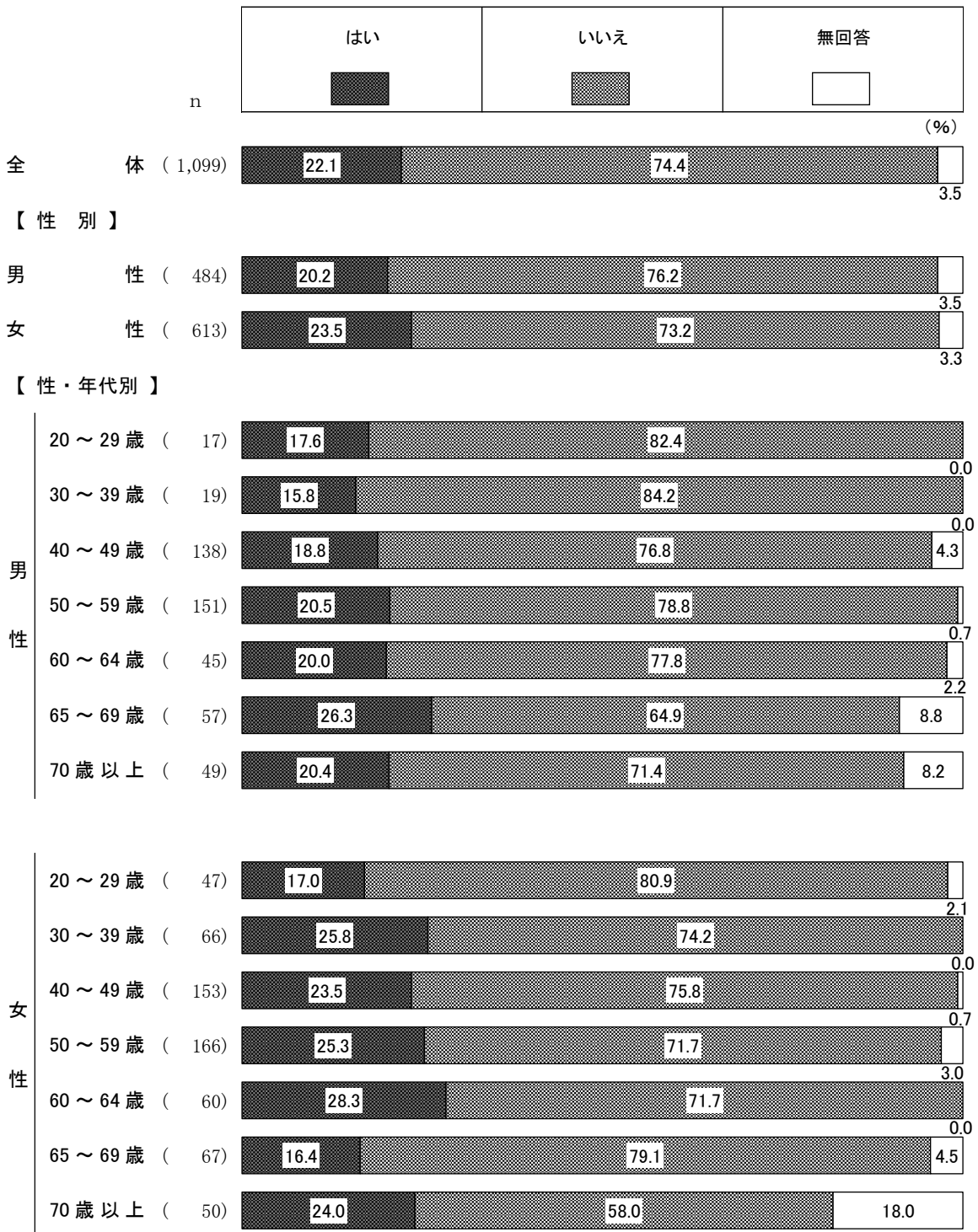
③お茶や汁物等でむせることがあるについて、性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、「はい」は男性65～69歳で3割を超えて多くなっている。

(図 6-4-4)

図 6-4-5 食べ方や食事の様子－性別／性・年代別

④口の渇きが気になる



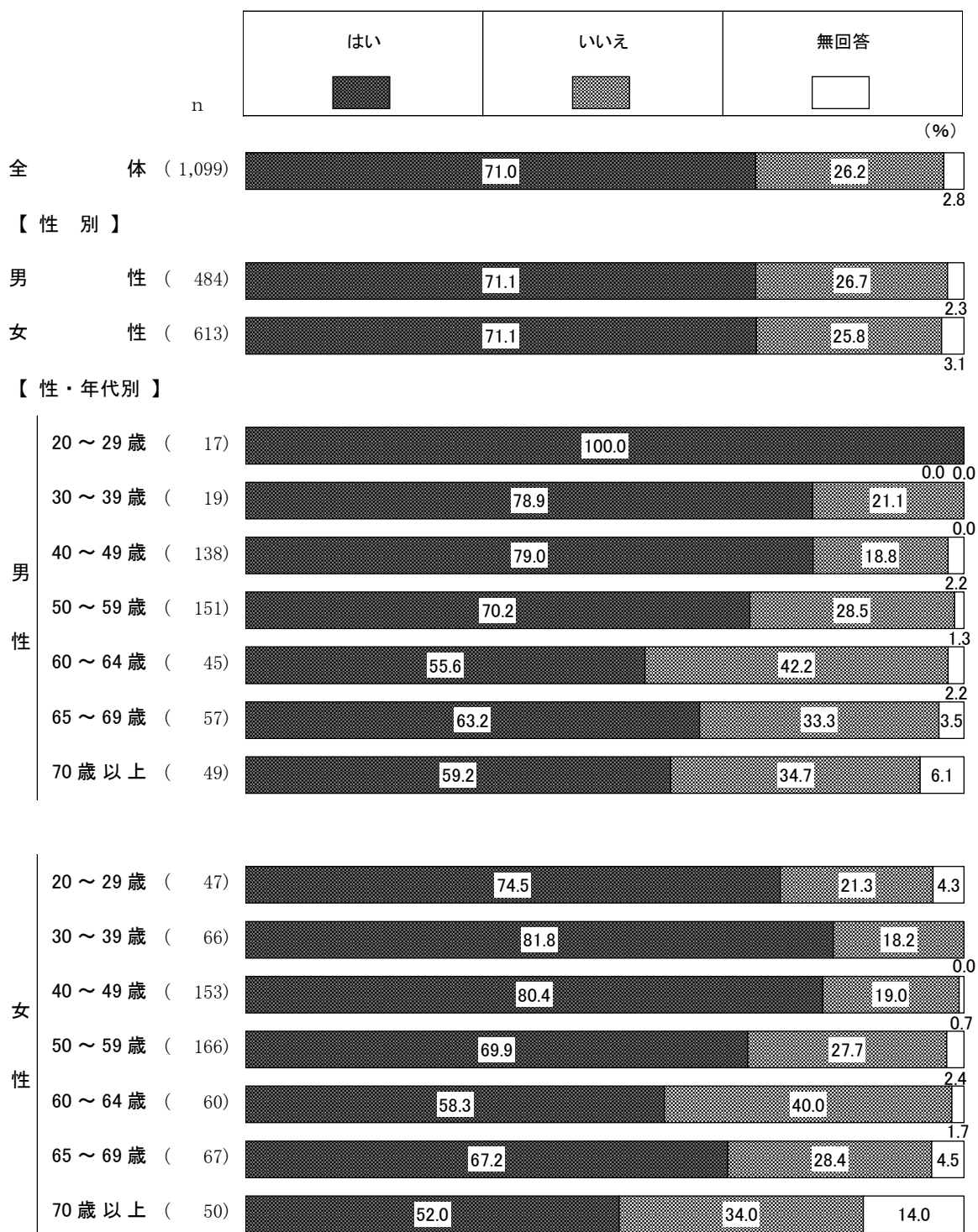
④口の渇きが気になるについて、性別にみると、「はい」は女性のほうが3.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「はい」は女性60～64歳以上で3割近くと多くなっている。

(図 6-4-5)

図 6 - 4 - 6 食べ方や食事中の様子－性別／性・年代別

⑤左右両方の奥歯でしっかりかみしめられる



⑤左右両方の奥歯でしっかりかみしめられるについて、性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

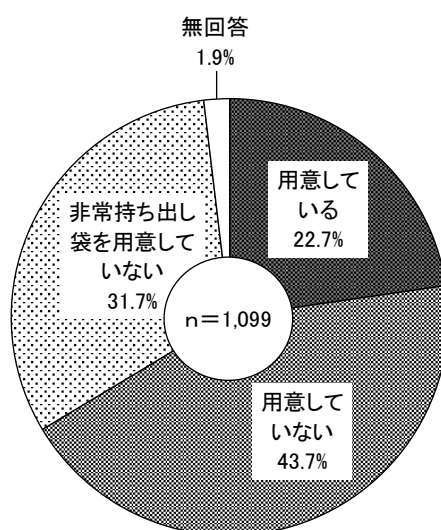
性・年代別にみると、「はい」は男性20～29歳で10割、男性30～39歳、男性40～49歳、女性30～39歳、女性40～49歳で8割前後と多くなっている。(図 6 - 4 - 6)

(5) 非常持ち出し袋の中に歯ブラシやマウスウォッシュ（洗口液）の用意状況

問28 災害発生時には、水不足などにより口の手入れが難しい場合も多く、口腔内の乾燥や細菌の増殖などが原因で感染症や誤嚥性肺炎になる危険性があります。そのため、口の中を清潔に保つことが重要です。

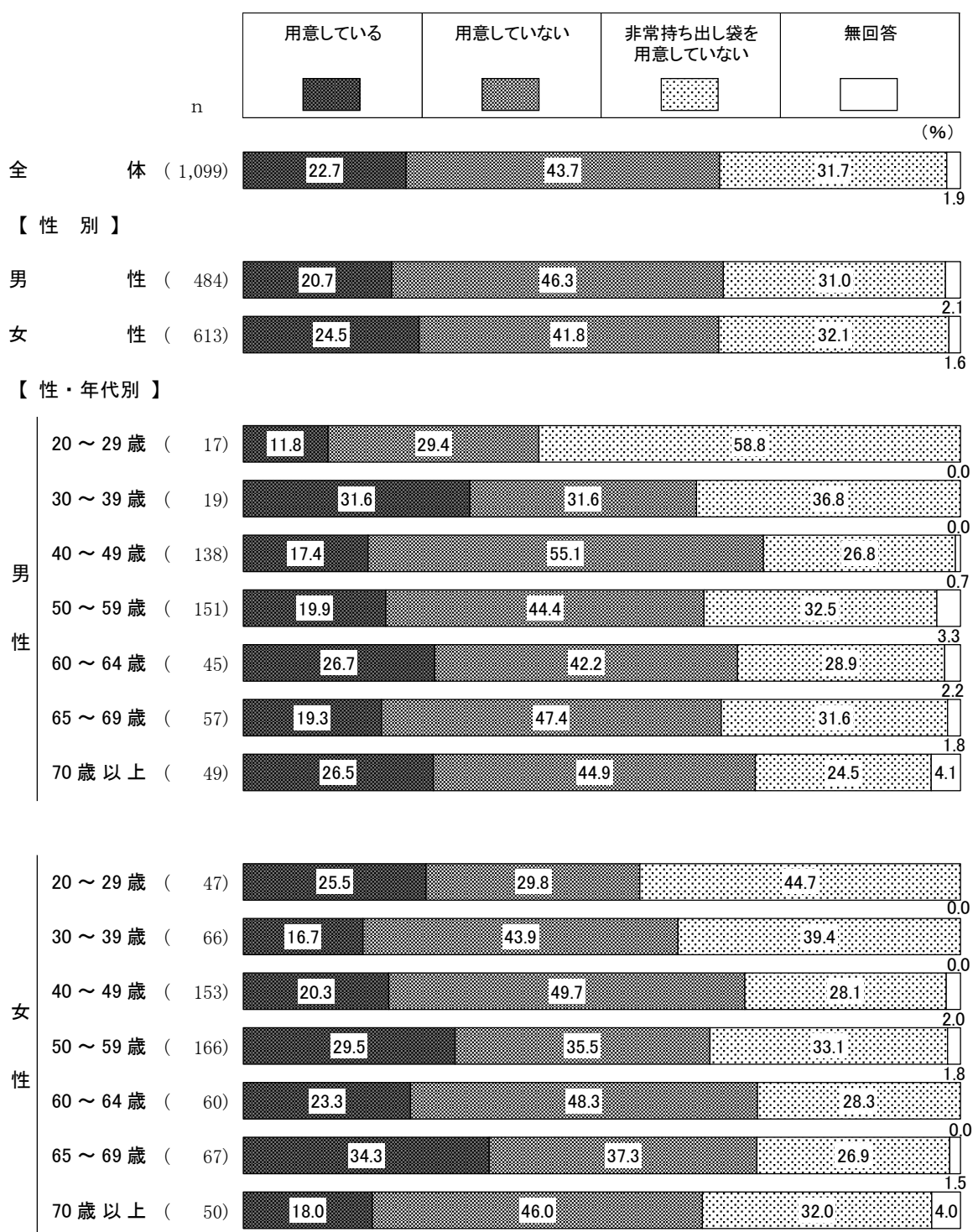
あなたは、非常持ち出し袋の中に歯ブラシやマウスウォッシュ（洗口液）を用意していますか。
（○は1つ）

図 6－5－1 非常持ち出し袋の中に歯ブラシやマウスウォッシュ（洗口液）の用意状況



非常持ち出し袋の中に歯ブラシやマウスウォッシュ（洗口液）の用意しているかをたずねたところ、「用意している」（22.7％）が2割台、「用意していない」（43.7％）が4割台、「非常持ち出し袋を用意していない」（31.7％）が3割台となっている。（図 6－5－1）

図 6-5-2 非常持ち出し袋の中に歯ブラシやマウスウォッシュ（洗口液）の用意状況
ー性別／性・年代別



性別にみると、「用意している」は女性のほうが3.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「用意している」は女性65～69歳で3割半ばと多くなっている。一方、「用意していない」は男性40～49歳で5割半ばと多くなっている。（図6-5-2）

7 行政への要望について

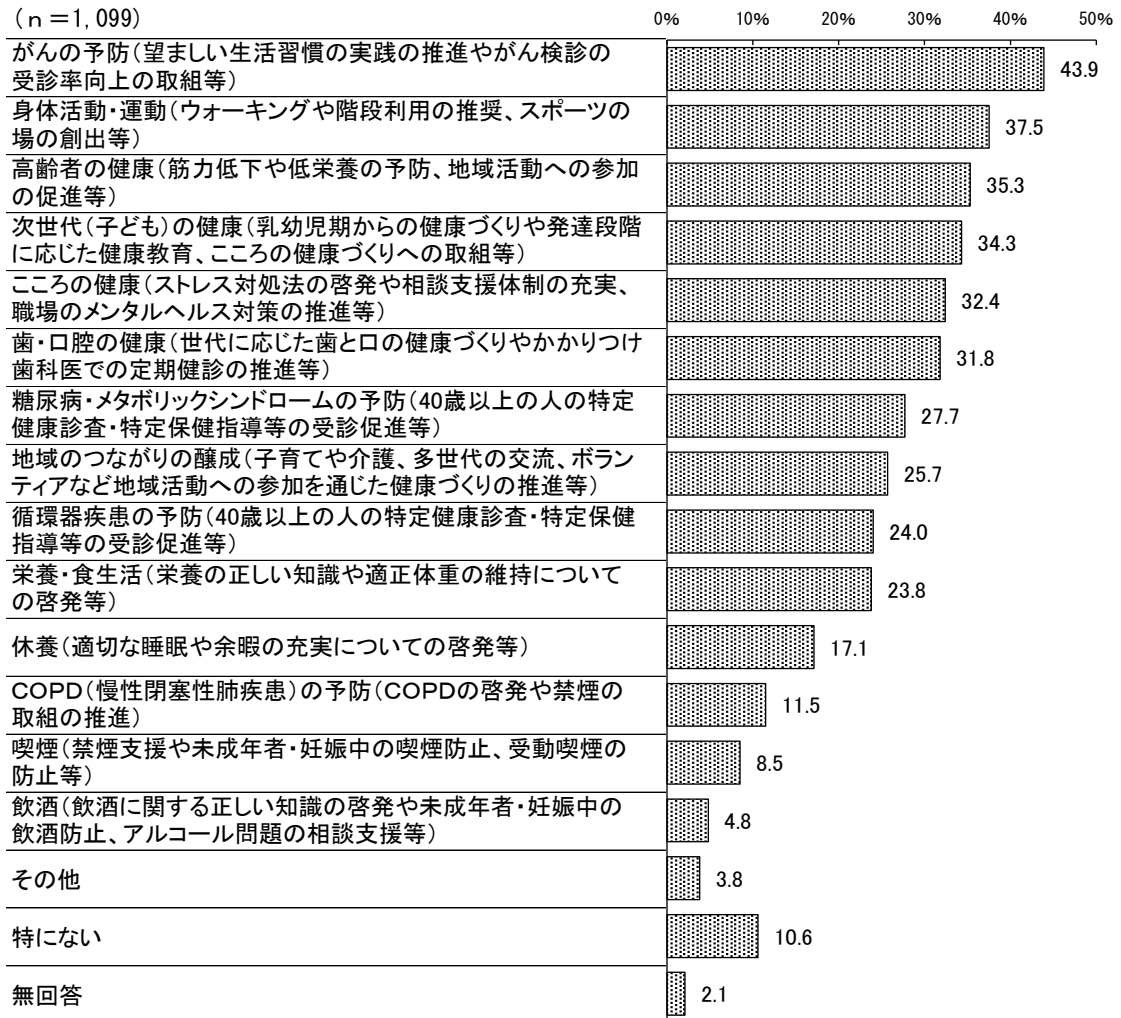
(1) 市に重点的に取り組んでほしい分野

問29 日野市では、健康寿命延伸のための取組を推進しています。

あなたは、日野市にどのような分野において、重点的に取り組んでほしいですか。

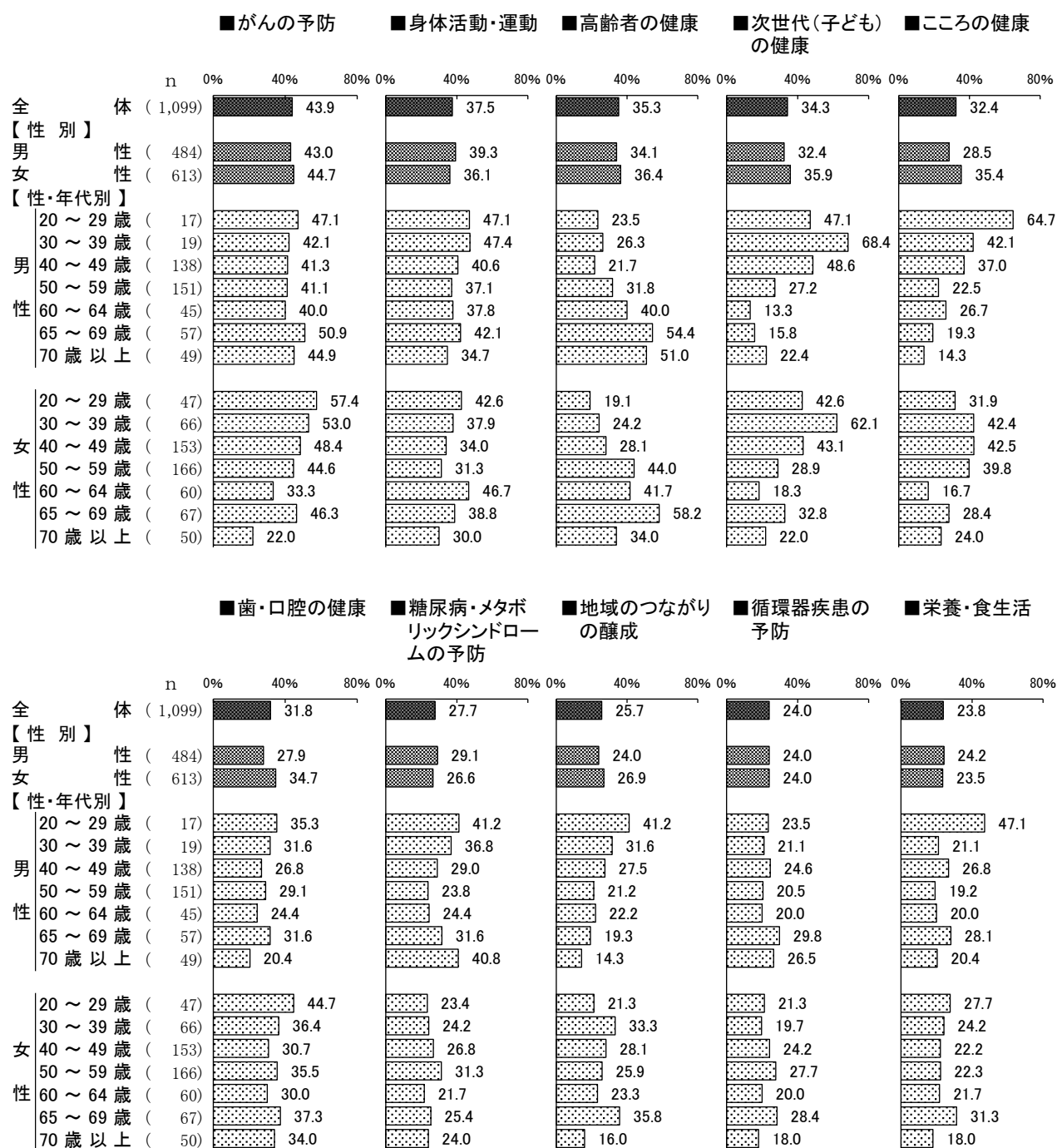
次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも)

図 7-1-1 市に重点的に取り組んでほしい分野



市に重点的に取り組んでほしい分野をたずねたところ、「がんの予防(望ましい生活習慣の実践の推進やがん検診の受診率向上の取組等)」(43.9%)が4割を超えて最も多く、次いで「身体活動・運動(ウォーキングや階段利用の推奨、スポーツの場の創出等)」(37.5%)、「高齢者の健康(筋力低下や低栄養の予防、地域活動への参加の促進等)」(35.3%)、「次世代(子ども)の健康(乳幼児期からの健康づくりや発達段階に応じた健康教育、こころの健康づくりへの取組等)」(34.3%)などの順となっている。(図7-1-1)

図 7-1-2 市に重点的に取り組んでほしい分野【上位10項目】－性別／性・年代別



性別にみると、女性のほうは「こころの健康」で6.9ポイント、「歯・口腔の健康」で6.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「がんの予防」は女性20～29歳で6割近く、男性65～69歳、女性30～39歳で5割を超えて多くなっている。「高齢者の健康」は女性65～69歳で6割近くと多くなっている。また、「次世代(子ども)の健康」は男性30～39歳で7割近く、女性30～39歳で6割を超えて多くなっている。(図7-1-2)

Ⅲ 使用した調査票

日野市「健康づくりに関する調査」

～ ご協力をお願い ～

日ごろから、日野市の健康増進事業にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
このたび日野市では、健康づくりの取り組みを評価・検討するため、市民の皆様のご意見をお伺いすることにいたしました。

このアンケートは、日野市にお住まいの今年度に20歳以上になる方々の中から、3,000名を無作為に抽出してお送りしております。このアンケートの結果は、市の健康づくりの取り組みにおける基礎資料としてのみ使用し、個人を特定して公表することは一切ございません。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、ぜひアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年7月

日野市 健康福祉部 健康課

【 ご記入にあたってのお願い 】

- ① 回答は、ご本人（アンケートのあて名の方）がご記入ください。
- ② 質問には、特にことわり書きのない場合はご回答日現在の状況でお答えください。
- ③ 回答は、あてはまる項目の選択肢の番号を、黒色のペンまたは鉛筆で○（マル）で囲んでください。
質問によっては1つだけ回答していただくものと、複数（あてはまるもの全て）回答していただくものがありますので、質問の指示に従ってご回答をお願いいたします。
- ④ 「その他」を選んだ場合には（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ⑤ アンケート用紙、返信用封筒にはご氏名やご住所などは記入しないでください。
- ⑥ ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の本調査を委託している株式会社総合企画宛の返信用封筒に切手を貼らずに入れて、

8月20日（火）までにポストにご投函ください。

このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いします。

日野市 健康福祉部 健康課

電話：042-581-4111

（平日午前8時30分から午後5時15分まで）

1 こころとからだの健康づくりについて

問1 あなたは、自分の健康状態をどのように感じていますか。

次の中からあてはまるものを1つお選びください。

(○は1つ)

- | | | | | | | | |
|---|----|---|------|---|---------|---|------|
| 1 | よい | 2 | まあよい | 3 | あまりよくない | 4 | よくない |
|---|----|---|------|---|---------|---|------|

問2 あなたは、自分の健康に関心がありますか。

次の中からあてはまるものを1つお選びください。

(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------------|---|---------------|
| 1 | 関心がある | 3 | どちらかといえば関心がない |
| 2 | どちらかといえば関心がある | 4 | 関心がない |

問3 毎日の生活で、負担感のない程度に健康づくりの取組を継続することが、健康の維持・増進につながります。

あなたは、毎日の生活のなかで実践していることはありますか。次の中からいくつでもお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|----|---|
| 1 | 栄養バランスを意識した食事をするようにしている |
| 2 | 野菜を食べるようにしている |
| 3 | 寝る前は食べないようにしている |
| 4 | 短い距離は歩いたり、エスカレーターやエレベーターの代わりに階段を使ったりするようにしている |
| 5 | 散歩やウォーキング、体操などの軽い運動をしている |
| 6 | 睡眠時間を十分とるようにしている |
| 7 | 気分転換などをしてストレスをため込み過ぎないようにしている |
| 8 | 休肝日を設けるなど過度な飲酒を控えている |
| 9 | 喫煙しない、または禁煙している |
| 10 | 歯みがきのときに、歯ブラシのほか、週に1回以上、デンタルフロスや歯間ブラシ等を使用している |
| 11 | マスクの着用や手洗いなど感染症対策をしている |
| 12 | その他（具体的に： _____) |
| 13 | 特に何もしていない |

問4 あなたは、主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ですか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。（○は1つ）

- 1 ほぼ毎日 2 週に4～5日 3 週に2～3日 4 ほとんどない

*「副菜」とは、野菜などを使った料理で、主食と主菜に不足するビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う重要な役割を果たしています。

*「主菜」とは、魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理で、主として良質たんぱく質や脂肪の供給源となるものです。

*「主食」とは、米、パン、めん類などの穀類で、主として糖質エネルギーの供給源となるものです。

(汁物)

問5 あなたは、1日30分以上の運動を、週2回以上、1年以上継続していますか。
 ここでいう運動とは、スポーツやフィットネス（ウォーキングやヨガ、ストレッチのような軽く汗をかく運動を含む。）などの健康・体力の維持・増進を目的として、計画的・定期的に行うものを指します。
 *医師等から運動を禁止されている場合は、「2 いいえ」をお選びください。（○は1つ）

- 1 はい 2 いいえ

問6 あなたは、毎日の生活のなかでイライラやストレスを感じることはありませんか。
 次の中からあてはまるものを1つお選びください。（○は1つ）

- 1 しばしば感じる 3 あまり感じない
 2 たまに感じる 4 ほとんど感じない

問7 あなたは、毎日の生活のなかでこころのゆとりを持つことができますか。
 次の中からあてはまるものを1つお選びください。（○は1つ）

- 1 十分に持つことができている 3 あまり持つことができている
 2 だいたい持つことができている 4 まったく持つことができている

問8 あなたは、毎日の生活のなかで気軽に話ができる人がいますか。それともいませんか。(○は1つ)

1 いる

2 いない

問9 あなたは、気軽に相談できる相手に相談しても解決できず、専門家（機関）に相談することが必要だと感じた悩み事や心配事を抱えたことがありますか。(○は1つ)

1 ある

2 ない → 問10へ

【 問9で「1 ある」と回答した方に 】

問9-1 専門家（機関）への相談が必要だと感じたときに適切な相談窓口をみつけることができましたか。
*相談窓口をみつけることができたが、相談を解決できなかった場合は「2 できなかった」をお選びください。(○は1つ)

1 できた

2 できなかった

【 全員の方に 】

問10 あなたは、体を休めること以外に、趣味や運動、スポーツ、学習活動、地域活動などの余暇の過ごし方は充実していますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

1 非常に充実している

3 あまり充実していない

2 まあ充実している

4 まったく充実していない

問11 この1か月間、あなたの1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

1 5時間未満

4 7時間以上8時間未満

2 5時間以上6時間未満

5 8時間以上9時間未満

3 6時間以上7時間未満

6 9時間以上

問12 睡眠の質についておたずねします。あなたはこの1か月間に、次のようなことが週3回以上ありましたか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも)

1 寝付き（布団に入ってから寝るまでに要する時間）に、いつもより時間がかかった

2 夜間、睡眠途中で目が覚めて困った

3 起きようとする時間より早く目が覚め、それ以上眠れなかった

4 睡眠時間が足りなかった

5 睡眠全体の質に満足できなかった

6 日中、眠気を感じた

7 上記1～6のようなことはなかった

問13 あなたは、普段の睡眠時間は足りていますか。それとも不足していますか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。

(○は1つ)

- 1 十分足りている → 問14へ
2 ほぼ足りている → 問14へ

- 3 やや不足している
4 まったく足りていない

【 問11で「3 やや不足している」「4 まったく足りていない」と回答した方に 】

問13-1 あなたの睡眠が不足していると考える理由は何ですか。
次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。

(○はいくつでも)

- 1 終業時間・帰宅時間が遅い（残業等による）
2 家族の帰宅時間が遅い
3 家事
4 介護・育児
5 勉強・自己啓発
6 テレビ、ゲーム、スマートフォン、パソコン等
7 趣味（6以外）
8 寝つきが悪い
9 その他（具体的に：

)

2 飲酒の習慣について

問14 あなたは、週に何日位お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか。
次の中からあてはまるものを1つお選びください。

(○は1つ)

- 1 毎日
2 週5～6日
3 週3～4日
4 週1～2日
5 月に1～3日

- 6 やめた（1年以上やめている） → 問15へ
7 ほとんど飲まない（飲めない） → 問15へ

【 問14で「1」～「5」と回答した方に 】

問14-1 あなたがお酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。
清酒に換算し、次の中からあてはまるものを1つお選びください。

(○は1つ)

- 1 1合（180ml）未満
2 1合以上2合（360ml）未満
3 2合以上3合（540ml）未満
4 3合以上4合（720ml）未満
5 4合以上5合（900ml）未満
6 5合（900ml）以上

***清酒1合(アルコール度数15度・180ml)は、次の量に
ほぼ相当します。**

- ・ビール中瓶1本(アルコール度数5度・500ml)
- ・焼酎0.6合(アルコール度数25度・約110ml)
- ・ワイン1/4本(アルコール度数14度・約180ml)
- ・ウイスキーダブル1杯(アルコール度数43度・60ml)
- ・缶チューハイ1.5缶(アルコール度数5度・約520ml)
- ・缶チューハイ1缶(アルコール度数7度・約350ml)

【 問14で「1～5」と回答した方に 】

問14-2 あなたは、過度な飲酒を防ぐために、何か工夫していることがありますか。

次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。

(○はいくつでも)

- 1 休肝日を決める
- 2 空腹時には飲まない
- 3 お酒以外の飲み物（お水等）と一緒に飲む
- 4 小さいコップで飲む
- 5 時間を決めて飲む
- 6 ゆっくり飲む
- 7 酒席では自分のコップを空にしない
- 8 途中からノンアルコール飲料に切替える
- 9 お酒の誘いをときどき断る
- 10 お酒の買い置きをしない
- 11 お酒以外の楽しみ（趣味など）を増やす
- 12 その他（具体的に： _____)
- 13 特に何もしていない

【 全員の方に 】

問15 国は、「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」を、1日あたりの純アルコール摂取量が男性40g（清酒換算で2合）以上、女性20g（清酒換算で1合）以上と示しています。

あなたは、このことを知っていますか。

(○は1つ)

1 知っている

2 知らない

***清酒1合(アルコール度数15度・180mℓ)は、次の量に
ほぼ相当します。**

- ・ビール中瓶1本(アルコール度数5度・500mℓ)
- ・焼酎0.6合(アルコール度数25度・約110mℓ)
- ・ワイン1/4本(アルコール度数14度・約180mℓ)
- ・ウイスキーダブル1杯(アルコール度数43度・60mℓ)
- ・缶チューハイ1.5缶(アルコール度数5度・約520mℓ)
- ・缶チューハイ1缶(アルコール度数7度・約350mℓ)

3 喫煙の健康への影響と受動喫煙について

問16 あなたはたばこを吸いますか。

次の中からあてはまるものを1つお選びください。

(○は1つ)

1 毎日吸っている

2 時々吸う日がある

3 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない

4 吸わない

問17へ

【問16で「1 毎日吸っている」「2 時々吸う日がある」と回答した方に】

問16-1 現在、あなたが吸っているたばこ製品はどれですか。

次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。

(○はいくつでも)

1 紙巻たばこ

2 加熱式たばこ

3 その他（具体的に：

)

問16-2 あなたは通常、1日に何本たばこを吸いますか。

＊「時々吸う」方は吸うときの1日の本数をお答えください。

--	--	--

本

問16-3 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。

次の中からあてはまるものを1つお選びください。

(○は1つ)

1 やめたい

2 本数を減らしたい

3 やめたくない

4 わからない

問16-4 身近に禁煙治療が受けられる医療機関はありますか。

次の中からあてはまるものを1つお選びください。

(○は1つ)

1 ある

2 ない

3 わからない

【全員の方に】

問17 「まんせいへいそくせいはいっかん慢性閉塞性肺疾患（COPD）」について、あなたは、この病気を知っていましたか。

次の中からあてはまるものを1つお選びください。

(○は1つ)

「まんせいへいそくせいはいっかん慢性閉塞性肺疾患（COPD）」とは、従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称です。有毒な粒子やガスを長期間吸うことによって、動いたときに息切れがしたり、慢性的に咳・痰が続いたりするようになる疾患のことです。早期に発見して治療を行えば、病気の進行を遅らせることができますが、重症化すると一日中酸素吸入が必要になることもあります。

1 知っていた

2 病気の内容までは知らなかったが、言葉は聞いたことがある

3 知らなかった

4 がん検診について

問18 あなたは、職場等でがん検診を受ける機会がありますか。
 それぞれのがん検診について、あてはまる番号を○で囲んでください。(○は1つずつ)

*実際に受けた・受けなかったに関わらず、職場等の
 福利厚生として受けることができるかどうかを
 お聞かせください。

		職場等で 検診を受ける ことができる	職場等で 検診を受ける ことはできない	わからない
	① 肺がん検診 *肺のレントゲン検査 ⇒	1	2	3
	② 大腸がん検診 *便潜血検査 ⇒	1	2	3
	③ 胃がん検診 *バリウムによる胃のレントゲン検査 ⇒	1	2	3
	④ 胃がん検診 *内視鏡検査 ⇒	1	2	3
の女性 の 回 の 答 方	⑤ 乳がん検診 *マンモグラフィ（乳房レントゲン） ⇒	1	2	3
	⑥ 子宮頸がん検診 *子宮の細胞を調べる検査 ⇒	1	2	3

問19 日野市が市民向けのがん検診を実施していることをご存知ですか。(○は1つずつ)

それぞれのがん検診について、あてはまる番号を○で囲んでください。

		知っている	知らない
	① 肺がん検診（40歳以上） *肺のレントゲン検査 ⇒	1	2
	② 大腸がん検診（40歳以上） *便潜血検査 ⇒	1	2
	③ 胃がん検診（40歳以上） *バリウムによる胃のレントゲン検査 ⇒	1	2
	④ 胃がん検診（50歳以上） *内視鏡検査 ⇒	1	2
の女性 の 回 の 答 方	⑤ 乳がん検診（40歳以上 偶数年齢の女性の方） *マンモグラフィ（乳房レントゲン） ⇒	1	2
	⑥ 子宮頸がん検診（20歳以上 偶数年齢の女性の方） *子宮の細胞を調べる検査 ⇒	1	2

問20 あなたは、この1年間または2年間、下記のがん検診を受けましたか。(○は1つずつ)

*ここでは市のがん検診や職場、人間ドックなどで受けたがん検診についてご回答ください
 （再検査・精密検査・症状があり受診した場合は除く）。
 それぞれのがん検診についてあてはまる選択肢を選び、番号を○で囲んでください。

		日野市の 検診で 受けた	職場検診で 受けた	個人的に 受けた(人間 ドック含む)	受けな かった	受けたか どうかを 忘れた
(1年間)	① 肺がん検診 *肺のレントゲン検査 ⇒	1	2	3	4	5
(1年間)	② 大腸がん検診 *便潜血検査 ⇒	1	2	3	4	5
(1年間)	③ 胃がん検診 *バリウムによる 胃のレントゲン検査 ⇒	1	2	3	4	5
(2年間)	④ 胃がん検診 *内視鏡検査 ⇒	1	2	3	4	5
の女性 の 回 の 答 方	(2年間) ⑤ 乳がん検診 *マンモグラフィ (乳房レントゲン) ⇒	1	2	3	4	5
	(2年間) ⑥ 子宮頸がん検診 *子宮の細胞を調べる検査 ⇒	1	2	3	4	5

【 問20①②③④⑤⑥のいずれかのがん検診を「1～3（受けた）」と回答した方に 】

問20-1 がん検診を受けた方へおたずねします。

がん検診を受けた理由はなんですか。

*問20①②③④⑤⑥で「1～3（受けた）」と回答された検診・検査についてお答えください。

	女性の方のみ回答					
	① 肺がん 検診	② 大腸がん 検診	③ *胃がん 検診 *バリウム による 検査	④ *胃がん 検診 *内視鏡 検査	⑤ 乳がん 検診	⑥ 子宮頸がん 検診
(○はいくつでも)	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1 健康診断や検診の対象年齢だったから	1	1	1	1	1	1
2 気になる症状があったから	2	2	2	2	2	2
3 健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから	3	3	3	3	3	3
4 職場や市からお知らせ・案内が来たから	4	4	4	4	4	4
5 家族・友人などに受診を勧められたから	5	5	5	5	5	5
6 検診を進める情報を見聞きしたから	6	6	6	6	6	6
7 自宅や職場の近くで受診できたから	7	7	7	7	7	7
8 かかりつけ医で受診できたから	8	8	8	8	8	8
9 医師の指示や勧めがあったから	9	9	9	9	9	9
10 勤務時間中に受けられたから	10	10	10	10	10	10
11 早朝・夜間や休日に受けられたから	11	11	11	11	11	11
12 費用が無料または安価だったから	12	12	12	12	12	12
13 発見が遅れ、手遅れになりたくないから	13	13	13	13	13	13
14 家族・友人などががんにかかったから	14	14	14	14	14	14
15 これまでも定期的に受けているから	15	15	15	15	15	15
16 自分の健康管理のため	16	16	16	16	16	16
17 その他	17	17	17	17	17	17

【 問20①②③④⑤⑥のいずれかのがん検診を「4 受けなかった」と回答した方に 】

問20-2 がん検診を受けなかった方へおたずねします。

がん検診を受けなかった理由はなんですか。

*問20①②③④⑤⑥で「4 受けなかった」と回答された検診・検査についてお答えください。

	女性の方のみ回答					
	① 肺がん検診	② 大腸がん検診	③ *胃がん検診 *バリウムによる検査	④ *胃がん検診 *内視鏡検査	⑤ 乳がん検診	⑥ 子宮頸がん検診
(○はいくつでも)	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1 入院中・自宅療養中・妊娠中だったから	1	1	1	1	1	1
2 長期赴任・留学等で不在だったから	2	2	2	2	2	2
3 忙しくて受ける時間がないから	3	3	3	3	3	3
4 健康診断や人間ドックの項目・内容にがん検診が含まれていなかったから	4	4	4	4	4	4
5 健康診断や検診の対象年齢ではなかったから	5	5	5	5	5	5
6 がんが見つかったら怖いから	6	6	6	6	6	6
7 検査に痛みや苦しみがあると思うから	7	7	7	7	7	7
8 面倒だったから	8	8	8	8	8	8
9 どこでどのように受ければよいか分からなかったから	9	9	9	9	9	9
10 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	10	10	10	10	10	10
11 費用が掛かるから	11	11	11	11	11	11
12 健康に自信があるから	12	12	12	12	12	12
13 その他	13	13	13	13	13	13

【 全員の方に 】

問21 精密検査の受診についておうかがいします。

もし、がん検診を受診して「精密検査が必要」と診断された場合、精密検査を受けるつもりはありますか。 (○は1つ)

1 精密検査を受けるつもりがある → 問22へ

2 精密検査を受けるつもりはない

【 問21で「2 精密検査を受けるつもりはない」と回答した方に 】

問21-1 精密検査を受けるつもりはないのはなぜですか。

(○はいくつでも)

- 1 忙しくて受ける時間がないから
- 2 がんが見つかったら怖いから
- 3 検査に痛みや苦しさがあると思うから
- 4 面倒だから
- 5 どこでどのように受ければよいのかわからないから
- 6 心配なときはいつでも医療機関を受診できるので、まだ受けなくても大丈夫だと思うから
- 7 費用がかかるから
- 8 自分はがんにかかっていないと思うから
- 9 過去に二次検査を受けたことがあり、その時はがんではなかったから
- 10 医療機関に行くことに対して感染症の不安があるから
- 11 その他（具体的に：)

問21-2 上記の問21-1 で選択したものの中で、最も大きな理由の番号（数字）を1つご記入ください。

【 全員の方に 】

問22 どのようなことがあればがん検診を受診したいと思いますか。

次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。 (○はいくつでも)

- 1 がん予防や気になる症状について、検診受診時にアドバイスが受けられる
- 2 休暇を取らずに勤務時間中に受診できる
- 3 自宅の近くで受診できる
- 4 職場もしくは職場の近くで受診できる
- 5 自宅や職場のある区市町村以外の自治体で受診できる
- 6 早朝・夜間や休日に受診できる
- 7 電話・インターネット・はがき等で簡単に検診の予約ができる
- 8 かかりつけ医で受診できる
- 9 各がん検診を一度に受診できる
- 10 無料で受診できる
- 11 安い費用で受診できる
- 12 短い時間で受診できる
- 13 予約不要で受診できる
- 14 検査中に託児サービスを利用できる
- 15 その他（具体的に：)
- 16 どんな条件でもがん検診を受診しようと思わない

5 肝炎ウイルス検診について

問23 あなたは、肝炎ウイルスを知っていますか。

(○は1つずつ)

***肝炎ウイルスとは…**

全ての人が感染している可能性があります。血液・体液を介して感染します。肝炎ウイルスに感染すると、気づかぬうちに肝臓の炎症が進み、慢性肝炎となり、肝硬変や肝臓がんに進行する場合があります。

		具体的な症状や 治療方法について 知っている	名前は聞いた ことがある	知らない
① B型肝炎ウイルス	⇒	1	2	3
② C型肝炎ウイルス	⇒	1	2	3

【問23①②いずれかで「1 具体的な症状や治療方法について知っている」「2 名前は聞いたことがある」と回答した方に】

問23-1 肝炎ウイルス検診を過去（昨年度に限りません）に受けたことがありますか。

*肝炎ウイルス検診は、血液検査です。

(○はいくつでも)

- 1 職場の健康診断で受けた（無料）
- 2 職場の健康診断で受けた（有料）
- 3 自治体が実施する肝炎ウイルス検診で受けた
- 4 人間ドックで受けた
- 5 自費で、自主的に医療機関で受けた
- 6 献血時に受けた
- 7 手術前検査等、通院時に受けた
- 8 妊娠・出産時の検査で受けた
- 9 その他（具体的に：

- 10 受けたことはない → 問24へ
- 11 わからない・覚えていない → 問24へ

【問23-1で「1」～「9」と回答した方に】

問23-2 肝炎ウイルス検診の結果を知っていますか。

(○は1つ)

- 1 知っている
- 2 知らない（結果待ちを含む）
- 3 わからない・覚えていない

問23-3 受けたことがあるのはどの検査項目ですか。

(○はいくつでも)

- 1 B型肝炎ウイルス
- 2 C型肝炎ウイルス
- 3 わからない・覚えていない

6 歯とお口の健康について

問24 あなたはかかりつけの歯科医を決めていますか。 (○は1つ)

1 決めている

2 決めていない

→ 問24-2へ

【問24で「1 決めている」と回答した方に】

問24-1 どのような時にかかりつけの歯科医に行きますか。 (○は1つ)

1 歯・歯ぐき・入れ歯などの異常があった時に行く（不定期） → 問25へ

2 歯・歯ぐき・入れ歯などの異常がない時にも定期的に行く → 問25へ

【問24で「2 決めていない」と回答した方に】

問24-2 かかりつけ歯科医を決めていない理由を教えてください。 (○はいくつでも)

1 歯や口にトラブルがないから

2 忙しくて受診する時間がないから

3 費用が負担に感じるから

4 どこに受診すればよいか分からないから

5 職場等で歯科健診の機会があるから

6 行きたい歯科医院が見つからないから

7 歯科医院が苦手だから

8 かかりつけ歯科医を必要と思わないから

9 その他（具体的に：

）

【全員の方に】

問25 日野市では無料の歯科健診（お口の健康診査）を行っています。受診したことはありますか。 (○は1つ)

1 ある

2 ない

→ 問25-2へ

【問25で「1 ある」と回答した方に】

問25-1 平成28年度よりお口の健康診査受診者に対し「健口手帳」をお渡ししています。
健診受診後に歯科医院を受診する際、「健口手帳」を使用していますか。 (○は1つ)

1 使用している

2 使用していない

3 健口手帳をもらっていない

【 問25で「2 ない」と回答した方に 】

問25-2 日野市の無料の歯科健診（お口の健康診査）を受けなかった理由を教えてください。
（○はいくつでも）

- 1 「お口の健康診査」を知らなかった
- 2 対象年齢ではなかった
- 3 多忙のため受診できなかった
- 4 必要性を感じなかった
- 5 かかりつけ歯科医で定期的に検診しているから
- 6 治療中だったから
- 7 かかりつけ歯科医療機関が実施医療機関ではなかったから
- 8 その他（具体的に： _____）

【 全員の方に 】

問26 あなたは、自分の歯は何本ありますか。

*自分の歯には、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。

*差し歯は含みます。親知らずを抜くと全部で28本が正常ですが、28本より多かったり少なかったりすることもあります。0（ゼロ）本の場合「00」とご記入ください。

自分の歯は、

--	--

本ある

問27 あなたの食べ方や食事の様子についておたずねします。

次の①～⑤について、あてはまる番号を○で囲んでください。

（○は1 つずつ）

		はい	いいえ
① ゆっくりよくかんで食事をする	⇒	1	2
② 半年前に比べて固いものが食べにくくなった	⇒	1	2
③ お茶や汁物等でむせることがある	⇒	1	2
④ 口の渇きが気になる	⇒	1	2
⑤ 左右両方の奥歯でしっかりかみしめられる	⇒	1	2

問28 災害発生時には、水不足などにより口の手入れが難しい場合も多く、口腔内の乾燥や細菌の増殖などが原因で感染症や誤嚥性肺炎になる危険性があります。そのため、口の中を清潔に保つことが重要です。

あなたは、非常持ち出し袋の中に歯ブラシやマウスウォッシュ（洗口液）を用意していますか。

（○は1 つ）

- 1 用意している
- 2 用意していない
- 3 非常持ち出し袋を用意していない

7 行政への要望について

問29 日野市では、健康寿命延伸のための取組を推進しています。

あなたは、日野市にどのような分野において、重点的に取り組んでほしいですか。

次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。

(○はいくつでも)

- 1 栄養・食生活
(栄養の正しい知識や適正体重の維持についての啓発等)
- 2 身体活動・運動
(ウォーキングや階段利用の推奨、スポーツの場の創出等)
- 3 休養
(適切な睡眠や余暇の充実についての啓発等)
- 4 飲酒
(飲酒に関する正しい知識の啓発や未成年者・妊娠中の飲酒防止、アルコール問題の相談支援等)
- 5 喫煙
(禁煙支援や未成年者・妊娠中の喫煙防止、受動喫煙の防止等)
- 6 歯・口腔の健康
(世代に応じた歯と口の健康づくりやかかりつけ歯科医での定期健診の推進等)
- 7 がんの予防
(望ましい生活習慣の実践の推進やがん検診の受診率向上の取組等)
- 8 糖尿病・メタボリックシンドロームの予防
(40歳以上の人の特健康診査・特定保健指導等の受診促進等)
- 9 循環器疾患の予防
(40歳以上の人の特健康診査・特定保健指導等の受診促進等)
- 10 COPD(慢性閉塞性肺疾患)の予防
(COPDの啓発や禁煙の取組の推進)
- 11 こころの健康
(ストレス対処法の啓発や相談支援体制の充実、職場のメンタルヘルス対策の推進等)
- 12 次世代(子ども)の健康
(乳幼児期からの健康づくりや発達段階に応じた健康教育、こころの健康づくりへの取組等)
- 13 高齢者の健康
(筋力低下や低栄養の予防、地域活動への参加の促進等)
- 14 地域のつながりの醸成
(子育てや介護、多世代の交流、ボランティアなど地域活動への参加を通じた健康づくりの推進等)
- 15 その他(具体的に：)
- 16 特にない

フェースシート

◎ここでは、お答えを統計的に分析するために必要なことをおうかがいします。ご協力ください。
答えられる範囲でお答えください。

F 1 あなたの性別はどちらですか。 (○は1つ)

1 男 性

2 女 性

F 2 あなたの年齢はいくつですか。 (○は1つ)

1 20～24歳

5 40～44歳

9 60～64歳

2 25～29歳

6 45～49歳

10 65～69歳

3 30～34歳

7 50～54歳

11 70歳以上

4 35～39歳

8 55～59歳

F 3 あなたが現在利用できる健康保険の種類はどれですか。 (○は1つ)

1 日野市国民健康保険 <世帯主として>

2 日野市国民健康保険 <世帯主以外の家族として>

3 協会けんぽ（旧政府管掌健康保険）<本人として>

4 協会けんぽ（旧政府管掌健康保険）<家族として>

5 組合健康保険（健康保険組合・共済・船員・その他）<本人として>

6 組合健康保険（健康保険組合・共済・船員・その他）<家族として>

7 後期高齢者医療保険

8 医療保険に加入していない（利用できる健康保険はない）

F 4 あなたと同居されているご家族はいらっしゃいますか。 (○は1つ)

1 単身

2 夫婦のみ（1世代世帯）

3 親と子（2世代世帯）

4 親と子と孫（3世代世帯）

5 その他の世帯（

）

～ ご協力ありがとうございました ～

ご記入いただいた回答用紙は、同封した返信用封筒に入れ、
8月20日（火）までにポストへご投函ください。

日野市健康づくりに関する調査 報告書

第4期「日野人げんき！」プラン

令和7年3月

[発 行] 日野市健康福祉部健康課
〒191-0011 日野市日野本町1丁目6番2号
 日野市生活・保健センター内
電話：042（581）4111（ダイヤルイン）

この調査書の白色の用紙は、再生紙を使用しています。

